THE TAIWAN JIHO

臺灣時報

五月號

EAST ASIATIC ECONOMIC INVESTIGATION BUREAU
登錄濟
南滿洲鐵道株式會社東亞經濟調查局
MAY 27 1927
SOUTH MANCHURIA RAILWAY CO., LIMITED.

内容目録記入濟

臺灣時報發行所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況竝に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　後藤文夫

評議員（以下イロハ順）

石坂莊作　大越大藏
今井周三郎　太田吾一
井村大吉　渡邊金造
伊藤狠吉　川崎軍治
岩本多助　簡朗山
西川利藤太　片山三郎
醫學博士 堀内次雄　吉岡荒造
富田松彦　楊吉臣
富地近思　農學博士 高木友枝
陳鴻鳴　高橋親吉
陳中和　田村武七
林熊徵　田村藤四郎
林獻堂　田賀奈良吉
林烈堂　高山仰
林鶴壽　瀧田傳吉
李延禧　武田英一
大竹勝一郎　津田毅一
農學博士 大島金太郎　津久井誠一郎
鼓包美　荒卷鐵之助
婁木栗造　相原祐彌
永田隼之輔　近江時五郎
宇賀四郎　坂本素魯哉
草鹿砥祐吉　佐々木紀綱
醫學博士 倉岡彦助　柵瀨軍之佐
久米孝藏　皿谷廣次
松岡富雄　蔡蓮舫
牧山清砂　齋藤透
松本晃吉　佐藤得太郎
藤野幹　木村久太郎
古木章光　木村泰治
小松吉久　許廷光
吳昌才　喜多孝治
辜顯榮　木下信
古賀三千人　三好德三郎
黃欣　三浦碌郎
吳汝祥　生野團六
黃春帆　白勢黎吉
後藤和佐二　徐杰夫
枝德二　遠藤所六
鄭神寶　平山寅次郎
赤石定藏　森・廣藏
赤司初太郎　本山文平
後宮信太郎　鈴木重臣

編纂委員

猪股松之助　服部武彦
今川淵　原口竹次郎
生駒高常　大澤清高
大竹勇　中田秀造
和田一次　内田隆
和田博　深川繁治
鎌田正威　淺野安吉
橫光吉規　佐藤續
田端幸三郎　水越幸一
中瀨拙夫　城間垣人
中田榮次郎

常務員

編輯係　秦滿　眞介民治
鷹取田一郎　安藤泰夫
泉芳德　鈴木重男
葉山石雲　伊藤憐之助

昭和二年五月十三日印刷（每月一回）
昭和二年五月十五日發行（十五日發行）
（定價一部郵稅共金三十五錢
廣告料一頁金二十圓）

發行所　臺灣總督府內
臺灣時報發行所
振替貯金口座臺北二〇七〇番
電話總督府內第八九番

臺北市東門町一五八番地
編輯兼發行人　伊藤憐之助

臺北市榮町二丁目十二番地
印刷者　加藤重吉

臺北市京町二丁目四十三番地
印刷所　小塚本店印刷工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

株式會社 臺灣銀行（臺北）

支店出張所

臺灣

基隆　新竹　臺中　嘉義　臺南

高雄　宜蘭　淡水　桃園　南投

屏東　臺東　花蓮港　澎湖島

支店出張所

支那

上海　漢口　福州　廈門

汕頭　香港　廣東　新嘉坡

其他

スラバヤ　スマラン　バタビヤ　孟買

カルカツタ　倫敦　紐育

內地

神戸　大阪　横濱　東京

臺灣時報 昭和二年五月號 目次

口繪 ▲第二艦隊乘員の臺灣神社參拜 ▲特別戒嚴令下の上海

時言

上山總督諭告……一

臺灣銀行券は絕對安全である……上山總督談……二

臺灣銀行當局の聲明……四

臺灣美術展覽會に就いて……石黑英彥……五

時報

第五十二議會終了　米國世界觀光團來臺　上山總督東部巡視　第二艦隊來航　臺灣銀行調查會　臺銀援助政府聲明　若槻內閣總辭職　田中內閣成立　臺灣銀行の善處

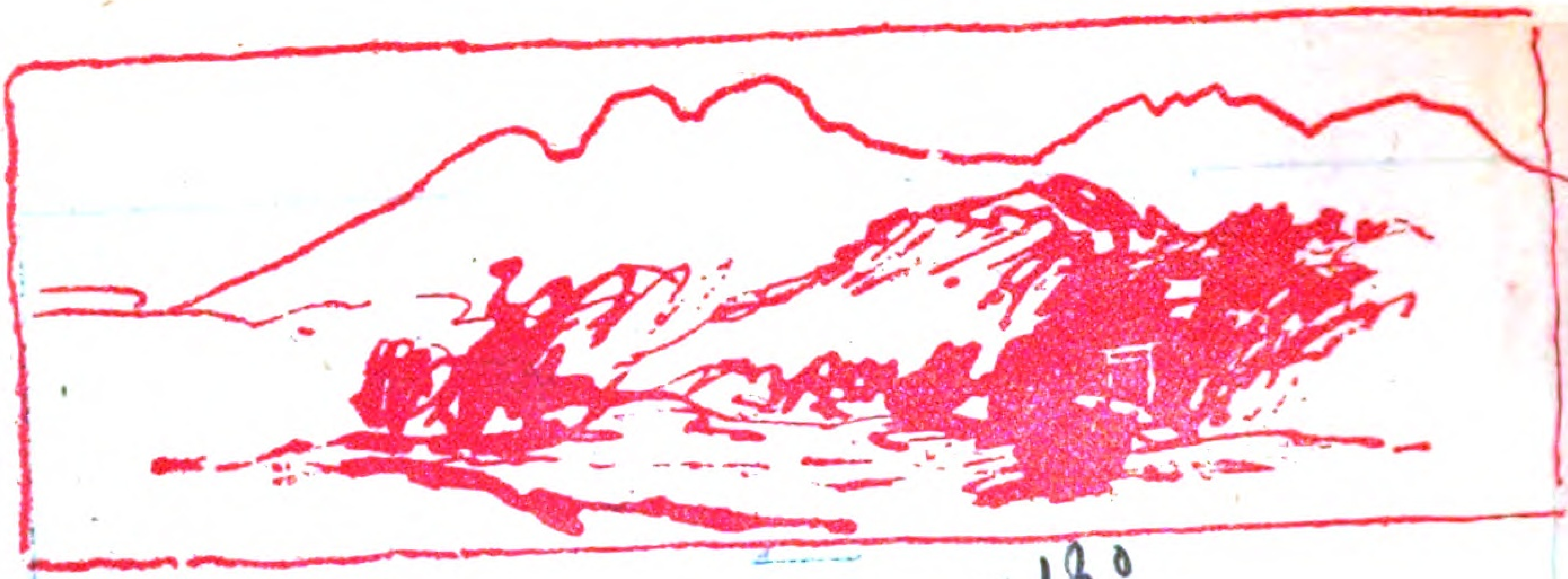
寄書

臺灣產鳥類の保護……堀川安市……一三

講演

革命渦中の支那……秦滿……一四

南支南洋園藝視察談……櫻井芳次郎……二五



F180

說苑

革命支那の旅……波多　滿……四六

新高山を中心として……青木　繁……五一

他山の石……案山子閑人……六四

調査研究

臺灣肥料金融概况……田里維章……六六

南部スマトラの官營鐵道……山岸祐一譯……七七

島情

臺灣美術展覽會開催の趣旨……總督府文教局……九二

臺灣貿易統計……總督府稅關……九五

臺灣金融統計……財務局金融課……一〇〇

大正十四年度各州及び廳地方費決算に就いて……內務局地方課……一〇七

文苑　漢詩　俳句……一二〇

臺灣日誌　人事消息　任命　編輯後記……一二五

支那及南洋情報……總督官房調查課……一一六

支那　比律賓　佛領印度支那　暹羅　英領馬來　蘭領東印度　印度

支那及南洋其他海外重要記事索引……總督官房調查課……一一九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三井物產株式會社

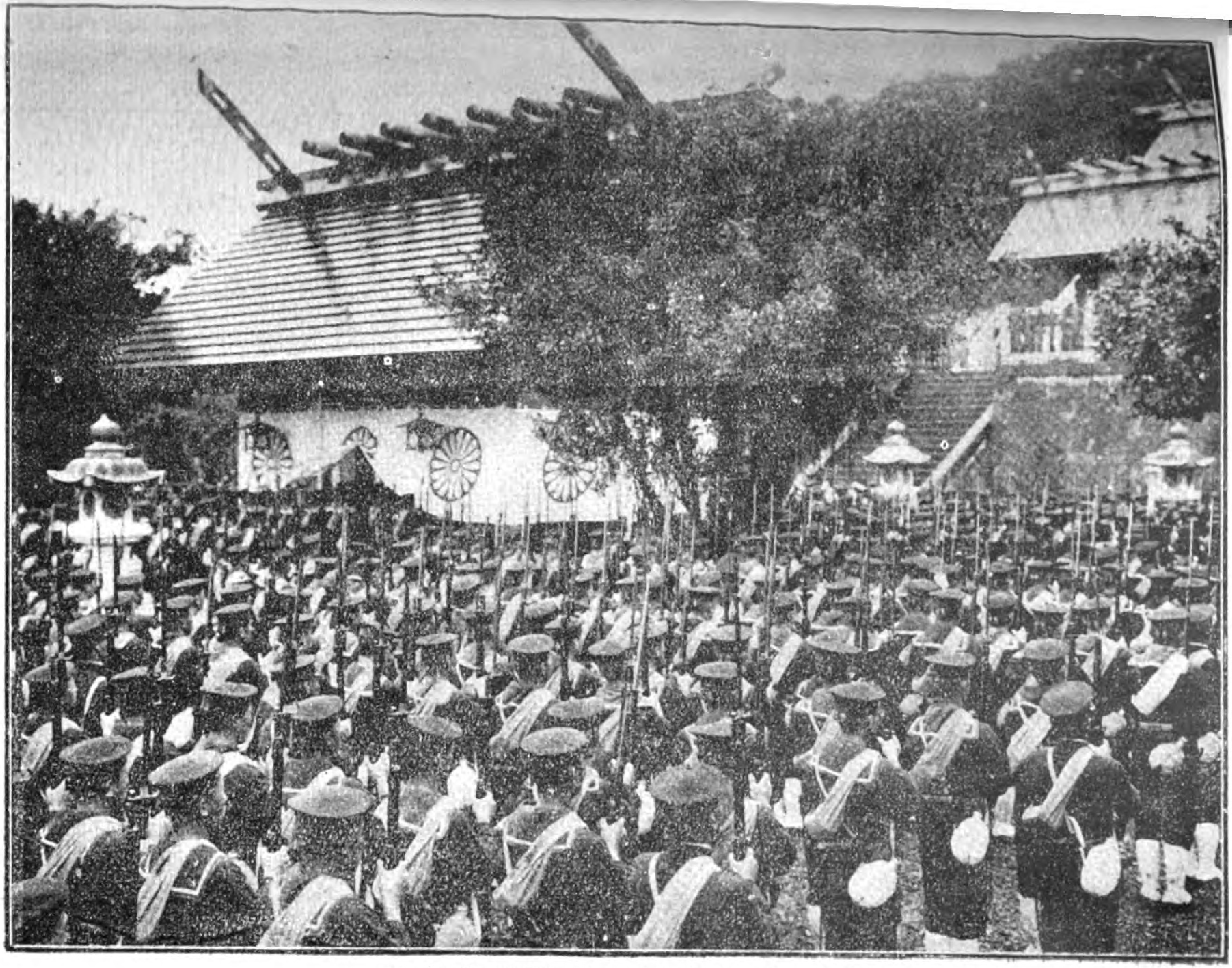
臺北
臺南　支店

出張所、出張員

廈門　福州
基隆　高雄
臺中

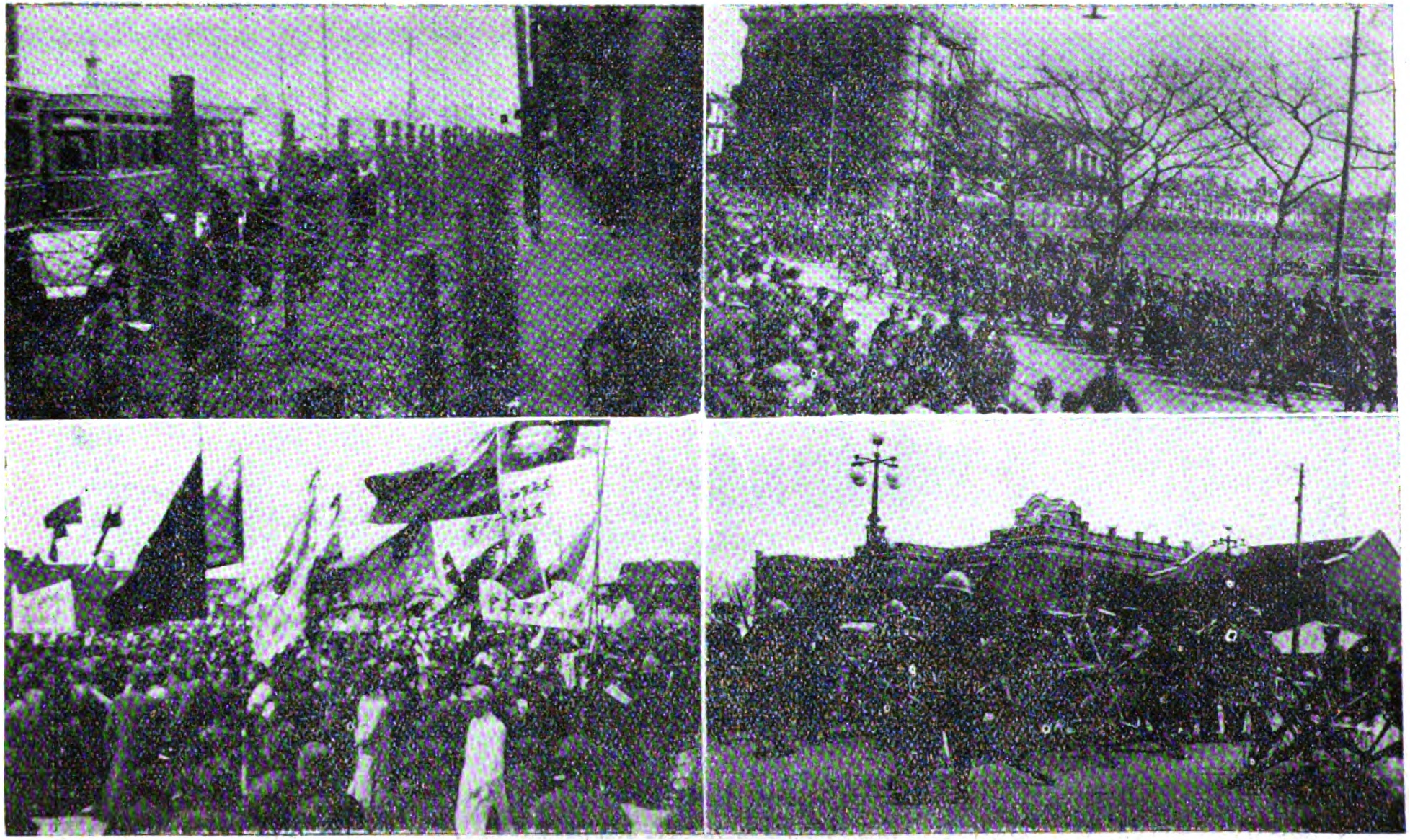
Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



第二艦隊乘員の臺灣神社參拜

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



特別戒嚴令下の上海

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五月號

上山總督諭告

昭和二年四月十八日　臺灣銀行に關して

臺灣銀行ノ整理ニ關シテハ政府ニ於テ多大ノ力ヲ盡シタルモ東京其ノ他島外支店ハ帳簿整理ノ爲メ遂ニ一時休業スルノ已ムヲ得サルニ至レリ然レトモ臺灣島內ノ本支店ハ孰レモ豐富ナル資金ヲ準備シテ依然營業ヲ繼續スルノミナラス東京其ノ他休業中ノ諸店モ遠カラスシテ再開スヘキハ必然ナリ加之政府ハ臺灣銀行ノ特殊銀行タル性質ニ鑑ミ如何ナル場合ニ於テモ預金者ノ損失ヲ坐視スルモノニ非スト信ス又臺灣銀行券ハ法律ノ規定ヲ格守シ正貨準備保證準備ヲ以テ發行セラルモノナレハ最モ確實ナル基礎ヲ有スルノミナラス既ニ國家カ之ニ強制通用力ヲ附與セル以上其ノ價格ノ最後ノ維持ハ實ニ國家ノ責任ナルコト言ヲ須タス

特殊銀行トシテ重要ナル任務ヲ有スル臺灣銀行ノ安定ヲ全ウシ併セテ島内金融機關全般ノ機能ヲ保持スルカ爲メ總督府ハ今後一層大藏省ト協力シテ最善ノ措置ヲ採ルヘキヲ以テ此ノ際島民各自漫リニ危惧ノ念ヲ抱クコトナク一ニ國家ノ施設ニ信頼シ深ク自重スルヲ要ス

臺灣銀行券は絕體安全である

上山總督談

臺灣銀行は不幸にも休業汰沙となつたが、併し同銀行本店並びに島内各出張所は依然として業務を繼續することに確定したことはセメてもの幸と言はなければならぬ。私共は以前より注意もし又た危險も感じて居たのであるが最近形勢漸く切迫して來たので、東京なる總務長官と頻繁に電報の往復もし、又長官代理其の他關係の人々と共に種々之に對應するの方策を講じ、縱令如何なる事態の發生するとも臺灣だけは比較的安泰にして置きたいとの切なる希望を懷いて居た。若し萬が一本店も東京支店と同樣休業するやうになつては大に不安を誘致するだけであるが、併し斯る事は斷じてない事が明瞭である。それと云ふのは臺銀では充分の資金を用意して居るからである、故に預金の拂戻を要求されても少しも困ることは無い、東京支店も三週間以内に新内閣が出現すれば、恐らく何は扨ておいても第一に之を解決しなければならぬだから、或は三週間たゝぬ内に營業を繼續することになるかも知れぬ。殊に當地の本店に於ては更に大丈夫なものがある。今假りに事の極端を想像して最も惡い方向に進んだとしても、臺銀の如きは絕對に潰れると云ふ事はない事を確信する。尤も私は臺銀のバランス・シートを詳く知つては居ないが、勿論借金も貸金も澤山にあらうが其の差

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

引勘定をして見ると決して潰れるやうな事は無いのみならず、本來が特殊銀行で普通銀行とは違ひ國家が之を傍觀して居る事の出來ぬ關係があり、其の設立の趣旨精神として是非共何うにか始末をしなくてはならぬ。

第一はその銀行券のことであるが、是れは言ふ迄もなく其の通貨價値は絶對に變動するものでない。日本銀行には正貨準備がある外に更に保證準備があり、更にその上必要あれば主務大臣の許可を得て之れを擴張することが出來る、歐洲大戰中歐洲交戰國の紙幣や貨幣が下落したのは詰りその正貨準備が出し盡して了つたからである。

正貨準備さへあれば決してその發行銀行券が下落するものでない。且つ此銀行券には金貨と同じ强制通用力が與へてあるので、金の代りに銀行券を出されても之れを拒むことが出來ぬ。かく强制通用を附しておいて其の價格の下るのを傍觀して居ることは國家として絶對に出來ぬところである。故に苟くも國家の亡びない限りは此の種銀行券が何うのかうのと云ふ心配はない。

臺灣銀行でも同樣國家との關係深く且つ密接であり、その銀行券も絶對に安全である。東京の支店もいづれ遠からぬ内に業務を繼續するに至るであらう、是れは要するに國家が後援して居るためである、島内多數の人々が萬々一危ぶなく思ふて、今回の臺銀の休業を普通銀行の支拂停止などゝ同じに考へて慌てる人があるならばソレは間違である、我が國力と臺灣銀行との關係を考へて落著て居て貰ひたいと思ふ。臺銀としては預金者へ迷惑をかけることも斷じて無いし、又た臺灣銀行券を持つて居る人に對しても絶對に迷惑をかけない。今後は大藏省と力を戮せて之れを改善するの方途に出るのであるから、所謂雨降つて地堅まるの譬の如く、臺銀の將來は苟くも臺灣に關する限りは遙かに改善されることと信ずる。一般の人々は能く此の意味を理解して決して迷はぬやうにしてほしい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣銀行當局の聲明

臺灣銀行理事久宗董氏は四月十八日同銀行本店及び島內支店の營業繼續につき左の如く聲明した。

電報遲延に因り一昨日來內地情況の詳報に接し得ないが、十八日朝突然東京なる森臺銀頭取から、內地支店海外支店は四月十八日から向ふ三週間臨時休業し、島內本支店は依然營業を繼續する事に決定した旨來電があつた。今般內地財界が動搖した爲めに當行の信用に關し絕えず不安の念を生じ、官民各方面並に一般取引者に非常の心配を懸けた事は誠に遺憾に堪へない許りか、今回島外支店の休業は當行の臺灣に於ける特殊の使命に鑑みて、斯くの如き事態に立至つた段眞に恐縮の次第である。內地支店關係に就いては未だ確たる見込みは立たないが歷代政府の方針並に日本との極めて密接なる取引關係に鑑み、近く相當の成案を得て再開の運びに至るべきを信じて疑はぬ、本島關係に就いては營業繼續につき必要なる萬般の準備を整へ居り、一に總督府指導の下に善處して遺憾なきを期し、一般取引先各位には出來得るだけ不都合なき樣取計ひたく殊に預金に就いては充分なる支拂準備を有するを以て毫も迷惑を懸けない決心である。唯だ此の際流言蜚語も尠くない事と思はれるにつき、取引先各位に於ては充分總督府方針の存する所と公共機關たる當行の立場とを諒解せられ、理解ある態度を以て圓滿なる取引を繼續されん事を切望する。尙島內各地方銀行は御承知の通り當行とは唇齒輔車の關係にあり、其の基礎漸次强固を加へ、殊に近時著しく業態の改善を見居る狀況につき、各地方銀行に對しても當行に對すると同樣の態度を以て安んじて取引せらるゝ樣併せて希望する次第である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣美術展覽會に就いて

臺灣總督府文教局長　石黒英彦

臺灣教育會の事業として創設せられた臺灣美術展覽會は、臺灣に在住する美術家に對して、その鑑賞研究の機會を與へ、一面公衆の美的思想を涵養し趣味を皷吹する目的を以て生れたものである。抑も美術は文化の精華であり、國民精神の具體的表現であつて、文藝美術發達の如何は、亦以て一國文化を卜するに足るのである。或る時代には民衆の藝術に對する思想が極めて幼稚であり、美術を以て實生活と沒交渉なる一種の贅澤品として顧みざるのみならず、却つて美術に對し無趣味を以て矜りとしてゐた時代もあつた。されど文藝美術盛衰の歷史を按ずるに、偶々文弱の弊を招いたとしても、何れの時代を問はず、精神文化發達上貢献することの尠くなかつたのは瞭かである、これ等の過去と現在に鑑み、これを發達せしめ、これを善導することは、國民精神を作興し、美化せしむる上に、效果の偉大なるものありと信ずる。近時本邦に於ける美術の進歩は、極めて急速なるものあり、その團體の如きも、帝國美術院、日本美術院、二科會等を始め團體數百を超え、朝鮮に於てすら、將に第七回の美術展覽會が開かれんとして居る。

文化の惠澤に浴することの少かつた本島も、皇化に洽くこと既に三十餘年、その間各方面に渉つて隔世の發達を遂げ、藝術的方面に對する、好愛、鑑識等も亦甚だしき進歩を來し、從つて多くの美術家を生み、或ひは餘技を樂しむ人にして既に「アマチユア」の域を脱して作品の發表をした人も少くない。又鑑賞の機會に憧れる人は頗る多數であつて本島美術展覽の機は、既に熟してゐるのみならず、亞熱帶の本島としては、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

[illegible]

計畫と設備

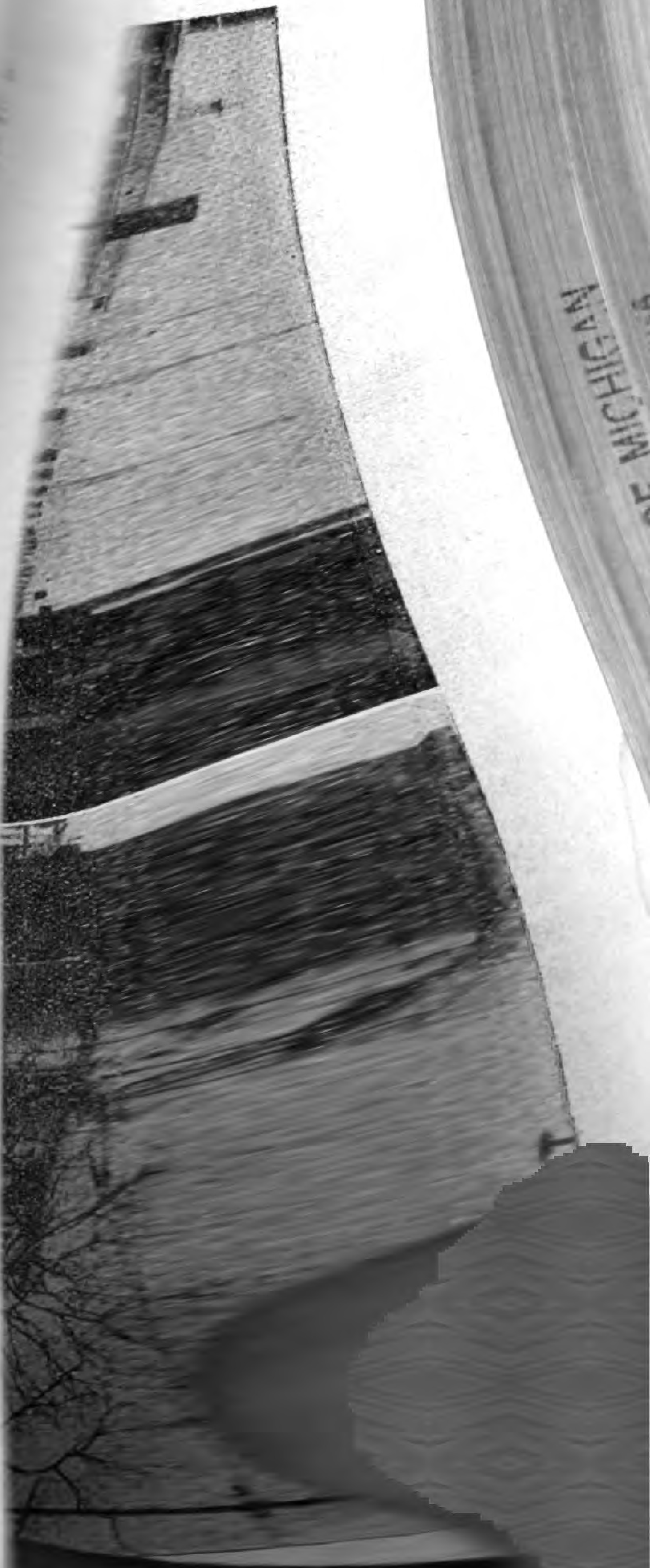
會期及會場　毎年一回開催せんとするもので、會期は十月十一日頃の臺北の秋を飾る年中行事の一としたいと思ふ。本年の第一回も十月二十八日より十一月六日迄十日間、臺北樺山小學校に開催する豫定であるが、近き將來に臺灣教育會館でも出來れば、其處を會議の會場に當てる筈である。

出品物　本年は草創の時でもあり、取敢へず東洋畫西洋畫に限つたが、將來十分の用意が整へば、彫塑から圖案、工藝等に迄も及ぼす豫定である。

出品資格　灣展の性質から主として臺灣在住者の製作に係る者と定めてはあるが、これも必ずしも灣製に限ると謂ふのではない、本島緣故者やその他審査員に於て、適當なりと認めたる者は受理する見込みである。

審査　監査及審査に就ては、勉めて本島在住の諸氏に委囑する筈であるが、適當なる機會を得られ、經費等も許せば他より斯界の權威を招聘することも意義あることゝ思ふ。

尚詳細は別項島情に掲げた、臺灣美術展覽會開催の趣旨、臺灣美術展覽會規程及出品規則等を參照せられんことを希望する。



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時報

第五十二議會終了

幾多の曲折と波瀾とを重ねた第五十二回帝國議會は、三月二十五日を以て終了し翌二十六日午前十一時貴族院に於て閉院式が行はれた。顧みれば今期議會には幾多の重要議案が上提され、總督府關係の案件も頗る重大なるものがあつた、而して一時は議會の解散さへ傳へられ、震災手形案の上提、議場の混亂、正副議長の更迭等波瀾重疊を極めたが、豫算其他重要案件は大體に於て全部通過し、總督府の豫算其他も悉く原案通り可決された。

世界觀光團來臺

米國の世界觀光團一行三百五十九名は三月三十一日午前基隆入港直ちに臺北に向ひ鐵道ホテルに入り小憩の後四組に分れ市內各所を視察して同夜レゾリユート號に歸船した。

上山總督は同日午後一時官邸に一行を招待して歡迎の茶話會を開き、總督の歡迎辭チャーレイ博士の答辭あり一行は嬉々として官邸を辭した。また基隆港內淀泊のレゾリユート號には同船長觀光團長主催の下に我が官民三十餘名を招待して盛大なアットホームが催され、海陸共に日米親善の交驩が行れた。

上山總督東部巡視

上山總督は四月一日午後零時五十分臺北驛發、本山警務局長、竹屋秘書官其他を隨へ東部臺灣巡視の途に就かれ左記日程により各地を視察し同十三日午後五時半歸北された。

▲四月一日　臺北發　蘇澳著　乘船　▲二日　花蓮港著　花蓮港神社參拜、花蓮港街・タツキリ研海地方・吉野村觀察　茶話會　同

藝術上多くの特色を發揮し得るものあるに鑑み、急いで本會の實現を期した次第であるが、但しこれを以て直ちに帝展や院展二科展等と、同一歩調に出ることを期待するものではない。漸を逐ふて臺灣の特徴を多分に取入れたる、所謂灣展としての權威を發揚せんとするものである。一般理解ある後援と、當事者の努力宜ろしきを得たならば、この目的達成の期も蓋し遠くはあるまい。この企てが曉鐘となり、畫期となつて本島美術界に一段の緊張と光彩とを加へ、島民生活に氣品と温味とを生じ、他面蓬萊島の人情、風俗、其の他の事情を廣く社會に紹介し、我が臺灣の地位を高め得るならば、本會創立の意義亦一層深きものと信ず。

終りに、本島在住の美術家諸士、並に、一般官民各位が、本會の趣旨に贊して、格段の援助を賜らんことを切望し敢て設立の趣旨を敷衍する次第である。

計畫と設備

會期及會場　毎年一回開催せんとするもので成るべく十、十一月頃の臺北の秋を飾る年中行事の一にしたいと思ふ。本年の第一回も十月二十八日より十一月六日迄十日間、臺北樺山小學校に開催する豫定であるが近き將來に臺灣教育會館でも出來れば、其處を常設の會場に當てる筈である。

出品物　本年は草創の時でもあり、取敢へず東洋畫西洋畫に限つたが、將來十分の用意が整へば、彫塑から圖案、工藝等に迄も及ぼす豫定である。

出品資格　灣展の性質から主として臺灣在住者の製作に係る者と定めてはあるが、これも必ずしも灣製に限ると謂ふのではない、本島緣故者やその他審査員に於て、適當なりと認めたる者は受理する見込みである。

審査　監査及審査に就ては、勉めて本島在住の諸氏に委嘱する筈であるが、適當なる機會を得られ、經費等も許せば他より斯界の權威を招聘することも意義あることゝ思ふ。

尚詳細は別項島情に掲げた、臺灣美術展覽會開催の趣旨、臺灣美術展覽會規程及出品規則等を參照せられたいことを希望する。

時報

第五十二議會終了

幾多の曲折と波瀾とを重ねた第五十二回帝國議會は、三月二十五日を以て終了し翌二十六日午前十一時貴族院に於て閉院式が行はれた。顧みれば今期議會には幾多の重要議案が上提され、總督府關係の案件も頗る重大なるものがあつた、而して一時は議會の解散さへ傳へられ、震災手形案の上提、議場の混亂、正副議長の更迭等波瀾重疊を極めたが、豫算其他重要案件は大體に於て全部通過し、總督府の豫算其他も悉く原案通り可決された。

世界觀光團來臺

米國の世界觀光團一行三百五十九名は三月三十一日午前基隆入港直ちに臺北に向ひ鐵道ホテルに入り小憩の後四組に分れ市内各所を視察して同夜レゾリユート號に歸船した。

上山總督は同日午後一時官邸に一行を招待して歡迎の茶話會を開き、總督の歡迎辭チヤーレイ博士の答辭あり一行は嬉々として官邸を辭した。また基隆港内淀泊のレゾリユート號には同船長觀光團長主催の下に我が官民三十餘名を招待して盛大なアツトホームが催され、海陸共に日米親善の交驩が行れた。

上山總督東部巡視

上山總督は四月一日午後零時五十分臺北驛發、本山警務局長、竹屋秘書官其他を隨へ東部臺灣巡視の途に就かれ左記日程により各地を視察し同十三日午後五時半歸北された。

▲四月一日　臺北發　蘇澳著　乘船　▲二日　花蓮港著　花蓮港神社參拜、花蓮港街・タツキリ研海地方・吉野村觀察　茶話會　同

地泊　▲三日　花蓮港發　豐田著　豐田村壽製糖工場視察　壽發　玉里泊　▲四日　玉里發　鹿野村著　同村視察　同驛發　臺東著泊　▲五日　臺東發　知本著泊　▲六日　知本發　馬武屈著　馬武屈及新港附近道路視察　知本著泊　▲七日　知本發　大武著泊　▲八日　大武發　リキリキ社著泊　▲九日　リキリキ社發　崁頭關・大嚮營著　灌漑工事視察　南勢湖・琉球藩民墓地視察　石門　四重溪著泊　▲十日　四重溪發　林業試驗支所・種畜試驗支所視察　鵝鑾鼻　無線電信所視察　四重溪著泊　▲十一日　四重溪發　潮州・高雄・臺中著泊　▲十二日　臺中發　苗栗著　製油所・出礦坑視察　泊　▲十三日　苗栗發　造橋・錦水・造橋　臺北著

第二艦隊本島來航

第二艦隊の艨艟、第四戰隊金剛、比叡、第五戰隊加古、古鷹、神通、那珂、第二水雷戰隊夕張、第二十二第三十、第二十九、第五の各驅逐隊及び特務艦鶴見能登呂は司令長官吉川中將指揮の下に三月三十日有明灣を發し、航海中各種の教練演習を行ひ厦門を經て四月五日雄姿堂々海を壓して馬公に入港し、五千の官民は國旗を手に萬歲を高唱して歡迎した。

同艦隊は八日午前馬公を發し同日午前高雄に入港し熱誠なる市民の歡迎裡に三日間淀泊、艦隊員は臺南神社參拜後市中を見學し、十二日高雄港發十三日基隆に廻航して、十六日まで四日間同港淀泊、艦隊の勇士一萬餘名は交互上陸して臺灣神社に參拜し更に市中を見學した。淀泊中の軍艦は一般市民の拜觀を許し各學校生徒各種團體文武官一般市民の拜觀頗る多數に上り陸には海の勇士を招いて歡迎の誠意を披瀝し基隆臺北の兩市は艦隊氣分に漲つた。同艦隊は十七日午前七時旗艦金剛を先頭に舳艫相銜み那覇に向つて基隆を拔錨した。

臺灣銀行調查會

臺灣銀行調查會官制は四月四日を以て發表され同日委員の任命あり、翌五日第一回の調查會が開かれた。同調查會席上に於て片岡藏相は「臺灣銀行は臺灣の中樞金融機關たるのみならず我國外國貿易金融上頗る重要なる位地を占め我國財界と密切なる關係を有する重大なる特殊銀行の一たるに鑑み其の基礎を强固にすべくこの調查會を設けた」と同調查會設置の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

理由を述べ、朝野の有力者に將來を考慮して適切なる方策の樹立を望むと共に政府に於ても案を具しその審議を求められた。

因に臺灣銀行調査會官制並に同委員は左の通り

臺灣銀行調査會官制

第一條　臺灣銀行調査會は大藏大臣の監督に屬し其諮問に應じ株式會社臺灣銀行の基礎を强固にする方策を調査審議す

第二條　臺灣銀行調査會は會長一名及委員十四名以內を以て之を組織す

第三條　會長は大藏大臣の奏請に依り內閣に於て之を命す

第四條　委員は左に揭ぐるものを以て之に充つ

一、關係各廳高等官

二、貴族院議員

三、衆議院議員

四、日本銀行正副總裁

五、日本銀行理事

前項第一號乃至第三號及第五號に揭ぐるものを以て充つる委員は大藏大臣の奏請に依り內閣に於て之を命す

第五條　會長は會務を總理す會長事故ある時は會長の指名したる委員其の職務を代理す

第六條　臺灣銀行調査會に幹事を置く大藏大臣の奏請に依り大藏部高等官中より內閣に於て之を命す幹事は會長の指揮を受け庶務を整理す

第七條　臺灣銀行調査會に書記を置き大藏部內判任官中より大藏大臣之を命す書記は會長及幹事の指揮を受け庶務に從事す

附則　本令は公布の日より之を施行す

臺銀調査會委員

會長		貴族院議員	井上準之助
委員		大藏政務次官	武內作平
同		事務次官	田昌
同		理財局長	富田勇太郎
同		銀行局長	松本脩
同		臺灣總督府總務長官	後藤文夫
同		貴族院議員	阪谷芳郎
同		衆議院議員	元田肇
同	同		三土忠造
同	同		原脩二郎
同		日本銀行總裁	市來乙彥
同	同	副總裁	土方久徵

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同	同理事	麻生二郎
幹事	銀行局長	松本脩
同	大藏書記官	青木得三
同	同	大野龍太
同	同事務官	色部貢

臺銀援助 政府聲明

政府は四月十四日附を以て左記臺灣銀行援助の聲明を發表した。

今般臨時閣議に於て本日大藏省の臺灣銀行調査委員會に於ける懇談の次第もあり政府は責任を以て同行をして充分に其の事務を進行せしむる爲め具體的方策を講じ以て財界の安定を期することに決定した。

若槻內閣 總辭職

政府は四月十七日午後四時首相官邸に臨時閣議を開き、內閣總辭職を決定し、首相以下各閣僚書記官長政務次官法制局長全部の辭表を取纏め、午後五時十五分若槻首相は赤坂離宮に參內之を闕下に捧呈した。

因に今回の內閣總辭職は樞密院に提案中の某重要案につき政府と樞密院の意見合ず不調に終つたからであると。

田中內閣 成立

後繼內閣組織の大命を拜したる田中義一男は、四月二十日午前十時、赤坂離宮に參內、閣員名簿を捧呈し同日午後一時赤坂御所に於て珍田侍從長、牧野內大臣、一木宮內大臣侍立の上左の通り親任式が行はれた。

任總理大臣兼外務大臣　田中義一
任內務大臣　鈴木喜三郎
任大藏大臣　高橋是清
任陸軍大臣　白川義則
任海軍大臣　岡田啓介
任司法大臣　原嘉道
任文部大臣　三土忠造
任農林大臣　山本悌二郎
任商工大臣　中橋德五郎
任遞信大臣　望月圭介

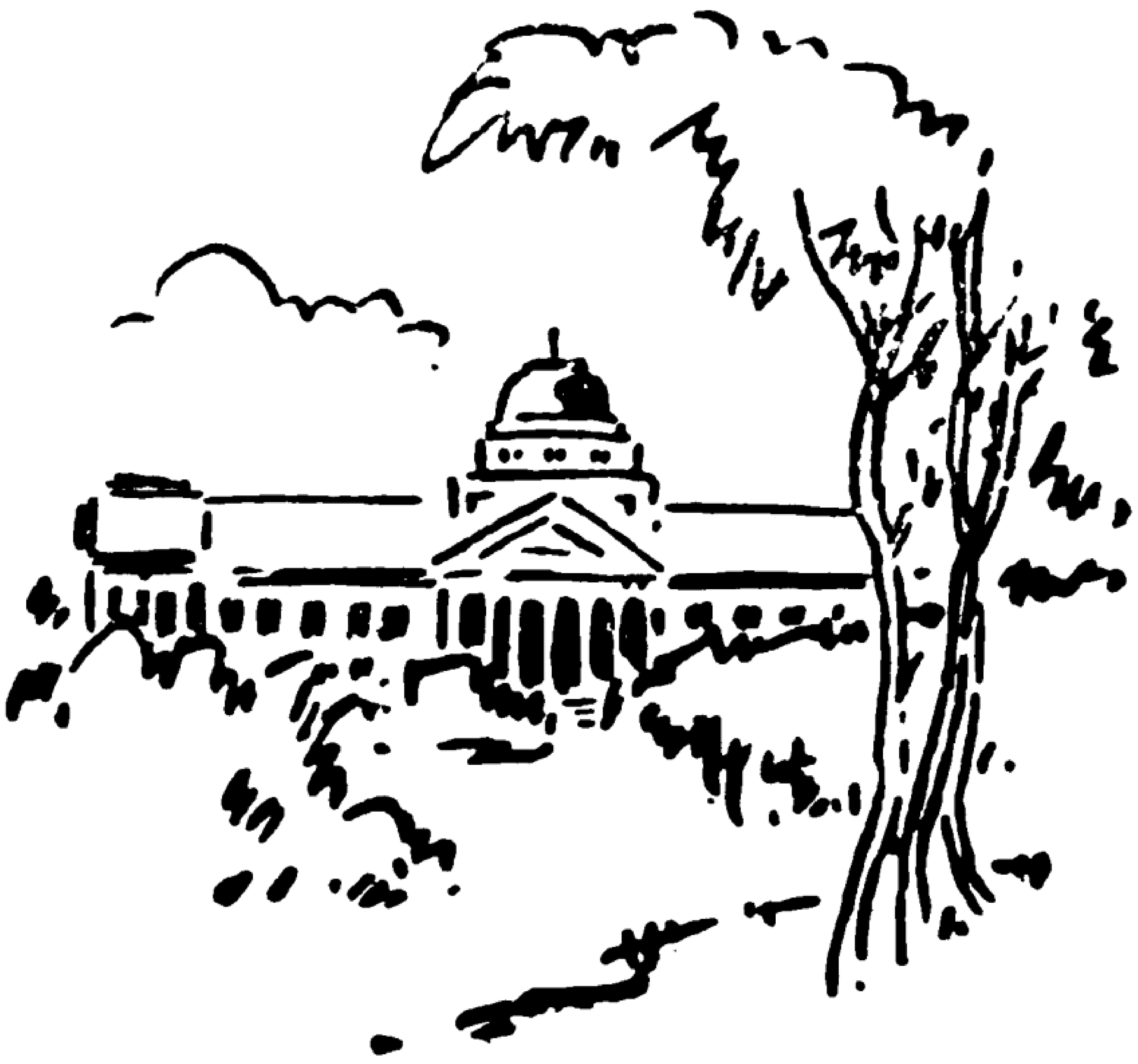
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

任鐵道大臣　小川平吉

臺灣銀行の善處

臺灣銀行當局は四月十七日より徹宵協議の結果、本店及び島内支店は財界の波瀾を外に依然營業を繼續し内地支店は帳簿整理の爲め三週間休業し、海外支店は閉店せざるも營業は休止することに決定し十八日これを發表した。

依つて上山總督は臺銀整理に關する諭告を發して島民の自重を促し、臺灣銀行當局は數次の聲明を發して諒解を求めた。而して島内各銀行は勿論、本島官民は總督の諭告臺銀當局の聲明を信頼し協力して財界の安定に努め、他方臺銀當局は總督府の指導援助の下に善處して、一時甚しく人心を不安ならしめた島内財界もこゝに全く平靜に歸するを得た。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣產鳥類の保護

臺北師範學校　堀川安市

一、鳥類と人生
　產業上　利用上　娛樂上　學術上
二、鳥類の減少
　世界　日本　臺灣
三、鳥類の保護
　世界の保護の現況　臺灣の保護　禁獵區　獵區
結論

一　鳥類と人生

鳥類が吾々人類と深き關係を有することは多くの人の熟知せる所なるを以て今更事新らしく詳論する要なきも、農業を以て主要の産業とせる本島にては農林業との關係を深く考慮する要あり。彼等が害蟲を捕食することの大なるは彼等の胃の内容物を檢すれば想像以上なり、余は鳥を得る毎に胃を檢しつゝあれば是等の精しき事は後日發表の期あるべきも大正十四年七月に潮州保安林に於て白鷺の吐出物(驚きたるため吐きし)を調べしにタイワンオホコホロギ、クロコホロギ、クツワムシ、クビキリバッタ、アシボソアカバッタ、ツノトンボ、蛙等にて此の内蛙ツノトンボ等は有益なるも他は有害の昆蟲なり以て其の一班を知り得べし。

鳥類が害蟲を捕食するは毎日なれば余り目立たざるも時によりて其の偉力を發揮することあり。

北米合衆國ユタ州のソルトレーキ市にて未だ移民當時の千八百四十八年に飛蝗の大發生あり苦心して原野を開墾して栽培せる麥粟等がよく生育したるものを襲ひ其の延長數哩に亘る沃野も忽ちにして沙漠化せんとするの惨狀を呈せんとせり、移住民は折角來年の食糧の見込みも立ち安心せるも柄の間、突然として此の災害に逢ひしかば狂氣の如くなりて驅除に勉めしも雲霞の如き飛蝗は如何ともすべからず今は餓死を待つの外なしと落膽せり。

時に恰もよしソルトラークに棲息せる鷗(かもめ)は時ならぬ餌を見出したるに驚喜して飛蝗を啄食し初めしかば流石の飛蝗も或は殺され或は逃げ去りたり。

斯くて移住民は饑餓を免るゝを得たれば鷗を愛護する事強く。其の念は子孫に及びしが、今世紀に至りて鷗の功績に對して感謝の意を表するため紀念塔を建設することゝし醵金したるに忽ちにして四萬弗を得たるにより、千九百十三年に大理石の臺上に鷗が二羽止まる狀を表はしたる紀念塔を建て盛大なる除幕式を行へ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

りと云ふ。本島にて鳥の食物につき精細なる調査ぞ望まし。

利用上

鳥類の肉は大抵美味なるが殊に雉類、鳩類、竹鷄類、鴨類、鵪類、鴫類、鶉類等は身體も稍大形にして美味なり、されば各國とも是等の増殖と狩獵につとめつゝあり。

娛樂上

鳥類は山野を飾る一要素とも云ふべく可憐なる姿、美しき色彩、愛らしき鳴聲等如何に吾人を娛しましむるや、近時飼ひ鳥の流行するは其の一面を窺ふを得べし。

學術上

鳥類は遠隔の地に飛來するとは云へ定まれる住所あり又鷄類の如きは移動少きを以て分布學上の資料として貴料なるものなり。

色彩、形態等の生態的或は進化論上より見て貴重なる資料を有す故に各國競ふて保護せり。

本島の生蕃人が天然自然物を崇拜することは深甚なるが就中著明なるものゝ一はシレックなり、此の鳥は和名メヂロチメドリ、土名艶頭鳥と稱し鶯大の小鳥にて全島の山麓より三四千尺の地まで棲息するが、蕃人は此の鳥を神と崇め出獵出草等大事の場合には必ず、此の鳥の鳴聲と位置より其の行動の成否をトすることゝせり。

二　鳥類の減少

斯くの如く鳥と人生とは深き關係あるものなるが鳥類は種を減ずると共に數も減じつゝあり。

世界に於て鳥類の減少しつゝある事實は昨年發表したる「臺灣に於ける天然記念物に就いて」の中にて論じたるも重復を厭はず一二の例を擧げん。

世　界

世界中のものにつき最も能く調査したるはウォター・ロスチャイルド氏とて世界富豪の一族たるロスチャイルド家の一族の人なり。氏は約五百年間に亘りて標本、繪畫其他を資料として調査したる結果左の結論に達したりと云ふ。

絕滅したるもの百四十種 {六十三種 骨骼羽毛等殘存す / 七十七種 剝製繪畫等殘存す}
絕滅に近きつゝあるもの　七十五種
絕滅の虞れあるもの　五十一種

日　本

日本にて絕滅したるものはオガサハラガビテフ、オガサハラマシコ等にて殆んど絕滅せるものはトキ、ヘラサギツル、タイサギ、カウノトリ、リガン等なり。

臺　灣

本島にては領臺前のことは十分に判明せざるのみならず最近に至りて分類的の研究が遂げられたる狀態なるを以て長き年月に亘りての事情は不明なるも、余が渡臺當時卽ち大正七八年頃には臺北市內の樹上にカノマバト、ヒメメヂロ、マミハウチハドリ、キンパラ類等の造巢するもの多かりしが現時これを見ること容易ならず。

獵鳥の減少は殊に多きものゝ如く、左の新聞記事は事實なるが如し。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

基隆の某狩獵天狗を訪へば北部臺灣にも雉の蕃殖保護を切望して語る、近頃南部地方では雉の禁獵區を設けその蕃殖保護の聲が漸く高いやうであるが北部の獵夫たる我々も亦大に共鳴する。

元來本島には雉の種類は數種あるが獵鳥としての雉は頸部に白き輪のある高麗雉のみで北部臺灣では春三四月頃雜草の中に極めて粗雜な巢を作り、十箇内外の產卵をなし三十日内外で孵化し、芋や雜草の實を食料とし、翌春には親鳥となる。臺北州下の雉獵場は基隆郡の雙溪貢寮の二庄下を主とし七星山麓や大屯山麓、羅東郡三星方面其他處々にあるも雙溪、貢寮兩庄以外は論ずるに足らない、然し此れとても臺東、花蓮港廳下や南部には比すべくもない、花蓮港や臺東の獵友大會には一人で一日に十五羽も二十羽もせしめ上げて其の處分に困るとさへ云ふ羨ましい話を聞かされるが雙溪貢寮方面に出獵する臺北基隆方面の大天狗も恐らく一獵期間に五十羽を超ゆる人は殆んどあるまい、大抵は二三十羽以下の貧弱さである。

此れは降雨の多いことや足場の惡いことにも原因するかも知れぬが鳥の數が少いのが最大原因であるのは確かである。基隆獵界の元老吉岡老人(今は隱退して御座るが)の言に依れば七八年前に貢寮方面に二日掛りで出獵すれば優に二十羽位の獲物はあつたさうである、其れが今では比較的獵場の地理に通じて居ると自惚れて居る自分でさへ一羽の姿を見ずして空しく歸る日が度々ある臺北や基隆から時間と金に不自由せぬ連中が大擧して、朝から晩まで雉を追ひ散らしたり足を折つたり時には落ちたりするのだから堪らぬ。

雁や鴨のやうに期節に從つて南から北に、北から南に飛び渡る候鳥ならば少々の酷獵くらゐ大した苦にもならないが雉のやうに一定した區域外に移動せぬ所謂居鳥は大變な影響を蒙ることになる、現狀の儘で推移したならば基隆郡下の獵場は數年內に、荒廢してしまうであらう。

内地でも此の點に留意して禁獵區や獵區を設定し夫々專門の技術員を置き獵鳥の保護や調査に努めて居る、我が臺灣北部にても南部の範に習つて禁獵區又は獵區を設定し雉の種族の保護に力を盡して貰ひたいものである、此れは動物學上に於て必要なるばかりでなくハンターとしても雙手を擧げて歡迎しなければならないと思ふ。其の一方法としては雉の棲息場の一區域を二分し半分宛交互に、數年間宛禁獵區とし解禁に當つた半分の方を入場料を納めたるものゝみに解放するやうにすれば蕃殖保護となり一面遊獵者も愉快な獵が出來るのである。例へば基隆郡貢寮庄及び雙溪庄聯合で全區域を一獵區とし兩庄にて三年置き位に交代に解放すれば各庄とも相當の收入を得て庄の發展にも資することが出來る、我々は此の方法か又は他の適當の方法を以て雉の蕃殖を保護してもらひたいものである。

(大正十五年十一月臺南新聞)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

又本島雉の好獵場として名ある臺南州下北港郡虎尾郡地方の雉の減少は著しく、爲めに一般の注意する所となり遂に禁獵區を設くるに至れり。

近日臺灣日々新報紙上に左の記事を見たり。これは本島には鳥多きものと想像して渡臺したるものなるが東海岸の一部ならいざ知らず、本島には鳥の數は多からざるものなり。

廣島縣廣島郡府中町二五二農業吉岡某は友人と共に狩獵の目的で二十三日渡臺して末廣町四の一に借家し狩獵に駈け廻つたが一羽すら獲る事が出來ず友人佐藤は行方不明になるし本島では狩獵の望みもなく且つ持金全部を費消した事とて歸宅すら出來ず郷里には身を案ずる妻子もある事とて三十一日午前十時南署に出頭保護願を申出たので南署では其の事情を調査し廣島縣府中警察署宛に旅費三十圓を送金する樣弟吉岡音藏に示達依賴の電報を發した。

三　鳥類の保護

鳥類の減少は年を逐ふて益々甚だしき傾向あるにより各國とも保護と蕃殖とに勉むるに至れり。

世界の大勢

爾來は鳥類は捕獲するも差支なきを本則とし一部分の鳥に限りて捕獲を禁じこれ等の鳥類を保護鳥と稱せり。然るに近時は鳥類は捕獲せしめざるを原則とし有害なるものと其の體を利用せらるゝものゝみを指示して捕獲を許しこれ等を狩獵鳥と稱せり。

日本國にても內地、朝鮮、關東州及び南洋廳等は狩獵鳥を指示せるも臺灣と樺太とは昔のまゝの保護鳥法に則れり。

是等兩者中何れを可とすると云ふに吾人は鳥は捕獲せしめざるを本旨とせる法を可なりと信じ本島にても

早く規則の改正を望むものなり。

內地に於て保護する鳥類は左の標準によりて定めつゝありと云ふ。

甲　絕對に捕獲せしめざるもの

イ　農林業に害ある昆蟲を捕食するもの
ロ　水產業に利あるもの
ハ　著しき害なきもの
ニ　稀族の絕滅の虞あるもの
ホ　學術上貴重なるもの　｝天然記念物として保護す

乙　蕃殖期には捕獲を許さざるもの

イ　肉、羽等の利用せらるゝもの
ロ　生捕りして利用せらるゝもの

丙　捕獲を許すもの

イ　人生に害ある鳥
ロ　乙に屬するものゝ蕃殖期間以外の時

然し近時に至りて積極的に保護に力を致すに至りて蕃殖を助成し或は食餌を給する等目覺ましき活動を爲すもの續出したり。

保護の方法は種々雜多なるが今重要のものを表示すれば左の如し

甲　捕獲を禁止す｛鳥の種類を定めて禁止す　（絕對保護鳥と云ふ）
　　　　　　　　　一定區域内は禁止す　（禁獵區）

乙　捕獲を制限す
- 蕃殖期間は禁止す（期間保護鳥と云ふ）
- 一定の區域内は蕃殖期間及一定の命數等に禁止す（獵區）
- 獵法に制限を附す

丙　蕃殖を助く
- 巢又は巢箱巢臺等を給與す
- 餌を給與す（餌少き折に）
- 害敵を防ぐ

これを要するに害鳥は捕殺するも直接又は間接に利ある鳥と天然記念物として價値ある鳥は絶對に捕獲せしめず、利用の價値あり且つ著しき害なき種類は蕃殖を助成し時には外國產をも輸入蕃殖せしめて永く其の恩惠によらしめんと勉めつゝありと云ふ。

外國にて鳥類を愛護せることの著しきは左の文にて知ることを得べし。

これは單に伯林に限つた事ではない。巴里だつてさうだ公園や街路に日本の雀に比べると羽の色が稍黑く見える雀が嬉々と戯れてゐる。パンの屑を人々が與へてゐる。實に平氣に乘つてくる。人が近よつても驚かぬ寧ろ人に接近してくる、惡太郎が棒切れでこれを追ひ廻したりはせぬ。だから雀は人は決して危害を自分等に加へるものなりとは夢にも思つてゐないらしい。日本の雀は江戸ッ子のやうにすばしこい。矢張り境遇が然らしめるのだらふ。雀以外に日本の寺院等に群れてゐる鳩でも豆を拾ひ乍ら人の動靜を注意してゐるがベニスの寺の廣場になる鳩は決して人に驚かぬ。

アル同胞が伯林の公園でステッキで飛べる雀を叩き落して罰金をとられた事がある。事程左樣に彼等は機敏でない。

（歐洲の旅よりかへりて（生理研究四の二）富士醫學博士）

雀まで斯樣に愛護することの可否は別問題として歐洲各國民が鳥を愛せる狀態は日本人の想像せざる程なり、日本にて路傍にゐる鳥を見れば石を投げ或は棒を以て追ひ廻すと比較すればこれこそ雲泥の相違なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣

今臺灣に於ける鳥類保護の現狀を見る時は吾人には遺憾の點多し。

天然記念物として保護すべき鳥としては前にミカドキジを擧げたることあるが、本島と內地の標本業者が容易に手に入り難きものとの斷定と唯目錄を飾る一手段として法外の價格を附したるものが誤りて商人に利用され、ために其の捕獲に熱中する人あり、是等の人には唯々私利のみ眼中にあり、然し法令上何等の制裁なきにより其の取締の法なきは遺憾なり。

農林業上に利ある鳥類は多かるべきも本島にては未だ調査せるものなきを以て斷論するを得ざるも現在保護されたるものゝ內左のものは益鳥に屬するものと見らるべし。

雲雀　鶺鴒　鷚　燕　山椒喰　鳥秋　白眉　鶲　杜鵑　小啄木鳥　梟　白鷺　鵯　黃鳥　加令

椋鳥

然し本島には是等の外に害蟲を捕食する鳥類と認むべき鳥類あり、其の內最も普通なるものは左の如し。

目白　鶯　羽打鳥　八色鳥　知目鳥類　丸嘴　姬丸嘴　花鳥　雪加　目細　峯切

海鳥類は水產業者に取りては魚族の所在を知る上に於て頗る重寶なるものなり、然るに本島にては海鳥は一も保護せられざるなり。

例、鰺刺、水凪鳥、鷗。

斯くの如くなるを以て內地に比すれば法律にて保護せる鳥は割合に少し。

各地の保護鳥の種數

	鳥の全數	保護せらるゝ種數	比例	摘要
內地	四三〇	二六〇	六〇・四	狩獵鳥を規定す

朝鮮	三〇〇	一八〇	六〇・〇〇	同
樺太	一八〇	一一〇	六一・〇〇	保護鳥を規定す
臺灣	三〇〇	六〇	二〇・〇〇	同
南洋（邦領）	一五三	—	—	狩獵鳥を規定す

臺灣の銃獵取締規則は明治三十六年の制定にて其の後四回の改正ありしも根本は動かざるを以て今日より見れば物足らぬ感あり。しかし諸事整はざる當時の仕事としては其の勞を多とせざるべからず。

當局に於ても調査中にて近々規則は改正せらるゝならんと聞く吾人は一日も早く其の實現を鶴首するものなり。改正の規則は完璧のものならんが吾人は是非左の點に顧慮せられんことを望む。

一、狩獵規則とすること　一、狩獵鳥を指示すること
一、卵、雛、生捕りも禁ずること　一、獵法にも制限を設くること
一、重要の獸類を包ましむこと

禁獵區

如何に規則を以て取締るも年々と原野は開墾され樹木は伐採されては彼等は安住の地なく、餌を失ひ巢を荒され、蕃殖困難となるを以て、是非禁獵區を設置されたい。內地にては數年前より實施し現在三百四十七箇所あり、其の內三十七箇所は農林省三百十箇所は府縣の指定にしてために效果著く、長崎縣北松浦郡前方村。栃木縣、高林村。岡山縣、鹿久居島。鹿兒島縣、馬毛島等にては鹿の蕃殖多く。長崎、兵庫、新潟、山口の諸縣下にてはオシドリの蕃殖するもの增加せり。

本島にては大正十五年十月臺南州が三箇所を禁獵區とせる外他にこれなきが如し。

獵區

遊獵を樂しむ上にも野生鳥を利用する上にも現在の儘放任する時は遠からず絕望の日來るべし、故に各地に獵區を設けることは緊急のことなりとす。

巢箱と巢臺

鳥類が巢を作るために如何に努力を要するかは雀が一本の枯草を探し、これを啄へて屋根上に昇りて四方を警戒して巢に入るを見たる人は知ることを得べく、其の苦心になる巢が他の鳥獸、蛇等に襲はれることの尠からざるものなり。

故に彼等の勞と危險を省くために巢臺又は巢箱を給與することは歐米は勿論內地にて盛んに行はれ或は學校にては馴育上よりして兒童に命じて是等を製作せしめ且つ鳥に給與しつゝあり。

吾人の知る範圍にては本島にて巢箱を利用したるは埔里街の北海道帝國大學演習林事務所にて齋藤林學士が庭園に於てせるものあるのみなり。

巢箱とは木洞、木箱、其他鳥が入りて內部に巢を作り以て苦を省き且つ安全を期せしむるものにて構造使用法の詳細は稿を改めて草することあるべし。

內地に於ける巢箱設置數とこれを鳥が利用したるものゝ割合は左の如しと云ふ。

巢箱利用率　（大正十三年）（パセンテージ）

京都	五〇	石川	一〇〇	岩手	五六
秋田	六三	群馬	七五	福井	五八
德島	九〇	富山	五五		

埔里街の成績は頗良好にして殆んど十割に達すとか、最初は少きも漸次鳥が馴るに從ひて多かるべく、本島

にては各地其の地方の材を以てせば一層效多かるべし。

巢臺とは本島人が燕の巢の下側に板を張りて巢の丈夫と勞を省く樣にしたる如きものなり、本島人は燕を愛し決して燕の居らざる期間中と雖ども巢を大切にし容易に破壞せず。

本島人は牛、豚、鷄等には愛を以て接し且つ取扱ひ法にも熟練せり、故に巢箱を以て鳥を愛護する如きは喜んで實行するならんと思はる。余は本春より臺北市內にて實行せんと欲す地方在住者にも實行を望む。

燕に巢臺を與へたる成績效果

年次	巢臺を給與せざる地方 靜岡縣 (縣內營巢數)	巢臺を給與せざる地方 靜岡縣 (前年より減)	巢臺を給與せる地方 富山縣 巢臺給與數	巢臺を給與せる地方 富山縣 縣內營巢數	巢臺を給與せる地方 富山縣 大正九年より增加
大正九年	一 個	一	一	二九、三九〇	一
同十年	一	一	一〇、三二六	四四、七三七	一四、三四七
同十一年	四九、三一八	一	一一、一九二	五〇、六九〇	二一、三〇〇
同十二年	四八、八〇八	五一〇	一一、九八〇	五一、五〇九	二二、一一九

結論

鳥類と人生との關係を見るに人も知る如く直接間接の利益の外に學術上貴重なるものなり、殊に本島產鳥類は種と亞種を合すれば三百五十種に達する、內、特產種八十餘種に達し珍貴なるもの多し、故に鳥類保護の方法を官民一致して講ぜられんことを熱望して止まざるなり。

（昭和二年二月二十一日稿）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

革命渦中の支那（一）

秦　滿

一、はしがき　全支に亙る鬪爭混亂不安動搖、外交關係の緊密、革命支那各地の視察
二、支那の現狀　中國の現狀に關する國民黨の宣言、思想界の二大潮流、文學革命、五大軍閥の亂鬪
三、革命の指導的理論　孫文の三民主義、民族主義、民權主義、民生主義
四、支那改造のプログラム　國民政府建設大綱、衣食住行、軍政期間、訓政期間、憲政時期、其他
五、中國國民黨　革命兒孫文、國民黨の政綱　國民黨の組織
六、國民政府及地方政府　國民政府の組織、地方政府の組織　國民政府と地方政府の關係
七、國民革命軍　中央軍事政治學校、國民革命軍の組織　北閥軍の長江進出、現時の國民革命軍
八、國民黨と國民政府の實際運動　國民黨の宣傳　黨勢擴張　農工運動　反帝國主義と軍閥打破
九、國民黨及び國民政府の內部訌　改組當時、數次の暗鬪　最近の情勢
一〇、結論　國民革命の意義　內政不干涉　共存共榮

一　はしがき

四千年の古き歷史を有する支那、廣袤四百三十萬方哩、內に四億の大衆を擁し、未だ開發されざる幾多の富源を藏する支那は、今や國を擧げて鬪爭と混亂と不安と動搖の渦中にある。

一度廣東に打ちあげられた革命の烽火は、燎原の火の勢を以て全支那に擴がり、昨年八月廣東を發した北伐軍は、またゝくひまに長沙岳州陷され、長驅武漢に迫り、更に長江下流に進出して、九江・蕪湖を攻略

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し、最近相前後して上海、南京を陷れ、長江以南は全く革命軍の手に歸し、到る處に靑天白日旗が飜いて居る。國民政府が武漢の地に根據地を移して以來國民政府部内の暗鬪は益々熾烈に南京、上海の攻略を機として暴發し、兩者の決裂は遂に免れ難きに至り、蔣介石は新に南京に國民政府を樹立し、武漢派の攻擊に全力を擧げ黨内共產派の一掃に努めて居る。

國民政府及び國民黨の內訌が將來如何に歸決するかは別問題として、此の如く國民革命の烽火全支那に擴がり、革命軍が破竹の勢を以て長江以南を占領した今日、これは北伐軍閥にとつて一大事である。果然、北京官憲の國民黨に對する取締は峻嚴を極め、ロシア大使館を以て赤化の策源地と睨み、四月六日突然これを包圍して家宅搜査を强行した。次いで來る露支兩國の反目、北京・天津・靑島その他の各地に於ける人心の不安、南京事件以來極度に緊張し來つた列强の對支態度、竝に支那の排外等幾多の錯綜せる事件が一時に殺到し來つて、今日の支那は恰も蜂の巢をたゝきつけた如く混亂・激鬪・不安・動搖、あらゆる不穩な形容詞を羅列しても尙ほ足らざる狀態である。而してこの混亂・激鬪・不安・動搖は獨り支那そのものゝ混亂・激鬪・不安・動搖でなく、同時に列强の之れによつて蒙る影響亦計り知るべからざるものがある、特に我が日本に於て然りである。

私は本年二月二十日革命支那各地に出張を命ぜられ、廈門、汕頭、香港の各地を經て、國民革命の發祥地廣東に滯在すること一週間、更に北上して上海より長江を溯航し、國民政府の新根據地武漢に一週間を過した。長江下航に際しては南京總攻擊に會し、我が鳳陽丸は前後五回にわたつて小銃彈を浴びせられ、文字通り炮煙彈雨の間をくゞり、兵火未だ收らず特別戒嚴令下の上海に二週間滯在した。

本稿は私が革命支那各地に於て蒐集した資料と見聞とを匆忙の間に纏めたものであるが、出來得る限り正

確な資料により、主として各種の事實を紹介するに努めた。しかし私は本稿を草するに方つて衷心聊か不分なきを得なかつた、何となれば私の革命支那視察は五十餘日であり、而かも其の間時に生命の不安さへ感じ且つ混亂の渦中にあつたので、資料の蒐集と研究とに非常に困難を感じたからである。しかし本稿が幾分にても一般の革命支那の研究に資するところがあり、またその足らざるを補ひ誤れるを叱正さるゝならば私にとつて望外の幸とするところである。以下項を改めて支那の現狀以下各項に分つて簡短に革命渦中の支那を紹介しやう。

二　支那の現狀

中國の現狀に關する國民黨の宣言　中國々民黨は、過る大正十三年即ち民國十三年一月の第一次全國代表大會に於て、大會の宣言國民黨の主義竝に政綱其の他を議決した。この大會の宣言中には中國の現狀について大要次の如く述べて居る。

「革命は突然發生するものではない。滿洲朝廷が中國に入つて以來、民間の不平抑鬱すること已に久しく列强の帝國主義は怒濤の如く押寄せ、武力的掠奪と經濟的壓迫は中國をしてその獨立を失はしめ半殖民地的の地位に陷れた。然るに滿洲政府は無力この外侮を禦ぐ力なく只列强に媚ぶるのみであつた。故に我が黨の士は、本黨の總理孫先生の後に隨つて滿洲政府を顚覆せねば中國を改造するに由なしとして、奮然として起ち國民の前驅となつて激進した。かくして第一次の革命は成つたか、當時の情勢は反革命的專政階級と妥協を謀るの已むを得ざる狀態にあつた。しかしこの種の妥協こそ帝國主義との妥協であつて第一次革命の失敗した根源である」と冒頭して「今日支那に於ける帝國主義の走狗は軍閥と官僚と買辦階級と土豪であつて、

この四者は人民の膏血を絞つて自腹を肥すために共同動作を取つて居る、而して帝國主義者は之れを頁具として悍然支那の國民革命を破壞して憚るところがない」といひ、「民國元年以來、帝國主義國家が軍閥を援助して人民の愛國運動を破壞しつゝある例、買辨階級が帝國主義者の援助を受けて國家の利益を壟斷し、官僚は軍閥のボーイであり、土豪は田舍に於て人民を魚肉となし盜財よりも甚だしく人民を苦めて居ることを擧げ、支那を更生は立憲派、聯省自治派、平和會議派、商人政府の何れによつても期することは出來ないと叫んで居る。

支那の現狀が、果して此の國民黨宣言の通りであるか否やは別問題とするも、支那の內部に於て此の如き觀察が一般の共鳴を贏ち得つゝあることも亦支那の現狀として見なければなるまい。

最近の支那思想界　私は先年、外務省で調査した支那の赤化傾向を見て必ずやこのことあるべしと思つたが、近時支那の思想界は著しく變つて來た。それが思想の動搖であるか、憂ふべきことであるが、また喜ぶべき現像であるかは各人の立場と見るところによつて異るが、その好むにせよ好まざるにせよ、非常に變つて來たことだけは何人も否定し得ない事實である。

現在支那の思想界は急進思想と反動思想の二大潮流が渦卷いて居る、而して一般には急進思想の方が優勢に見受けらるゝ。支那三千年來思想界の中心であり、道德の基調であつた孔敎さへも革命が唱へられ、新孔敎の建設を叫ぶものがあるかと思へば「孔子の敎は封建時代の道德で現代生活に合致せぬ、また孔敎は家族制度の道德で男尊女卑の立場にあるから個人主義の現代、男女同權の今日に於ては相容るゝことの出來ないものである」と攻擊する。その當否は別問題とするも、陳獨秀は謂ふ所の革命思想により、胡適は文學革命によつて支那思想界の中心人物となつた。さうして是等の人物によつて北京大學は支那思想界の中心となり、

若き青年學徒はこれを中心に、愛國運動、文化運動、婦人運動、勞働運動、反宗教運動にまで走つた。

文學革命　文學革命は胡適の「文學改良芻議」によつて火蓋を切られた、彼は保守的分子の猛烈な反對や幾多の迫害を蒙つたが、其の白話文は今や全國に行はれ文學革命は成功した。獨り文學革命が成功したばかりでなく漢字革命が唱へられ注音字母が教育部によつて決議公表され、更にこれをあきたらずして錢玄洞の如きはローマ字採用を主張した。

五大軍閥の亂鬪　支那の現狀について說明すれば際限がないが、それは本稿の目的とするところではないから私は本稿と直接關係のある支那の軍閥について簡單に述べ、革命支那に關する本論に入ることゝする。

最近まで支那には五大軍閥があつた。さうしてこの五大軍閥が赤白の二大分野に分たれ互に亂鬪して居つた。その一つは張作霖によつて率ひられる奉天軍であり、その二は吳佩孚の直隸軍、その三は先に沒落した孫傳芳の南京軍、その四はクリスチャン・ゼネラルの稱ある馮玉祥の西北國民軍であり、その五は蔣介石の率ひた國民革命軍である。而して前三者は北支那一帶に割據し、表面上赤化討伐を標榜して居るが、その實各自の利害關係によつて去就を決し、而かも北洋軍閥同志互に相攻爭して居る。馮玉祥の北西國民軍及び國民黨の革命軍については後に之れを述ぶるが、國民黨の宣言にもあり馮玉祥の云つた通り、支那の中央政府には何等の實力がない、政治の實力は武力を擁して各地に轄據する軍閥の手にある、而してその軍閥は互に機を窺つて他を攻略し、反動勢力圈內に於て常に同志討をして居る。從つて最近の支那を見るに每年何處にか戰爭のないことはない、戰爭は支那の年中行事の如き觀がある。而かも其の間苛斂誅求・徵發・掠奪が行はれ民衆は常に虐げられ通しで、今日までの支那は全く軍閥的封建制度の下にあつたと云ひ得るであらう。而かも各省によつて言語・風俗・習慣を異にするは勿論、各地によつて貨幣を異にし、旅行者の不便此の上ない、尚も

維新前に於ける日本の封建諸侯割據時代に彷彿たるものがあり、今日の支那革命は我が明治維新の革命の如き観もないではない。國民黨の内部に於ける國家主義者は「我々は日本に於ける維新當時の精神によつて支那の更生を期せんと欲する」といふ。しかし他の一派は日本の維新當時の事を模倣するのではなく、我々の生きんとする途は對外的には帝國主義の打破、對内的には帝國主義の工具の倒壞にあると叫んでゐる。

三　革命の指導的理論

今次の支那革命が、日本の維新當時のことを模擬せんとするものであるかどうかは各人の見るところに任せようが、兎に角非常な勢を以て進展した。而してこの大勢を馴致したものは實に國民黨であるがそれは多年民衆の間に醞釀された革命氣運、少くとも反革命に加擔しないだけの氣運が一般に行渡つて居たからである。國民黨は能くこの民間の氣運を察し之れを助長し組織し指導した。而して國民黨の行動を支配するセオリーのは孫文の三民主義である。共産黨の如きその背後の主張は之れと異るにしても表面上三民主義によらざるを得ない立場にある、但し國民・共産の兩派は三民主義の解釋を異にして居ることは勿論である。

孫文の三民主義は今次の支那革命に於ける指導的理論であつて、これは彼が多年各國に亡命中、革命の同志と共に國種の制度及學說を研究し、支那の現實に立脚して立てた理論であつて、民族主義、民權主義、民生主義の三つから成つて居る。

民族主義　は民族自決の思想から來たものと思はるゝが、その目的とするところは一國家としての支那の自由平等を獲得するにある。現在の支那は列强の政治的經濟的壓迫の下にあつて非常に虐げられて居る、然るに支那には民族思想がない。列强の壓迫下にある支那を救ふには、支那の現狀を知らしめ滅亡して居る民

族思想を喚起し、鞏固なる中國の同族團體を成立せしめねばならぬ。さうして更に支那を盛んにするには、支那の舊道德舊智識を恢復し更に歐米の科學に就いて學ばねばならぬ。この民族主義は對內的には中國々內に於ける各種族の自由平等をはかると同時に、對外的には列國の支那に對する領土的、政治的、經濟的侵略を排し、帝國主義を打破することを目標として居る。

民權主義 は人民の政治的平等を求むるものであつて、國家の政權を人民の手に掌握せんとするものである。しかしこの民權を行使するには二つの根本的方法による、卽ち政權は人民の手に確保し、その行使は有能の官吏を選んで一任する。故に民權を分つて政權と治權とし、前者は人民の手に後者は政府の手に歸せしむる。而して政權の行使は選擧によることは勿論であるが、それだけでは前進があつて後退がない。故に人民の手に官吏任免の權を有せしめ、更に直接人民による法律の制定、法律の複決權を認めて居る。また政府には五權、卽ち立法、行政、司法の三權の外に考試權と彈劾權とを有せしむる。このことは五權憲法に明かにして居るが、この五權の內、考試は官吏任用試驗制度で、彈劾は官吏に對する監督權をいふ。之れを要するに五權は三權分立の外に支那古來の考試彈劾の二權を加へたもので、孫文はこれを以て支那の獨創的なものと云つて居る。

民生主義 は人民の生活を完ふせしめんとするもので、衣食住行を以て生活の根本問題として居る。而してこの生活問題は歷史の重心を爲すものであつて、社會の進步も工業の基調も消費卽ち生活問題に歸するとし民生は政治の中心であると同時に、また經濟及び歷史的活動の中心である。而してこの民生主義の實行は地權平均と資本節制の二つの方法により、革命的手段によらず合法的手段を以て之れを現實する。その地權平均とは土地の均分を意味するもので、耕す者は各々自分の土地を持つことを究極の目標として居る。但し

其の方法は沒收するのでなく、地價を地主に申告させ、その地價に應じて課税し、また必要に應じて土地を買收する。資本節制は資本主義の起らないやうに獨占的性質を帶びたものや、大規模の產業は之れを國營にせんとするものである。が今日の支那は生產に不足して居る、從つて外國と異つた方法を採り、個人資本を制限しないばかりでなく、更に國家資本を發達せしめねばならぬ。實業進興の主なる方法としては、鐵道運河等の交通事業、鑛山の開發、工業の振興等を擧げて居る。蓋し是等を私人または外國商人の經營に任せて置いたならば、將來徒らに資本主義を發達させ富豪階級を生ずるから之れを國營とせねばならぬ。即ち支那は大に產業を發達せしめねばならぬが、同時に資本主義の發生を防がねばならぬ。それには資本の節制が必要である。而してこの民生問題の解決は過激な方法を採らず產業の發達に對し一の豫防的手當を施し、將來社會の貧富の不平均を阻止せんとするものであるといふ。

これを要するに孫文の三民主義は、民族、民治、民享、即ち國家は人民の共有であり、政治は人民の共管であり、利益は人民が共に享けるといふ主張である。

三民主義の解釋については國民黨內に於ても共產系と國民黨系との間に少からざる相違があり、孫文自身に於てすら後年に至つては當初の解釋と多少異つた意見を持つて居たといふことである。三民主義については堂々百餘頁に及ぶ大册があるが、こゝには只そのアウトラインを紹介するに止むる。

四　支那改造のプログラム

革命の指導的理論は三民主義である。孫文の三民主義は云はゞ政治哲學若しくば政治原論とも見るべきもので、革命の進行は國民黨の首領によつて統制され、多年虐げられた民衆は之れに共鳴し指導されて居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

而して孫文の國民政府建設大綱は三民主義を具體化した支那改造のプログラムと見るべきもので、次に其の大要を紹介しやう。

國民政府建設大綱は 民國十三年四月十二日、孫文の發布したもので、三民主義、五權憲法に基いて中華民國を建設せんとするものである。建設の首要は民生にある。故に政府は全國人民の食衣住行の四大需要に對し人民と協力して共に農業の發展を謀り、以て衣食を足らしめ、共に織造の發展を謀り以て民衣を裕にし大計畫の各式屋舍を建設して民居を樂にし、道路運河を修治して民行を利する。其の次には民權の行使であつて、政府は人民の政治智識能力を訓導し選擧權を行使せしめ、また罷官權及び創制權、複決權をも行使せしむる。更に政府は國內の弱小民族に對して當に之れを扶掖して能く自決自治せしむると同時に、國外の侵略に對しては之れを抵禦し、各國と條約を改訂して支那の國際的平等、國家の獨立を恢復する。

國民政府建設の順序は軍政、訓政、憲政の三時期に分ち、軍政時期には一切の制度は悉く軍政の下に屬し兵力を以て內は軍閥の倒潰、外は帝國主義の打破等、あらゆる反動勢力の覆滅をはかり、又一面主義を宣傳して全國の勞働者・農民・小資產階級及び學生の團結をはかり、人民を開化して國家の統一を促進する。訓政時期に入つては、國民黨獨裁下に各省に自治を布き、各省自治の下に政治上の訓練を爲さしめ、いよ〳〵全國の反動勢力が覆滅し、國民の自治的訓練が十分に熟達した時、國民議會を召集して憲法を制定し、憲法制定の日を以て國民黨の獨裁は撤廢され、憲法によつて召集された國會が各重要委員を任命し立法手段によつて國政を進めるといふのである。

この外、建國大綱には中央地方政府の均權、財政上の分界、土地制度、重要產業の國營、社會政策的施設並にその財源等について規定して居る。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

南支南洋園藝視察談

士林園藝試驗支所長　櫻井芳次郎

只今御紹介に預りました櫻井で御座います。此度殖產局の事業の一つでございますサラワックの鳳梨（パインアップル）の苗を購入に參りましたその序を以ちまして、調査課の方の御援助をも得まして南支南洋に於ける鳳梨の事業を調査に參りました。何れ鳳梨の事業に就きましてはよく整理致しました後、改めて御報告なり或はお話申上げたいと存じて居りますが、茲には南洋協會からの御依賴に依り、私が視察しました各地の園藝に關する事を極めて簡單に旅行の順序に隨ひまして、お話申上げやうと思ひます。

私は大正十五年八月三日に基隆を出まして先づ汕頭に參りました。途中烏渡廈門に寄りまして其處の果物のマーケットを見學致しましたが、その時季は桃を除きました外は餘り臺灣と異つた果物は御座いませんでした。私が此度の旅行に南支からスタート致しましたと云ふことに就いては、一つの目論見があつたので御

座います。それは永らく臺灣に住んで居りまする我々が初めて南洋に參りましては、色々と植物或は其の他の事情が違ふ關係上面喰ふだらうと思ひましたので、それを避ける爲めに臺灣と事情のよく似て居る所からボツ〳〵初めたのであります。果せる哉南支那から佛領印度の海防あたりに參りますまでには、別に臺灣の人間を驚かすやうな變つた植物も果物もございませんでした。此汕頭で四五日滯在致しまして此處の鳳事業と、それから有名な汕頭の柑橘栽培を調査致しました。

此處の鳳梨の工場と申しますと實に貧弱なものでありまするが、約五六箇所もございまして、臺灣より尚惡い原料を用ひまして亂暴な品物をドン〳〵作つて居ります。それで他の罐詰などを加へまして年に約二百萬圓以上の產額がございます。此處で私に最も參考になりましたと思ひましたのは臺灣にでも出來ます同じやうな原料を用ゐまして、色々の罐詰を作つて居ることであります。例へば鳳梨は申すに及ばず茘枝(ライチー)とか、それから蓮の實、馬蹄(くろぐわい)、楊桃、苦瓜、栗桃又は菜心と申しまして、大芥菜の芯などを皆罐詰に致して居ります。そこから福神漬に似ました雜包醬菜、それから龍眼肉とか胞瓜、梨、薑、筍、枇杷、グリンピース、ハム、鷄、などを原料として殆んど年中休みなしにやつて居るのであります。

私が特に南支南洋の鳳梨事業を調べに參りました一つの理由は、臺灣では何うしても製產費が高くつくので如何にすれば製產費が安くなるかと云ふ事を調査に參つたのであります。所が斯う云ふやうに年中工場を働かしてをれば、從つて鳳梨罐詰の製產費も安くなると云ふことを感じたのであります。皆さんも既に御承知の通り支那人は所謂華僑としまして、何百萬と云ふ支那人が南洋到る所に發展して居ります。さう云ふ支那人に此の二百萬圓以上の罐詰がドシ〳〵捌けて行くのであります。矢張り御國のものを食べたいと云ふ非常に強い傾向がございますので、色々外國の良いものがありましても、値段の關係も御座いませうが矢張り

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

自分の國のものを消費しようと云ふ所から、盛んに賣れるので仲々しつかりした販路を有つて居ります。
それから汕頭から潮安に行く潮汕鐵道がありますが、此丁度眞中に鶴巣(コーフォア)と云ふ所があります。此處は有名な汕頭蜜柑の產地であります。御承知の通り臺灣でも近頃非常に盛んになつて居ります椪柑(ポンカン)とか桶柑(タンカン)とか雪柑(セツカン)と云ふやうなものは、昔三百年程前からボツ〳〵臺灣へ支那移民が來まして、その移民が南支那から持つて來たものが臺灣の蜜柑であります。其の先祖地であります其處で、何う云ふ栽培をして居るかと云ふことを視に行きました。實際驚きましたのは我々が臺灣で主として傾斜地でやつて居ります時に、こちらは平地の水田の眞中で而かも水稻の苗を植ゑてから、蜜柑の苗を植ゑると云ふやうな調子でやつて居ります。之れでよく蜜柑が出來ると思ひまして感心して居りましたが、よく〳〵調べて見ますと出來る理由があります。御承知の如く支那は南船北馬と申しまして、北は非常に山地が多くありますが、南は非常に低い所ばかりで何んな所でも小さい船で交通して居りまして、全く私の參りました八月の頃は所謂水鄕、水の里かと思はれるやうな感じがしました程、殆んど水でありまして蜜柑の樹にもすれ〳〵に水が來てをるやうでありました。なる程その時分を調べて見ますと蜜柑が最も水を要する時分でありまして、それで水が多くて可い譯であります。所が收穫時期に近づきますれば卽ち十月、十一月、十二月頃になりますと、此地方は一體猛烈な旱魃になりますので非常に蜜柑にも味が付く譯であります。それで成る程、支那の椪柑や桶柑と云ふものが、良い味を有つて居る譯だと思ひましたが、その代り大變水が多うございますので、樹の壽命が非常に短かうございます。例へば臺灣の椪柑等でありますと、傾斜地で先づ三十年前後の經濟的壽命でありますが、茲ではそれよりも早く衰弱致します。之れは全く水が多い爲めであります。所が衰弱するものを俟たずに若い元氣のよい苗を絶えず準備しておいて、ドシ〳〵補植致して居ると云ふやうな譯で、それで非常に之れは

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

理窟に合つた譯であります。之れで思ひ當りましたのは和倘洲とか臺北市の附近の平地で、蜜柑を栽培してゐる所では年々水で非常に困つて居りますが、殊に年々夏の洪水で困つて居るやうな場所に、此方法を用ひますれば非常に可いだらうと云ふ善いヒントを得た譯であります。汕頭の蜜柑は年額二十萬圓程輸出されてゐますが、此蜜柑は殆んど香港や、新嘉坡、それからスマトラ、爪哇、フイリピンあたり迄に、ドシドシ出て居ります。

此の南支那から蜜柑が南洋に輸出される理由は、次のやうです。南洋にも蜜柑は色々ありますが、大きな文旦や朱欒類を除いた他の小さな蜜柑類は、南洋に參りますと非常に味が劣ります。味が劣ります理由としてはあゝ云ふ果物は一定の長い暖かい期間に大きくなり、その後は氣溫が降つてゆつくり熟さなければおいしくならぬものでありますが、南洋は殆んど年中夏でありますから絶えず樹も果物も成長してゐます。そして果皮と果肉とが一緒に成熟しないで、中の海綿組織で分離されて肉の方が先に成熟して、皮の方は何時までも此と連絡してゐる枝と一緒に成長するものでありますから外の皮が青くても、中味は先づ食べられる譯であります。それで南洋には青蜜柑が多いのです。そして短期間に蜜柑が此の不平均な成熟現象を起しますので、從つて味が付かないと云ふ狀態であります。然るに臺灣や南支那あたりは多少氣候が柔いで參りますから蜜柑類もユックリ味が付きますので大變結構な味になるのであります。これが臺灣と支那の蜜柑が立派な甘い味が付く譯であります。あの大きい文旦や朱欒類の多くは早生であります。此の早生性のものは出來る丈け氣溫も高く、短期間に完熟する程おいしくなるものであります。それでシャムの文旦とかタダッのジャボンなどがおいしいのであります。これによつてこれをみますと將來臺灣は決して內地ばかりに蜜柑が出るのではなく香港からマニラ、更に新嘉坡、瓜哇あたりにも段々と輸出され得るだらうと云ふ自信を得た次

第であります。既に現に香港へは臺灣から餘程蜜柑が輸出されてゐます。

それから香港のマーケットを見まして、最も驚かされたのは、米國の果物が非常に澤山這入つて居ることであります。皆冷藏で船便毎に澤山參つて居ります。私の參りました八月頃には、ホニデユーメロンや、桃だとか、マスクメロン、葡萄、ブリユーグースのバレンシアレートや、サンキストのレモン等さう云ふものが非常に澤山這入つて居りました。そして仲々善い値段でよく賣れて居るやうでした。

斯う云ふものをみますれば將來益々臺灣の果物も、香港などに對しては非常に有望の消費地だらうと思つた次第であります。相當に品質さへ善ければどんな果物でも消費して呉れるものと思ひます。

それから香港を終りまして次に廣東に上りました。廣東に上りますには御承知のウエストリバーをさか上るのですが、此處は非常に幅の廣い海とも河とも判らぬやうな大きな所であります。廣東に著く前頃から河の兩岸に何十萬となくコンモリとした樹が茂つて居ることを行かれた方は御承知のことゝ思ひますがあれは皆茘枝であります。茘枝は御承知の通り南支那の果物の王樣と迄云はれて居ります。その茘枝の栽培狀況を多少調べて參りました。茘枝は生でも食べられ、乾しても食べられます。又罐詰にしても誠に立派なものであります。從つて、茘枝の研究も玆の廣東のクリスチヤン・カレージ(嶺南大學)が最も旺んであります。茘枝の品種にも四五十種の品種がありまして大變厄介な研究植物であります。且つ茘枝の栽培法と云ふものには、非常に難しい條件があるものでありまして、最もよく栽培に適した土壤は、あの邊一帶に多い赤土のラテライトの酸性土壤であります。臺灣にあります赤地の酸性土壤は、此れと全然同じものではありませんがよく似た性質のものであるさうです。此のやうな酸性土壤に茘枝が非常に適すると云ふことを研究の結果發表して居ります。一體に廣東には非常に酸性土壤が多いさうであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

それから茘枝の根には根瘤菌の發生が必要であることも、研究の結果發表されてゐます。茘枝には酸性土壤が適すると云ふやうなことになりますから、之れで思ひ當りましたのは、新竹街の附近にある茘枝の森であります。そこからは年々比較的善い茘枝が出てゐます、あの邊一帶は赤地の酸性土壤で、成る程廣東のとよく合つ居てるのに氣が付いた次第であります。又調査の結果、水濕に抵抗力の强いことも判りましたので、將來臺灣でも是を旺んに栽培しやうと思ひますれば、酸性土壤の多い桃園埤圳の堤防の邊りを利用したらどんなものかと考へた譯でございます。さう云ふ風に致しますと、堤防の破壞を防ぐことにもなり、土壤が酸性であるから茘枝の栽培にも適して、一擧兩得になりはしないかと思はれるのであります。

茲で廣東國立農科醫院と、クリスチャン・カレージ(嶺南大學)を見學致しました。此の嶺南大學は、南洋に發展して居りまする、所謂華僑の金持が莫大なる金額を寄附して建てた農科大學でありまして、却々立派なものであります。此の二つの農科大學を參觀しましたその序でに、大變面白い個人經營の果樹園を見學に參りました。それはあの廣東で有名な、豪族李福林將軍が自ら經營して居ります大塘と云ふ所にある果樹園であります。之れは先程申上げました、クリスチャン・カレージより一里程河を上りました所にあります。栽培して居ります面積が、約二百町歩あります、年に其處から上る産額は、十萬元以上と云ふ話でありますが、植えてありすものは茘枝、龍眼、李、桃、楊桃等でありまして、空地と云ふ空地には全部果樹を植えて居ります。それから柑橘類や眞正の橄欖、バナヽ、蓮霧などと種々雜多のものを驚く程密植して居りました。李福林將軍は武辨一方の人と思ひましたが、同時に此やうに園藝の趣味を有つて居りまして、且地方の豪族でありますから園植將軍などゝ云ふ名前を貰つて居ります。廣東政府に對して今も却々有力者であります。

此處で私に一つの參考になりましたと思ふのは、此處の二百町歩と云ふ大きな果樹園を、潮の影響を利用し

て水を取入れてゐる卽ちタイダル・インフルエンスを利用して、園內に灌漑してゐる事であります。上げ潮になつて河水が高くなると水門を開き、何千石となく必要なる水を取入れてから、水門を堰き止めてしまひます。さうしますと退潮になつて河水が低くなつても自分の果樹園內には、充分なる灌漑水が殘つてゐると云ふ具合に、タイダル・インフルエンスを利用して却々面白いことをやつて居ります。之れなどは實際平坦なる大陸でなければ行はれぬことと思ひました。それから廣東を終りまして今度は、佛領印度支那の海防に參りました。

海防に私が參りましたのは八月の末でありましたが、丁度そのときは五十何年振りとかの大洪水の最中でありましたので、汽車があちらこちら不通で大變困りました。海防と首府の河內との間が距離で申上げますと丁度百粁であります。百粁と云ふと臺北から新竹位までの距離であります。普通ですと汽車も二三時間で參れる所でありますが、私が參りましたのは洪水の爲めに非常に不便な目に遭ひまして二日かゝつて參りました。と云ふのは丁度此處に大きなデルタがございますが、海防から船でナムデンと云ふ所に參りまして、其處から汽車に乘りまして河內に參りました。途中汽船の中で一晩止つて參りましたやうな譯で、二三時間の所を二日もかゝつて參りました次第で御座います。先き程も申上げました如く、海防河內の間は百粁でありますが海防は河の邊りにありまして而かも河內との落差はたつた一米であります。百キロメートルに對して落差が唯の一メートルですから此廣大なる耕地は殆ど水平地でありまして、それに五十何年目とかの大洪水の爲めに此デルタが何れだけ被害を蒙つたか實際數字にその時明瞭り出てをりませんでしたが、向ふの大問題になつて居るやうでありました。之を御覽になりましても向ふの土地は如何に大陸的であるか御判りの事と思ひます。此大洪水の爲めに、東京地方では米が不足するので西貢から輸入しなければならぬと云ふ噂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が出てをるやうな譯でありました。

海防と河内あたりの果物で私の參考になりましたものは別にありませんでしたが、只感心致しましたのは臺灣にも出來ます釋迦頭が大變よく出來てをりまして、向ふでは立派なマーケットの一部を占めて居るのであります。向ふでは此の釋迦頭の事をボンカネールと稱して居ります。充分大きくなつて未だ色の青い多少かたい時に樹から取つて、それを米の中などに入れて追熟させてゐるのであります。それから多少柔かくなつてからマーケットに出してゐるやうでありました。正直な所私は臺灣にをりましてもあれを一つ全部喰べたことがないのであります。それはどうも色が黑くなりすぎ且過熟すぎて甘いと思つたことはありませんでしたが、向ふでは大變おいしくて二つも三つも食べたやうな譯であります。之ならば臺灣でも其の收穫時期と追熟方法とに注意すれば、島内に澤山ある釋迦頭も益々有望な立派な熱帶果物となるだらうと思ふた譯であります。

私は海防から上りまして雲南まで行きたいと思つてゐたのであります。丁度善い連れがありましたので一緒に行きたいと思ひました所が河内から參りますと第一日目に國境のラオカイ迄參りまして、それから更に雲南鐵道に依りましてラオカイから雲南迄二日もかゝります。さうしますと往復六日、向ふで視察するには四五日かゝるので、結局十日以上もかゝるので折角でありましたけれども船繰と日程の關係上、惜しい所でありましたが止めた譯であります。雲南は土地も非常に高く氣候の如きも大變良い所であります。且つ農産物も豊富でありまして將來非常に有望の所であると云ふ事を聞いて居りましたが、其處に行き得ませず大變殘念でしたが其代りに雲南の名物であります石榴(ザクロ)を海防で二三箇手に入れることが出來まして大きな收穫を得た譯であります。之は立派な私共の見て非常に大きなものであります。味も宜しうございます。核も小さい

のであります。大變おいしいので核を持つて歸りまして只今蒔いて居ります。何れその中に物になるだらうと思つて居ります。

それから此處にヴインと云ふ所があります。茲は王城ユエの都の近所であります。此のヴインのオレンヂはあちらでは大變有名でありましてヴインにも行きたいと思ひましたが、殘念ながら時間の關係で行くことが出來ませんでしたが、此處のオレンヂの接穗を臺灣へいづれ取寄せたいと思つてゐます。之は聞いて見ますとアルゼリヤのオレンヂが土著したと云ふ話であります。それから又サンキストのレモンが佛領印度支那まで來て跋扈して居ります。實際亞米利加のレモンや、オレンヂにはすつかり蹴されましたが、併し同時に臺灣からも之に負けないレモン等を將來供給すれば可いと云ふことを確實に知ることが出來た次第であります。

私は色々の果物を食べて步きますのが商買でありますが、丁度八月九月各地で非常にコレラが流行つてをりまして何うも實際に味をみる調査が半分も出來ませんでした。意氣地がありませぬがコレラに罹つては何にもならぬと云ふので餘り食べませんでした。何うも非常に澤山コレラがあつてびつくりしました、殊に廣東などでは泊つて居る隣の部屋から西洋人のお婆さんが夜中に、死んで大騷ぎしたりすると云ふこともありましてびく〳〵して居りました。

それから海防と河内とは御承知の如く佛蘭西流の町でありまして非常に小綺麗な町であります。其處で非常に感心させられたのは街路樹であります。街路樹と申しますと此處の街路樹は別に臺灣と變つたものはたいして植つてをりませぬ。鳳王木、せんだん、カポック、タマリンドと云ふやうなものが植つて居りますがその仕立方が大變可いものでありますから立派な街路樹になつてをる譯であります。即ち臺灣などではまあ

一丈位になりますと最早無茶苦茶に截ります。丁度癩病のやうに手も足も出ないと云ふ仕立方なので從つてそれが爲に枝葉と根の間にコリレーションが起る、即ち上の方の枝や葉が少くなれば從つて根も少なく、發達して一遍暴風が吹けばすぐ倒れると云ふのであります。矢張り此處に參りまして之が明瞭り判つたのであります。と云ふのは初め植ゑてから二十尺位になるまで一本仕立として伸るにまかせて伸びれば二十尺位の所から截つて其處から枝を出さしてをるのであります。でありますから非常にコンモリとして來まして夏の暑い時に非常に可い蔭が出來まして結構であります。最も此蔭が有難いと思ふたのは暑い盛りに鐵道旅行であちらこちらへ參りますと停車場に線路が五六本もありますが、之をはさんで兩側から街路樹が出て來てゐるので、非常に大きな蔭となり鐵道線路を全く覆ふと云ふ程の蔭になりまして、停車場に著くのが非常に樂しみに感じた譯であります。臺灣あたりで臺灣松（榕樹）を色々と變手古な形にして得意氣のやうで御座いますがそれよりもう少し大きな考へを以てゆつくり仕立てたら斯う云ふ風に大きな立派な街路樹になりやしないかと思ひます。勿論臺灣には大きな暴風が度々あるのでさう簡單には行かないかとも思はれます。

それから西貢にまで參りますと先程申上げましたやうに餘程植物も熱帶的になつて參りました。此處には旅行の關係上僅か三日しかをりませんでした。その間而かも二百五十粁ばかりの奥地にあるプノムペンと云ふ所まで往復したものでありますから西貢を悠つくり視ることが出來ませぬのでした。プノムペンには農産物の博物館があります、又そこの王城には有名なダイヤモンドで鏤めた何百萬圓とかの釋迦の像がありますので、さう云ふものを見物に參りました。

此の往復の道路で實際眞の壯嚴の感に打たれましたのはあの玉龍膽（タマリンド）の大並木であります。此二百五十粁と云ふ非常に長い道でありますが、行く處々この街路樹が非常によく伸びてをりまして、誠にコンモリとしてをる下を自動車で驀進しましたが、大變心地のよい旅行で御座いまし

た　又此の道の兩側は實に茫々漠々たる大原野のやうでありまして、そこでは全く原始的の農業が行はれてをりました、と云ふのは八月九月の雨期に入ります前までは殆ど投り放しのやうにして、玉蜀黍を栽培して居ります。玉蜀黍が八月九月迄に殆ど收穫が出來るやうになりますれば土人が之を取入れます。今度は雨期になりまして奥地の方から水がどんどん降つて參りまして此邊の大平地が一體に水に浸ります、さうすると水稻を栽培し初めます。水稻を栽培し初めます。水稻の栽培の仕方なども至つて簡單なものであります。之が所謂西貢米でありませうが小さい島國に育つた我々の小さい眼から此の放任された大平原を見ると、實に感慨に堪へないやうな所もございました。

西貢からは新嘉坡へ直接參りまして此處で暫らく滯在致しました。此處は私の第二の目的地でありまして鳳梨の事業を調査するので大分長くかゝりました。此處に著きましたのは九月の十二日でありますが、此處を愈々離れましたのは十一月一日、約四十日ばかり新嘉坡に滯在して居りました。勿論其間には爰から暹羅の盤谷まで往復致しました。又それからボルネオのサラワックのクーチンへも往復致しました。先程もお斷り申上げましたやうに鳳梨に就ては餘り詳しく申上げられませぬが極大體新嘉坡の鳳梨事業を申上げたいと思ひます。此處の鳳梨罐詰は年額八、九百萬圓程で八十萬函(臺灣は約二十萬函。布哇は約六百萬函)を產出してゐますが之を製造して居るものは全部支那人であります。

工場も新嘉坡とジョホールにありまして約そ十箇所位あります。製造方法は實に簡單で要領を得てをり、大量生產にかなつた方法をとつて居ります。又製產費が非常に安くかゝつて居ります。其の販路も歷史的に古く且廣くありまして其六七割迄は倫敦に出て居ります。倫敦に出したその殘のものが非常に廣い販路を持つて居ります。その販路の廣いのには全く驚かされました。即ち英本國は勿論のこと印度、ビルマ、香港、オ

ーストラリヤ、新西蘭、エヂプト、加奈陀、支那、佛蘭西、獨逸、デンマーク、和蘭、其の他南洋の各地に參つてゐます。又之を捌いてをりまする新嘉坡のブローカーが、皆一流の商會ばかりでありまして二十軒以上もあります。全く新嘉坡の罐詰は世界的であります。工場の建物などは實にお粗末なもので、ニツパ椰子の葉などで屋根を葺いて拵へてをります。簡單なものが多いのでありますが、トタン張りの大きな工場を拵へてをるものは僅二三箇所でありました。

此處では造る罐詰は鳳梨ばかりであります。それから鳳梨の工場は必ず水際にありまして原料や製品の運搬には殆んど水運を利用してゐます。それで運搬賃が非常に安くなります。罐詰工場のお隣りには大底の所に材木屋があつてソーミル(製材)をやつて居ります、そしてソーミルから出來る鋸屑を罐詰工場のボイラーに用ひて居ります。又時には罐詰工場の隣の方には護謨の工場を經營して勞力を甘く分配してゐることもあります。或は又一時金が停滯するやうな場合に雜貨屋に融通するとか云ふやうな調子で、一つの資本を二重にも三重にも使つてをりまして却々經濟的にやつてをるやうであります。シンガポールの罐詰も澤山買つて參りましたので、いづれその中に當業者の參考に資したいと存じてゐます。

原料の鳳梨は皆樣も既に御承知の通り護謨山を開くと同時に鳳梨を植付けて栽培して行くのであります。さうしますと鳳梨をやつてありますから五六年經ちますれば護謨の樹が我々よりもう少し丈が高くなります。或は又自分で經營して居ります。護謨園と云ひましてもあまりでありますから五六年經ちますれば護謨の樹が我々よりもう少し丈が高くなります。

めまして護謨園にしましてそれを賣るなり、或は又自分で經營して居ります。護謨園と云ひましてもあまり高い山ではなく、丁度新竹州新埔關西方面のやうな山の傾斜に植つて居りますから、鳳梨は排水の關係もよく氣溫も高いので非常によく出來て居ります。原料はクイーン類の新嘉坡種と申しまして葉には刺のない、果皮は多少黑味のある果肉は黃金色の原料であります。所が先に申上げましたやうに鳳梨と護謨とが一緒にあ

りまして護謨園が出來上りますと鳳梨を止めますので、次の開墾地に手をつけて行き復た開墾して、ゴムとパインアップルを植ゑて五年程經つと、鳳梨がなくなりますと云ふ譯で鳳梨園が轉々と移り段々と奥に這入つて行くのであります。昔は鳳梨園が新嘉坡の島に非常に澤山ありましたが、今は非常に少くなり、段々とジヨホールに移つてしまひまして、又ジヨホールでも鳳梨園が段々と奥に行きつゝあるやうになりました。從つて鳳梨工場も奥の方に引張られて行くやうであります。最近非常に競爭を致しました結果製品が下落しまして青い物を材料として鳳梨の罐詰を作り、大變倫敦のマーケットで信用を落しまして不況に陷つたことがあります。そこで初めて此の支那人の當業者が團結しまして一年程前に罐詰の聯合公司を作りまして大いに自覺した製造法に改めた譯であります。即ち原料の爭奪を止めまして未熟品を作ることを止め、それから製品の値段を公定しました。それから大量的に全部の工場に必要なる所の砂糖を全部入札で買ふとか或はブリキを一まとめにして組合で買ふと云ふやうに非常に徹底した改革をやつてゐます。

斯う云ふやうな例は、混沌たる臺灣の現狀に非常によい參考になるだらうと思はれました。半島の首府のコーラランポから自動車で二時間ばかりの所にカラングと云ふ小さな都があります。此處に最近新しい鳳梨の工場が出來たのでありますが、此處で私が驚されたのは鳳梨の皮を搾りまして、その搾つた汁を煮詰め精製しまして、鳳梨の罐詰に使ふと云ふ最新式の方法、即ち布哇式の三萬圓ばかりの大きな機械を据付まして仕事を初めて居ります。却々思ひ切つた改良をするものと思ひました。新嘉坡の鳳梨に就きましては此の位にして置きまして、次に暹羅へ參りましたことを簡單に申上げます。(つゞく)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

革命支那の旅

波多　滿

別世界の香港

革命支那の旅と題しても、英領香港を拔くわけにゆかぬ。廣東政府は英貨排斥の立場から、香港からの貨物は一切廣東に入るを許さない。けれども人間は此の限りにあらず、現に香港廣東間を航行する廣東ボートは毎日往復して居るし、汽車も通つて居る、但し汽車の方はより物騷ださうな。汕頭で革命氣分を滿喫すべく余義なくされた僕は、香港に著いて別世界の感なきを得なかつた。こゝには革命のポスターもなくビラもない、騷々しい宣傳隊も通らぬ。幾層建の洋館は街の兩側に高く聳え立つて、自動車は流星の如く地を走る。初めて香港の地を踏んだ者には洋行したやうな氣がするさうなが、それは兎に角苛々せずに觀光氣分に浸ることが出來る、市中を練り歩るく英國兵までが長閑に感ぜられた。たゞし香港を紹介するは本稿の範圍外であるから、たゞ素通することにして、排英の結果同地の貿易が前年より半減したことだけを記して置く。

廣東ボートと云へば如何にもちつぼけな、まるで墨田川にでも浮ぶものゝやうに聞へるが、その實堂々たるもので船内の設備はゆきとゞき頗る乘心地がいゝ。香港を出て航行八時間にして廣東に著く、余り愉快なのでデッキを散歩する、讀書する、時には「諸君」とやつて見たくなる、兩岸の風物もまた格別

である。だが僕には仕事がある、原稿を書かねばならぬ、両岸の風色もさることながらインスピレーションとやらは、ウッかりして居るとスッ飛んで仕舞ふ、船室のベットに長くなつてペンを走らせる。お行儀の惡いことおびたゞしいが。

何だか馬鹿に騷々しい、ボーイが這入つて來る、廣東に著いたさうだ。散らばつた原稿をカバンに押込んで匆々に飛び出す、何千といふほどの苦力が一度に殺到して、まるで蟻が餌物でも見付けた時のやうに、トランクのまわりに黒山のやうにたかつて荷物をさらばつて行く。

青天白日の廣東

廣東は青天白日の街だ。一代の革命兒孫文が旗擧げしたところで、若しも革命軍が支那全土、少くとも其の半分でも完全にものにしたら、こゝは支那政界のメッカとなるであらう、先づ何より國民革命に關する出版物に一通り目を通す必要がある、車を飛ばして財政廳前の各書店を日の暮るゝまであさつた。

翌日も雨、その翌日も雨だつた。だが是非手に入れたい國民政府の法令集がどうしても見付からぬ。言葉も通せぬ車夫を相手に不案内の街を驅けずり廻すのは何だか物騷な氣もする、それで雨の街を單身テクルことにした。昨日通つた街をうろ覺えに覺えては居るが、沙面から財政廳前は隨分遠い、最初の内こそ見當はついたが、四辻を二つ三つ横切ると皆目わからなくなつた。

廣東は何と云つても青天白日の街だ、雨が降つても青天白日旗は街の方々に飜り、ポスター宣傳ビラも全國大會の決議は至るところの壁に貼り付けられ、革命軍の將卒は草色の軍服にゲートル姿凛々しく雨の市中を活歩する、その將校達は殆んど全部が軍官學校の卒業者であらう。

軍官學校はその訓練の嚴格さに於て、軍紀の嚴正なることに於て、また戰に勇敢なることに於て非常に評判がいゝ。この人達に聞けば間違はなからう、道がわからなくなると青天白日の兵隊に聞く、なる

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

べく將校らしいのに目星をつけて。すると懇切丁寧中には連れて行つて呉れる者さへある。僕すつかり革命軍の兵隊さんが好きになつた。「彼等は中國革命の大業を成就すべく、生命を賭して主義の爲め母國の爲め同胞の爲めに戰ひつゝあるのである」と無條件に敬服し感服したくなる。しかし革命軍の兵隊さんを信賴することは新來者の僕ばかりではない、廣東市民の大部分がさうらしい。僕は三日にわたつて市中の各書店を戸別訪問したが、革命關係のパンフレット雜誌類は山の如く積まれ、蔣介石の肖像は孫文のそれと共に店頭に飾られ、それ等の賣行の盛んなること眞に飛ぶが如しである。街頭から店頭には多數の人だかりで、その中に革命軍の兵隊四五人を見出さぬことはない。

北伐以來蔣介石及び其の部下の武勳赫々、廣東市民が彼及び彼等を尊敬し信賴することは薩南の建兒が南州及び其の部下に對する如きものがある。但しこの尊敬、この信賴のうちには單に北伐の武勳ばかりでなく、奴匪游賊の多い廣東では革命軍の兵隊をおいて他に安寧秩序を維持するものがないといふことも考慮に入れねばなるまい。

建設の曙光

革命靈地黃花岡につッ立つて國民革命の偉業を讃美すべく僕は余りに多忙だつた。金融資本全盛の今日僕は臺銀支店の樓上に陣取つて通貨の流るゝ音を耳にしながら、竹本支店長の厚意に浴して連日市中を飛び廻つた。沙面の日本領事館、各銀行會社、學校新聞通信社それから國民政府祕書處、市黨部各役所、中山大學などを、或は單身或は通譯を連れて訪れた。

國民黨並に國民政府の要人達は、既に武漢に引越し或は引越の途中にあつて、廣東は留守居の人達ばかりであつた。けれども其の執務振は非常に緊張して、これまでの舊官僚が午後でなければ役所に出ず而かもその半日の大部分を煙草と雜談に過して居つたのに比べて、今日の役人達は實に多忙だ。彼等の多くは黨と役所その他方々で少くも二つ三つは掛持

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

であるо何時から何時までは何處といふ風に嚴格にきめて居る、時間が來れば自働車を飛ばして次から次へと廻る。面會申込の如き一兩日前から通知して置かなければなか〳〵逢へない、彼等はその申込順にプログラムを作つて、何日何處と堅く約束する。さうして未明から深夜まで、面會人攻めで訪問者と面談中でも傍ら執務する、それは〳〵外の見る目も忙しさうだ。彼等の大部分は三十歳前後の年少氣英、すること爲すこと凡てがテキパキして居る。大體の見當が付けば直ちに實行する、惡ければ明日でも變ゆる、改むるに憚る勿れ式でドシ〳〵やつつける。守衞や下役には舊式の者がないではないが、新人達は賄賂もとらず、威張もせず官紀は嚴正ださうな。某邦人は僕に語つた「支那の役人のことだから當になつたものではないと思つたが、あることを約束して來た。ところが數日後しかも約束の時間にたがはず可成面倒な調査をして呉れた。この頃の役人は手紙を出しても直ぐに返事をよこす、約束は守る感心なものだ」と。廣東市の市區改正工事の如き目下ドシ〳〵進行して居る。軍閥多事の今日、市區改正の如き財源が何處にあるかと一般には心配されるが、それは沿道の受益者負擔でやつゝける。市區が改正さるれば、その兩側は繁昌し地價も高くなる、その幾割かを工事費に出させる、出させらるゝ方でも損は行かない、厭と云つてもとらずにはおかぬから、我利々々は内心不贊成でも、兎に角出さねばならぬ。

黨や政府ではさうして一方工事を進め他方それによつて失業者の救濟が出來る、安い賃銀で工事はあがる。何でも罷工によつて數千とかの失業者があるので、これが救濟の爲め國民政府では築港や鐵道、道路の改修工事とかを計畫して居るといふ。

國民黨や國民政府は勞働者の支持によつて今日の如き成績を擧げた。從つて勞働者の鼻息頗る荒く、マルクスの共産黨宣言そのまゝ、萬國の勞働者とまでは行かぬが少くとも國民革命の勢力範圍では勞働者の團結强く、幾多の爭議は繰返へされ産業の破壞

さるゝこと甚しい。從つて黨や政府の首腦部では何とか善後策をと考へついたであらう、勞働爭議調停法の如きものを作つて勞働者の我儘を抑へつけようとして居る。けれどもその爭議調停なるものが勞働者側に有利で、資本家側にとつて不利なやうに出來て居るさうだ、が兩者の利不利は相對的のもので資本家側も今迄通りボロイ利益を得ようとは期待せず、勞働者側も無理な要求は出來ないことを漸次諒解するであらうが、兎に角勞働者の專橫を抑へ付け產業の發達に力を入れようとするところに建設の曙光を見出すことが出來よう。

支那は廣い一方に於て盛んに破壞が行はれ、他方に於ては建設の曙光が見ゆる。直接利害關係を有せぬ僕は、氣永に國民革命の將來を見ようなどゝ呑氣な氣持にならせられた。

孫文崇拜と革命旗

國民革命の勢力範內は何處でもさうであるが、孫文崇拜は革命の發祥地たる廣東に於て殊に甚しい。役所といふ役所、黨部といふ黨部には、兩側の柱に孫文囑遺の一句「革命尙未成功同志仍須努力」が大書され、少し上級の役所黨部には、正面に孫文の遺像（實物大の寫眞）と遺囑とを揭げ、其前に青天白日の黨旗と青天白日滿紅地の國旗とを交叉し、僕みたいな外來者でも非常な感激に打たれざるを得ない。國民革命の成就を願ふ支那の人達にとつて孫文は、革命ロシアに於けるレーニン、印度の國民運動に於けるガンヂーの如く崇拜の的となつて居るやうだ。

この彼等が崇敬の的、孫總理の肖像の前に交叉された黨旗と國旗について兵士讀本は說明する、卽ち青天白日國民黨之旗幟、青天白日光明、國民革命成功同心、同力、打出黨的旗、黨的旗光明、照出我們勇敢的心、革命軍人的心身許黨。我們軍旗和國旗是、青天白日滿地紅、青天白日是光明、青色是自由、白色是平等、紅色是博愛、自由平等博愛、是國民黨的目的、是我們的旗幟と。だが僕等には赤は血の色、革命のシンボルとしか見えない。紅色是博愛どころでなく、もつと威勢のいゝ、勇敢な感じを起させすには措かない。（二月五日廣東にて）

新高山を中心として（五）

青木繁

登山第三日——七月三十日——曇天

新高主山往復再び東埔へ、行程八里十一町

目が醒めると、周圍はもう可なり騒々しい。時計は四時前だ。今日は明治天皇祭。何となく身心の緊張するのを覺ゆる。窓を明ける。冷たい風がさつと吹つ込む。庭前に出で、洗面所に到る。殘月やはらかに、四邊死の如く靜寂。水は手を切るやうに冷たい。だが氣持ちはいゝ。下界は今扇風器と氷の世界だのに、さうも思ふと、登山の幸福を泌々と感ずるのであつた。

　顏洗ひがすんで室に戻ると、食臺に御馳走がのつてゐる。フウ〳〵と吹きながら吸ふ味噌汁の身につく樣な味、これも下界で味はれぬことだ。若奥さんも今日は登山をすると云ふので、一緒にお飯をいたゞく。食事がすむ。出發準備だ。出發準備と云つても、荷物はない、詰襟の著のみ著のまゝ。身に著けたものとしては、脚絆、わらじ、臺灣帽子、洋傘、ベスト、バロメーター、それに手帖、萬年ペン、ウイスキーの小瓶、氷砂糖とキャラメルの小包、タオルチリ紙若干。

　廣場には、もう團體登山者が整列して、團長が何か注意を云つてゐた。勿論、月明りにだ。正門には日の丸が交叉して、はためいてゐる。奥さんの旅裝、旅裝と云つても、これも著のみ著のまゝ、他所行きの晴著に、紺村草履。派手な柄のめりんす帶をして。まあ遊山と云つた形だ。新高山頂まで遊山。九千三百尺から一萬三千三十五尺まで、高差三千七百三十五尺、往復三里半。臺北から七星登りと云つた風だ。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

例のY先生の御家族も支度が出來て庭に出て居られたのは勿論だつた。愈々、勢ぞろひして、門を出たのは四時半頃だつた。道を踏んで、歩度は早い。行列は長い。緩な上り勾配、北山の裾野、荖濃溪の左岸、草原を切り開いた約四尺の新道だ。ひた歩く。左前方に東山が、どす黒く浮いてゐる。勿論月明りで歩くので、林相の模樣も、草原の姿もよくは判らぬ。唯道の兩側は草地が、三十分位も續き、白百合が芳香を放つて淡暗に浮いてゐたりした。次第に東の空も白みかけて、雲が、色に、形に、活動を始め出した。高原の夜明位氣持ちのよいものはない。東山の中腹以下の針葉樹林が、幹の肌を白く出して、かなり密に生立し、莊重たる風格を示してゐる。太陽は中々昇らぬが、雲は赤味を帶んで來てゐる。四邊はもう明るい。道右の草地の斜面が角度を增し、それにかなり大きな、枝振りのよいにひたか赤松や高嶺五葉が處々點生又は群生して、草地の風景を美化してゐる。ましてその根元や、草地の中に、つゝぢを根締にして庭石の樣な岩石があり、ぽつり〳〵とつゝぢの殘花も見られた。初夏の花時の艶麗さを想像せしむるに充分だ時々、道に急な曲りもあり、それに、勾配も漸く急となつて來る。景趣の變化。目、耳、鼻、見るに、聞くに、嗅ぐに忙しいことだ。もう標高一萬尺以上だらう、急に森林帶に入る。新高樫松や臺灣栂が密生して立派な林相である。

此處から一萬二千三百六十五尺の富士標高までは同じ森林帶を通るのだが、處々崖をはひ上つたり、崩解した道路を横切つたり、丸太橋を渡つたり、崖上の棧道を歩いたり、道が崩解した爲に道のない林内を迂曲せねばならなかつたりした。

森林帶は、勿論、新高樫松や、臺灣栂の喬木から成つてゐるが、中には一抱二抱の臺灣栂も混生してゐた。が、多くは直徑一尺以下だ。又大きい新高石楠が所を笑顏にその樹下によく生育を保つてゐる。殊にとゞや、つがの可愛らしい稚樹がやゝ疎林になつた苔地――青毛氈を敷きつめた樣な――の上に密

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

生又は散生してゐたりした。いつかはこの稚樹群も、母樹となるのだ、凡ては新陳代謝の原則に支配される。處々のちよろ〳〵清水は、實に清らかであつた。その度に勿論喉をうるほすことであつた。歩くに從つて道は益々嶮しくて、爪先き上りとなるのだが、相變らずの林相だ。その頃、晴天になりさうだつた空模樣は、曇りとなつてゐた。で、林内はいやが上に陰氣だ。だが、登山者の話し聲が木靈して賑やかであつた。

その頃、歩度の速い團體の先頭と歩度の遲いY先生や私等との距離は、次第に大きくなつてゐた。大きな石の頭に腰かけて、Y先生團の追ひつくのを待つてゐると、例の坊ちやんと一番年少ない孃さんとが元氣よくS字なりの小徑を上つて來る。氷砂糖、キヤラメルを出して、後續の先生がたを待つたりした。

やがて、可なりな大石ばかりの水のない川原に出た。雨の時や、氷解けには勿論流るゝところだらう。五、六間幅はある。その兩側は勿論森林帶で而も見上ぐる樣に續いてゐる。直徑一尺位の柏心は珍らしいことであつた。地面を這ふ石楠、柏心が一面だつた。と、その森林帶の上に、見上ぐる樣にして、おゝ、新高主山が見られた。その左手に東山が續いて、むしろ主山よりも高い樣に思はれた。そこからの主山の姿は、全然、男性的な突屹さであつた。中折帽子の姿であつた。何せ思ひつめて、憧憬れつめて來た主人公の主山だ、はる〴〵と臺北から會ひに來た私だ。山に誘惑がなくて何としやう。その掩ひ被せる樣に、見上ぐる樣に、林相の上に、不動の姿を現はしてゐる新高、樹姿、林態の變化に富める、樹下の鮮苔、どんよりした天候、清澄な空氣、輕快な氣分、大石に腰かけて後から來るY先生團を待つ間だ。名畫を鑑るの目を持たぬ私は、どうして此處の名畫以上の景趣を書くことが出來やう、森嚴と云ふのか、それだけでもない。幽邃と云ふのか、それだけでもない、森閑と云ふのか、それだけでもない、豪宕と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

云ふのか、それだけでもない、仙境と云ふのか、さうだその言葉に近い。やはり名書以上の名書の景趣と云ふた方が當るかもしれぬ。今云ふた凡ての集まりと云ふのも一方法かもしれぬ。それでも足りない。やはり山陽を地下から呼び起して來て、耶馬溪を寫した樣に書いて貰はねばなるまいほどの景趣だ。唯もの足りないのは、溪に水の流れて居らぬことだがそれが却つて俗人に解せぬ無形の美かもしれない。唯、露ほども艶麗と云ふ感じを與へぬ。だが、初夏の石楠の花時を想像すると、やはり此處も春風駘蕩たる景趣に一變するであらう、とにかく、名書以上の此處の景趣は、臺灣の平地だけではない、內地でも中々見付からぬものであらう。やはり、名書以上の名書と云つた風な景趣は、慈悲にみちた自然の畫工も、世の中に多くは作つては置かぬのだらう。それに過去なる數千年もかゝつて作りあげた念入りの作品だ。で、此の作品は、たやすく金錢だけでは見ることは許されない。やはり、歩いて、汗を多く出して難儀をして、來た者にのみ引替へらるゝ手形の樣なものだ。此處の作品そのものが、既に幾百千年自然の洗錬によりて出來上つたものだ、艱難汝を玉にすると云つた言葉は、難儀をして來た者にのみ寶玉が授けらるゝと云ふのと同じだ。そして自分では氣が付かずに居る間に、此處の樣な自然の作品に對する時は、俗心が心から去つて、正しき心が置き代へられ、培はれ行くのだ。山に登る心、それは、つまりは、心を正しくすることにもある。頂上に立つのを悅ぶだけが、登山の妙味ではない。頂上に立つまでの汗の步みが、實は登山の妙味だ、登山の效能だ。人間は、或一つのことを仕上げると滿足させられる、滿足はさせられるが、然し、淋しみを感ずる。やはり、仕上げるまでの苦心、努力、そのものが寶は面白いのだ。釣の趣味は私にも少しは判る。その妙味は、釣り上げてびくに入れる時よりも、むしろ浮標の動きや、釣り上げて見ないまでにある。栽培の妙味も、出來上つて、收穫する時よりも、種を播

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いて、芽が出て、少し宛生長してゆくのを見る時にある。

登山の妙味、私はやはり、途中の汗の歩みや、景趣の鑑賞に在ると信じてゐる。

話が横道にそれたが、やがてY先生團の到著を俟つて、今云ふた登山の妙味に浸りながら、話しながら歩く景趣は勿論道に從つて變化極まりない。

やがて避難所に著く。避難所と云つても、生蕃に對するものでは決してない。登山に時々ぶつゝかる急に起る暴風雨に備へた小屋だ。で、休泊所と云つてもよい。距離は、八通關に至るよりも頂上までの方が近いだらう。だがこれから先きは距離の問題ではない。山の急勾配道と人間の苦痛に耐ゆる心との鬪爭だ。眞の登山の妙味の味はれるところだ。

聞き洩して明言するのを憚るが、避難所は、間口五間、奥行四間位のバラック式だが、相當堅固に建てられてある。正面中央に入口がある。T字形に家の中に通路があつて全部板張りだ。三四十人は一時に寢る事が出來るであらう。壁も全部板張りだ。で家全體が、木材から出來てゐる。材は附近の新高椴松であらう。誰か建てたのだ?、云ふまでもなく州の經營だらう。理蕃課の經營だらう。だが、恐らく本職の大工に請負はせたのではなからう。やつぱり八通關駐在所の警官君や、下役が、多勢の生蕃を使つて建てたものに相違ない。休憩の間に、恥しい次第だが、便所に行きたくなつた。便所の窓からは私の所謂名畫以上の名畫が見ゆるではないか。水なしの溪の大石、林相などの、手洗鉢なんか勿論ない。裏の水なしの溪の大石の下の湧水、清淨水が、手洗水とはもつたいない樣な氣がした。

此處を發つ。すぐ樹林中の急坂道だ。新高椴松も此處一萬二千尺近く來ると、根元だけ太くて、梢殺木となる、びやくしんや、石楠が次第に多くなつて來る。道は電光形だ、くの字の連續だ。杉本氏の「臺北十二箇月」には「こゝから頂上迄百四十曲」あるとのことだ。何百曲あらうがかまはない。それをかまつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ては頂上には登られない。登山の妙味はない。やはり一歩〱と一曲りづゝ歩くのだ。樹間を縫ふて富士標高まではそれが續く。途中二箇所位清水が流れてゐたやうに記憶する。恐らくもなく、日本最高地點の天然水だ。高度一萬二千尺附近の天然水だ。登山者は必ず飲む。飲まざるを得ぬ清澄な水だ。疲れきつた、喉の渇しきつた時の水だ。蘇生の思ひをさせる水だ。これもやつぱり登山者のみに與へられた味のする水だつた。新高山頂に積つた雪、降つた水の滲みて、流れ出した水だ。鐵管臭い水でない、泥臭い水でない。煤煙も塵も混入してゐない水だ。天から降つたまゝの水だ。その水で、都の人の俗腸を洗ふのだ。精神を爽快にさせるのだ。銀明水、金明水と同じ樣に、魔法瓶に詰めたり、白鹿の空瓶に詰めたりして、都に持つて歸り、せめて、家中の人に飲ませることだ。さうだ。此の水は、然し、唯に登山者にのみ飲ませる爲めのものではなからう。山頂の新高神社に、自然ながらに供へた御水だ。その御水に、俗腸を洗滌し、心身を清淨にし、緊張せしむる力があるのは、考へれば當然のことであつた。手帖に書きつけるのをつい忘れたので、文句は違ふかも知れぬが「不老長壽の水」と云つた風な意味の立札が、その清水の側に建てられてあつたのを、今も記憶してゐる。水も、此處では、實際價がある。唯の水ではない。電氣を起したり、田にひいたり、都の人の飲んだりする下界の水とは異ふ。人間の心を、人間の肉體を、直々に更生せしむる水だ。人間があつて電氣や田があるのだ。その人間の生命に力を與えるのは此處の水だ。その水を腹に滿し、力をつけて又歩く。同じ樣な樹林を縫ふて、と、富士標高標が道端に建てられてある。此處で樹林は一變する。一變すると云ふのは、此處で森林帶が盡きて、地を這ふた石楠と柏心の地相に變ると云ふことだ。

道は愈々電光形な急坂だが、よくつけられてある。我等が登山の喜悅の前には多くの警官や生蕃の勞苦があつたことを忘れてはならぬ。主山は絕えず目の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

前に高く直立してゐる。左方樹海を越へて、秀姑巒山が同高度に於て聳えてゐる。一歩一息、風化された粘板岩の大小の砕片道を登るのだ。足場はいゝだが疲れはひどい。呼吸は苦しい。一曲りするのが大變な位だ。處々兒玉菊が優しく咲いてゐた。もう愈々主山が文字通り直立の斷崖として見られる地點だ直立五六百尺位はあらう。丁度中折帽子の廂に相當する所を歩いて、これから愈々帽子の頂上に登らうとするのだ。勿論頂上の三角臺は見えない、けれども人の聲が聞え出した。こゝからもう頂上までは延べて十町はないだらうが、愈々道は電光形の甚しい急坂である。急坂と云ふよりは階段的な道と云ふた方が當るであらう。右方は斷崖になつて富士の親不知と云ふところだ。と、頭上に三角臺が見え出した。上からは「もう少しですよ」と氣勢をつけてくれる。先著の團體組の姿が見える。愈々の一歩一休だ。歩み疲れと呼吸の困難とで歩くと云ふよりも梯子段を登る様なものだ。でも道はよく造られてある。何度休んだ事やら恥しい様だつた。それでもとにかく登り著いた。時計を見ると八時を過ぎてゐた。頂上では寫眞を撮つたり、三角臺に腰をかけたり、あぐらをかひたりして、辨當をやつてゐたり、白鹿を傾けたりしてゐた。團體組の一人が、白鹿と杯とを持つて來て、登り著いたばかりの私に「お目出度う、まあ一杯」と祝つてくれる。何と有り難い「言葉」であらう。何と身に沁む「一杯の白鹿」だらう。新高山祠の正面に立つて、心の中に登山の成功を感謝し、一家安全、四海平和を祈つたことであつた。で、今、自分は多年の宿望であつた、登山が出來た。憧憬してゐた新高山頂に立つてゐるのだと意識すると、どういふ言葉で表はしてよいか知れぬ喜悦が泉の様に、湧いてやまない。山頂の人も、新高山祠も、三角臺も、登山記念に建てられた標柱も、石原の様な山頂の土地そのものも、凡てが明るく、輝いて見えた。

　山祠の横に腰を下した私は、直ぐ背後の凹地に團體組の數名と荷物持ちにやつて來た番人等の焚いて

ゐる畑に居たゝまらずに立つのを餘儀なくされた。その時、私は、Y先生團が、親不知と私が前に云つた附近のくの字道を、一人一人かなりの距離を置いて登つて來られる姿を見た。正に目の下に見ゆるのだ。勿論一人の警官が殿つてゐたが。それが今日の登山者の最後に相違はなかつた。上から見ると步いてゐるのではない、動いてゐるのだ。自分もあんな風だつたのだなと思ふと、今Y先生等の嘗めつゝある苦痛さを推測することは譯のない事であつた。一步一息の苦鬪。心臟の大きな皷動、呼吸の急迫、艱難汝を玉する油汗、最高度の心身の緊張、それを、今先生等は嘗めつゝある。苦鬪の上に喜悅があるその喜悅が、人の心を確りとつかんで、引き登せるのだ。崇高き苦鬪の步み、姿、やがて、最高の喜悅が、味はれるのだ。

「もうすぐですよ」と頂上から氣勢をつける。振り上げる坊ちやん、孃さん等の顏の微笑、希望に輝ける、緊張したる日、それ等は、凡て最大の苦鬪に耐ゆる崇高の表徵ではないか。一番年下の孃さん、坊ちやん、女學校を出られた三人のお孃さん等續いて老先生お夫婦が、間もなく頂上に姿を見せたことであつた。

「これでやう〳〵思ひが叶ふた、みなさん」有難ふとY先生が云ふ。團體組が「お成功でお目出度ふ」を連發する。何と最高の喜悅の充滿だらう。下界では人は各々生活の爲に忙しい、忙しいことは落ち付きのないことだ。思ひ〳〵の異つた心で。だが、頂上に立つ人々の今の喜悅、それは共通なるものであつた。共通の所持である最高の喜悅に人々の心が束ねられてゐる樣なのだ。で全然未知の人々も。頂上では、舊知の間柄の樣な親みである。話す言葉に些の混濁がない、毫も猜疑がない。何等の賤卑がない。ほゝ笑みとほゝ笑みの對話だ。

それに、頂上は富士の樣な周圍一里のおはち廻りはない、僅か數十坪にも充たぬ面積だ。番人の關係は、勝手に登つて、勝手に下山は出來ぬ。登るも下

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

りるのも警官の指圖によらねばならぬ。全然行動を共にしなければならない。富士とは趣を異にせる點だ。こんな關係が、登山者と登山者とを親みに導く原因でもある。

話が、つい餘計なことに外れたが、然し、それも全然關係のない事ばかりでもないから許して貰はねばならぬ。

で、話は後に戻る。立つてゐる私の側で、第一番に登つて來た年下のお孃さんが、ばたりと倒れた。顏色はない、土色だ、私はすぐに抱き起して、ポケットのウィスキーを取出し飲ませるやら、氷砂糖を口に入れたりして元氣をつけた。元氣が囘復して目を開けて、立ち上つたかと思ふと、今度は急に歩き出した。無意識に私もついて行つて抱き止めた。と云ふのはもう一二間と云ふところで例の數百尺の斷崖でないか、勿論孃さんは無意識に歩いたのだ、盲目的に歩いたのだつた。ひよろ／＼の足どりで。もう私は、山頂からの景色を眺めることも、山頂に思ひを凝すことも全然打ち忘れて此の孃さんの看護人となつてしまつた。又ウィスキーを飲ませるやら、そして、その孃さんは、今目を閉ぢ、靜に私の膝を枕として、地に臥してゐる。と、團體組の一人の父に伴はれた、これも七八歳とかの坊ちやんが孃さんと全然同じ狀態に倒れ、無意識に歩くのだ。

やがて頂上に不安が襲ふて來た。下山說が、俄に團體組に唱へられ初めた。その頃Y先生の坊ちやんが頂上に著く、私の膝の姉さんの顏を覗き込んで、不安らしい顏をしてゐた、そして、指先きで、閉ぢた目を開けて見たりする、間もなく前に記した樣に姉さん等やY先生お夫婦も頂上に立たれる。その頃孃さんは元氣を囘復した。そして姉さん等に取りまかれる。私はほつとした。團體組は下山を初めた。

こゝで私は山頂のことを少しく書かねばならぬ。勿論山頂からのあの大觀を書くにしては私の筆は餘りに動かない。

山頂は前にも記した通り至つて狹い、數十坪にも

充たぬ。山頂に立つと直ぐに新高山祠だ。記錄によると「大正十四年六月十七日、新高郡守及警察職員によりて建立せられ、臺灣神社四柱神及大山津見神を祀」つたものだ（臺灣山林會報第二十三號三八頁）。その南方數間のところに、三角臺が壞れかけて建つてゐる。そこには又數本の標柱が建てられてゐた、そして山祠の背後は凹地をなし、焚火の煙が立つてゐた。

氣づかつた雨模樣も、とう〳〵雨にはならない、但し曇りだ。東山は目の前に續く東方秀姑巒山一萬二千九百五十尺を中心として中央山脈が、大波の樣に南北に紆ねりをなして、遙に〳〵、雲と區別のつかぬまでに連つてゐる。淡紺色に連なる。北山も呼べは應へん近さに北に聳えて、東山となす溪谷、今歩いて來た荖濃溪の流域の樹海、それは何と沈痛な青さであらう。海の色とも異ふ。やはり山の針葉樹林の青さである。目を西方に向けると、西山、前山、鹿林山の一連の突兀たる、處々白の肌を出した禿らしい群生が見られた。又處々は斷崖になつてゐた。そしてその連りの遙に阿里山一帶が紺色に見られた。その背稜と北山とのなす溪谷、溪谷と云ふよりも直上の絕壁だ。その絕壁の下は鬱蒼たる森林帶だ。つまり沙里仙溪の流域だ。陳有蘭溪が水面の紆りを北西の方向に見せてゐた。布でも引いた樣に。和社溪との合流附近だらう、草地らしい廣野が低く遠くに展開せられてゐた。

主山を包圍した脚下の斷崖、樹海、凡ては男性的な景趣だ。四方に展開した大波の樣な山の波、丁度それは、主山と云ふ船に乘つた形だ。靜かに動く雲海に、その大波の樣な山が動く形だ。つまり船が動くのか、山の波が動くのかはつきり判らぬ形だ。勿論、此の日は快晴でなかつたので、男性的な雲海の活動、從つて山姿、樹林の大活躍は見られなかつた。けれども、それは頂上の雄大な景觀を、むしろ沈痛悲壯ならしむる材料であつたのだ。それで私は充分だつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

とにかく、日本最高の地に足跡を印したと云ふ意識と、四圍の雄大な、沈痛な、悲壯な景觀を眺め得た悅びの心で、私の心は充され、目は忙しかつた。

「もう下りませんか」と阿里山から同行のS氏が催す。で、Y先生團は、まだ頂上の記念撮影も終らぬし、又私どもは東埔まで今日の內に歸りたいので一足先きに下りることにする。後にはY先生團、八通關駐在所の宿の奧さんと警官と集々から稼ぎに登つた寫眞師君とだけだ。

「花蓮港まで一緒に行きませんか、行きませう」とY先生の奧さんが誘ふてくれる。實は、初めの私の計畫も花蓮港まで出るつもりであつたが、今更、同行のS氏と別れるのも變だし、それに、留守宅も案ぜらるゝので、やつぱりS氏と今日の內に、東埔まで歸ることに決心した。

「では、さようなら、色々お世話でした」と奧さんがた。「花蓮港へはこれから大分御疲れでせうが、折角お氣をつけて、さようなら」。

下りは早い。危險と思つた箇所も何ともありはせぬ。一步一息のところが、一步一二尺は下りる勘定だ。出世は六ヶ敷い、富貴は中々得られぬ、だが一旦そして得た出世、富貴も、何かにけつまずくと忽轉直下だ。山登りと全く同じことであつた。時はもう十時半であつた。

こゝで特に記さねばならぬと思ふことは、山頂の設備に就てゞある。

山頂は前に記した通り至つて狹い、で一時に百人も收容することは出來ぬ。まして曩の孃さんや坊ちやんの例もあるし、山頂は是非危險防止の柵、標識を設備する必要があらう、風化酸化が烈しいから、錆留をした高さ三尺位の鐵柵がよからう。又同じ錆留した鐵索を以て私が曩に親不知と云つた、附近から頂上に到る道に、手欄の樣に設置して、一つは登山の危險を防止し、一つには婦女子の疲勞を助けることにせねばならぬ。

尙ほ山頂に設置して置きたいのは、展望指針盤だ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つまり方向を指示する事だ。例へば、著名な日月潭、南湖大山、阿里山、周圍の峻峯の如きを一目瞭然たらしむる事だ。地圖を繙くにも利便だ。まして登山者みな地圖を持たぬ。

臺は、やはり風化、酸化が烈しい所だから、錆留をした銅か、鐵の直徑三尺位の圓形がよいだらう、高さは三四尺位とする。三角臺と山祠の中間所が安全であらう。

尚ほ新高山に關する生蕃の傳説の一節が臺灣山林會(第二十三號三八頁)に出てゐる。記者は「伊藤生記す」とあるから技師の伊藤太左衛門氏のことだらう。

「新高山は、ブヌン族の祖先が、太古社寮附近在住中大蛇濁水溪に横はり、溪流爲めに大氾濫を來したるにより、同山嶺に避難し、漸く生命を全ふせりとの傳説を以て、ブヌン族全部之を靈地として尊崇措かざる所。故に蕃人撫育教化上、特別の經費なく、警備員の作業を以て建立し(建立とは新設の新高山祠のこと)、八通關駐在所之を管理し、祭典を行ひ、ブヌン族各社代表を定め參拜せしめつゝありと」。

更に附記したいのは、山頂は今はや平坦山祠なども鎭座してゐるが、昔は大分趣が異ふやうだ。序に「臺灣アルプス」の記事を拜借して懷舊したい。

「明治三十八年、同三十九年の兩秋には、農學士川上瀧彌技師が植物調査の爲め登山……其の明治三十八年十一月三日(晴下層雲)の日記の一節。

山頂地獨り三十人を立たしむるに過ぎず。頂上岩石岩片散亂し植物はあれど種類少なく、(中略)風物極めて寂寞の感あるを免れず卒能く晴れ渡れども溪々雲に鎖され遙の下界は雲の裡に隱れて萬尺以上の峯頭のみ唯り頭を雲上に抽き出せる樣、白雲の中より筍の簇生したる如く、下略、」とある。

又佐々木舜一君の名著「新高山彙森林植物帶論」の挿圖(同書五六頁)の次を見ると昔は山頂に於ける灌木類「左ニヒタカビヤクシン右ニヒタカシャクナゲ」(中井氏)が相當に繁殖してゐたらしい。が、今は山頂には何ものもない、只山祠と三角臺と、標柱

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と石ころだけだ。

特に私がこれを記する所以は、山頂には昔は、樹木がやはりあつた者だと云ふ事を注意したいからだ。

私の好奇心は、親不知の附近から、道によらずに、比較的斜面の滑かさうな場所を選んで、砂走りを敢えてせしめる。だが、爽快の富士の砂走りではないのみならず粘板岩の岩片の堆積した、斜面を走るので、危險は伴ふ、で、わき目も振らずにひた走りに走る。所々に石楠が地を這ふてゐた。下方に行くに從て柏心が増す。富士標高の附近よりも下手に下りる。もう石楠と柏心が地面に一帶這ふてゐるので歩けない。花時の氣分を想像しながら本道に出る。

もうこれからは、元來た千鳥道の樹間を歩いて下りるばかりだつた。十二時過ぎには八通關に歸著したが、上から見下した駐在所を中心としての草地の滑かな起伏、所々の松の群生散生が成す景趣も實に面白い。丁度擂鉢の底を眺める形だ。

事務室でお茶を喫して、間もなく此所を發ち、四時半の道を、觀高、對關と順々に元來た道を走る樣に歩いて、夕方に東埔に著く、途中、學生が唯一人、汗を流しながら登山するのに出遭ふ。聞けば、今朝、水裡坑を發つて約十四里の途を對關に今夜一泊、明日主山頂を極めて、その足で水裡坑まで歸るのだと云つてゐた。足だめしにはならうが、あまり感心したことではなし。

東埔の温泉、それは此の際またなく有り難いものだつた。で、その誘蠱が勿論私どもをこゝまで下山せしめたのだ。駐在所に挨拶がすむ。そして、直ぐ浴槽の中に、靜に目を閉ぢて、旅の苦樂を泌々味つたことであつた。東埔は靜かに夜が來た。

先著の某中學の博物の先生と同宿して、親しいなつかしい、夜話が食事の後に、ランプの下ではずんだ殊に主人公の生蕃討伐の自慢話が耳に殘つてゐる。

年中蚊帳を吊つて寐るのに馴らされてゐる私どもは、蚊帳なしの就眠を泌々と有り難く思つた。

（つゞく）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

他山の石

案山子閑人

「朝鮮の地方は實際疲弊しておりますよ、元來朝鮮人は概して怠惰な人間である所へ、臺灣の如く天惠が豊かでなく、農民は經濟的にも、社會的にも向上心が弱く、今では其の土地は多くは內地人に賣り拂つて仕舞つて、僅かに其の小作によつて貧しひ生活を立てゝ居るといふ現狀です。祖先傳來の田地を賣り食ひして來たのです。日常の野菜類まで支那人から供給を受けるといふやうな始末です。つまり支那人のやうに勤勉の風がない、怠けるからです。役所の方でも色々鮮人の保護について注意して例へば工事の入札にしても、人夫は朝鮮人を使用することゝいふやうなことを契約條項に入れてまでやつて居るが、實際は能率が上つてしかも賃銀は大してちがはない支那人を使用することになるのです。それでも朝鮮人は自分のことは棚に上げてブツ／＼不平を言つておるといふやうな始末で困つたものです」。

臺灣視察に來られた朝鮮人のH氏は感慨深さうに流暢な國語で更に話を續けた。

「臺灣は一寸見ただけでも結構な所の樣ですね、……朝鮮の郡役所の建物なぞは大抵バラックで實に粗末なものですよ、小學校の建築でも極く粗末なバラックでも坪當り七八十圓は掛りますよ。之は割合に勞銀が高いのと氣候の關係上色々の裝置が要るためでもありますが、御當地のやうに坪百圓位で煉瓦の永久的建築が得られると承つては實に羨やましいですね……朝鮮では就學歩合も僅かに二〇％で之は財力が貧弱で設備が足らぬ爲であつて、設備さへあれば入學者は殺到して來ます。之は臺灣とは反對の

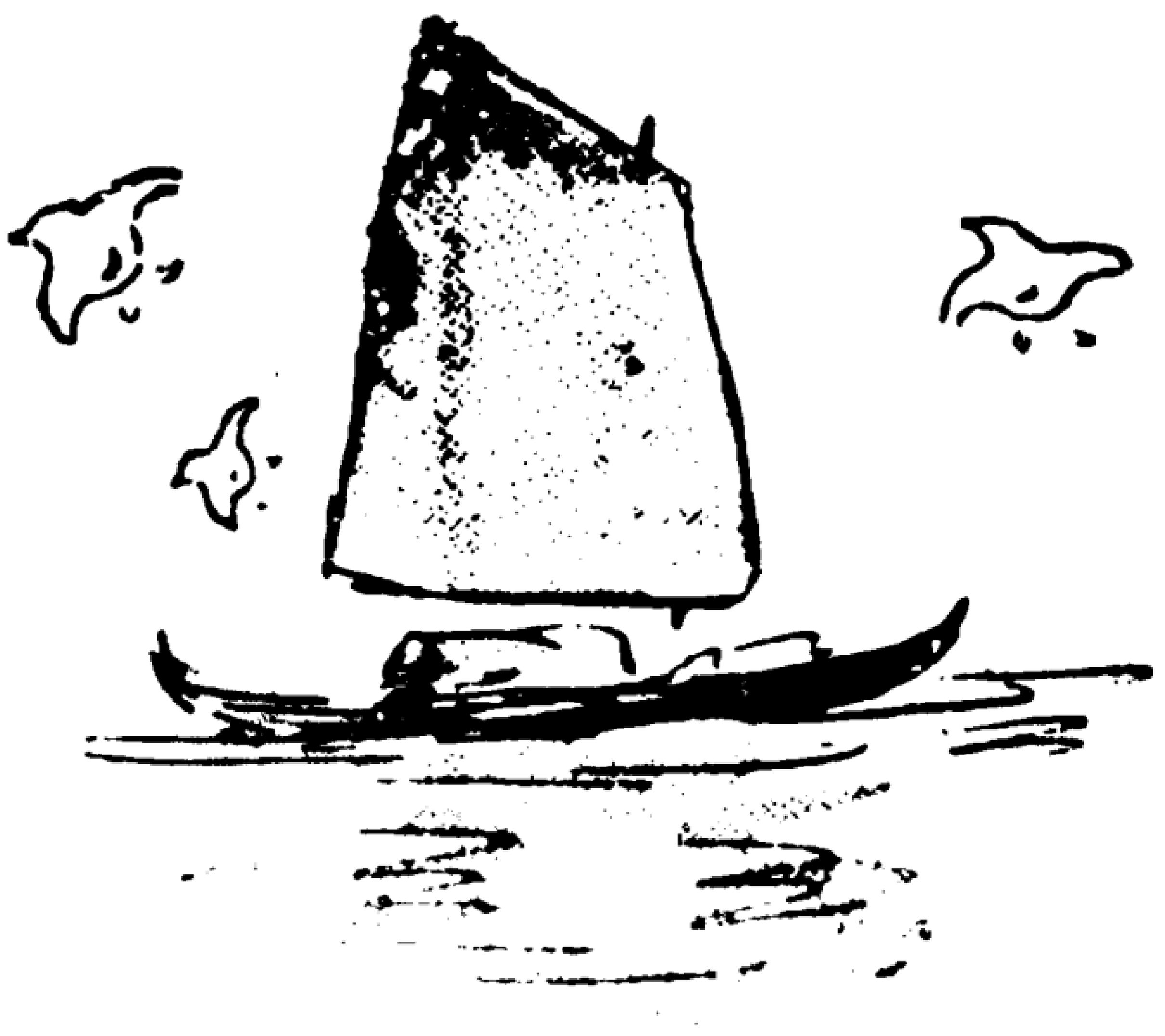
やうですね」。

臺灣は設備が十分であつても生徒の狩り出しに骨が折れるといふ話に氏は一層羨望の眼をかゞやかした。

「大體に於て臺灣はまだ〳〵擔税力の餘裕がある樣ですね、天惠の豊かなことも見逃せないことだが島人の勤勉な點は實に結構ですね。こんな土地に思想問題が起るといふことは寧ろ不思議ですね、朝鮮は昔は一國であつた歴史あるにもよりませうが、前話したやうに經濟的にはさらに目醒めないが政治的には相當意識が強く、それに土地問題、職業問題其の他色々の事情からして思想問題は割合に複雜であります。朝鮮の地方制度は臺灣より少し進んで居るやうです、協議會は諮問機關である點は同樣でありますが總て選擧によります、議決機關にすると言ふことも論議されて居ますが結局は金がなければ何にもならないアハ……」。

H氏は淋しく笑つて口を緘んだ。

常に臺灣のみを見、その殼から離れずしてブッ〳〵小言を並べて居る人々はせめて朝鮮又は動亂の對岸支那の實狀でも見て其の知見を廣くする必要がありはしないか、此の意味に於て年々各州に於て施行する街庄吏員の內地視察を少し方面を換へて滿鮮支那を視察せしむることも或は必要ではあるまいかと思ふ。



本島肥料金融概觀

臺灣銀行調査課　田里維章

目次

第一、肥料需要の趨勢
第二、肥料需要期
第三、肥料資金需給關係
一、農會の肥料共同購買
二、製糖會社の取引
三、一般取引
イ、取引　ロ、荷爲替の減少と引換證整理問題
表
最近十六箇年間肥料輸移入額表

大正十五年中本島各州農會肥料共同購買高表
同　上肥料共同購買資金起債額表
大正十四年期本島蔗作用肥料購買高表
最近八箇年間製糖會社肥料購買高表
最近十箇年間大豆粕輸移入高表
同　上其他の輸移入高表

本島に需要せらるゝ販賣肥料は最近年額二千萬圓乃至三千萬圓を算し、今後集約的耕作法の進歩と耕地の擴張に伴ひ益々需要増加せんとしつゝあり。而して此間銀行の放資亦年と共に遞増し大正十四年に於ては其の額三千萬圓を下らず、肥料の將來は之を等閑に附する能はざるものあり。左に肥料と金融との關係に就き少しく述ぶる所あらんとす。

第一、肥料需要の趨勢

本島に於ける販賣肥料の需要は、農會及製糖會社の大口需要の外一般農民の肥料商より買受くる額尠からざるを以て、其の輸移入額年二千萬圓乃至三千萬圓の巨額を算せるが、之を過去十數年間の統計に徴するときは其間實に驚くべき增進を示せり。是れが原因は主として當局の指導奬勵宜しきを得たると、製糖會社亦施肥奬勵に努めたること與つて力あるものにして、爲に從來施肥觀念幼稚なりし農民の覺醒を促し、肥料の效果漸く認められ、施肥增進するに至れるものとす。

今肥料の過去十五箇年間に於ける本島輸移入額を見るに、明治四十四年には僅かに百九十餘萬圓に過ぎざりしもの、大正四年には五百四十餘萬圓、同九年には二千四十餘萬圓となり、其の後財界の變動に遭遇し、事業界萎微沈衰し諸物價低落せる爲め、同十年には一千九十餘萬圓に激減せしも、翌十二年よりは再び增加の傾向を示し、同十三年には二千百四十餘萬圓に上り、更に同十四年には蓬萊米の作付增加に依り二千九百

餘萬圓の巨額を算したるが昨十五年は稻熱病發生、米價竝肥料相場低落の爲め減少し二千五百三十萬圓の輸移入を見たり。即ち明治四十四年以降五箇年目には、二倍五分に、十箇年目には十倍に十五箇年目には十五倍に增加せるものとす。

明治四十四年以降肥料輸移入額を示せば左の如し。

年次	輸入	移入	合計
明治四十四年	九〇八、七九八円	一、〇二八、五六六円	一、九三七、三六四円
大正元年	一、九一六、八六三	一、五二四、二二六	三、四四一、〇八九
同二年	一、六四二、九五七	一、七七二、一三六	三、四一五、〇九三
同三年	一、六三一、六七八	二、〇七一、四八二	三、七〇三、一六〇
同四年	二、二七九、六二二	三、二一八、二〇九	五、四九七、八三一
同五年	三、〇二〇、二四八	三、九九〇、四〇八	七、〇一〇、六五六
同六年	四、四五五、七八八	六、〇九七、七一六	一〇、五五三、五〇四
同七年	六、〇〇二、四三二	四、五三八、四九三	一〇、五四〇、九二五
同八年	一〇、二二〇、五七七	六、五〇五、一六四	一六、七二五、七四一
同九年	一二、四九四、一九七	七、九六一、六一四	二〇、四五五、八一一
同十年	六、六〇四、〇〇三	四、三五五、九八九	一〇、九五九、九九二
同十一年	八、一五一、〇七七	四、四一四、四三一	一二、五六五、五〇八
同十二年	八、八七九、九二三	四、〇六五、一六八	一二、九四五、〇九一
同十三年	一四、五七五、八九二	六、八六〇、〇九三	二一、四三五、九八五
同十四年	二二、三七八、七八九	六、六九一、三五二	二九、〇七〇、一四一
同十五年	二〇、五四八、一八三	四、七四五、八三〇	二五、二九四、〇一三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

更に肥料の種類を見るに大豆粕、硫安、過燐酸石灰及調合肥料等にして、内大豆粕は最多く需要せられ、大正十四年十一月より同十五年十月に至る一箇年間に於て三億四千三十餘萬斤、一千七百八十餘萬圓に達し肥料總輸移入額五億一千三百五十餘萬斤、三千萬圓中、數量に於て六割六分、價額に於て六割を占むるを見る。之に亞ぐは過燐酸石灰、硫安、調合肥料の順序なるも近來化學肥料の需要漸く多きを加へつゝあり。

第二、肥料需要期

肥料の輸移入旺盛期は大體毎年十一月より。翌年一月に至る間なり是れ此の期間に在りては一期米及甘蔗肥料の需要期に當れる爲にして、其他の月に於ては五、六月頃二期作米用として需要あるも其の量多からず概して補充買に過ぎざるものゝ如し。更に之を詳述すれば、同じく肥料と稱するものゝ中にも大豆粕、硫安過燐酸石灰、調合肥料等種類に依り自ら輸移入期に多少の差異あり。即ち大豆粕は主として米作に使用せらるゝ爲毎年十一月より翌年一月に至る三箇月間を輸入旺盛期とし、就中一月を以て最高とす。二月以降は漸減し五、六月の交一時擡頭するも再び減少に向ひ八月に至り年中底のを示し、爾後漸增して十一月に至る。

硫安其他の肥料は主として甘蔗肥料として用ひられ毎年十一月より翌年三月迄の五箇月間を移入旺盛期とし、就中十二月を最高とす、四月以後は漸減、六月稍增加し、七月を底として其の後漸增して十一月に至る。

第三、肥料資金需給關係

前述の如く肥料の輸移入旺盛期は毎年十一月乃至翌年三月なるを以て、資金需給關係も從て同期間に於て最多く、之に亞ぐは五、六月の二期米肥料資金なりとす。

左に農會、製糖會社及一般取引に區別して資金需要の状況を記さん。

一、農會の肥料共同購買

農會は普通毎年一期作用として前年十月乃至十二月、二期作用として二月乃至四月の交に於て肥料購買購札を行ひ、現品到著の上代金を支拂ふものとす（入札に當りては、肥料商より保證金として入札代金の五分を徴し、落札の際更に五分を徴するものと、最初より一割を徴するものとあり、而して入札保證金は當行預金手形を利用せらるゝ場合多し）。

農會の肥料共同購買資金は、臺灣銀行其他より供給せるが、一期作資金は前年十一月より次年一月に至る期間に放出せられ期限は翌年九月とし一期米の賣却代金を以て決濟せらる。

又二期作資金は五月乃至七月に放出せられ十二月を期限とす。過去に於る農會共同購買高の最も多かりしは、大正九年の六百三十七萬一千圓とす、其の後財界變動の影響を蒙り一時二百三十一萬一千圓に減少したるも、爾來順調に恢し。蓬萊米の普及に依り購買高増加の趨勢を示し、一昨大正十四年中に於ける購買高は五百九十八萬七千餘圓（前年に比すれば百六十五萬八千餘圓の増加を示せり）にして本年は昨十五年一期作に於ける蓬萊米稻熱病の發生により收穫良好ならざりしと米價崩落したる時に依り、一期米肥料購買高減少の見込なり。

今大正十五年中に於ける農會肥料共同購買高竝起債額を示せば左の如し。

大正十五年中本島各州農會肥料共同購買高

種類	數量			價額			前年に比し増減（△）	
	大正十五年二期	昭和二年一期	計	大正十五年二期	昭和二年一期	計	數量	價額
大豆粕	六三八、三六〇瓩	七四一、五三〇瓩	一、三七九、八九〇瓩	一、六〇五、二七四円	一、五八七、八一六円	三、一九三、〇九〇円	△五三一、六六四瓩	△一、八〇三、六〇八円
過燐酸石灰	一〇八〇、〇九九	九〇〇、〇八八	一九八〇、一八七	一六一、五〇三	一二四、一八四	二八五、六八七	△一五四、五五九	△二八〇、六九一

調合肥料	三〇、〇九六	一二、三六二	四一、三五八	一〇六、七二二	三三、六三三	一四〇、三四四	△三六、三三三	△一六一、四二〇
硫酸安母尼亞	四、六八〇	一、四三一	六、二一一	二九、一三九	八、三三九	三七、三七八	△一〇、二〇〇	△七六、八三七
硫酸加里	四二	五一	九二	二三七	二九〇	五一七	△六六一	△三、五三二
燐骨	三〇〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇	一、八〇〇	二、四〇〇	四、二〇〇	—	△四三八
蜜柑肥料	—	二〇五	二〇五	—	八二七	八二七	二〇五	八二七
合計	—	—	—	一、九〇四、六六四	一、七五七、三七九	三、六六二、〇四三	—	△二、二三五、六九八

大正十五年中本島各州農會肥料共同購買資金起債額

農會名	起債額 大正十五年第二期作	昭和二年第一期作	其他	合計
臺北州農會	二四五、六四三圓	四五七、三八八圓	—圓	七〇三、〇三一圓
新竹州農會	四九七、五五二	三四六、九八〇	五五、三八七	八九九、九一九
臺中州農會	一、〇七〇、〇〇〇	一、〇〇七、〇〇〇	—	二、〇七七、〇〇〇
臺南州農會	二〇六、一四一	三三四、七八九	—	五四〇、九三〇
高雄州農會	一四一、八〇〇	一八四、三五〇	五七、一七八	三八三、三二八
合計	二、一六一、一三六	二、三三〇、五〇七	一一二、五六五	四、六〇四、二〇八

卽ち前二表に依れば大正十五年は前年に比し肥料購買高に於て二百三十二萬五千餘圓起債額に於て二百五十六萬圓を夫々減少せるが、之が理由は米價崩落及前年一期作に於ける稻熱病發生等の影響を蒙り購買申込手控を爲したるものあると、一面農會當局に於て購買申込者の信用程度の査定を嚴密にしたると且肥料相場の低落せるに因るものとす。

二、製糖會社の取引

製糖會社の肥料購入は普通豫て出入の肥料商購買約定を締結し、代金は後拂とし荷爲替關係を生ぜず。而して銀行より放資する製糖會社の肥料購買資金は、運轉資金として他の資金と共に放出せらるゝを以て、一々肥料資金を摘出し難しと雖も、其の肥料購買高を見れば、略之を窺ふを得べく、左に大正十四年期（自大正十三年八月至同十四年五月）肥料購買高を示さん。

大正十四年期本島蔗作用購買肥料數量價額

種類	新式製糖會社			改良糖廍		
	數量	金額	單價（十貫）	數量	金額	單價（十貫）
大豆粕	五、三二七、六六三貫	二、〇二八、四一八円	三、八〇七円	五八、〇二三貫	二一、〇二三円	三、六二四円
調合肥料	一二、四四五、〇〇〇	五、四六五、六三二	四、三九二	三五七、八二五	一四七、二三三	四、一二四
硫酸安母尼亞	六、四七二、八二九	四、四九一、四八八	六、九三九	四六、八三一	三三、九一八	七、二四三
過燐酸石灰	三、三九一、三三八	六六二、二七二	一、九五三	三〇、七五六	六、四〇〇	二、〇八一
智利硝石	三二、四九八	二一、二五四	六、五四〇	—	—	—
硫酸加里	二三、九二一	一八、五八二	五、三三〇	一、九〇四	一、三〇二	六、八三八
石灰窒素	一、〇二〇	六三三	六、二〇六	—	—	—
燐酸アルミナ	二九〇	七三	二、五一七	—	—	—
骨粉	一、〇四八	五二三	四、八一五	—	—	—
滿俺石灰	七六、二五〇	一四、一四四	一、八五五	—	—	—
消石灰	五一、一〇四	三、五七七	〇、七七〇	—	—	—
落花生油粕	四〇、九二二	一三、五八二	三、三二〇	—	—	—
計	二八、〇六二、七三九	二三、八二〇、一七七	四、五六八	四九五、三三九	二〇九、八六六	四、二三七

大正七年期以來八年間の新式製糖會社に於ける各年期蔗園用として購入せる肥料總額

年期	數量	金額	單價（十貫）
大正七年期	一六、九五二、四九二貫	六、七三八、六二七円	三、九七五円
同八年期	一六、五四八、八七五	六、八九五、七七七	四、一六七
同九年期	一四、四七五、一七七	九、四二一、二五八	六、五〇九
同十年期	二一、三四五、〇七八	九、五六二、五九二	四、四八〇
同十一年期	一五、五七八、三〇〇	六、二〇六、二六二	三、九八四
同十二年期	二〇、七一一、〇二七	八、一〇四、五六九	三、九一三
同十三年期	三四、四二八、二九一	一〇、三八七、七七八	三、〇一七
同十四年期	二八、〇六二、七三九	一二、八二〇、一七七	四、五六八

三、一般取引

肥料は農會及製糖會社の大口取引に依り、上記兩者を通じて農民に交付せらるゝの外、輸移入商又は島内肥料商の手を經て、直接農家に供給せらるゝ額尠からず。今之を大豆粕に就て見るに、輸入總額年六百五十萬枚中約百八十萬枚は農會に、六十萬枚は製糖會社に需要せられ、殘額四百十萬枚は前記の如く肥料商の手を經て農家に供給せらる。

イ、取引

從來島内主要地に於ける肥料卸商は大連より二週間サイトの荷爲替を以て送付せる豆粕を基隆及高雄兩港に於て船會社より、荷物の前渡を受け、各地仲買員へ荷爲替を取組み、銀行にて割引を受け其の手取金を以て大連荷爲替を決濟し、仲買商も亦運送業者より引換證付荷物の假渡を受け、之を小賣商に賣却し資金の回

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

收を計りて荷爲替の決濟を行ひ、斯くて豆粕が大連商人より消費者の手に渡る迄四段の行程を經たり。而して貨物の假渡を受くる結果、肥料卸商及仲賣商共殆ど資金を必要とせざりしが、先年高田商會BL事件發生して以來、船會社は荷物前渡を許さゞるに至り、玆に資力薄弱なる卸商は自然排除せらるゝに至り、更に最近引換證劵問題發生により、荷物假渡禁止以來は仲賣商亦營業困難に陷り、現在は一二輸入品商と直接小賣商との間の取引に變じつゝあり。

ロ、荷爲替の減少と引換證整理問題

從來島内の肥料取引は、殆ど荷爲替取引なりしが、昨秋島内運送業者の協定成立して以來は、荷爲替全く跡を絶つに至れり。今其の經過を見るに左の如し。

從來運送店は顧客吸收競爭の結果、取引先の請求に應じ、引換證付貨物の假渡を爲す者を生じ取引の安全を害し弊害少からざりしが、此の缺陷除去の昨年十月運送業者の協定成り、各驛運送店は共同責任を以て引換證付貨物の假渡を爲さゞることゝし、各驛に幹事を置き荷物の整理を爲さして新に貨物引換證發行及到著手數料を徵し。且つ貨物到著の日より三日以後は保管料を徵することゝしが費用支辨に充てたり。

今之を豆粕十噸の取引に就て見るに一噸に付引換證發行手數料十錢到著手數料八錢にて十噸一車三百七十枚トシテ此ノ費用一圓八十錢(最近半額に減せられたり)に當り到著後三日以後の保管料一噸十錢十噸一圓なるを以て、手形猶豫期間一錢後二十日とし荷物を期日に至り受取る者とせば、諸費用十八圓八十錢を要すべし。

右の如くにして、肥料輸移入商は從來の荷爲替取引に代ふるに、荷物發送と同時に指圖書を送付し、別に普通二週間のサイトを付する手形を發行し若は指圖書付一覽拂又は二週間サイトの手形を發行して代金取立を銀行に依賴するに至れり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

最近十箇年大豆粕輸移入高（單位千斤）（實數）

年次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
大正六年	二三,六七〇	一四,一二三	二,六七五	一一,六〇〇	八,〇五五	五,〇七八	三,四八一	五,五五三	一一,〇二二	一五,三四九	二〇,四七三	一四,六二九	一三五,六九一
同七年	三五,〇三九	五,六六九	四,二七八	一,四二〇	四,一三九	三,七五九	五,二一八	七,七五八	四,七六四	三,八七八	六,八〇二	三七,八二二	一二〇,五四一
同八年	四五,一七一	一一,三一九	一一,一一四	六,四〇七	七,九七六	五,七七九	一二,二三〇	九,七九四	四,九二一	九,五八六	三四,三四五	一一,八六九	一六三,一九六
同九年	二七,三七三	一〇,三二三	四,一六三	四,六〇五	五,八〇一	三三,三六八	五,九一五	二,二〇九	八,七二六	七,九五八	三七,二七六	四一,二四七	一八八,九五五
同十年	二八,四六五	一七,六九二	一四,三九七	二,六〇八	八,六四〇	一二,一四九	九,四三〇	四,八一〇	五,一八二	六,二七七	四,二四三	二四,三〇六	一三八,二一四
同十一年	三九,七九一	三六,二五二	二,三九七	四,四二三	五,九四九	五,〇三七	六,六五三	三,四〇八	七,五八〇	四,六六四	一〇,八八九	三〇,九八九	一五八,〇一八
同十二年	三七,三六九	二一,五二〇	四,八二三	六,三六九	七,一八二	一四,〇八〇	九,〇一二	八,四〇〇	六,七三七	一三,二三九	二五,五七〇	一四,五一三	一六八,七九七
同十三年	四〇,九六八	二一,〇七八	一六,四八一	一五,一八八	一八,三六八	一七,六七三	六,一八二	九,二六九	一〇,三一五	七,二二七	三〇,〇三三	五一,八八三	二四四,六七〇
同十四年	四四,八三三	一七,五四七	一八,七三五	一七,八一六	一五,七九五	一五,九八三	一六,三三三	一一,四七六	三,七三一	六,五五三	三七,七九七	九三,四六八	三〇〇,〇六七
同十五年	四二,〇八四	二一,四六三	二一,五三〇	九,六八三	三一,七〇六	一八,五七九	一九,六八八	一〇,五三〇	一六,二九五	一七,五四八	三四,二七〇	三九,八〇五	二八三,一八六

最近十箇年大豆粕輸移入高（各年月を基準としたる指數）

年次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
大正六年	一,〇〇〇	五九七	一一三	四九〇	三四〇	二一五	一四七	二三五	四六五	六五一	八六五	六一八	五,七三三
同七年	一,〇〇〇	一六三	一二二	四一	一一八	一〇七	一四九	二二一	一三六	一一一	一九四	一,〇八〇	三,四四〇
同八年	一,〇〇〇	二四四	九一	一四二	一七七	一二八	二七一	二一七	一〇九	二一三	七六〇	二六三	三,六一三
同九年	一,〇〇〇	三七七	一五三	一六八	二一二	一,二二九	二一六	八一	三一九	二九一	一,三六二	一,五〇七	六,九〇三
同十年	一,〇〇〇	六二三	五〇六	九二	三〇四	四二七	三三一	一六九	一八二	二二一	一四九	八五四	四,八五六
同十一年	一,〇〇〇	九一二	六〇	一一一	一五〇	一二七	一六七	八六	一九〇	一一七	二七四	七七八	三,九七一
同十二年	一,〇〇〇	五七六	一二九	一七〇	一九二	三七七	二四一	二二五	一八〇	三五四	六八四	三八八	四,五一六
同十三年	一,〇〇〇	五一四	四〇二	三七〇	四四八	四三一	一五一	二二六	二五三	一七六	七三三	一,二六六	五,九七二
同十四年	一,〇〇〇	三九一	四一八	三九七	三五三	三五七	三六四	二五六	八三	一四六	八四三	二,〇八五	六,六九三
同十五年	一,〇〇〇	五一〇	五一三	二三〇	七五三	四四一	四六八	二五〇	三八七	四一七	八一四	九四六	六,七二九
平均	一,〇〇〇	四九〇	二五一	二二一	三〇五	三八三	二五一	一九七	二三〇	二七〇	六六八	九七九	五,二四三

其他の肥料輸移入高（單位千斤）（實數）

年次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
大正六年	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?
同七年	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?
同八年	七、七六三	六、五二七	五、五四二	七、六八三	六、八二四	六、七九九	二、八四〇	一、四二三	二、二三三	三、三九五	四、七五一	一、四三二	六九、九六五
同九年	一〇、三三〇	一三、八三三	一三、一一二	四、五八七	五、二七九	三、六三六	(1) 五、〇六三	九、四九〇	二、四六七	五、七九四	六、六八三	—	八二、六三七
同十年	一三、九〇九	一三、一四六	一三、一〇六	七、二八四	八三七	一、三四九	三四九	六三八	一、三〇四	三、〇五〇	五、七六六	一五、七五四	七五、四九六
同十一年	一〇、四三四	八、四七七	一二、五九〇	八、八三五	二、二三六	一、二〇六	七一九	五八七	二、一七九	三、三五〇	一三、九五〇	八、六四一	七〇、一一九
同十二年	一四、五四三	一三、〇二一	六、六六四	六、一四五	五、七七四	一、〇〇六	二、〇七四	三、三七八	二、一三四	五、四四三	七、三三八	七、六九八	七四、一二三
同十三年	一二、八三八	一五、三三三	一六、一四六	九、九四五	三、四五九	七、三四〇	三、三八七	五、五五〇	一〇、三一七	一一、五一四	一六、八三三	一七、〇三三	一二八、五八九
同十四年	一七、〇二三	一四、二二一	二三、四五九	一〇、四一八	四、九八七	一〇、五一〇	三、二八三	一二、九一三	一四、六一六	二一、四六三	二三、一六五	二二、一〇三	一七六、一五四
同十五年	二二、九二〇	一三、七〇六	一五、三五四	七、〇一三	三、〇三三	四、〇〇二	九、八七〇	一六、四三五	一七、一五四	二〇、四三八	二〇、〇二一	二〇、九二三	一六九、八四五

其他の肥料輸移入高（各年一月基準としたる指數）

年次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
大正六年	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?
同七年	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?
同八年	一、〇〇〇	八四一	七一四	九八八	八七九	八七六	三六二	一八三	二九二	四三七	六一二	一、八三三	九、〇二二
同九年	一、〇〇〇	一、三五二	一、三八二	四四八	五一六	三五五	(1) 四九五	九二八	二四一	五六六	六五三	一、三二八	八、一七五
同十年	一、〇〇〇	八七三	九四二	五二四	六〇	九七	二五	四六	九四	二一九	四一四	一、一三三	五、四二八
同十一年	一、〇〇〇	八二三	一、二〇七	八四七	二一三	一一六	六九	五六	二一一	三二二	一、〇四九	八二八	六、七二〇
同十二年	一、〇〇〇	八二六	四五八	四二三	三九七	六九	一四三	二二五	一四七	三七四	五〇五	五二九	五、〇九六
同十三年	一、〇〇〇	一、二九四	一、三六四	八四〇	二九二	六二〇	二七八	四六九	八七一	九七三	一、四二二	一、四三八	一〇、八六三
同十四年	一、〇〇〇	八三五	一、二七八	六一二	二九三	六一七	一九三	七〇〇	八五九	一、二六一	一、三六一	一、三三九	一〇、三四八
同十五年	一、〇〇〇	六二五	七〇〇	三一〇	一三八	一八三	四五〇	七四九	七八三	九三二	九一三	九五五	七、七四八
平均	一、〇〇〇	九三二	一、〇〇五	六二五	三四九	三六七	一二八	四二〇	四三七	六三四	八六六	一、一六〇	七、九二四

備考　大正九年七月分は貿易表訂正の結果減額となれるものとす

南部スマトラの官營鐵道
テロク・ベトン―パレンバン間の全通

山岸祐一 譯

沿革―線路の敷設―勞働者問題―經濟的意義―收益の可能性―營業規定

一 沿革

パレンバン及びランポン地方の兩州の首都を連絡するパレンバン―テロク・ベトン間の鐵道は最近漸く完成され、其の結果商業上の重要な中心地が相連絡されたのみならず、同時に重要な南部スマトラ地方の各栽培地の距離は著しく短縮された。

一技師の引率の下に第一派遣隊が道路を開く爲めパレンバンに出發したのは、今から丁度十五年前であつて、其の約一箇月後即ち千九百十二年二月中已にテロクベトンに於て測量が開始され、以つて本計畫の第一歩に手を染めると同時に、テロクから五粁の地點にあるタンジヨン・カランに敷設從業員の宿營所が建築された

第一に着手されたものはパレンバンからプラグムリーに通ずる八十五粁の距離に亙る線路の敷設工事であつて、同時にプラブムリーからムアラ・エニムに通ずる部分も起工された。續いてテロクよりは測量が開始せられ、ウエーセカンポン竝にウエー・ラレム地方の調査が行はれた。

特種の困難には遭遇しなかつたが、單に測量地帶は重に無人の境で且つ未開拓の儘であつた故に多少の困

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

難を感じたのみであつた。本地帶に住居する土人は苦力として働くことを余り好まぬ樣で、從つて殆んど輸入勞働者のみを使役する外仕方がなかつた。

宿舍及び苦力の散宿所は支那人大工をして造らしめ、又勞働者の手當看護に萬遺憾なき樣注意され、ガルーンタンには最初に野外病院が建設された。

千九百十三年にも本事業は繼續され、約百六十粁を算するパレンバン—ムアラ・エニム線の測量を完了した故に直に敷設工事に着手することが出來た。

一方ランポン方面に於ては、全線に亘つての測量は未だ完了して居らず、猶八十粁を測量せねばならない樣な狀態にあつた。

建築物の立退き及び土地の買上げ等はテロク・ベトンに於てもパレンバンに於ても概して順調に行つたが、當年に於ては充分に勞働者を得ることが出來ず常に之に惱まされ、又ランポン地方に於ける健康狀態は熱病及び腹部の病氣に罹る者多かつた爲一般に良好と云ふことは出來なかつた。

前にも述べた樣に、勞働者の獲得には常に頭を惱まして居たが、益々激しくなる計りで、將來に於ける工事の繼續さへ危まれる樣な狀態に陷り、遂に本工事自身の爲に爪哇に移民事務所を設立するに至つた。而して本事務所を通じて勞働者の掻集めに努力してくれる樣地方並に其他の當局と契約を締結し、漸く千九百十四年の初めにパレンバン—テロク・ベトン間の全線に配置すべき約六千人の勞働者を融通することが出來たのである。

健康狀態は概して良好であつたが、ランポン地方に於てはパレンバン地方よりも病人數が多かつた。

千九百十四年には支線を以つて繁華なウェーリマ地方とランポン灣とを連絡する計畫が立てられ、本線の

建設は非常に有利の樣に思はれたのである。

其後又メンガラに至る支線を敷設する計畫が立てられ、其間測量隊はプラブムリから南部のコメリング地域に亘る地域の測量を完了した。

同年の八月に幹線中最初に出來上がつたオーストハーフィン（バンジャン）ータンジョン・カランに至る十二粁は一般の交通用に開放せられたが、パレンバン方面に於てはムアラ・エニムに至る合計百五十二粁の全線は猶敷設中であつた。

千九百十四年十二月末現在に於ては全線の十二粁は開通、二百二十八粁は敷設中及び二百五粁は測量中であつた。工事の進行は自己管理の下に行はれた故に、各種の計畫は其の都度政府の認可を要し、基礎工事の半分及び技術を要する工作は自身で之を行つた。

勞働者の獲得は自己の移民事務所の手に依つて爲されたが、必要上請負制に依つて請負はされた請負人は主として自己の支那人苦力を使役した。

合計三千人の苦力が爪哇から輸送され、最初の三箇月間は比較的順調に行き逃亡者は割合に尠なかつたが、其の次の三箇月間に於ては逃走する者著しく增加し、六箇月契約の終りには再契約を爲す爪哇人は一人もなかつた。

因にパレンバン地方の土人はランボン地方の土人よりも苦力として働くことを欲する者が多い樣である。

猛烈な旱魃のあつた千九百十四年に於ける苦力の健康狀態は著しく不良であつて、憂慮されて居た勞働者病の外マラリャ及び赤痢病患者が多く發生した。而しパレンバン地方に於ては狀態は一般に良好であつた。

千九百十四年末までに敷設工事に支出された金額は既に八百五十萬盾に達した。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

千九百十五年三月一日にはタンジョン・カランーラブアン・ラトゥ間及び十一月一日にはラブアン・ラトゥーテギネホン並にケルタパチープラブムリー間の部分は線路の敷設工事が開始されるに至つた。

本年に於ては兩方面から勇敢に作業が續けられたが、殘念なことにはハチペマンギランーブラムバン間の工事は經費の節約上中止せねばならない樣な破目に陷つた。而し兩地方の工事の起工點たるオーストハーフイン及びケルタパチに於ては建築物及び構内設備の完成工事は繼續せられ、同年内にタンジョン・カランに於ける中央事務所は完成された。

其後勞働者の輸送は余り行はれず、又爪哇から送られた勞働者の大部分は歸還して仕舞つた。且勞働者の殊に不健康であるランポン地方に於ける醫療に關しては最も考慮せねばならない點であつて、且つ本地方には多數の栽培農園があり、其の契約苦力も亦屢々同樣の狀態に陷つたことが在る。故に地方衞生係、官營鐵道部及び栽培業者は相談してタンジョン・カランに共同病院を設立することに決定し、千九百十六年に政府の許可を得て直に之が建築に著手した。

千九百十六年十二月一日にムアラ・エニム方面のプラブムリーーグノン・メガン間の四十四粁は公衆の交通に開放された故に、全線の内百二十二粁が敷設されたのである。

前にも述べた通りランポン地方に於ては工事は殆んど中止され、從つてパレンバンームアラ・エニムーバトゥラジャ線を連絡することに決定された。八月に至つてランポン地方に於ては再び工事を繼續することになつたが、其の爲に再び勞働者を播集めるには非常に頭を惱ましたことは云ふまでもない。假宿舍は既に住居することが出來ない程に荒廢し、再び之れが復舊に著手せねばならなかつた。

千九百十六年にハチペマンギランに於ては終點線まで到達し、又ブラムバンガンに至る他の部分の測量も

既に終了を告げた。

テロク・ベトンの外港であるオーストハーフィンも其の主眼とする目的を達するを得ず且つ兩地は猶連絡されなかつた故に、之が補助として兩地間に自働車を運轉することになつた。

一方パレンバンに於てはムアラ・エニムの大炭坑業に關連して之に必要な運輸、建築並に適當な貯炭場及び船積地等の問題に關して議論された。

二　線路の敷設

千九百十六年以後に於ても亦同樣に困難な勞働者問題に遭遇し、新らしい勞働者は云はゞ輸送されなかつた。而して本目的の爲にウヰルトフレーデンに設立された移民事務所も直に廢止されるに至り、線路に沿ふて居殘つて居つた移民も殘る者なく皆居なくなつてしまつた。

千九百十七年二月一日にテギネネン―ハヂベランギラン間の二十四粁は開通され、之に依つてランポン側からは六十三粁が完成開通されたのである。

又同年の四月にグノン・メナ―ムアラ・エニム間の二十九粁が開通され、其れに依つて千九百十七年末に於ては合計二百十二粁の完成を見たのである。

次年度に於ては工事は引續いて行はれ、プラムバンガンに至る線は一般の交通に開放された。

勞働者問題は依然として何等改善されず、甚だしい移動を防止する爲六箇月每に再契約を爲すものに特典を與へ以つて苦力の引足を止めたのである。然し乍ら苦力の待遇を改善したに拘らず逃亡者の多いのは珍奇な現象と云はねばならないが、其の重なる原因は、苦力は住民が非常に尠く且つ開發されて居ない森林地帶

に於て自身の食料品を求めねばならなかつたことである。故に其後彼等の必要な生活品を買求めることが出來る様賣店を設立するに至つた。然るに千九百十八年竝に十九年に生活資料の輸送は航路中止の結果甚だ困難に陷り、其の結果ゲドン・タタアンの移民地帶に於ける收穫の余りの米を買占めねばならなかつた。

價格は著しく騰貴し苦力は高値を以つて彼等の食料を買はねばならなかつた。從つて當時勞働者の逃走する者が非常に多かつたのは何の不思議もないのである。ランポン地方の工事に從事して居た二千四百人の契約苦力の内滿期以前に歸鄕したものは其の二十三パーセントで、六箇月の滿期後歸鄕した者は約五十パーセントであつた。而し之れには當時の胡椒採集賃銀が高かつた故に苦力が之に誘惑されたことも原因して居るのである。

本事實は多大の影響を及ぼし、勞働者の掻集めに益々困難を感ぜしめ、都合惡くも不景氣時代のことゝて何等事態改善の見込みも立たず、不安の度は一層高まり遂には工事の進行を殆んど不可能とならしめる程になつた。

ウヰーラレムの對岸に於ける敷設工事が、盛んに進行するに及び、タンジョン・カランまでの距離が余りに遠くなつた結果、コタブミに病院を設立せねばならない様になつた。

千九百十九年末までにパレンバンからオーストハーフィンに至る全線に亘る敷設工事に支出された金額は二千六百萬盾となつた。

次年度から千九百二十三年の初期に至るまでの間は勞働者の逃亡甚だしく、結局工事は一般に遲々として進まず一層工事を中止した方が良い位であつた。從つて千九百二十二年に於てはランポン側に於てはパンジャン・オーストハーフィン—コタブミ間の九十八米及びテロク・ベトン—ガルーンタンの間許が開通して居るに

過ぎず、又パレンバン側に於てはプラブムリー―ペニンジャワン間の五十六粁が開通されたに過ぎなかつた故に本地方の完成された延長數は二百二十一粁であつたのである。コタブミからは千九百二十三年六月一日にチュムパカまで開通された。工事の進行は非常に遲々たるもので、千九百二十四年の中頃に於ては全線に亘つて全く進捗せず遂に其の以後の基礎工事を請負人に請負はしめ、線路の敷設及び技術的作業のみを官鐵側で爲すことにする外他の施すべき術がなかつた。

故に結局請負人に請負はすことゝなり、千九百二十四年の九月にはパレンバン方面に於ても又テロク・ベトン方面に於ても同時に個人に請負されシェンジャ及びフアン・デル・タスの兩氏が工事を繼承することゝなつた。

兩方面に於ては其の後不撓不屈の努力を以て工事が進行され、ランポン地方に於ては其の間に三十三粁の線路を敷設することが出來、之を政府側のみでやる時は四箇年を要するものとされて居たのであるから、斯る迅速な工事は實に政府鐵道に對する多大の功績と云ふことが出來且つ本鐵道の敷設を現在既に完成することが出來たのは實に其の御蔭である。

三　勞働者問題

本大工事の請負人は、一般に工事進捗の經緯に關して滿足して居り、勞働者問題に就いては殆んど何等頭を惱まさなかつたと云つて居る。

彼等は自身の力で千九百二十五年及び二十六年の間に六千人の勞働者も得て工事に從事し、其の逃亡率は最高六パーセントにしか昇らなかつた。而して勞働者の態度が、政府が自身で工事に從事して居た當時と全く

反對の現象を呈したことは驚くべき事實である。
工事は時と共に進捗し多數の苦力は再契約の希望を申出で殘留する者は益々多數となつて來た。斯る現象は主として勞働者の扱方が宜を得た結果であつて、吾々は敢て政府に使役されて居た當時は待遇が惡かつたと云ふのではないが、待遇の方法が惡かつたのであつて、二者が同一の事を行つても猶ほ兩者間に差異があるのである。
請負人は勞働者の個人的利害關係に多大の注意を拂ひ、出來る限り彼等の意志に添ふ樣物事を取計らつたのである。彼等は勞働者に一定の價を以て食料を給與し、從つて勞働者は無人の境に彼等の食料を求める必要なく、又其の後請負人は規定或は法律等の拘束を受けない故に容易な條件を以て彼等に金錢の前貸を爲したのである。
斯る手段は、勞働者を心持良く勞働に從事させる上に多大の好果を齎らし、個人としては斯ることをすることが出來るのであるが、官營鐵道の樣な大團體に於ては到底爲すことが出來ないことであるのである。
又請負人の直接利益として彼等に「時は金なり」の標語の下に工事が圓滑に進行する樣之に干與することが出來るのであるが、之に反し如何に積極的な義務に忠實な官吏でも請負人の場合に於ける樣に利害關係並に利己的勢力に走る樣なことは出來ないのである。
此の直接の結果及び之を證明する證據として其の一例を擧げれば、政府はテロク・ベトンーコタブミ間の百粁の線路を敷設するに約十二箇年を費やして居るのであるが、請負人はコタブミーブラムバンガン間三十三粁に亘る距離の線路の敷設に僅か二年三箇月を要して居るのみである。
パレンバン方面に於ても亦同樣の成績を表はして居り、幸にも今日漸やく全線の完成開通を見るに至り、

パレンバン—オーストハーフィン及び其の反對のオーストハーフィン（タンジョン）—パレンバン間は一日にして到達することが出來る樣になつたのである。

朝六時にテロクを出發する時は晩の約七時頃パレンバンに到着することが出來る。

本連絡線は非常に大きな前途を開くものであつて、パレンバン州のみならず本線は又ランポン地方及びベンクーレンの兩州に對しても多大の意義を有するものであるから非常に重要なものである。

四　經濟的意義

本經濟的繁榮と南部スマトラの發達とを本鐵道の開通と相關連して一寸述べて見たいと思ふ。

本鐵道の完成は南部スマトラの歷史中に特筆すべき事實であつて、之に依つて本地方は貿易に栽培に或は工業に有ゆる方面に於てデリー地方と相伯仲するに至つた。

パレンバン、ベンクーレン及びランポン地方の各州は最近各方面に於て長足の進歩を示して居り、本地方に於ける農園數は著しく増加し又商館數も常に増加しつゝあるのである。

南部スマトラの地質は一般に肥沃であつて、歐人栽培業者間に名聲を博して居り、是が證據としてランポン地方に於ける昨年中の永小作權の申請數は二百五十件を下らなかつたのである。而して其の申請面積はランポン地方のみでも五十萬バウ以上であつて、ランポン地方の歐人農園に於ては主として護謨、珈琲が植付られて居りランポン人は胡椒の栽培に從事して居る。

近年に於け收穫は豐富であつて、多大の金錢が本地方に流入したのである。

又ランポン人自身も多少の商人氣質があつて、彼等は容易に金を儲けそれを金或は裝飾品に換へ其以上に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は何等の抱負をも持つて居ない。

又ベンクーレン州のレジャン人も餘り活動的でなく彼等は主として護謨及び珈琲を栽培して居るが、重に珈琲を栽培して居る。而し彼等は家屋の建築に關してはランポン人以上に重きを置いて居る。

南部スマトラ中で最も精力のあるものはパレンバン人であつて、彼等は其の商業氣質を以て世に知られて居り決して支那人の壓迫に默從して居ない。其の性質はいざ商業的利害關係となる場合に歴然と表面に現はれ、彼等は當領のベニスとも云ふべき商業都市に著しく似合ふのである。而し乍ら、パレンバン人は亦農夫として相當有力な地盤を占め、蘭領印度中の何處にもパレンバン地方程多量の土人護謨を生産する地方はないのである。

斯の如く地味が肥沃であると共に、本地方は又鑛物にも著しく富んで居る。石油は無盡藏にあり、石炭は豐富に採掘され、又ベンクーレン地方の山地にあつてはシマウータムバン及びレジャン・レボン等の金銀鑛山があるが、此處に於てはその說明を略することにする。

此の總てに關して非常に有利なことは、スマトラの本地方が爪哇の極く近くにあることである。而して其の有利であることは爪哇との初回の空中連絡に依つて證明されて居る。テロク・ベトンから一エンガル飛行場―バタビヤまでは二時間又バンドンまでは二時間半で到達することが出來る、故に如何なる地方と雖も陸上に海上に將又空中に斯る善良な交通機關を有して居る所はないと云ふも過言ではない。

本地方の旅行者は、本地方は人口稀薄で所によつては全く住民の居ない場所を見るであらう。パレンバン及びベンクーレンの兩州に於ける連絡道路は概して良好であるが、ランポン地方に於けるものは未だ充分であると云ふことは出來ない。又ランポン地方に於ては到る所自動車が否寧ろフォード車があつて日々其の數

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を増加しつゝある故に、官營鐵道は本交通機關を取るに足らない競爭者であると見くびることは出來ないのである。

電話電信交通に關しては、我々は殘念ではあるが南部スマトラに於ては本地方の進歩發達と同程度まで發達して居ると云ふことが出來ないのである。

電話網は、パレンバンに於ては其の土地の一部のみに限られ、あるとしても州當局及びバターフセ・ペトリウム會社の個人用の電話線のみである。ランポン地方に於てはベンクーレン州に於けると同樣に地方的電話網があつて外部にも擴張されて居り、兩地方にある各農園等に通話することが出來るのである。

現在鐵道連絡が完成された以上は、パレンバンに於てもベンクーレンに於ても直に陸上電信線を架設する可能性があり、現在に於てはテロク・ベトンからはバタビヤ經由で行はれて居るのである。又斯くなつた以上は直に電話線をも架設して兩地を連續することが出來るのである。

五　收益の可能性

住民の尠ない地方を縱貫する南部スマトラ鐵道は、此の分では收益の可能性があるか無いかの質疑が自然に起つて來る。

而し我々は此の點に關しては悲觀する必要はないのであつて、經營係數とは純經營費に對して必要な總收入の割合を云ふのであるが、爪哇に於ける本指數は千九百二十四年には六十六對〇及び二十五年には六十四對〇である。同年に於けるスマトラの指數は六十・六及び五十九・六であつて、確に收益し得るのである。

重な收入の源は實にパレンバン線の彼の有名なブーキト・アセム炭坑の石炭輸送であつて、年々平均二十二

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

萬五千噸と見積ることが出來る。

其の他パレンバン人及びランポン人は非常に旅行好きで、彼等は時々旅行を試み殊に胡椒の收穫期には盛に鐵道が利用され、又爪哇から毎年渡航する數千人のバンタム人は確に鐵道の收入を增加させるものである。

常に增加しつゝある自動車業は官營鐵道の大競爭者である。殊に道路税が賦課されて居ない地方のもの及び未だ一定の規定に拘束されて居ないものゝ競爭は甚だ不同であつて、彼等は長い間には葬られてしまふであらう。

タンジョン・カランにある經營事務所長の語る所に據れば、最近に於ける申込數は既に著しい數に昇つて居るが、今までの所では空列車等と云ふ樣なことは憂慮する必要がないのである。カスイ地方に於けるものが一番多く、本地方に於て生產される豐富な產物はやがて容易な搬出路に依つて積出されるべく、將來に於てはスカダナー―ハヂペマンギラン等に定期自動車の運轉を爲し以てパレンバン及びテロク・ベトンを連絡し、又メンガラ及びブラムバンガン間にもテルバンギベサルを經由して自動車業を經營する計畫が立てられた。

ベンクーレン州にも同樣の連絡事業が起されるべく、從つて吾々は多大の興味を以て其の成行を傍觀して居るのである。

次に我々は停車場構內等の設備に關し關係當局の注意を喚起したい。

第一に爲さねばならないことは、タナ・アバンの停車場をウォルトフレーデン式に改善新式化することであつて、爪哇からの旅行者は此處からメラクーテロク・ベトンを經由してパレンバンへの旅行を開始するのである。此處には絕對的に必要な構內の天蓋がなく、故に雨天又は荒天の場合に於ては衣服が常に濡れるのである。其の上中央部のプラットホームは狹く、若し荷物でも相當澤山ある時は殆んど通行が出來ない位である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

タンジョン・カラン、コタブミ及びマルタプーラの停車場は概して完全に出來て居り殊にマルタプーラの建物は良い印象を與へる。

パレンバン方面の各停車場は一般に貧弱の樣に見受けられ、最近一般に力行された節約の跡が明瞭に現はれて居る。ケルタパチ及び其の他の殊に約四百粁を有する鐵道線路の終點驛は貧弱である。又輸送せねばならない產物貯藏用の大倉庫等は何處にも無く、若し斯る倉庫がある時は以後の輸送船積に如何に便利で且つ經濟的であるかわからない。

又公共事業部と官營鐵道側とが速かに互に了解し、より優秀な港灣引込線構内を造營することが必要であつて、現在の狀態は、舊和蘭時代の貧弱な古い港を思はしめる樣なものである。

確聞する所に依れば、是は來るべき開通までには全然改良を施され、兎に角タンジョン・カラン――パレンバン間の急行連絡は爪哇で建造中の之に必要な車輛が出來次第實施されることになつて居り、又最新式の構造を有する重機關車を之に使用するとの計畫であるから、各々時代の要求に順應して設備されるものと思はれるが、是はパレンバン――ムアラ・エニム間の線路に使用されて居る千八百七十八年時代の古い廢物同樣のものが使用されて居るのを見て、直に餘り贅澤過ぎると云ふことは出來ないのである。

六　營業規定

營業規定は二月二十三日に實施されることになつて居るから、其の日以後は一般の交通に開放されることゝなるであらう、急行列車は――事實上急行列車と云ふことは出來ないのであつて、當分の間は單に一時間四十五粁の速力を以て走る事になつて居る――朝六時十分にタンジョン・カランを出發し、マルタプーラに

十一時四十九分に到著此處で晝食時間として二十分間休み十二時十四分に進行を繼續し午後六時二十分にケルタパチルに到着するのである。此處に於て渡船で對岸まで運ばれるのであるが之に約一時間を要するからパレンバンに著くのは約七時半である。

パレンバン方面からも亦此の日から毎朝急行列車が反對の方面に出發する。渡船は午前四時五十一分に岸壁を離れ、一時間後にケルタパチルに到達しそこから六時三分に出發する時は十二時九分にマルタプーラに到着する。此處から十二時三十四分に再び進行する時はタンジョン・カランには夜の六時十三分に到着するのである。

之に對する運賃は比較的安く、一等で渡船料をも含めて二十盾九十仙であつて、二等は十二盾二十仙、三等は六盾九十六仙である。而してタンジョン・カランーケルタパチ間の距離を三百八十九粁とする時は粁當り五仙に該當するのである。

前にも述べた通り經營事務所長の話に依れば多額の荷物及び人員の輸送を期待し得る樣である。其の前徴として、一例を擧ぐれば、千九百二十六年度の總收入高は既に千九百二十五年度より十三萬盾多くなつて居る。

又旅行者の輸送も尠なくも二十パーセント增加して居るが其の重な原因は線路が延長全通されたことにあるのであつて、又近年に於ける胡椒及び其他の物產の高値にも原因して居るのである。

又近き將來に於ては、カスイ地方及びマルタプーラ附近から多額の荷物が出されるであらうと思はれる。現在に於ても本地方からは十七粁の比較的良好な交通路を經て自動車で旅行者及び貨物が輸送されて居る故に、本線の全通後に於て增加するのは當然の事實である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

官營鐵道側は又出來得る限り旅行者の便宜を計ることを希望して居りブラムバンガン、マルタプーラ及び他の場所に於てウヰルトフレーデン或は他の爪哇に於て停車場までの通し切符を發行する意志で、其の內にはメラク經由又はタンジョン・プリオクまでの船旅行の分をも含んで居るのである。

當分の間は急行列車には食堂車は連結されないがマルタプーラに於て晝食をする機會がある。然し列車には仕切の中に飲食場を設備し旅行中飲料を得ることが出來る樣になつて居る。以上の如く公式開通式の日は本地方に經濟的發達の大なる機會を與へる紀念すべき日である。

島　情

臺灣美術展覽會開催の趣旨

臺灣總督府文敎局

我臺灣の文化發達の現情を觀るに各方面に涉つて猶發展の餘地ある事が頗る多いと考へられる。藝術に對する施設の如きも其一であらう。皇化茲に三十年本島の藝術も他の文化と共に漸次發達して來た。近來本島在住者の間に藝術に對する愛好が高まり本島青年にして東京美術學校を卒業した者もあれば又在學中の者もある。繪畫及彫刻に於て帝展に入選した者もある。又東京音樂學校を卒業した者もある。其他美術方面に志す者も中々多くなつた。これ明に本島の精神界が從來に比し一層藝術方面に向つて動いて來た事を示す物である。この機運に乘じ本島の藝術に對してその特有の長所を發揮させるやうな施設をすることは、本島文化の向上を計る爲めの一喫緊事に屬するものと信ぜられる。我臺灣敎育會は此の社會的要求に應じ、其事業の一として今年度より毎年一回美術展覽會を開いて、本島在住の作家の作品を一堂に聚めて作家相互鑑賞の機會を作り、併せて之を公開して一般民衆の藝術趣味の涵養を圖り、本島斯界の進歩發達に貢献せんことを企てたのである。本島在住の美術家諸君が本會開催の趣旨に贊成

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

せられ其作品を寄せて本島藝術の發達の爲めに、一般民衆の藝術趣味開發の爲めに力を致すに吝ならざらんことを切望する次第である。展覽會規程及出品規則は左の通りである。

臺灣美術展覽會規程

第一條　臺灣美術展覽會ハ臺灣教育會主催ノ下ニ毎年一回之ヲ開催ス
開期ハ六月前ニ發表ス

第二條　本會ハ事務所ヲ臺灣教育會內ニ置ク

第三條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク
役員ハ臺灣教育會長之ヲ依囑ス

評議員	若干名
審査委員長	一名
審査委員	若干名
幹事	若干名
書記	二名

第四條　評議員ハ會務ニ關スル重要ナル事項ニ就キ會長ノ諮問ニ應ス
審査委員長ハ鑑査及審査ニ關スル事務ヲ總理ス
審査委員ハ出品物ノ鑑査及審査ニ關スル事務ヲ掌ル
幹事ハ會長ノ旨ヲ承ケテ會務ノ執行ニ當ル
書記ハ會長及幹事ノ命ヲ承ケ庶務及會計ニ從事ス

第五條　本會ニハ必要ニ應シテ臨時事務員ヲ置キ役員ヲ補佐セシム
臨時事務員ハ有給トスルコトヲ得

第六條　出品規則審査規程及入場ニ關スル規程等ハ別ニ之ヲ定ム

第一回臺灣美術展覽會出品規則

第一條　本會ハ昭和二年十月二十日ヨリ十一月六日マテ樺山小學校內ニ於テ開催ス

第二條　出品物ハ東洋畫及西洋畫ノ二種トス

第三條　出品物ハ臺灣在住者ノ製作ニ係ルモノヲ主トス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其ノ他ノ出品物ニ對シテハ協議ノ上之ヲ受理ス

第四條　出品物ハ一人三點以內トシ本會所定ノ出品申込書ヲ添ヘ昭和二年十月十日ヨリ十月十四日（每日自午前八時至午後四時）マテニ樺山小學校內本會出品物受付ニ搬入シ所定ノ出品受領證ヲ受クヘシ

出品申込書ヲ要スル者ハ返信料ヲ添ヘ本會事務所ニ照會スヘシ

第五條　出品物ノ荷造、搬入及搬出ニ要スル一切ノ費用ハ出品者ノ負擔トス

第六條　出品物中東洋畫ハ枠張ヘ適當ノ裝幀ヲ施シ西洋畫ハ額椽仕立ト爲セルモノニ限ル

第七條　左ニ揭クルモノハ之ヲ出品スルコトヲ得ス

一　他人ノ作品ヲ模寫シタルモノ

二　他ノ展覽會ニ出品シタルモノ

三　製作後一年以上ヲ經タルモノ

四　風敎ニ害アリト認ムルモノ

第八條　出品物ハ審查委員ニ於テ之ヲ鑑查シ合格シタルモノニ限リ陳列ス

第九條　陳列品中優秀ナルモノニ對シテハ審查ノ上適當ナル方法ニ於テ之ヲ推奬ス

第十條　出品人ハ陳列ノ位置配列等ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第十一條　陳列品ハ開會中之ヲ搬出スルコトヲ得ス

第十二條　監查ニ合格セサル出品物ハ出品者ニ於テ本會ヨリ通知ヲ受ケタル期日內ニ之ヲ引取ルヘシ若シ之ヲ履行セサルトキハ本會ニ於テ適宜處置スヘシ

第十三條　陳列品ハ閉會後二日以內ニ出品者ニ於テ出品受領證ト引換ニ引取ルヘシ若シ引取ラサルトキハ本會ニ於テ適宜處置スヘシ

第十四條　本會ハ出品物ニ對シテ充分ナル保護方法ヲ講スト雖モ天災其ノ他ノ避クヘカラサル原因ニ依ル損害ニ對シテハ一切其ノ責ニ任セス

第十五條　本會ニ對スル文書ノ照會ハ必ス返信料ヲ添付シ臺灣總督府內臺灣敎育會內臺灣美術展覽會事務所宛トスヘシ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣貿易統計

（昭和二年三月）

臺灣總督府稅關

◆貿易額比較

外國貿易	二年三月	十五年三月	二年累計	十五年累計	增減(・)
輸出	二、四二五、七〇六円	三、四四四、五二〇円	八、三四〇、〇八三円	一〇、七五八、五二七円	・二、四一八、四四四円
輸入	七、三五九、六六七	六、四三三、六〇八	一八、四八四、〇〇一	一六、九〇六、九二三	一、五七七、〇七八
輸出入計	九、七八五、三七三	九、八七八、一二八	二六、八二四、〇八四	二七、六六五、四五〇	・八四一、三六六
輸出(入)超過	(入)五、一一三、九六一	(入)二、九八九、〇九八(入)	一〇、一四三、九一八(入)	六、一四八、三九六	—

內地貿易	二年三月	十五年三月	二年累計	十五年累計	增減(・)
移出	三一、九九七、一九五円	二八、九九四、五七四円	八二、四六六、六一七円	八三、六七一、〇四六円	・一、二九四、四二九円
移入	一〇、五五六、八二一	一〇、三一二、三三〇	二六、五三三、六六三	二九、二四四、八三二	・二、七一一、一六九
計	四二、五五四、〇一六	三九、三〇六、九〇四	一〇八、九九九、二八〇	一一二、九一五、八七八	・三、九一六、五九八
移出(入)超過	二一、四四〇、三七四	一八、六八二、二四四	五五、九一三、九五四	五四、四二六、二一四	—

◆輸出

品種目	三月 數量	三月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(・) 數量	增減(・) 價額
石炭 噸	三八、二四〇	四一六、三八八円	一四四、一一五	一、七二三、五七三円	一七六、九三四	二、〇三三、六三〇円	三二、八一九 ・	三一〇、五〇二円
包茶 斤	四〇二、八六七	二九六、九八七	一、二四四、二八二	九二一、三八〇	一、〇八四、二二四	八九二、〇二三	一六〇、〇六八	九、三五七

烏龍茶	同	—	—	—	—	三三〇	一二七	•三三〇	•一二七
綿織物	碼	七六〇、一八五	一五七、六七三	三、〇四一、八一四	六五七、八二六	五、四三〇、三八一	一、五七六、七五六	•二、三八八、五六七	•九一八、九三〇
鹹魚及乾魚	斤	二、二八三、八七五	一八七、八二一	七、七七一、〇三三	六九七、九四二	一、三八一、七三八	二七一、八五〇	六、三八九、二九五	四二六、一四二
砂糖	同	一、六八七、三〇〇	二三七、九〇五	六、四八六、九〇〇	九一一、四三四	七、七〇九、八一六	一、〇九九、五五三	一、二二二、九一六	一八八、一一九
酒精	升	四九〇、八三〇	一六五、一九八	一、六五六、一八〇	五三三、四四三	一、〇五八、五六〇	三四八、六四九	五九七、六二〇	一八四、七九四
樟脳	斤	四九、四〇〇	六四、九六三	二九五、三〇〇	三八六、六二二	五〇六、五〇一	八八八、五三三	•二一一、二〇一	•五〇一、九一一
錫	同	二二一、六七二	五〇、七二〇	九九六、四三八	三九九、三一五	三、二七三、九九四	九八〇、一〇一	•二、二七七、五五六	•五八〇、七八六
セメント	同	九、八九九、三八一	一九四、一六〇	一九、二五一、一九三	三七七、七五四	二三、八一九、七四六	五〇九、三八一	•四、五六八、五五三	•一三一、六二七
絹及絹綿織物	碼	七〇、八六五	四三、三三三	二三七、〇二八	一三〇、八八六	二五四、七二二	一五六、八二〇	•一七、六九四	•二五、九三四
貝柱	斤	一一三、三三〇	一六、四二七	四四、〇七一	五五、八五七	七七、六三八	一〇一、八九六	•三三、五六七	•四六、〇三九
苧麻	同	七五、〇六一	二六、六八六	一六一、九〇七	五四、八九二	八六、〇八三	三一、八五三	七五、八二四	二三、〇三九
紙	同	二六四、一〇七	二四、〇四九	七七五、一〇九	七〇、〇五九	一、八六〇、一六九	一五〇、一一五	•一、〇八五、〇六〇	•八〇、〇五六
芭蕉實	同	一一三、一六〇	五、二三五	二七五、二八〇	一二、六八一	一九四、〇一〇	九、〇七八	八一、二七〇	三、六〇三
其他諸品		—	五三九、一七一	—	一、四一八、四一九	—	一、七一八、一二二	—	•二九九、七〇三
計		—	二、四二五、七〇六	—	八、三四〇、〇八三	—	一〇、七五八、五二七	—	•二、四一八、四四四

◈輸入

品目		三月 数量	三月 價額	二年累計 数量	二年累計 價額	十五年累計 数量	十五年累計 價額	増減(•) 数量	増減(•) 價額
大豆油糟	斤	一九、四七〇、三四〇	八二一、一五八円	一〇一、七七九、〇七四	四、三一一、〇二二円	八五、〇五七、四二〇	四、五二六、五〇四円	一六、七二一、六五四	二一五、四八二円
米(籾共)	同	三二、八〇四、五二一	三、五六八、七八八	四八、四二一、五七五	三、七四三、四九四	一五、〇四五、六一六	一、四〇三、三九三	三三、三七五、九五九	二、三四〇、一〇一
硫酸アンモニウム	同	四、七七七、〇四三	三八五、五〇八	二四、五七八、八九七	一、九五〇、六一七	二一、二九一、五七一	二、一七一、三八七	三、二八七、三二六	二二〇、七七〇
砂糖	同	一三、七三六、二二九	一、二五〇、六八八	二八、七四〇、五三七	二、六八九、三八〇	一〇、三四八、九四二	一、二八三、六二〇	一八、三九一、五九五	一、四〇五、七六〇
大豆	同	三、九八四、七八八	二二八、六二八	九、六〇三、六六三	五五五、七五四	一、〇八七、九八五	七七六、三三二	•一、四八四、三二二	•二二〇、五七八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ガソリン	箇	二四五,三〇〇	二二五,三九八	一,一二一,六三〇	[illegible]	[illegible]	一,二四二,六四八	•[illegible]	•[illegible]
木材	立方尺	二七六,六一五	一八九,五三七	一,〇二一,四四五	七一〇,三三三	七七九,四一四	五〇二,八三八	[illegible]	[illegible]
燈油	ガロン	四一三,一三四	一八七,四〇三	九六七,〇一九	四一二,〇八二	五七九,七〇六	三二一,九八一	三八七,三一三	九〇,一〇一
鹹魚	斤	二七二,八一〇	一九,〇六七	一,二五七,九一六	九二,〇九一	七,九四三,四六一	五八八,五一八	•六,六八五,五四五	•四九六,四二七
小参	同	三,〇九八,七三七	二一,七八一	四,六九五,三七一	三一三,一一三	八,七八〇	四九八	四,六八六,五九一	三一二,六一四
阿片	同	—	—	—	—	二四,〇〇〇	五七六,〇〇〇	•二四,〇〇〇	•五七六,〇〇〇
包蓆	枚	五〇三,三四〇	六二,〇六六	一,九六六,八四〇	二三八,三三八	一,四九七,八八〇	三〇〇,〇九一	四六八,九六〇	六一,七六三
葉煙草	斤	七一八,六六三	二六一,四三四	八二〇,七八二	二九四,五八九	四二四,四四九	二五二,四八二	三九六,三三三	四二,一〇七
鐵	同	二二三,二〇七	一三,八四七	六七九,〇六七	七八,二六六	一,三〇七,九七一	一〇九,四七三	•六二八,九〇四	•三一,二〇七
綿絲	同	三五,三四一	一四,七五四	二一一,六六九	八六,三五〇	一五六,五四七	八八,一三七	五五,一二三	•一,七八七
黄麻	同	五,八七七	八六二	三四,六六四	四,〇〇〇	一,三九一,二七二	二八五,一三〇	•一,三五六,六〇八	•二八一,一三〇
禮拜紙	同	一七〇,八五五	三九,七〇五	五三七,三九四	二三六,三五一	三八九,一七五	一一七,〇三三	一四八,二二九	九,三三八
石炭	噸	一,五一八	一七,一五三	三,二九六	三七,二四五	三,五〇〇	四二,〇五〇	•二〇四	•四,八〇五
苧麻布	方碼	八一,九三九	三三,八三七	一五四,五七四	四一,四八四	一〇七,五五四	三〇,四二五	四七,〇三〇	一一,〇五九
毛織物	同	六四,五五一	七三,五八三	七二,一七五	八五,九二三	四二,六六二	七一,〇〇六	二九,五一三	一四,九一七
綿織物	同	一七三,八九七	一三〇,五一五	二〇七,六〇八	一四二,五〇五	四二,七六二	二九,六一四	一六三,八四六	一二三,八九一
陶磁器	同	—	一一,一四二	—	五五,二四三	—	七〇,七一三	—	•一五,四七〇
原油及重油	ガロン	一九六,二四〇	四〇,六六二	四六二,〇三二	九一,四八四	二五四,一二四	五九,七八七	二〇七,九〇八	三一,六九七
揮發油	同	一五,三三九	一四,〇一四	四三,九一〇	三八,六三五	七九,四五二	八九,九三七	•三五,五四二	•五一,二〇三
唐紙	斤	[illegible]五四,四六六	一四,〇五八	四七二,七八一	三九,九四一	七四〇,二七九	七四,八五〇	•二六七,四九八	•三四,九〇九
綠豆	同	四七九,〇三七	三〇,七二〇	八七八,七八六	五六,六五二	五一七,五九六	四三,二一一	三六一,一九〇	一三,四四一
錫	同	一九,四八九	三五,一八八	四一,一三〇	七三,九九四	二一,九三八	五八,一七三	九,一九二	一五,六二一
豆素麵	同	二八,五五五	九,四九二	七四,九六一	二三,六一四	一三一,八四五	四四,六六二	•五六,八八四	•二一,〇四八
胡麻子	同	一三九,八一九	二六,五四八	二四六,六八二	四四,七二三	二四五,〇〇四	四二,九四七	一,六七八	一,七七五
パラフイン、ワックス	同	—	—	一一六,三一五	二五,一四二	一三五,八六四	三四,七七五	•九,五四九	•九,六三三

品目		三月 數量	三月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
其他諸品		—	五五四、一三一	—	一、五三〇、八三八	—	一、六六八、三一八	—	•一四七、四九〇
計		—	七、三五九、六六七	—	一八、四八四、〇〇一	—	一六、九〇六、九一三	—	一、五七七、〇七八

◈移出

品目		三月 數量	三月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
			円		円		円		円
砂糖	斤	一八三、八七九、七〇〇	二五、九二一、七九〇	四一八、七三五、五五〇	五九、六一五、六九八	四七六、九四九、九三〇	六二、三九二、一七〇	•五八、二三四、三八〇	•二、七七六、四七二
米	同	三一、九三一、〇〇二	三、四〇八、八八〇	一三九、五三二、〇八二	一四、七四〇、三五九	一三二、一一四、九五〇	一三、四三六、八九五	一七、四一七、一三二	一、三〇三、四六四
芭蕉實	同	九八一七、六一五	五五一、四三五	二一、七七七、七七五	一、二〇一、七九三	一七、三五八、八一〇	八九八、七六〇	四、四一八、九六五	三〇三、〇一三
酒精	升	六〇一、八五〇	三五四、九八六	一、九九四、八八〇	一、〇七九、八八三	二、六九六、二六〇	一、四〇四、九三五	•七〇一、三八〇	•三二五、〇〇二
木材	立方尺	七六、六六二	一五八、六四三	三〇九、七九九	六五二、九八〇	四三二、五五三	八四一、七八五	•一二二、七五四	•一八八、八〇五
樟腦油	斤	五〇三、七一八	一六七、五一〇	一、三四六、四五八	五一四、五九七	一、〇三三、七〇七	六八〇、四〇七	三一二、七五一	•一六五、八一〇
鰹節	同	九、六〇三	一五、〇三三	三四、四九二	五三、四九二	八一、一七九	一二四、〇四八	•四六、六八七	•七〇、五五六
模造パナマ帽子	箇	一三一、六二〇	五五、三五〇	六四一、二二〇	三〇七、二〇〇	一、五二〇、四〇〇	五〇六、九〇〇	•八七九、一八〇	•一九九、七〇〇
鳳梨罐詰	打	六一、四四八	二四二、七二九	一八九、三五〇	七二三、五四八	八五、九六五	三一一、七一九	一〇三、三八五	四一〇、八二九
樟腦	斤	九、〇一二	一六、八〇八	二〇九、九五七	三一五、七八八	四四、三〇二	八三、七九八	一六五、六五五	二三一、九九〇
罐詰	同	七、三二一、五六三	一〇七、六六二	一七、一一六、九三三	二五八、九八五	九、三一〇、二八二	二一〇、八三三	七、八〇六、六五〇	四八、一五二
石炭	噸	七、一一七	六六、七五三	三一、二七四	三〇〇、五六六	三九、五五二	三七一、〇九七	•八、二七八	•七〇、五三一
食鹽	斤	一〇、一九八、九三〇	九二、三七五	二七、一九七、八七〇	二三八、九一三	四三、三〇七、九〇〇	三六八、八二八	•一六、一一〇、〇三〇	•一二九、九一五
鮮魚介	同	四九八、四二八	一五一、三三八	二、〇五五、四二一	六〇六、七四五	一、四四四、九三八	四七〇、三四六	六一〇、四八三	一三六、三九九
切乾薯	同	九一六、七六〇	三八、七二四	三、五六五、〇八〇	一五八、〇三一	一五、八〇〇	七九〇	三、五四九、二八〇	一五七、二四一
其他諸品		—	六四七、一八九	—	一、六九九、〇四九	—	一、五六七、七一五	—	一三一、三三四
計		—	三一、九九七、一九五	—	八二、四六六、六一七	—	八三、六七一、〇四六	—	•一、二〇四、四二九

◈移　入

品目		三月 數量	三月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(・) 數量	增減(・) 價額
綿及絹織物		—	一,二七〇,八二五	—	三,五一六,三〇〇	—	四,四八八,二九八	—	・九七一,九九八
鐵	斤	六,一七〇,八四三	六一七,三四七	一五,三八七,五六七	一,五三九,九三〇	一四,九三六,五六五	一,七六六,八一五	四五一,〇〇二	・二二六,八八五
鹹乾魚	同	四,一一七,二〇四	四四七,六五八	一五,一六〇,八五九	一,四九〇,六九二	三,九四〇,一〇三	七〇五,九〇〇	一一,二二〇,七五六	七八四,七九二
肥料	同	八,六九四,九三九	二一四,二六七	一三,八〇三,三六五	九四九,九〇六	二九,七一〇,九六八	一,五四〇,八〇〇	・一五,九〇七,六〇三	・五九〇,八九四
小麥粉	同	二,五三七,七四八	二八八,九六九	五,六四〇,七七三	六四〇,七三四	七,四九四,七五三	九五八,〇九五	・一,八五三,九八〇	・三一七,三六一
木材	立方尺	二七九,〇二三	三五四,〇六八	六九八,八八一	八二八,〇五三	七〇七,五六七	八六五,四一四	・八,六八六	・三七,三六一
紙		—	二六八,九〇五	—	七四三,三五二	—	八〇七,二二九	—	・六三,八七七
錫	斤	二〇八,四二〇	八八,五六一	一,一九七,七六九	四九二,七六五	三,六五九,六三〇	一,〇八三,一四二	・二,四六一,八六一	・五九〇,三七七
鐵製品		—	二五〇,三二九	—	六五四,一三一	—	六二九,一二六	—	二五,〇〇五
麥酒	打	五九,〇八〇	三〇一,七六三	一一三,三四〇	五七七,四三一	一〇一,二三〇	四六七,六〇九	一二,一一〇	一〇九,八二二
紙巻煙草	千箇	一〇七,六二〇	二五三,一八五	二〇六,三八〇	四七八,八〇九	三一三,八六〇	七五一,二六〇	・一〇七,四八〇	・二七二,四五一
綿類		—	一三三,九八九	—	四三三,九四五	—	五五一,一四二	—	・一一七,一九七
各種ノ罐詰		—	二〇三,四七八	—	四七七,〇五八	—	四六六,六八八	—	一〇,三七〇
ガンニー嚢	箇	一三四,四〇〇	三七七,七五六	五二六,〇〇〇	三一三,八三三	三九四,一〇〇	三二四,五五三	一三一,九〇〇	・一〇,七二〇
清酒	打	二四,八二一	二三八,一九八	五九,九二九	五四九,七七一	一八,〇〇六	一六三,八八一	四一,九二三	三八六,八九〇
メリヤス肌衣		—	七五,七二七	—	一四九,七六五	—	二〇三,〇九二	—	・五三,三二七
自轉車同部分品及附屬品		—	一五五,六六五	—	三四一,五五一	—	四〇四,七四七	—	・六三,一九六
毛織物		—	五三,九七一	—	二三〇,二九九	—	二〇八,五一五	—	二一,七八四
燐寸	哥	一三五,二五一	九七,七二三	一五五,一〇三	一八六,三九四	二八二,二九三	二九五,六六一	・一二七,一九〇	・一〇九,二六七
菓子類		—	二四,〇二〇	—	三〇五,三〇五	—	三〇二,九〇八	—	二,三九七
麥	石	二,四一九	四八,九八八	五,三九〇	一〇九,三四八	七,五一〇	一八〇,三一三	・二,一二〇	・七〇,九六五
製帽原料		—	二八,〇六六	—	八四,一七六	—	二三五,四〇八	—	・一五一,二三二
米	石	四,四四五	一三三,六一九	七,〇五二	二二一,〇九四	一〇,七八二	三五五,六九五	・三,七三〇	・一三四,六〇一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

陶磁器	—	七五、九八九	—	一六八、六二六	—	一七八、八五九	—	・一〇、二三三
砂糖　斤	八二、四〇五	二〇、三六二	三一一、〇四四	七八、六一六	七五七、八四九	一七七、〇七七	・四四六、八〇五	・九八、四六一
石鹸	—	一〇一、一四四	—	一九八、八三二	—	一六四、五四四	—	三四、二八八
醤油　石	九六九	五七、五三一	二、四三六	一四三、九九〇	二、三三六	一四六、七三〇	一〇〇	・二、七四〇
燈油及輕油　ガロン	一二五、四三〇	六〇、六三六	三九四、三一〇	一八七、六三六	四三一、〇九〇	二三四、三七五	・三六、七八〇	・四六、七三九
仕組板	—	七〇、三五五	—	一三九、〇三二	—	一七〇、八三九	—	・三一、八〇七
自動車同部分品及附屬品	—	一〇〇、二二三	—	一七三、二八六	—	一三六、〇六〇	—	三七、二二六
其他諸品	—	四、三一五、六一四	—	一〇、三五八、二三四	—	一〇、五二三、九六八	—	・一六五、七三四
計	—	一〇、五五六、八二一	—	二六、五二三、六六三	—	二九、二四四、八三二	—	・二、七二一、一六九

◈港別貿易額

港別	輸出	輸入	計	二年累計	十五年累計	増減(・)	移出	移入	計	二年累計	十五年累計	増減(・)
基隆	一、四七七、九一二円	三、九五九、五七九円	五、四三七、四九一円	一三、六一〇、九三七円	一四、八九六、七〇一円	・一、二八五、七六四円	七、六五七、三七三円	七、五三七、二二九円	一五、一九四、六〇二円	四四、四〇一、〇〇二円	四五、二三一、五五八円	・八三〇、五五六円
臺北	三〇二、四九七	四七〇、九三九	七七三、四三六	一、六八〇、〇〇九	一、四一五、〇六九	二六四、九四〇	—	—	—	—	—	—
淡水	三四、九六〇	二五七、八三七	二九二、七九七	九七三、一二三	八四〇、三四一	一三二、七八二	—	—	—	三、〇〇〇	六、〇〇〇	・三、〇〇〇
安平	三、六三六	一〇六、五九五	一一〇、二三一	三九一、一〇一	四五七、一二七	・六六、〇二六	九二、一四〇	九一七、五四一	一、〇〇九、六八一	二、七〇四、三一一	三、六九四、〇三三	・九八九、七二二
高雄	五八二、五一九	二、四九二、七五〇	三、〇七五、二六九	九、八七六、七六〇	九、八四六、五九一	三〇、一六九	二四、二四四、八三二	二、〇四三、九〇三	二六、二八八、七三九	六一、五九二、一八一	六三、五八六、九二〇	・一、九九四、七三九
其他諸港	二四、一八二	七一、九六七	九六、一四九	二九二、一五四	二〇九、六二一	八二、五三三	二、八五〇	五八、一四八	六〇、九九四	二八八、七八六	三九七、三五七	一〇八、五七一
計	二、四二五、七〇六	七、三五九、六六七	九、七八五、三七三	二六、八二四、〇八四	二七、六六五、四五〇	・八四一、三六六	三一、九九七、一九五	一〇、五五六、八二一	四二、五五四、〇一六	一〇八、九八九、二八〇	一一二、九一五、八七八	・三、九二六、五九八

金融統計

財務局金融課

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◆銀行預金貸出金殘高表

昭和二年二月末島内各銀行預金貸出金殘高左の如し

種類	金額	種類	金額	種類	金額	種類	金額
公金預金	四、五七一、七一四円	預金手形	一、八六九、四二〇円	證書貸付	三三、四四四、三二〇円	買入外國爲替	一、八六六、一〇五円
當座預金	一三、六二六、七八七	日本銀行預金	三、九六七、〇四〇	手形貸付	四四、九八九、四〇八	日本勸業銀行貸付	四六、七一六、六一五
特別當座預金	四〇、六四〇、六三八	貯蓄預金	六、二九四、〇一一	當座貸越	三、一七一、八〇八	貯蓄銀行貸付	一、三八〇、八三二
通知預金	二、六八一、三〇五	合計	一〇五、四六七、九三〇	割引手形	一九、二〇一、六九五	合計	二五九、一九九、〇九四
定期預金	二七、九二一、七四六	前月	九九、四八五、五三二	荷付爲替手形	一八、〇六七、六〇九	前月	二五四、二五三、六一〇
別段預金	三、九一五、二〇九	前年同月	一〇四、六三五、四八三	利付爲替手形	三六〇、六五二	前年同月	二九二、六八〇、九一三

備考　日本勸業銀行貸付には臺灣銀行取扱の代理貸付を含む

之を地方別に示せば左の如し

州廳別	預金	貸出金	州廳別	預金	貸出金
臺北州	五七、五七九、八二四円	一三一、九八九、一九三円	澎湖廳	四七八、七〇九円	一、六二一、四三一円
新竹州	六、六八五、二三九	二〇、二七三、二七九	臺東廳	三五七、八一四	二、六四〇、五四二
臺中州	一五、九三四、〇二八	三五、七二〇、三五八	花蓮港廳	一、一〇三、五八一	一、二二二、六四五
臺南州	一六、八五四、三五七	四六、九〇七、九九三	合計	一〇五、四六七、九三〇	二五九、一九九、〇九四
高雄州	六、四七四、三七八	二〇、二九二、六五三			

◆各銀行重要物産別放資殘高

（昭和二年二月）（單位圓）

臺灣銀行	臺灣商工銀行	華南銀行	彰化銀行	三十四銀行支店	合計	千分比	前月	千分比	前年同月	千分比

砂糖	五五,九四二,二六三	一,八二九,九六三	九二一,〇九二	一,七〇六,九九五	二,五九二,四四二	六三,〇〇二,七五五	七一八	五九,六〇五,三二八	七〇三	五七,九九六,五〇七	七〇五
米	七,一二七,三五一	一,七九三,七三一	二,三四九,七二三	一,三五八,〇五八	一,三三三,六八六	一三,九五二,五四八	一五九	一四,五四四,〇八六	一七二	一三,七七三,四一九	一六七
茶	一,五四四,六二二	三三五,一五三	六三九,七四九	—	二五,〇五五	二,五四四,五六九	二九	二,五三一,五五三	三〇	二,二七五,五五三	二八
樟腦	一九四,〇九九	—	五三九,〇〇〇	—	—	七三三,〇九九	八	六一九,〇七九	七	八八九,六〇二	一一
金塊	六〇一,三〇〇	—	—	—	一一,五〇〇	六一二,八〇〇	七	六三七,一八四	七	五四〇,九八四	七
酒精	四八,〇二五	—	—	—	一九八,二五九	二四六,二八四	三	一一九,六六九	一	二五三,二二〇	三
石炭	五,〇六六,七九一	九〇三,四〇七	四八九,五三六	九九,九二六	八二,三六七	六,六四二,〇二七	七六	六,七一四,三三三	七九	六,四八六,八九〇	七九
合計	七〇,五三四,四四一	四,八六二,二五四	四,九四九,〇九九	三,一六四,九七九	四,二二三,三〇九	八七,七三四,〇八二	一,〇〇〇	八四,七六一,〇一三	一,〇〇〇	八二,二一六,一六五	一,〇〇〇
千分比	八〇七	五五	五六	三六	四九	一,〇〇〇	—	—	—	—	—
前月	六七,七三六,三五一	五,四六八,〇一八	四,六三七,七八〇	三,二二五,八八七	三,七〇二,九七六	八四,七六一,〇一三	—	—	—	—	—
千分比	七九九	六四	五五	三八	四四	一,〇〇〇	—	—	—	—	—
前年同月	六五,二一九,七九〇	五,四三八,五七九	三,九八三,〇二〇	四,二二一,三八二	三,三六三,三九四	八二,二一六,一六五	—	—	—	—	—
千分比	七九三	六七	四八	五一	四一	一,〇〇〇	—	—	—	—	—

◈各銀行重要物産別放資總額及累計（昭和二年二月）（單位圓）

	臺灣銀行	臺灣商工銀行	華南銀行	彰化銀行	三十四銀行支店	合計	前月	前年同月	本年本月迄累計	前年本月迄累計
砂糖	二三,七七六,七七七	二五一,〇二八	一九七,二二八	一四七,二四三	一,三八八,五六六	二五,七六〇,八四二	一九,九六八,八四一	三三,四四七,六七九	四五,七二九,六八三	四四,一七六,二〇六
米	三,二六四,八四六	一,八三五,〇一九	二,六六八,〇〇三	九三六,九六六	五九八,〇四一	九,三〇二,八七五	二,九九一,二〇九	八,七三八,四八二	一二,二九四,〇八四	一二,五八二,三六八
茶	一六三,一七五	一四三,五三五	二六九,九〇五	—	一二,五〇五	五八九,一二〇	六〇四,三一三	六七三,六三四	一,一九三,四三三	一,三四三,三六八
樟腦	一七九,八〇〇	—	二五九,〇〇〇	—	—	四三八,八〇〇	二九三,八六一	五五五,二一八	七三二,六六一	一,三〇〇,六六九
金塊	五六四,九〇〇	—	—	—	一一,五〇〇	五七六,四〇〇	一三〇,〇〇〇	五三三,一八四	七〇六,四〇〇	一,〇一八,八六八
酒精	二七,九四〇	—	—	—	四一八,二八二	四四六,二二二	一五,六〇〇	一九三,七八二	四六一,八二二	三一一,二一〇
石炭	一,一四七,三〇九	七四,六六五	一三,二五一	八五,一二四	五二七	一,三二〇,八七六	二,八八六,九六八	二,九四九,七二〇	四,二〇七,八四四	四,九七六,九九〇

合計	二九、一二四、六四七	二、三〇四、三二七	三、三九七、三七六	一、一六九、二三二	二、四〇五、四七一	二八、四二一、〇六九	三五、九六八、六〇〇	三五、八九一、五九〇	七四、三八七、六六五	七四、五九二、八八七
前月	二三、七八一、三三二	三、五四九、六二四	四、二一八、九〇一	二、〇五八、六三五	二、三五八、一〇八	三五、九六六、六〇〇	—	—	—	—
前年同月	二六、六五二、八六〇	一、七四一、六一四	三、七三二、三〇二	一、六六七、九三六	二、〇九六、八七八	三五、八九一、五九〇	—	—	—	—
本年本月迄累計	五三、九〇五、九七九	五、八五三、八六一	七、六六一、六二七	三、三三七、九六八	四、七八三、五八〇	七四、三八七、六六五	—	—	—	—
前年本月迄累計	五二、七九六、〇一九	三、五八〇、三五三	九、九八六、九七〇	四、二二七、〇五〇	四、〇二二、四九五	七四、五九二、八八七	—	—	—	—

◈銀行別重要物産放資残高

（△印ハ減）

銀行名	昭和二年二月末	前月末	増減
臺灣銀行	七〇、五二四、四四一円	六七、七三六、三五一円	二、七八八、〇九〇円
商工銀行	四、八六二、二五四	五、四六八、〇一八	△六〇五、七六四
華南銀行	四、九四九、〇九九	四、六三七、七八〇	三一一、三一九
彰化銀行	三、一六四、九七九	三、二一五、八八七	△五〇、九〇八
三十四銀行	四、二三三、三〇九円	三、七〇二、九七六円	五三〇、三三三円
合計	八七、七三四、〇八二	八四、七六一、〇一二	二、九七三、〇七〇
前年同月	八二、二一六、一六五	—	—
増減	五、五一七、九一七	—	—

◈重要物産別銀行放資残高

（△印ハ減）

品名別	昭和二年二月末	前月末	増減
砂糖	六三、〇〇二、七五五円	五九、六〇五、二一八円	三、三九七、五三七円
米	一三、九五二、五四八	一四、五四四、〇八六	△五九一、五三八
茶	二、五四四、五六九	二、五三一、五五三	△一三、〇一六
樟脳	七三三、〇九九	六一九、〇七九	一一四、〇二〇
金塊	六二三、八〇〇円	六三七、一八四円	△一四、三八四円
酒精	四六二、七八四	一九六、六六九	二六六、一一五
石炭	六、六四二、〇二七	六、七一四、二二三	△七二、一九六
合計	八七、七三四、〇八二	八四、七六一、〇一二	二、九七三、〇七〇

◆銀行別重要物産放資額累計 (△印ハ減)

銀行別	昭和二年二月迄累計	前年同月迄累計	増減
臺灣銀行	五二、九〇五、九七九円	五二、七九六、〇一九円	一〇九、九六〇円
商工銀行	五、八五三、八六一	三、五八〇、三五三	二、二七三、五〇八
華南銀行	七、六二六、三一七	九、九九六、九七〇	△二、三七〇、六五三
彰化銀行	三、三二七、九六八円	四、三二七、〇五〇円	△九九九、〇八二円
三十四銀行	四、七八三、五八〇	四、〇一二、四九五	七七一、〇八五
合計	七四、三八七、六六五	七四、五九二、八八七	△二〇五、二二二

◆重要物産別銀行放資額累計 (△印ハ減)

品名別	昭和二年二月迄累計	前年同月迄累計	増減
砂糖	四五、七二九、六七三円	四四、一七六、二〇六円	一、五五三、四六七円
米	二、二八〇、〇八三	二、五八二、三六八	△三〇二、二八五
茶	一、二七三、二八一	一、三二五、六二六	△五二、三四五
樟腦	七三二、六六一	一、二〇〇、六一九	△四六七、九五八
金塊	七〇六、四〇〇円	一、〇一八、八六八円	△三一二、四六八円
酒精	四六一、八三三	三一二、二一〇	一四九、六二三
石炭	四、二〇三、七四四	四、九七六、九九〇	△七七三、二四六
合計	七四、三八七、六六五	七四、五九二、八八七	△二〇五、二二二

◆島内各銀行内外爲替取組高表 (昭和二年二月中) (單位圓)

(其ノ一)

摘要	収入					
	島内		内地		外國	
	口数	金額	口数	金額	口数	金額
送金爲替	二三、五九五	二九、一〇四、三六四	三、六八五	二二、七一〇、一二八	四一四	一三八、二〇四
割引・手形	五、四八八	二、七六六、二七一	一、五〇四	一、一七五、〇八七	三	五〇、四七八
荷付爲替手形	一、三三三	九、六六六、九八五	一、八三四	三、五四五、三二五	五〇	七八八、二三四

買入外國爲替	—	—	—	—	七二	六〇六、二九二
利付爲替手形	—	—	—	—	—	—
代金取立	一二、五五八	四、〇一九、三二八	八、六〇五	二、九四六、四一六	四〇	八四、八四八
計	四一、八六四	三六、八五六、八四九	一五、六二八	二〇、三七六、八四六	五七九	一、六八八、〇七
前月	五一、〇九三	四二、五七九、六五八	一五、〇一三	一九、四一〇、一二七	一、〇四六	二、三二一、五五八
前年同月	四三、〇七二	三九、八二四、三九四	一五、〇二〇	一八、六九八、九二三	五四八	一、七三九、二七〇
本年本月迄累計	九二、九五七	七九、四三六、五〇七	三〇、六四一	三九、七八六、九七三	一、六二五	三、八九九、六三五
前年同月迄累計	八六、三三二	七八、七九九、一八九	二八、七七〇	四二、一八一、八九五	一、二六九	四、三五一、五〇一

（其ノ二）

摘要	支出						收超過		
	島內		內地		外國				
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	島內	內地	外國
送金爲替	二四、七九八	二八、九六五、四三二	一、七三八	七、七八一、四八六	八三二	一、〇七七、七九六	二三八、九四三	四、九二八、六三三	△九三九、五九二
割引手形	四、九二五	二、八三六、六四六	六九	一、七四五、七三五	—	—	△六〇、三七四	△五七〇、六三八	五〇、四七八
荷付爲替手形	九五三	七七一、五三〇	一、〇五三	一四、七七六、三三九	—	—	一九五、四六五	△一一、三三一、〇一四	七八八、二五四
買入外國爲替	—	—	—	—	二四	一八六、九九五	—	—	五〇七、五九八
利付爲替手形	—	—	—	—	三九	二三一、八七六	—	—	△二三一、八七六
代金取立	九、三九四	三、三二八、五二八	七八一	三八八、九七三	三七	三二、三九三	七〇〇、七二〇	二、五五七、四四四	五三一、五五五
計	三九、〇六〇	三五、八八二、一〇五	三、六三〇	二四、六九二、四三三	九三二	一、四五九、六六〇	九七四、七四四	△四、三一五、五七六	二三八、四一七
前月	四四、九三七	三九、五一三、三八九	四、二八九	三三、八九七、三五六	六七六	一、三五八、二四四	三、〇六七、三六九	△三、四八七、三三九	九五三、二二四
前年同月	四一、七九二	三六、四二四、三〇八	三、七九七	二五、七一七、六六六	六三三	一、五二一、一三四	三、四〇〇、一八六	△七、〇一八、七四四	三三八、一三六
本年本月迄累計	八三、九九七	七五、三九四、三九四	七、九一九	四七、五八九、七七八	一、五九七	二、七一七、九〇四	四、〇四二、一一三	七、八〇二、八〇五	一、一八一、七三一
前年同月迄累計	八四、四五六	七三、六八〇、一七一	七、二二一	四八、八八六、五三八	一、三七一	二、八二七、三八二	五、一一六、〇一八	△六、七〇四、六三三	一、四四四、一一九

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

◈臺北物價指數表（昭和二年三月末）

品目	本月	前月	前年同月
白米（一）	二三五・四六	二四四・一八	二五二・九〇
玄米（一）	一八五・〇八	二〇三・五〇	二一六・六六
清酒	三二一・四二	三二一・四二	三二一・四二
麥酒	一七二・〇〇	一七二・〇〇	一六四・〇〇
紅酒	三三三・三三	三三三・三三	三三三・三三
澤庵漬（十）	二一一・一一	一九二・五六	一七九・四八
小麥粉	一五五・四七	一五五・四七	一七四・三三
砂糖（一）	一三六・六七	一三九・一四	一二八・二一
鰹節	二〇七・八一	二〇七・八一	二〇七・八一
味噌	一三八・四六	一三八・四六	一五八・四六
醬油	一五六・八一	一五六・八一	一七〇・四五
鷄卵	二二二・八五	二二二・八五	二三四・二八
火油	一三五・八九	一三五・八九	一六九・一三
鹽	一四〇・九一	一四〇・九一	一四〇・九一
煙草	一八〇・〇〇	一八〇・〇〇	一八〇・〇〇
烏龍茶	七九・六九	七九・六九	七七・七九
包種茶	一三四・四八	一三四・四八	一三八・九三
白木綿（一）	一三八・八八	一五〇・七九	一九〇・四七

品目	本月	前月	前年同月
綿布（一）	二二七・七一	二三二・五二	一四八・一九
洋紙	一六九・五六	一六九・五六	二〇八・六九
日本紙	二三三・三三	二三三・三三	二三三・三三
杉板	一六六・六六	一六六・六六	一九四・四四
杉材	一七五・〇〇	一七五・〇〇	一八七・二一
洋鐵	一五〇・〇〇	一五〇・〇〇	二〇〇・〇〇
鉛	一五〇・〇〇	一五〇・〇〇	一三八・七七
銅	一二九・五九	一二九・五九	二〇八・七〇
煉瓦	二〇八・七〇	二〇八・七〇	一〇〇・〇〇
日本瓦	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一五〇・〇〇
板硝子	一一八・七五	一一八・七五	一七六・四七
セメント	一八五・二九	一八五・二九	二二七・一六
燐寸	二二七・一六	二二七・一六	一六八・一八
石油	一四二・九五	一四二・九五	一三七・五〇
石炭	一六二・五〇	一五〇・〇〇	三四七・三三
木炭（十）	二五三・三三	二五三・三三	二四二・八五
薪	二五七・一四	二五七・一四	一八八・三一
平均（一）	一七八・三九	一七八・八三	ト

備考　本表は大正三年七月の物價を一〇〇として計算せり（十）印は騰貴（一）印は低下を示す

□平均指數五箇年對照表

月　次	昭和二年	十五年	十四年	十三年	十二年
一月	一七八・四〇	一九〇・七九	二〇三・三三	一九一・八一	一九一・六四
二月	一七八・八三	一九〇・九五	二〇三・二〇	一九一・九四	一九五・三二
三月	一七六・三九	一八八・三一	二〇〇・六〇	一九一・三二	一九六・〇六
四月	―	一八八・二五	二〇〇・三三	一九一・五九	一九六・〇一
五月	―	一八六・〇二	一九二・五〇	一九四・一六	一九五・二七
六月	―	一八五・二〇	一九二・八七	一九二・七六	一九五・〇七
七月	―	一八五・一一	一八五・一〇	一九一・六一	一九〇・八六
八月	―	一八四・六六	一九五・二七	一九三・九二	一九〇・五六
九月	―	一八三・三五	一九五・六三	一九八・二〇	一九二・〇四
十月	―	一八二・五四	一九二・三八	二〇二・四一	一九〇・三三
十一月	―	一八一・五九	一九三・一六	二〇五・〇二	一九二・三八
十二月	―	一八〇・〇七	一八九・七四	二〇三・一三	一九二・六六

□各年月ヲ一〇〇トセル本月平均指數

基礎年月	二年二月	十五年三月	十四年三月	十三年三月	十二年三月
本月平均	九九・七五	九四・七三	八八・九二	九三・二四	九〇・九八

大正十四年度各州及廳地方費決算に就て

内務局地方課

大正十四年度各州及廳地方費決算は左表の通りで之を同年度當初豫算に比較すれば

歳　入

歳入總計決算額は一六、五三四、三七〇圓にして之が豫算額一三、六五八、〇六九圓に比し二、八七六、三〇一圓の増加である。今其の重なるものに付説明すれば

經常部

經常部歳入豫算一〇、四〇三、八八一圓に對し決算一一、八〇五、七七五圓で差引一、四〇一、八九四圓の收入増加である内譯は州税決算額九、四四二、二三六圓は豫算八、二九八、五九〇圓に對し一、一四三、六四六圓の増加にして地租附加税二四、〇五〇圓、所得税附加税九二、一八一圓、營業税七一〇、四一四圓、雜種税三一八、三〇五圓の増加なり。是等増加の重なる理由は重要農産物の豊饒就中蓬萊米の増收竝甘蔗及蕉實菓の増收等に因り農村一般に活氣を呈し購買力を増加し惹て一般商工界に好影響を與へたると自轉車其他諸車の増加、農村の好況に伴ふ屠殺頭數増加に依る屠畜税の増收等重なる原因と思料せらる。戸税に於ては一、三〇六圓減少である。右の外の收入に於ては財産收入一〇、四二四圓雜收入二四七、九四四圓増加であるが雜收入の増加は授業料及使用料の増加が重なるものである。

臨時部

臨時部歳入は豫算三、二五四、一八八圓に對し決算四、七二八、五九五圓で一、四七四、四〇七圓の増加であるが之は前年度に於ける自然増收竝諸工事未濟の爲め繰越及歳出節約に依り生じたる剩餘金の増加により繰越金一、四二〇、九八八圓の増加が重なる原因である。但し前記諸工事未濟の爲め繰越金は二二、四四二圓にして之は次年度に於て工事完成と共に支拂を要するものとす。

歳出

歳出總計決算額一三、二八〇、九二三圓は豫算一三、六五八、〇六九圓に比し三七七、一四六圓の減少であるが右は行啓竝傳染病流行等に因る突發的支出を要したる不拘全般に亘り極力支出を節約したる結果に外ならず

經常部

經常部歳出決算額一〇、二三二、一六六圓は豫算一〇、六四二、四一〇圓に比し四一〇、二四四の減少にして其の內容の重なものは廳費に於て二一、〇〇四圓、郡役所費竝廳地方費に屬する役場費二九、九三六圓（役場費には增減なし）土木費二九、八四四圓、教育費六二一、九三三圓、協議會費七、九一五圓、財產管理費、財產造成費五、三八六圓屠場管理費五、三八〇圓水道費三、一五八圓、水利改良費二、一六五圓諸支出金六八、九三七圓は何れも減少にして更に豫備費金額不用に歸したるも、衞生病院費に於て天然痘及コレラ、流行性腦脊髓膜炎等の傳染病發生に依り六、〇七五圓、勸業費に於て各項目に於て節約せるも博覽會出品費及民林監督獎勵費等の爲一、二二五圓、地方改良（社會教化費を含む）社會事業費六六九圓、州稅廳地方費稅取扱費は州稅增收に伴ふ交附金の增加の爲一一、七五二圓何れも增加したる爲めにして是等は何れも豫算追加更正又は豫備費補充を爲したり。

臨時部

歳出臨時部決算三、〇四八、七五七圓は豫算三、〇一五、六五九圓に比し三三、〇九八圓增加なり其の內容に於て。

郡役所營繕費に於て廳舍新營を見合はせたるもの及工事繰越等の爲七〇、九四四圓、勸業費に於て展覽會出品費、民林監督獎勵費等の豫算追加ありたるも、一般經費の節約及事業休止等の爲剩餘あり差引二、八四五圓は何れも減少であるが營繕土木費に於て營繕工事の計畫變更、災害復舊、治水堤防費竝港灣費等は於て二〇、五二四圓、衞生病院費に於て科目組替によるもの及ペスト防遏設備竝傳染病流行等に因り一五一、二一七圓、補助及寄附に於て豫定の如く支出を要せざるものありしに不拘教育補助、勸業補助市街庄補助等年度央に於て

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

支出を要するものありて九、六二三圓奉迎費は行啓に伴ふ諸費にして是等何れも増加したる結果總額に於て前記の通り増額を示したるものにして是等は何れも豫算追加更正又は豫備費補充等に因り支辨したり。

大正十四年度各州廳地方費歳入歳出決算調

歳入經常部

科目	臺北州	新竹州	臺中州	臺南州	高雄州	廳地方費	計
州税	円 二、三九三、九三三・六八	円 一、三九八、五一六・二三	円 一、九一七、〇五一・七四	円 二、一八一、九九一・八一	円 一、四七六、一七二・〇二	円 一七四、五八一・二六	円 九、四四二、三三六・六三
地租附加税	四〇〇、四四八・〇八	三六七、三四一・八〇	五四一、六六四・三三	四六二、〇六八・六八	三四七、八七一・三三	四四、四三五・五五	二、一六三、八二九・七六
所得税附加税	四一、六〇一・六九	九、六〇四・六一	五八、四三三・一七	七九、七九八・七九	六〇、五八一・七四	三、五八〇・六一	二五三、六〇〇・六一
戶税	八六、四七五・六一	四〇七、八〇三・九三	二五九、三七三・四一	三一五、八二一・〇一	一四三、三三九・〇七	一一、八二四・二〇	一、二三四、六一六・三三
營業税	一、一六六、一八四・九六	三三四、四〇五・九八	五三七、〇四六・九二	六一七、四五八・八一	四三三、〇九七・八七	六九、九五七・六六	三、〇二八、一五三・二〇
物品販賣業税	五七七、六九三・三八	一四〇、六五六・六七	二五一、三七七・六九	二五二、二三六・一一	一四七、八二四・三三	三一、九八三・八八	一、四〇一、六六一・九六
銀行業税	五四、〇三二・一〇	五、〇五一・二〇	一五、五六三・四一	一二、九五六・〇三	六、七九五・九三	一、四五四・六九	九四、八四三・三六
保險業税	二、〇九二・四七	—	—	—	—	—	二、〇九二・四七
無盡業税	六七四・二一	一四七・七〇	二七四・三一	二〇六・三四	一三四・四六	—	一、四三七・〇二
貸付業税	三六、四〇〇・八五	六、一六九・三六	一九、七六一・九三	二三、一四四・七二	一七、七九〇・二一	一、六〇七・六三	一〇三、八七四・七〇
請負業税	四四、四五〇・三三	七、一九六・一六	一五、三一五・四七	一六、九〇七・一一	一一、九一三・三三	二、七五六・五六	九八、五三八・七五
鑛業税	二、六五一・三八	一、〇一六・八四	—	—	—	七〇〇・七〇	三、三六八・九二
印刷業税	七、三五四・五五	三八六・一〇	一、〇三三・五五	一、一三九・九三	五八二・六五	二〇四・七〇	一〇、七〇〇・二八
寫眞業税	一、四三六・一六	一〇一・一六	三七〇・〇八	四八五・一〇	三七二・七二	一七九・〇八	二、九四四・三〇
製造業税	一七五、八九〇・九四	四四、八八八・〇八	一六一、二九九・一八	二四〇、五〇七・四七	一五一、五九四・一〇	一八、〇四〇・六〇	七九二、三三〇・三六
倉庫業税	九六九・九三	三〇・二六	六五・六二	九八・〇〇	六六七・七六	一六・〇〇	一、八四七・五七
周旋業税	二、九一八・〇〇	二〇七・四八	一三五・三八	二六五・六八	二一七・〇〇	一一〇・〇〇	三、八五三・五四

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

代理商業税	一一、三四八・二二	三三二・八四	六八三・三一	一、三九四・〇〇	三、三〇四・八六	四四二・〇六	一六、三三九・一九
仲立業税	二、六四〇・九六	九一・二八	二七一・三一	三二一・三九	三七六・六〇	—	三、六九二・五五
問屋業税	三〇、七五八・四九	三二七・六四	一一、二〇三・三六	七、九〇五・六二	三、六三八・〇四	六・二五	五二、七三九・四〇
信託業税	六〇三・四四	—	六・七二	—	九二・八九	—	七〇三・〇五
周旋業税	九・〇〇	—	—	一三三・四〇	—	—	一三一・四〇
席貸業税	一四七・八二	—	—	—	—	—	一四七・八二
貸座敷業税	二五、九〇六・九六	一五・五〇	五、五九八・一四	一三、〇八六・九一	一〇、六四二・六二	二、一二八・五九	五七、三八八・七二
旅人宿業税	一一、五四二・八八	二、一九九・三三	五、六五九・二一	五、五三一・一六	三、三六五・九三	一、八三一・四八	三〇、〇三〇・八八
料理店業税	二七、六八九・九四	二、五八三・一〇	一〇、三三四・七〇	一九、〇八八・八三	一七、一一五・八四	四、一六六・八九	九〇、八六九・三〇
飲食店業税	一四、一二七・九七	三、一五八・六六	四、九一六・六六	五、一八七・三四	四、五五八・四五	一、一一六・九九	三三、〇六五・七七
雜種税	六九、二二三・三四	二八九、三四九・八〇	五三〇、五四四・九一	七〇六、八五四・五二	五〇一、二九二・〇二	四四、七八三・二四	二、七七二、〇三七・八三
湯屋業税	五六〇・〇〇	六〇・〇〇	一〇三・〇〇	一四五・八〇	一五六・〇〇	六三・二五	一、〇八七・〇五
理髪業税	三、二八四・三〇	二、〇四九・〇〇	三、五四三・〇〇	三、五九一・〇〇	二、七五〇・五〇	四五四・五〇	一五、六七二・三〇
私法人建物税	三六、六五五・五六	五、七八九・〇三	一三、九七三・〇七	二三、九一六・七三	二三、九七四・六三	二、二〇三・〇四	一〇四、五一三・〇六
船筏税	九八一七・六五	九一五・一一	六八一・八九	二、一六四・三一	二、三〇七・三六	三七〇・六八	二六、一五七・三〇
車税	八四、五一三・六四	二七、〇四七・二五	九七、〇三〇・五五	一七四、一四一・四〇	一四六、二九九・四五	二三、五五七・六五	五五二、五八九・九四
自動車税	一、九六五・五〇	五六〇・〇〇	九三五・〇〇	五一七・五〇	八五三・五〇	一三一・五〇	四、九六二・〇〇
轎税	一、一〇三・七四	一、〇一七・〇〇	二、〇一三・〇〇	二、〇〇七・四五	一、一〇三・五〇	—	七、二四三・六九
遊藝師匠税	一六〇・〇〇	二四・五〇	五七・〇〇	一三三・七五	九〇・〇〇	—	四五五・二五
遊藝稼人税	六九九・〇〇	九六・二五	四五八・七五	二九三・五八	二七八・七五	六・七五	一、八三三・〇八
俳優税	六四一・七八	八八七・五〇	五六二・五〇	四四三・二五	一六〇・〇〇	—	二、六九五・〇三
藝妓税	二七、四九八・〇〇	一、八九九・〇〇	六、八四六・〇〇	二五、一〇三・三〇	一六、四三三・〇〇	四、一一四・九〇	八一、八八三・三〇
幇間税	二九・〇〇	—	—	一三・〇〇	—	—	五一・〇〇
遊技場税	一、〇四九・七〇	二〇三・五〇	七六五・五〇	八一一・五〇	一、〇九八・五〇	一五八・〇〇	四、〇八五・七〇
興行税	三、七六七・〇〇	一、四〇九・三〇	二、三九九・一〇	二、九八四・九〇	一、八七七・九〇	五〇一・〇〇	一二、九三九・一〇

特別所得税	一二,六三四·四九	二二二·四三	五〇一·三〇	一三,八一五·八〇	一,九六三·〇一	—	二七,二二七·〇三
遊興税	一四六,〇〇七·七八	五,一六〇·二三	二,九七五·一九	四六,八八三·五五	三七,一九二·三三	一三,三二一·九七	二七〇,四四一·〇四
屠畜税	三六九,八一六·二〇	二四二,〇二〇·八〇	三七九,七〇一·〇六	四一〇,八九〇·七〇	二五五,八六六·四〇	—	一,六五八,二九五·一六
市場税	—	—	—	九·〇〇	—	—	九·〇〇
分賦金	八七,四五四·〇〇	—	一六〇,〇〇〇·〇〇	一四六,四二四·〇〇	八一,二七〇·〇〇	—	四七五,一四八·〇〇
分賦金	八七,四五四·〇〇	—	一六〇,〇〇〇·〇〇	一四六,四二四·〇〇	八一,二七〇·〇〇	—	四七五,一四八·〇〇
財産収入	五七,二二〇·五〇	六,一六六·七三	九,六七六·九二	二〇,五五七·五七	三三,九一九·四六	一三,八四九·六一	一三〇,三九〇·七九
不動産収入	五七,二二〇·五〇	六,一六六·七三	九,六七六·九二	二〇,五五七·五七	三三,九一九·四六	一三,八四九·六一	一三〇,三九〇·七九
土地貸下料	一三,九七六·〇二	六,一六六·七三	九,六七六·九二	一九,八四九·三八	八,六二一·二〇	一三,八四九·六一	七一,一三九·八六
家屋貸下料	四三,二四四·四八	—	—	七〇八·一九	一四,二九八·二六	—	五九,二五〇·九三
雑収入	五五一,三六三·二八	二〇〇,九九一·〇九	三二六,〇三四·六〇	三四九,四二四·二七	二二六,八八二·四七	一二三,三〇四·五〇	一,七五八,〇〇〇·二一
雑収入	五五一,三六三·二八	二〇〇,九九一·〇九	三二六,〇三四·六〇	三四九,四二四·二七	二二六,八八二·四七	一二三,三〇四·五〇	一,七五八,〇〇〇·二一
授業料	一〇九,〇三五·〇〇	一四,四〇四·〇〇	四一,〇一五·〇〇	五八,三三七·四〇	一四,七二三·〇〇	七,七六五·一〇	二四五,二七八·五〇
使用料	二五九,四七五·六一	一〇七,四四六·六五	一四三,八二九·九四	二八,七七一·六九	二二四,〇六五·七八	五六,二〇八·五二	九〇九,七九八·一九
手数料	六〇,八九八·三三	五八,〇〇七·九八	一〇〇,〇二四·六九	三,六三一·七二	三三,九〇五·六五	四一九·三〇	二七四,八八七·五六
利子	四三,一八八·八二	一五,五三五·九〇	一四,〇六三·三五	九,五四六·三二	六,九三二·九七	四〇,八七〇·三五	一三〇,二二七·七一
賠償弁償金	八五·七六	三九五·六三	三六·〇〇	一,二九五·三五	—	—	一,八二二·七四
州吏員及職員納金	四〇六·九七	一九八·三七	四二八·六〇	三三七·六五	二七三·四五	一一七·〇九	一,七六二·一三
中等学校生徒委託料	三三,七九六·〇〇	一,五四九·〇〇	五,五七七·〇〇	二五,四五二·〇〇	一,四八八·〇〇	—	六七,八六三·〇〇
不用物品売払代	二,五七一·五五	—	—	一,一〇六·四四	九五·五四	—	三,七七三·五三
製作品及生産物売払代	一六,一二八·八〇	—	二,九八三·二九	四,六八〇·八一	四,七〇四·八四	—	二八,四九七·七四
延滞金	二〇,六〇〇·七八	九〇一·〇三	一,九二四·二八	六,六四〇·四二	一,八二〇·四八	—	三二,八八六·九九
雑入	五,一七五·七七	二,二五八·八六（補助金返納ヨリ）	一〇,七八〇·五九（〃）	六二三·四七（特別会計繰入金アリ）	一六,四七二·七五	二,一三三·六七	三七,四四四·二一
貸下料	—	二九三·六七	—	—	—	—	二九三·六七
過年度収入	—	—	五,三七一·八六（税三,九八五·一八）	—	—	—	五,三七一·八六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

科目	臺北州	新竹州	臺中州	臺南州	高雄州	廳地方費	計
埤圳水權讓渡代	—	—	—	—	一三、五〇〇・〇〇	—	一三、五〇〇・〇〇
償金積立金利子	—	—	—	—	九二一・〇一	—	九二一・〇一
水道雜收入	—	—	—	—	—	五、七九一・四七	五、七九一・四七
經常部計	三、〇八九、六六一・四六	一、五〇五、六七三・九四	二、四二三、七六三・二六	二、六九八、三九七・六五	一、七九七、二四三・九五	三〇一、七三五・三七	一一、八〇五、七七五・六三

歳入臨時部

科目	臺北州	新竹州	臺中州	臺南州	高雄州	廳地方費	計
繰越金	一、一四七、五九五・五〇円	四六〇、四四四・三六円	五一〇、一一〇・五八円	四八七、六八三・七二円	三五四、八五八・一四円	五〇四、九七六・三三円	三、四六五、六六八・五三円
前年度繰越金	一、一四七、五九五・五〇	四六〇、四四四・三六	五一〇、一一〇・五八	四八七、六八三・七二	三五四、八五八・一四	五〇四、九七六・三三	三、四六五、六六八・五三
國庫補助金	一〇五、七八六・八一	二四、四五一・五三	四二、二一八・二五	七一、一一一・九二	一〇八、七〇二・〇〇	七六九、九〇〇・〇〇	一、一三一、一七〇・五一
教育費補助金	三、五二一・〇〇	—	七五六・〇〇	—	—	—	四、二七七・〇〇
衛生費補助金	七六、一四五・〇〇	一一、〇三六・〇〇	二七、二〇七・〇〇	五六、七二九・〇〇	一九、九七二・〇〇	—	一九一、〇八九・〇〇
勸業費補助金	二〇、一四〇・八一	九、一八五・五三	八、四八〇・二五	八、〇八二・九二	四、二三〇・〇〇	—	五〇、一〇九・五一
社會事業費補助金	六、〇〇〇・〇〇	四、二三〇・〇〇	五、七七五・〇〇	六、三〇〇・〇〇	四、五〇〇・〇〇	—	二六、八〇五・〇〇
經費不足補助金	—	—	—	—	八〇、〇〇〇・〇〇	七六九、九〇〇・〇〇	八四九、九〇〇・〇〇
特別會計繰入金	—	—	八三、七二一・七九	—	—	—	八三、七二一・七九
繰入金	—	—	八三、七二一・七九	—	—	—	八三、七二一・七九
財產賣拂代	三、二〇九・二六	五九八・五〇	—	三、三三八・五六	三、九九八・六一	二二、五六三・二一	三三、六〇八・二四
不動產賣拂代	三、二〇九・二六	五九八・五〇	—	三、三三八・五六	三、九九八・六一	二二、五六三・二一	三三、六〇八・二四
寄附金	二三、二〇〇・〇〇	—	—	—	二二六・〇〇	—	二三、四二六・〇〇
寄附金	二三、二〇〇・〇〇	—	—	—	二二六・〇〇	—	二三、四二六・〇〇
臨時部計	一、二七九、七九一・五七	四八五、四九四・三九	六三六、〇五〇・六二	五六二、〇三四・二〇	四六七、七八四・七五	一、二九七、四三九・五三	四、七二八、五九五・〇七
歳入合計	四、三六九、四五三・〇三	一、九九一、一六八・三三	三、〇四八、八一三・八九	三、二六〇、四三一・八五	二、二六五、〇二八・七〇	一、五九九、一七四・九〇	一六、五三四、三七〇・七〇

歳出經常部

科目	臺北州	新竹州	臺中州	臺南州	高雄州	廳地方費	計
	円	円	円	円	円	円	円
神社費	—	二、五六二・〇〇	五、〇六二・〇〇	五、一二四・〇〇	—	—	一二、七四八・〇〇
廳費	二〇三、七五七・七九	一二六、九九三・五六	一六五、三一六・八七	一二四、二六三・七六	一〇三、五六二・〇一	一〇三、〇八六・八九	八〇四、九八〇・八八
事務費	四八、二九八・六五	一四、五四四・七二	二八、六四〇・二八	一九、二六三・八一	二三、三三九・〇八	二七、一一三・三二	一五八、一八九・八六
俸給及諸給	一三五、六五七・九二	七〇、八〇六・三二	一二〇、五五一・一五	七五、八九七・七一	五二、三七八・八一	五二、二七四・六七	四八七、五六六・七七
旅費	一九、八六五・二四	一六、四四三・〇八	一三、九〇七・一三	七、五六二・八四	一九、一九八・八一	一五、九六一・二五	九二、九三八・二四
給與金	一一〇・〇〇	—	—	—	—	—	一一〇・〇〇
修繕費	二、六三三・七四	九、八〇〇・九八	七、〇〇八・二三	四、〇二二・六八	一、四六八・七八	四、五三八・三六	二九、四六二・四六
公費	七、一九二・二四	五、三九八・四七	七、二〇〇・〇〇	七、五三七・一三	七、一八六・五三	二、一九九・二九	三六、七一三・六五
郡役所費	九五、六四四・六七	六二、八八八・九七	九三、九四八・二一	一二一、九〇七・四七	六三、五〇一・三三	—	四三七、八九〇・六五
事務費	一八、一九七・五〇	一二、九七五・三一	一九、二六一・八八	三三、二四三・八八	一三、六六九・〇二	—	八四、三四八・三九
俸給及諸給	五七、三八三・四二	三七、三七八・二九	五一、三八二・六四	五八、九二八・六二	三六、三三九・〇四	—	二四一、四〇二・〇一
旅費	一五、八五一・六四	一〇、七一七・九九	一七、九二〇・二八	二七、三三七・六一	一一、七〇七・六七	—	八二、五三五・二九
給與金	—	—	—	—	—	—	—
修繕費	四、二一一・二一	二、八一七・五八	五、三七三・二一	三、四〇七・六六	二、七九五・六〇	—	一八、六〇四・七六
土木費	六二、九三二・八六	五四、二三三・六八	三一、六〇二・八二	六八、七〇五・二〇	六二、二九〇・七三	—	二七八、七六三・八九
道路橋梁費	五八、〇三三・四〇	四八、九六〇・八五	二五、五二四・九〇	六六、八九七・五八	五〇、六四五・九九	—	二五〇、〇四二・七二
測量費	一、六九八・四六	一、八八一・四五	一、八三〇・五九	九四九・六二	二、四〇四・七四	—	八、七六四・八六
治水堤防費	二、三二〇・〇〇	一、七九〇・九八	四、二四七・二三	—	八、〇四〇・〇〇	—	一六、二九八・三二
渡船費	—	一、六〇〇・〇〇	—	八五八・〇〇	一、二〇〇・〇〇	—	三、六五八・〇〇
教育費	一、五五九、八〇四・七二	七四〇、八七六・九四	一、一三一、一七〇・〇四	一、三九一、三六三・〇七	九一四、九九一・一八	五二一、五五八・八三	六、二二一、七六四・七八
小公學校費	一、三二八、五六七・六四	六七五、七二一・五三	一、〇七九、七四八・二三	一、〇八四、八五一・二七	八二〇、一八三・四四	五一三、〇九五・七〇	五、四〇二、一五七・八九
中學校費	六八、一七八・六七	三三、一四三・三七	二七、九九六・五六	六六、八八二・〇二	二六、一〇九・九一	—	二一一、三二〇・五三
高等女學校費	一〇七、八九六・九三	二三、九一〇・四五	二九、四五三・一三	五八、三七三・六九	一九、七四六・八五	—	二三八、三八一・〇五
商業學校費	二四、二七九・一〇	—	一五、五六九・二一	—	—	—	三九、八四八・三一

工業學校費	八六、九二二・九五	—	—	—	—	—	八六、九二二・九五
學事諸費	五、六四八・〇一	二一、七〇二・六〇	二一、〇五〇・六八	二〇、六三六・七一	二六、九四五・七七	八、四六二・一三	一二四、四四七・五〇
學校職員給與金	一二、三三九・〇〇	—	一二、七三一・〇〇	一三、九八五・〇〇	—	—	三六、〇五九・〇〇
國庫納金	六、九七二・四二	三、九八三・四五	五、五七六・七五	六、〇七〇・〇三	—	—	二三、六〇二・六五
幼稚園費	—	二、七七二・〇四	三、八九一・三七	—	—	—	六、六六三・四一
圖書館費	—	一、六五二・五一	四、三四九・六五	—	—	—	六、〇〇二・一六
教育博物館費	—	—	三、八〇三・七七	四、二八三・九八	—	—	八、〇八七・七五
農林學校費	—	—	—	三二、七六一・四九	農業補習工校 三、〇〇五・二二	—	三五、七六六・七〇
盲啞學校費	—	—	—	一二、五一八・八八	—	—	一二、五一八・八八
衞生及病院費	一〇八、六八二・六二	三六、八一三・九七	七三、六八七・〇九	一四八、二二〇・六五	一〇〇、九九二・八八	六一、九三〇・六〇	五三〇、三三六・八一
公醫費	一六、八四三・八二	一二、〇二三・六八	一四、七四九・四〇	一九、八六七・三三	一六、六三九・〇五	一三、六一七・六三	九二、七三九・九一
マラリア防遏費	二九、八〇八・〇七	六、〇七四・五八	二九、三七七・一六	四九、一六〇・六五	二八、八一九・五三	三三、六六八・五五	一七六、九〇八・五四
傳染病豫防費	三三、六一九・九三	一〇、二八六・一五	一二、二〇七・九九	四五、三九三・三五（ペスト防遏ヲ含ム）	三三、六二五・六六	九、八七四・一九	一四四、一〇七・二七
婦人病院費	一八、六八二・七〇	—	四、六二二・六一	一二、九三五・一九	六、五〇三・二四	—	四三、七三三・七四
衞生諸費	九、七二八・二〇	九、三三九・五六	一三、七三九・九三	二〇、八六四・一三	一五、四一六・四〇	四、七七〇・一三	七三、八四八・三五
公園費	三、六三三・八八	—	—	—	—	—	三、六三三・八八
勸業費	一五五、〇一五・四二	五〇、五三四・六七	九〇、一〇七・五〇	一四五、〇九二・四一	九九、五一三・四六	二一、五四二・八一	五六一、八〇六・二七
勸業諸費	八二、五九〇・四三	五〇、五三四・六七	四三、八四一・九一	五七、二五五・四〇	八〇、〇六六・六八	二一、五四二・八一	三三六、八三一・九〇
農事試驗場費	一九、九二六・七四	—	四二、九五六・四五	五〇、〇四二・六九	一九、四四六・七八	—	一三二、三七二・六六
水産試驗所費	五一、四九八・二五	—	—	—	—	—	五一、四九八・二五
陳列場費	—	—	三、三〇九・一四	五、九四〇・一九	—	—	九、二四九・三三
米種改良費	—	—	—	三一、八五四・一三	—	—	三一、八五四・一三
地方改良費	一六、八八九・九七	一、五六六・三九	六、七四一・五六	二九、一五八・四一	二、八六五・八九	一三七・〇〇	五七、三五九・二二
社會事業費（社會敎化費ヲ含ム）	三八、〇七九・九七	四、三〇七・六五	一、九二四・三八	一〇、七六五・六五	七、五六〇・六二	五、八一九・九六	六八、四五八・二二
獎勵費	五、一九二・二四	九七・五九	一、九二四・三八	二、六三三・四〇	二、〇六九・五三	二、四一二・九六	一四、三三〇・〇九

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

公設浴場費	二三、五八二・九七	—	—	三、一三九・五八	—	三、四〇七・〇〇	一九、一二九・五五
公共住宅費	一三、八六三・二五	—	—	—	—	—	一三、八六三・二五
方面委員費	六、四四一・五一	四、二二〇・〇六	—	四、九九二・二七	四、四九六・五一	—	二〇、一四〇・七五
調査宣傳費	—	—	—	—	九九四・五九	—	九九四・五九
協議會費	一、七八三・八八	七九三・六三	二、一七・一一	一、七八二・〇九	一、九〇〇・七〇	—	八、四三七・四一
費用辨償	七六一・二四	三九九・八〇	七〇八・二〇	九七五・七四	六五一・六二	—	三、四九六・六〇
諸給	一二五・〇〇	七一・〇〇	一六〇・〇〇	一三三・〇〇	一五・〇〇	—	五〇三・〇〇
議場費	八九七・六四	三三二・八三	一、三〇八・九一	六七四・三五	一、一三四・〇八	—	四、四三七・八一
州地方費税取扱費	一二五、九七八・六三	五四、九七一・〇五	九二、七四二・二六	一一〇、九六七・六一	八三、一四九・二〇	一八、五二五・九三	四八五、三三四・六八
徴收費	五一、九一五・八七	一六、七六一・六九	四〇、三八八・九三	五六、二六〇・三一	三八、九六六・三六	三二、五四八・三三	二二六、八四一・一八
交付金	七四、〇四四・〇四	三八、二〇八・三六	五二、三五一・五八	五三、三〇七・二〇	四三、二二一・〇一	四、八〇九・七六	二六五、八四二・〇五
滞納處分費	一八・七二	一・〇〇	一・七五	—	六一・八三	—	八三・三〇
雜費	—	—	—	一、四〇〇・〇〇	—	一、一六七・九五	二、五六七・九五
罹災救助基金	—	—	—	—	—	一〇、〇〇〇・〇〇	一〇、〇〇〇・〇〇
財產管理費	九、六一八・六五	五、五〇一・二五	五、九七九・三三	六、五七五・七八	九、五七〇・七五	—	三七、二四五・六六
管理費	三、三六三・五一	四、六六三・六四	四、一九四・〇一	三、〇〇〇・三三	七、八七八・四八	—	二三、〇九九・九七
諸税及負擔	六、二五五・一四	八三七・六一	一、七八五・三三	三、五七五・四五	一、六九二・二七	—	一四、一四五・六九
財產造成費	—	五、五二一・〇八	—	—	—	—	五、五二一・〇八
屠場管理費	三五、三八三・六二	二〇、七三五・五三	二六、七五六・三五	三八、一二八・四八	三一、一〇〇・〇八	—	一四三、一〇四・〇六
管理費	三五、三八三・六二	一七、六八二・〇九	三三、五三三・四四	三二、二七九・九八	二〇、八五八・四一	—	一三八、七三七・五四
名所舊蹟保存費	—	三七・〇〇	—	—	—	—	三七・〇〇
水利改良費	—	—	—	—	一〇、一三一・八一	—	一〇、一三一・八一
水利調查費	—	—	—	—	一〇、一三一・八一	—	一〇、一三一・八一
諸支出金	一三二、七六三・八一	九〇、九四六・七〇	七八、〇一八・四二	八六、四六七・四一	七六、五五三・一七	六三、五四四・九六	五二八、二九四・四七
區長役場費	—	—	—	—	—	三〇、一四四・〇五	三〇、一四四・〇五

科目	臺北州	新竹州	臺中州	臺南州	高雄州	廳地方費	計
水道費	—	—	—	—	—	二一、四五八・〇〇	二一、四五八・〇〇
浮浪者收容所費	—	—	—	—	—	九六九四・三三	九六九四・三三
經常部計	二、五〇八、九六九・四九	一、二四四、三一三・六七	一、八八七、三三三・八四	二、一六八、五二一・九九	一、五五六、六八三・八一	八六六、四四三・三六	一〇、三三二、一六六・一六

歳出臨時部

科目	臺北州	新竹州	臺中州	臺南州	高雄州	廳地方費	計
營繕土木費	三五七、八九〇・七五円	一三三、五九一・九三円	一五三、九八〇・六三円	二四一、五三〇・三三円	七九、二三四・一〇円	二三六、一三八・〇三円	一、二〇〇、三四五・七五円
營繕費	一六三、七九一・四三	一〇〇、〇二四・二〇	八〇、三九三・四二	一七一、五六〇・一七	二〇、六八一・七三	八六、九一五・三三	六二三、三六六・二八
各所修繕費	一三、一九〇・五〇	—	—	—	—	—	一三、一九〇・五〇
道路橋梁費	五〇、七六二・四九	三三、五六七・七三	二八、四〇一・九五	六九、九六〇・一五	三七、五〇〇・〇〇	八〇、三七〇・四〇	三〇〇、五六二・七二
治水堤防費	四〇、二五三・七六	—	—	—	—	—	四〇、二五三・七六
里程圖及管內調製費	一、四五四・七〇	—	—	—	—	—	一、四五四・七〇
災害復舊費	六五、六六八・二一	—	二七、五五三・五四	—	二六、八〇三・三七	六八、八四二・二〇	一八八、八六六・四二
港灣費	三二、〇八九・七六	—	—	—	二八、〇〇〇・〇〇	—	五〇、〇八九・七六
水道費	一、六七九・九一	—	—	—	—	—	一、六七九・九一
河川費	—	—	一三、六七六・四七	—	—	—	一三、六七六・四七
調查及測量費	—	—	三、九五五・二五	—	—	—	三、九五五・二五
郡役所營繕費	五、七一七・八二	—	三五、四七九・九三	四九、六八三・〇四	四、二二四・八一	—	九五、一〇五・六〇
衛生病院費	九八、五九五・六九	二一、五五八・四二	二七、〇三六・五二	九六、六九五・五九	—	—	二四三、八八六・二二
傳染病豫防費	九六、〇九七・五九	—	一四、〇四五・八五	—	—	—	一一〇、一四三・四四
衛生諸費	二、四九八・一〇	—	—	一、七四六・一七	—	—	四、二四四・二七
麻刺利亞防遏地物整理費	—	一一、五五八・四二	一三、九九〇・六七	九四、九四九・四二	—	—	一二〇、四九八・五一
勸業費	四七、九五六・五四	五、五四〇・七八	五、四五三・九六	五六、四七〇・〇四	二、五四〇・六五	—	一一七、九六八・九七
勸業諸費	四七、九五六・五四	五、五四〇・七八	五、四五三・九六	五六、四七〇・〇四	二、五四〇・六五	—	一一七、九六八・九七
補助及寄附	二三九、一八二・一一	三三四、六八八・三六	一九六、八六四・七七	一七九、三〇六・五五	二一八、八七七・六三	一二五、〇九九・八五	一、二七四、〇一九・二七

科目	臺北州	新竹州	臺中州	臺南州	高雄州	廳地方費	計
州債金	七七、二二〇・八七	四一、三九七・五〇	—	—	二四、七〇六・三八	—	一四三、三二四・七五
償還金	六〇、五〇〇・〇〇	四一、三九七・五〇	—	—	一八、八八八・八五	—	一二〇、七八六・三五
利子	一六、七二〇・八七	—	—	—	五、八一七・五三	—	二二、五三八・四〇
奉迎費	八二、二八八・八五	九二、二九九・九〇	一三、九九六・〇六	一八、六五九・三二	一九、六七一・六六	—	二二六、九一五・七八
雜支出	—	八〇〇・〇〇	—	—	—	—	八〇〇・〇〇
繰出金	—	—	三、〇二九・〇〇	—	—	—	三、〇二九・〇〇
特別會計繰出金	—	—	三、〇二九・〇〇	—	—	—	三、〇二九・〇〇
教育費	—	—	—	四一三・三六	—	—	四一三・三六
學事諸費	—	—	—	四一三・三六	—	—	四一三・三六
記念公園造營費	—	—	—	—	八、八四七・三二	—	八、八四七・三二
積立金	—	—	—	—	一〇、八二二・〇〇	—	一〇、八二二・〇〇
臨時部計	八三四、八五一・六三	四二五、八七六・八九	四三四、八四〇・八七	六四二、七五四・二二	三五九、二〇四・五四	三五一、二二七・八七	三、〇四八、七五七・〇一
歲出合計	三、三四三、八三二・二三	一、六七〇、一九〇・五六	二、三三二、〇七四・七一	二、八二一、二七六・二〇	一、九一五、八八八・三五	一、二一七、八七一・二三	一三、三八〇、九三三・一七

大正十四年度各州廳地方費罹災救助基金歲入歲出決算調

歲入

科目	臺北州	新竹州	臺中州	臺南州	高雄州	廳地方費	計
罹災救助基金收入	三一、七一六・四三円	三四、四八八・二四円	五五、四三三・九五円	四五、七四〇・三三円	三四、一三三・二七円	二一、〇四七・八一円	二二二、五四九・九二円
財產收入	三一、七一六・四三	二四、四八八・二四	五五、四三三・九五	四五、七四〇・三三	三四、一三三・二七	二一、〇四七・八一	二二二、五四九・九二
繰入金	—	—	—	—	—	10,000.00	10,000.00

歲出

科目	臺北州	新竹州	臺中州	臺南州	高雄州	廳地方費	計
罹災救助基金支出	二八、八八六・九三円	二九七・二一円	四二、五五八・一五円	一一、六六四・六八円	九、七五九・四〇円	二、九六八・八〇円	一三二、五六七・六八円
救助費	一、四六七・八八	—	三、八二九・二一	八四四・一二	八、五五六・六五	二、九六八・八〇	一七、六六六・六四

雜出	一、四一九・〇五	二九・七二	四二八・九四	三二五・五八	一、二〇二・七五	一	三、四〇六・〇四
基金編入金	一	一	一	二、四九五・〇〇	一	一	二、四九五・〇〇

大正十四年度臺中州特別會計財產造成費歲入歲出決算調

歲入

科目	臺中州
財產收入	三二、二七六・四九円
雜收入	六七、四九七・〇八
繰越金	一三五、四六三・四四
計	二三五、二三七・〇一

歲出

科目	臺中州
財產造成費	六五、七〇五・〇七円
計	六五、七〇五・〇七

大正十四年度臺中州特別會計水利事業費歲入歲出決算調

歲入

科目	臺中州
代償金	二〇、六六三・九二円
埤圳讓渡代償金	二〇、六六三・九二
雜收入	八一四・六八
繰入金	三、〇二九・〇〇
一般會計繰入金	三、〇二九・〇〇
繰越金	六、六九五・九〇
前年度繰越金	六、六九五・九〇
計	三一、二〇三・五〇

歲出

科目	臺中州
事務費	一七、九七五・八〇円
廳費	二、九四二・九二
俸給及諸給	一三、五七六・〇九
旅費	一、四五六・七九
調查費	一、八二三・六四
調查及測量費	一、八二三・六四
計	一九、七九九・四四

漢詩

東閣雅集詩續篇

東閣雅集席上敬攀蕉庵督憲瑤韻

臺中　王竹修

堂堂鈴閣振文風。酬唱騷壇意氣融。淡水河清鷗泛綠。大屯山秀鳥啼紅。工詩工賦推歐子。爲國爲民擬寇公。欲和珠璣無麗句。聊歌下里竭葵衷。

同題　友鶴　鄭坤五

春衫來拂棟花風。詩酒流連樂事融。遮莫名心從昔淡。何妨醉臉漸時紅。書生措大終憐我。文字緣深竟遇公。難得主人情太重。愧無佳句表微衷。

同題　臺南　黃谿荃

聲教無形化以風。春生東閣氣和融。齊民道德心推赤。長物恩光日自紅。綠野堂開來白傅。楊州官好愛何公。琴樽此會眞高絕。吏隱途分總合衷。

同題　筑客　張純甫

都督輕裘煖帶風。一時水乳欲交融。東山屐底詩情活。北海樽前酒面紅。但得治平還上古。敢將詞賦動群公。海壖人物於今盛。文質彬々付折衷。

同題　基隆　李碩卿

善政人稱草上風。官民水乳竝交融。痌瘝久自懷蒼赤。花卉由他鬪紫紅。聲氣遠孚來杜老。興情深洽邁嚴公。江河今日滔滔下。萬派潮流待折衷。

同題　磐石　盧子安

大雅扶輪紹古風。官民上下慶和融。咋秋盛會黃花秀。此日瓊筵小杏紅。卓犖文章欽博學。玲瓏心事每持公。龍門何幸同登上。得句攤箋寫寸衷。

同題　嘯霞　楊仲佐

五絃聲裏賦薰風。萬象春回瑞氣融。藹々祥雲連海碧。曈々旭日映天紅。珠璣咳唾慚商隱。裙屐聯翩謁召公。東閣謳吟誇盛世。挑燈還共話深衷。

同題　天建　楊宜祿

駘蕩陽春長物風。延賓東閣自沖融。滋培化雨因時潤。爛熳卿雲捧日紅。華國文章思至治。齊民德禮見膺公。菁莪造士斯爲美。折節紆尊本降衷。

同題　仁閣　莊贊勳

振興文教挽頹風。逸韻鏗鏘樂洩融。德比珪璋清更白。品同琬琛碧添紅。和聲鳴盛能容我。報國憂時獨仰公。深喜階前盈尺地。瞻韓此日慰初衷。

同題　樹滋　張長懋

東園邀集振文風。鈴閣恩深雪盡融。滿院榕陰看已綠。沖霄燭影照長紅。野人附驥慚文宴。大雅扶輪望我公。南國化行欣草偃。勁銘鐘鼎愜宸衷。

同題　蒼崖　林子楨

滿城桃李舞東風。正喜扶桑旭日融。上苑千絲楊柳綠。名園幾蘤杏花紅。文章事業追蘇子。霖雨蒼生屬謝公。鈴閣春明開雅會。昇平盛世慰宸衷。

同題　戴汝修

受恩敎任振文風。好容堪誇勝孔融。孤島三年民草綠。瀛洲二月杏花紅。開藩功績眞無匹。佐國經綸賴至公。從此扶輪資大雅。內臺共濟盡和衷。

同題　頭圍　黃振芳

柳絲拂々弄春風。移步郊原喜氣融。遍地草翻新樣綠。連朝花尙舊時紅。光陰虛度多慚我。敎育宏施只賴公。此日會開東閣裏。聊吟幾句表微衷。

同題　曉初　蔡暾輝

中天膏雨沐仁風。東閣登臨喜氣融。一片葵心向日赤。三杯菊酒入唇紅。文章報國愧羞我。柱石擎天獨美公。際此昇平開盛會。龍吟鳳奏表幽衷。

同題　臺南　韓浩川

東閣春和坐惠風。衣冠蹌蹌樂融融。三臺韻事詩成錦。一院幽香花吐紅。德敎化行推召伯。精神矍鑠拜裴公。草茅此日欣高會。大雅扶輪見至衷。

同題　古漁　陳郁文

幽清官紀正民風。有脚陽春到處融。徧野桑麻沾雨綠。一庭躑躅映池紅。扶輪大雅士多造。行政無偏道至公。棫樸菁莪追盛代。莘々學子表和衷。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同題　式垣　黃守謙

鯤溟文化起休風　感激隆時瑞氣融
東閣昔登欣菊艶　南窓今啓挹桃紅
早知治績出其類　儘寫吟懷退自公
綏撫一方才德備　愛人節用契深衷

同題　肇藩　高樹木

平泉喬木漾東風　北海開尊繼孔融
鈴閣詩吟芳草綠　瓊筵香度落花紅
春欣駘蕩容群物　政願中和秉至公
瀛島純儒來管領　野人亦與寫幽衷

同題　綠波　簡長春

百萬群黎仰惠風　內臺意氣喜交融
園中芳草油々碧　閣上名花朶々紅
一樹甘棠歌召伯　三年治績愛吳公
扶桑自昔多賢俊　保障東藩體聖衷

同題　枯涵　郭蔡淵

簷帷東望仰高風　千里吟朋意氣融
召伯甘棠南國秀　尚書春杏西庭紅
樽陳北海懷文舉　詩詠東山繼謝公
一視同仁揚聖旨　內臺民庶盡和衷

同題　屏東　陳家駒

乍叩旌會仰高風　和協官民意氣融
酒海光凝杯泛綠　詩壇雄樹幟搖紅
莫嗟献策無韓子　却喜憐才有黃公
何幸得陪文字契　風流儒雅見清衷

同題　臺北　李逸初

牛耳東寧啓士風　霓裳同詠氣和融
筆光射斗枝々健　墨藻蒸霞朶々紅
一代詩才稱李白　千秋雅望憶閒公
登龍劇喜增聲價　共表葵傾向日衷

同題　仰山　杜天賜

下車開府採民風　一視先疇水乳融
天潤萬山雲氣白　春深三月日章紅
雪梅東閣延徐稚　詩酒南樓憶庾公
畢竟文翁能化蜀　扶輪備見濟時衷

同題　少雲　趙劍泉

主人古雅貌春風　翰墨緣深水乳融
三月鶯梭千樹綠　一雙燕剪滿庭紅
座中俊逸來多士　林下優游退自公
今日開軒樂詩酒　忘年忘分寫情衷

同題　澹廬　曹秋圃

飛々燕子剪微風　海國清和暖漸融
柳色前除舒嫩綠　杏花東閣放嬌紅
由來彩筆能千象　況是陽春布至公
大雅天教膺重寄　斯文有主快深衷

同題　宿雲　蔡三思

欲將文字起衰風。
西窓待剪燭花紅。
末席叨陪無限感。
雅集樽前樂事融。
東閣且吟春草碧。
酒情浩蕩陶文亮。
書法渾雄顏柳公。
野人端合謝恩衷。

同題　稻江　張家坤

鈴閣春回送暖風。
向日葵花色尚紅。
揚文勝會今重見。
一堂集宴樂融融。
繞階芝草香猶綠。
身喜登龍陪雅士。
才欽吐鳳仰明公。
好繪升平副聖衷。

同題　湯銘　王自新

臺澎駐節播仁風。
光浮東閣夕陽紅。
此日登龍乘雅訓。
萬姓歡騰樂洩融。
澤被西疇新稼綠。
階前何幸容寒士。
島內咸歌有鉅公。
清涼一片說幽衷。

同題　竹社　李逸樵

及時行樂趁東風。
水光相映落花紅。
自愧不才陪末席。
天氣晴和人氣融。
春雨頻沾芳草綠。
小樓擊鉢欣吾黨。
大雅扶輪羨我公。
升平一曲表愚衷。

同題　瀛社　劉文達

賓朋畢集坐春風。
流觴桃落一池紅。
醉後且說天下事。
東閣梅開雪已融。
入座芝蘭同室馥。
盛筵不讓滕王閣。
雅望咸欣都督公。
官民共濟在和衷。

同題　覺叟　顏笏山

君子德如草上風。
附驥深慚帛勒紅。
宏開東閣延多士。
化成水乳兩交融。
登龍自覺光增彩。
南國政行遵召伯。
西川節度憶嚴公。
聊貢芻蕘備折衷。

同題　友石　葉鍊金

鈴閣高吟醉暖風。
花映洛陽一縣紅。
盍簪豈備尋詩計。
登龍意氣盛和融。
竹瞻淇澳千竿綠。
裘帶芳徽追叔子。
褰帷雅範繼閻公。
願振斯文共折衷。

同題　基隆　顏德輝

東閣周旋惠好風。
近攬芳筵臉帶紅。
即今臺島烝々日。
明陪下士樂融々。
久欽德政心存潔。
共會五州聯雅讌。
同仁一視賴明公。
佐治定敎愜聖衷。

同題　覺齋　陳蕉南

東閣溫文振古風。
日暖遙山澹蕩紅。
布衣自昔開高雅。
無遺草野意沖融。
簾開春柳婆娑秀。
治指素精銳聖祈。
經綸豫卜列侯公。
盛宴優遊感主衷。

同題　少星　林夢梅

金芝瑤草樂東風。
一天雨露艷桃紅。
我亦華鴉爭噪鳳。
大地江山瑞氣融。
千古文章追李白。
滕王閣上懷閻督。
牛渚江中憶謝公。
葫蘆依樣學和衷。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

俳句

孕江選

入學の子等かたまりぬ庭榕樹　天羊
打晴れて山温泉靜かや松の花　同
松の花吹き散つて寒し濱館　同
纏足の老婢にすがり入學兒　天章
鳥籠の小ゆれに松の花粉かな　同
提灯の過ぎて鳴きやむ蛙かな　同
庭の松花白々と月明り　のぶ女
入學兒母のうしろにひかへけり　同
蛙鳴くや水田の中の百姓家　同
水牛の濁し渡りぬ春の水　久路
春水に家鴨を呼べる女かな　同
板塀とすれ〴〵伸びし木の芽かな　同
渡し場に落ち合ふ彼岸參りかな　七星
入墨の蕃婦手をひく入學兒　同
吹き下ろす風漣や松の花　同
松の花に襲ひかゝりぬ汽車煙　美代女
嫁入の荷の入る門や松の花　同
植込の松高々と緑立つ　紫水
奥津城に燃ゆる躑躅や夕詣　同
山寺や松の花咲く朝曇り　やすし
學校の鐘をきゝつゝ耕せり　同
春水に濯げる嬉媒や池の端　哄村
菰を著しまゝに芽を吹く一樹かな　同
春水に棹新たなる渡舟かな　豐仙
盛土の汀くづれや春の水　同
春水や布袋草まだ一二寸　閑花
春水に映りて遲きジャンクかな　同
殘る實につきしべタコや木の芽晴　玉鳴
春水の筏の上に遊びけり　同
鵝の子の竝びて浮ぶ春の水　壽泉
樹々の芽の朝日をうけて光りけり　明義
御社を寫生の子等や木の芽晴　岩花
柴垣の插されしまゝに芽吹きけり　耕雲
入學の校門高く仰ぎけり　孕江
朝晴や松の花散る涼　同

◈募集　四季雜詠（十句）　締切毎月二十日　投稿先・臺北市東門町九七　ゆうかり社宛

臺灣日誌

自三月十七日
至四月十九日

三月

▼十七日
・臺灣米穀倉庫利用組合設立
▼十八日
・臺北高等商業學校卒業式擧行
・臺北實業會許議員會を開く
▼二十日
・臺灣鳳梨罐詰同業組合總會開催
・臺南實業協和會總會を開く
▼二十一日
・上山總督漢詩人招待會を催す
▼二十二日
・臺南產業組合大會を開く
▲二十三日
・青年團指導者講習會開始
・臺灣茶共同販賣所總會開催
▼二十四日
・高等農林學校卒業式擧行
・高雄州水產會總會開催
▲二十五日
・高雄高等女學校新築落成式
・高雄青果同業組合評議會を開く
▼二十七日
・東石郡組合立農業補習學校開校式擧行
・臺北市水泳講習會開始
▼二十八日
・臺北步兵聯隊及山砲隊聯合演習を行ふ
・上山總督臺灣神社獻燈奉告式を行ふ
▼二十九日
・屏東郡共同苗代聯合會總會を開催
▼三十一日
・米國觀光團來臺、臺北市內見物、總督レセプションを催す。
・基隆中學設立認可

四月

▼一日
・上山總督東部巡視に出發
・內臺航路船繰變更
・殉職警察官招魂祭執行
・花蓮港高等女學校設立認可
▼二日
・全島警察刑務所武道大會開始
▼四日
・臺南大圳事業宣傳開始
▼五日
・臺灣銀行整理調査會官制發表さる
▼六日
・第二艦隊馬港入港
▼七日
・臺北市教育會成立
・神戶視察團來臺
▼八日
・基隆第一炭坑苦力罷業す
・第二艦隊高雄に入港す
▼十日
・內臺間海底電線故障通信不能
・新竹市制促進會成立す
▼十二日
・宜蘭無線電信局通信事務開始
・石黑文敎局長中南部視察の途に上る
▼十三日
・第二艦隊基隆入港
・上山總督東部巡視より歸府
・生野交通總長依願免、木下內務局長後任となる
▼十四日
・吉川第二艦隊司令長官總督訪問
・第二艦隊海軍々樂隊臺北に演奏公開

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▼十六日
・上山總督基隆に第二艦隊司令長官訪問
・第二艦隊アットホームを催す
・臺南青果同業組合總會
▼十七日
・第二艦隊基隆出港
・內臺航路大型船瑞穗丸基隆へ初入港
▼十八日
・臺灣銀行內地支店休業
・上山總督臺銀問題に就き諭告を發す
・臺北商工會臨時會を開く
▼十九日
・宜蘭神社縣社に昇格す

人事消息

矢內原東京帝大教授　三月二十三日來臺
土井府技師　三月二十五日歸臺
中島專賣局參事　三月二十七日著任
星野農學博士　三月二十七日來臺
庄司高等學校教授　三月二十九日　歸臺
草鹿砥祐吉氏　四月一日內地へ
澁谷廣次氏　同上
津久井誠一郎氏　同上
廣江爲次郎氏　四月三日內地へ歸還
今川農務課長　四月四日歸臺
加藤午左衛門氏（高商高校教授）四月七日著任
平山寅次郎氏　四月十一日上京
橫光商工課長　四月十一日外遊の途につく
鈴木重臣氏　四月十二日歸臺
赤石定藏氏　同上來臺
吉川第二艦隊司令官　四月十三日來北
小野府技師　四月十六日內地へ
池田交通局技師　四月十八日內地へ
佐野東京商大學長　四月十九日來臺

任命

昭和二年府報自第六十三號至第八十六號

○三月二十四日
臺灣總督府事務官　橫光吉規
東京、大阪、神奈川、新潟、山口、福岡、大分ノ二府五縣下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府技師　高澤壽
東京府下及神奈川、千葉、靜岡、愛知ノ四縣下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府醫學專門學校教授　橫川定
東京、京都、新潟、石川、岡山ノ二府三縣下へ出張ヲ命ス

○三月二十五日
臺灣公立中學校長　廣江爲次郎
依願免本官

○三月二十一日
臺灣總督府醫院醫官　永松完
嘉義醫院長恩地功不在中代理ヲ命ス

○三月二十三日
臺灣總督府高等學校教授　杉山茂顯
臺灣總督府在外研究員ヲ命ス
二箇年間佛、伊ノ二箇國ニ在留スヘシ

○三月二十六日
臺灣總督府技師　市川純一郎
任臺灣總督府交通局技師

○三月二十六日
臺灣總督府交通局技師　永田年
任內務技師

○三月二十八日
臺灣總督府中央研究所技師　市川信敏
東京府下及宮城、新潟ノ二縣下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府中央研究所技師　加藤宣次郎
東京、京都、和歌山、鹿兒島ノ二府二縣下へ出張ヲ命ス

○三月二十九日
臺灣總督府文教局長　石黑英彥
市區計畫委員會委員ヲ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣總督府文敎局長　石黒英彦
臺灣教員檢定委員會會長ヲ命ス
臺灣總督府視學官　土性善九郎
臺灣教員檢定委員會常任委員ヲ命ス
臺灣總督府內務局長　木下信
臺灣教員檢定委員會會長ヲ免ス
臺灣總督府事務官　生駒高常
臺灣教員檢定委員會常任委員ヲ免ス

○三月二十九日

臺灣總督府師範學校敎諭　浮田辰平
任臺灣總督府編修官兼臺灣總督府視學官
兼任臺灣總督府事務官
總領事　西澤義徵
（各通）臺灣總督府技師　大塞登一
臺臺公立中學校敎諭　安岡謙之助
依願免本官
免兼官　領事兼臺灣總督府事務官　吉澤清次郎

○三月二十九日

臺灣總督府編修官　浮田辰平
文敎局學務課勤務ヲ命ス
臺灣總督府視學官　浮田辰平
文敎局督學室勤務ヲ命ス
臺灣總督府事務官　西澤義徵
總督官房文書課勤務ヲ命ス

○三月三十日

臺灣總督府州事務官　野口敏治
任臺灣總督府事務官
臺灣總督府商業專門學校教授兼臺灣總督府臺南高等商業學校教授　兒玉晉一
任臺灣總督府州事務官
臺灣總督府法院通譯　楊[illegible]堯
任臺灣總督府法院通譯
臺灣總督府屬　長山直行
兼任臺灣總督府地方理事官
免兼官　領事兼臺灣總督府事務官　井上庚二郎

○三月三十日

臺灣總督府事務官　野口敏治
文敎局學務課長ヲ命ス
臺灣總督府州事務官　兒玉晉一
補臺中州警務部長
臺灣總督府法院通譯　楊[illegible]堯
補高等法院通譯
澎湖廳勤務ヲ命ス
臺灣總督府理事官　長山直行
臺灣總督府商業專門學校教授　松田郁太郎
（各通）臺灣總督府中央研究所技師　福本林作
東京、京都、奈良、福島、和歌山ノ二府三縣下へ出張ヲ命ス

○三月三十一日

休職臺灣總督府醫院醫長兼臺灣總督府醫學專門學校教授　中村讓
復職ヲ命ス
基隆醫院長ヲ命ス
臺灣總督府醫院醫長　河田直吉
文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス

○三月三十一日

東北帝國大學助教授　日比野信一
任臺灣總督府高等農林學校教授
依願免本官竝兼官
臺灣總督府商業專門學校教授兼臺灣總督府臺南高等商業學校教授　松田郁太郎
（各通）臺灣總督府中央研究所技師　古玉太郎
臺灣公立中學校敎諭　中村三元
臺灣總督府法院通譯　楊[illegible]堯
依願免本官
臺灣總督府屬兼臺灣總督府地方理事官　長山直行
依願免兼官

○三月二十五日

臺灣公立中學校敎諭　重河眞孝
臺南第一中學校長事務取扱ヲ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○三月三十日

臺灣總督府事務官　佐藤矢

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

一箇年間英、米、獨、佛ノ四箇國ニ在留スヘシ

○三月三十一日

臺灣總督府地方警視　原清治

東京、京都、大阪、新潟、石川、兵庫、福岡、大分ノ三府五縣下ヘ出張ヲ命ス

○四月一日

臺灣衛生技師　宮川富士松

東京、大阪、栃木、福島、福岡ノ二府三縣下ヘ出張ヲ命ス

○四月四日

臺灣總督府交通局理事　白勢黎吉

普通試驗委員ヲ命ス

臺灣總督府測候所技師　寺本貞吉

東京、兵庫、茨城、沖繩ノ各府縣ヘ出張ヲ命ス

○四月五日

（各通）　臺灣總督府技手　森三郎

任臺灣總督府技師　石井信太郎

公立大學豫科教授　青木文一郎

任臺灣總督府高等農林學校教授

臺灣總督府高等農林學校教授兼臺灣總督府技師臺灣總督府中央研究所技師　一色周知

任臺灣總督府中央研究所技師兼臺灣總督府高等農林學校教授臺灣總督府技師如故

○四月五日

（各通）　臺灣總督府技師　森三郎

同　石井信太郎

醫務局衛生課勤務ヲ命ス

○四月五日

臺灣總督府總務長官　後藤文夫

株式會社臺灣銀行調査會委員被仰付

○三月三十一日

臺灣總督府醫院醫官　帖佐直喜

基隆醫院長中村讓不在中代理ヲ命ス

○四月六日

臺灣總督府事務官　小林光政

歸任ノ途次關東州及朝鮮ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府交通局技師　藤村救郎

東京、仙臺、大阪、廣島、熊本ノ各遞信局管內ヘ出張ヲ命ス

○四月一日

臺灣總督府地方理事官　和田博

花蓮港高等女學校長事務取扱ヲ命ス

臺灣總督府事務官　和田一次

同　中瀨拙夫

同　野口敏治

臺灣總督府中央研究所事務官　岩滿重

臺總公立中學校長　河瀨半四郎

臺灣公立中學校教諭　蔦宗直太郎

臺灣總督府編修官　浮田辰平

（各通）　臺灣總督府視學官　山口重知

臺灣總督府高等學校教授　甲斐三郎

臺灣公立中學校教諭　黑山貢造

臺灣總督府事務官　木原圓次

臺灣總督府視學官　土性善九郎

臺灣總督府法院通譯　中間小二郎

臺灣總督府編修官　加藤春城

臺灣總督府師範學校教諭　段證外吉

普通試驗臨時委員ヲ命ス

○四月八日

公立中學校長　波多野濟太郎

任臺灣總督府高等學校教諭兼臺灣總督府高等學校教授

臺灣總督府高等學校教諭兼臺灣總督府高等學校教授

任臺灣公立中學校長　吉川貞次郎

臺灣總督府師範學校教諭　小形留吉

任臺灣公立中學校長

臺灣公立中學校長　吉川貞次郎

補基隆中學校長

臺灣公立中學校長　高　橋　隆
臺灣公立中學校長　小　形　留　吉
補臺南第一中學校長
補臺南第二中學校長
臺灣公立中數校教諭　並　河　貢　孝
臺南第一中學校長事務取扱ヲ免ス
臺灣總督府技師　山　田　拍　採
東京、岩手、福岡ノ各府縣下及朝鮮ヘ出張ヲ
命ス

○四月五日
臺灣總督府高等農林學校教授　青　木　文　一　郎
臺灣總督府在外研究員ヲ命ス
二箇年間英、佛、伊、米ノ四箇國ニ在留スヘシ

○四月五日
（各通）臺灣總督府技師　森　三　郎
同　石　井　信　太　郎
支那福州ヘ出張ヲ命ス

○四月十二日
臺灣總督府交通局技師　小　出　三　郎
東京及門司ノ兩鐵道局管內ヘ出張ヲ命ス
臺灣公立高等女學校長　松　平　治　郎　吉
東京、京都、富山、島根、福岡、長崎、鹿兒島ノ
二府五縣下ヘ出張ヲ命ス

○四月十二日
竹　內　八　和　太

任臺灣總督府高等專門學校教授
臺北州視學兼臺北州屬　井　上　正　男
任臺灣公立高等女學校長
西　山　清　澄
任臺灣總督府師範學校教諭
公立中學校教諭　檜　山　四　郎
任臺灣公立中學校教諭
臺灣總督府師範學校教諭　坂　上　一　郎
任臺灣公立高等女學校教諭
臺灣總督府高等農林學校教授　大　村　謙　介
兼任臺灣總督府中央研究所技師

○四月十二日
臺灣公立高等女學校長　井　上　正　男
補花蓮港高等女學校長
臺灣總督府師範學校教諭　西　山　清　澄
補臺北師範學校教諭
臺灣公立中學校教諭　檜　山　四　郎
補臺北第一中學校教諭
臺灣公立高等女學校教諭　坂　上　一　郎
補高雄高等女學校教諭

○四月十三日
臺灣總督府內務局長　木　下　信
任臺灣總督府交通局總長
臺灣總督府交通局總長　生　野　團　六
依願免本官

○四月十一日
臺灣總督府事務官　今　川　淵
殖產局附屬米穀檢查所長橫光吉規不在中代
理ヲ命ス
臺灣總督府事務官　中　瀨　拙　夫
殖產局附屬商品陳列館長橫光吉規不在中代
理ヲ命ス

○四月十三日
臺灣總督府交通局總長　木　下　信
臺灣總督府內務局長事務取扱ヲ命ス
臺灣總督府內務局長事務取扱　木　下　信
總務長官後藤文夫不在中代理ヲ命ス
臺灣總督府地方技師　堀　原　通　好
東京、京都、大阪、愛知、長野、岡山、熊本、大
分ノ三府五縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府技師　小　野　勇　五　郎
東京、大阪、新潟、神奈川、愛知、兵庫、福岡ノ
二府五縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府稅關長　伊　藤　兼　吉
橫濱、神戶、大阪、門司ノ各稅關管內ヘ出張
ヲ命ス
臺灣總督府地方理事官　首　藤　章
東京、愛知、大分、福岡ノ各府縣下ヘ出張ヲ
命ス

○四月十四日
臺灣總督府事務官　生　駒　高　常
總督官房法務課長和田一次不在中代理ヲ命

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ス

○四月十五日

臺灣總督府專賣局參事　川村直岡

臺灣總督府中央研究所評議會員ヲ命ス

臺灣總督府事務官　野口敏治

（各通）同　坂口主税

臺灣總督府視學官　土性善九郎

臺灣總督府編修官　加藤春城

教科書調查會委員ヲ命ス

教科書調查會委員　野口敏治

（各通）同　若槻道隆

同　浮田辰平

教科書調查會主查ヲ命ス

臺灣總督府師範學校教諭　荻阪進治

教科書調查會臨時委員ヲ命ス

臺灣總督府視學官　土性善九郎

教科書調查會臨時委員ヲ免ス

臺灣公立實業學校長　高井利五郎

東京府下及三重、宮城、德島、廣島、福岡ノ五縣下ヘ出張ヲ命ス

○四月十六日

臺灣總督府中央研究所技師兼臺灣總督府技師　澁谷紀三郎

任臺灣總督府高等農林學校教授兼臺灣總督府中央研究所技師 [illegible]

○四月十六日

臺灣總督府 [illegible] 學校教授兼 [illegible]

○四月十九日

（各通）臺灣總督府州事務官　大竹勇

同　猪股松之助

普通試驗臨時委員ヲ命ス

○四月八日

臺灣總督府高等農林學校教授　日比野信一

兼任東北帝國大學助教授

○四月十六日

臺灣公立實業學校教諭　西田辰海

臺北工業學校長高井利五郎不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府交通局技師　池田季苗

東京、京都、神奈川、兵庫、新潟、石川、島根、福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿兒島、宮崎、大分ノ三府十二縣下ヘ出張ヲ命ス

○四月十八日

臺灣總督府中央研究所技師　澁谷紀三郎

東京、岡山ノ各府縣下及北海道廳下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府殖產局長　片山三郎

福岡縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府地方理事官　佐藤得太郎

福岡、長崎、佐賀、熊本、鹿兒島、宮崎、大分ノ七縣下ヘ出張ヲ命ス

府中央研究所技師、臺灣總督府技師　澁谷紀三郎

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

一年六箇月間米、獨及ソビエト聯邦ノ三箇國ニ在留スヘシ

編輯後記

◇一時人心を不安ならしめた本島の財界も、總督始め全島官民の努力によつて、直ちに平靜に歸したことは御同慶の至りである。その後數日ならずして全國各地では預金の取附が行はれ財界は大混亂に陷つた。さうして政府は支拂延期の勅令を公布して一時の急を救ふたに至つたが、本島は既に大風一過後のことゝて些の不安もなかつた。

◇本誌時報中、若槻内閣總辭職の理由中「某重大案」とあるは「財界安定に關する緊急勅令案」であつたことを此處に附記して置く。

◇臺灣金融機關資金融通法案、外財界安定に關する二大案件を上提された臨時議會は、五月三日に召集され翌四日から八日まで五日間に、モラトリアム事後承諾案及び日銀補償、臺銀融資の三大案を審議可決し、補融兩法は九日官報號外を以て公布された。

◇休業中であつた臺銀内地海外の各支店は九日から營業を開始した。

支那及南洋情報

臺灣總督官房調查課

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

蔣介石●國民黨軍に信賴する諸點……一
南方左右兩派革命觀の根本的相違點……二
南京陷落と各外國人の被害……三
汕頭情報……五
廣東に於ける定期刊行物調査……九
廣西省の施政方針……一〇
雲南時變解決の近音……一〇
中國各港の電車交通概況……一四

比律賓

比律賓に於ける家畜及其生產に就て……二〇
一九二一・二二及二三年に於ける比島鑛物資源(二)……二五

佛領印度支那

一九二五年に於ける印度支那の海運及貿易(六)……三三

暹羅

二四六八(一九二五－二六)年度の米穀收穫……三九
新關稅定率……四五
暹曆二四七〇年度豫算……四八

英領馬來

英領馬來時報……四九
本年三月中新嘉坡重要物產市況……五〇

蘭領東印度

再びパダンセメントと日本セメントとの不當廉賣問題に就て……五二
ニユーギネアの經濟的發達……五六
一九二六年に於ける爪哇マッチの貿易……五七
蘭領東印度規那生產者同盟に就て……五九
バンカ島近況……六〇
西部ボルネオの近況……六二

英領印度

英領印度に於ける雲母……六三

其他

一九二六年に於ける世界羊毛產額……六四

情報

支那

□蔣介石の國民黨軍に信賴する諸點

蔣氏江西第三同全省代表大會に於て軍事に關する報告を爲し、南北雙方の軍情に對し、極めて簡潔明瞭の語を以て說明して云く、雙方の兵數は均しく約五十萬にして相匹敵するに足る。然るに事實如何は明瞭なりがたしと雖も總兵數の多少は實に問題とはなし難し。蓋し勝敗の決する所は士氣の强弱と兵數の多寡精粗に因りて決するが故なりと。語中亦安徽の陳調元河南の靳雲鶚が南軍と相通じ居るとの事あるは皆注目に値す。陳、靳二將の行動に關しては世人は久しく之を疑の眼を以て之を視たり。或は亦南軍と相通ずることあらん。されど其の思想より考ふるに未だ南方と一致するの素質ありとは認められず。其の奉天軍に抵抗すると又南方と相通ずるとに論なく、其の目的の在るところは地盤を維持せんと欲するに外ならず。未だ其の國家を建設する大目的あるを見ず。此の諸將の存在は北方に對しては固より障害たるも、南軍は未だ必ずしも彼等に恃む所あるを欲せじ。且つ南軍にして彼等を容調せば或は其の害毒を受くるに至るも亦知るべからず。又蔣氏說話中の更に注意すべきものは、南軍が孫傳芳軍に對し勝利を得たる說明の點にあり。彼は其の原因を列擧して曰く、一には革命の精神あること、二には主義あること、三には紀律あること。四には人民が後援を爲すこと是れなりと。一・二・三の三項は實際より之を言へば尙ほ當れり。第四項に至りては吾人未だ其の實情を悉さずと雖も軍隊にして茍も實に紀律あらんには、自ら人民の後援を獲るに難からず。蓋し軍隊の紀律なきは從來人民が軍隊を嫌厭する第一原因たればなり。夫れ蔣氏の恃む所專ら此の四點に在れば、今後其の奉天軍に對するも亦常に此の四點に依りて其の優勢を保つべきなり。蔣氏の語中自ら武器の精銳は北方に及ばざるを認む。然れども彼が敢て恐るゝ所なきを得るは此の四點を恃むに依りてなり。彼は彼此の現勢を明示すること此の如くにして全軍を鼓舞すれば、其の效果の偉大なる當に想像し難かるべし。

（三月四日順天時報）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□南方左右兩派革命觀の根本的相違點

目下國民黨政府內に發生せる左右兩派の軋轢は單に各個人的勢力の問題のみに非ず。實は左右兩派の革命觀に根本的の差異あるに因る。卽ち（一）性質上の差別（二）革命勢力上原動力の差別是なり。

（一）性質上の差別　左傾派は言ふ、中國の革命は決して中國一國內の單純なる事實に非ずして資本主義と經濟的帝國主義との當然の結果が半獨立狀態の中國に發生したるに過ぎずと。然るに之に對する右傾派は言ふ、中國の革命を以て完全なる民族的國實建設運動と爲し、此の目標に對し孫文の三民主義を以て旗幟と爲すのみと。

（二）革命勢力上原動力の差別　左傾派は原則として其の原動力は民衆中の農民・勞働者・小商人及兵士に在りと爲し、革命進行の順序として農工團體を聯合し以て革命勢力の運轉機關と爲さんことを主張し、其の實行方法として、左傾派の至る所、農會工會糾察隊農兵會等を組織し、同盟罷工を實行し對外運動を提唱せざるなし。又一方右傾派は革命の目的を民衆の解放に在りと爲すは左傾派と一致すれども、其の解放は現在の民衆の智識程度を以てしては、之を主動的地位に立たしむること事實上不可能にして其の前途は尙ほ遼遠と云ふべしとす。されば若し今日の民衆をして其の爲すが儘に放任せば徒に事變を醸成するのみならず、其の結果は從來の建設迄も一擧に破壞し盡して全く收拾すべからざるに至らん。殊に對外關係に於て

然りと爲す。故に政策上より言へば宜しく漸進すべくして決して急進すべからずと云ふに歸す。　（三月十日順天時報）

武漢派に響應せる江蘇省黨部等の反蔣　國民黨江蘇省黨部は三月九日大要下の如き通電を發して蔣介石の下野を要求せり。曰く、本黨は昨十五年改組以來民主的集權制を採用せり。所謂民主的集權制とは全體黨員の意志を表現する代表大會の推薦に係る中央執行委員全體を以て權力集中の機關と爲し、一切の政治・軍事は悉く其の指揮を受くるものにして、決して少數個人が或種の勢力を以て全黨員の同意を經ず、自らヂクテートルの地位を取得すべきに非ず。されば黨政の責任を負ふに適せざる同志を單に其の既往の黨に對する功績の爲に黨の重要地位に居らしめ、且つ之に與ふるに獨裁の權力を以てするは我が黨の爲にも又其の人の爲にも大害あり。今や幸にも中央黨部國民政府は既に湖北に集中して執務を開始し、中央執行委員會全體會議も亦既に七日に開會することゝなり、今後の黨權は統一と集中とを得たり。本省黨部は誓つて至誠を以て之を擁護し、並に全體同志を率ゐて其の指揮に從ふ。汪精衛同志は最も黨政の重責を負ふに適する人なり。故に卽日休暇を取消さんことを促し、革命領袖の團結を促成すべく、黨政の責任を負ふに適せざる人に對しては無責任の地位に退き、傍より指導と貢獻とを與へんことを請ふべし。云

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

々と。又第四區黨部も湖北省黨部漢口市黨部に響應して、民主集中制を高調せる通電を發し、既に死せる革命の烈士は一二人の地位を高むる爲に犧牲となりしに非ずと呼號し居れり。尙ほ此の外國民黨上海特別市第二區黨部執行委員會も、上海學生聯合會・上海大學各青年團體聯合會・印刷總工會・支那海員總會上海分會・上海南市々民代表會・臨時執行委員會・上海南市各工會聯合會・上海總工會等も皆去る八日九日等に中央黨部及國民政府の武漢移轉に對し祝電を發したり。(三月十日申報)

左右兩派の妥協は困難　國民黨左右兩派衝突の起源は國民黨總政治部主任兼總司令部留漢代理たる鄧演達を總司令蔣介石が罷免したのに在る。此の事件以後武漢に於ける一般の急進派は恐惶の餘反蔣策を取りつゝあつたが、恰も當時國民政府の主席譚延闓・中央黨部主席張靜江等は南昌、九江の間に在つて未だ武漢に入らず。何香凝等黨部の要人等も亦譚・張と共に江西に在り、重要決議は一片の電報を以て遵守を命じたので徐謙等は不快に堪へず漢口の聯席會議を楯に蔣介石より來る命令を斷然拒絕した。然るに江西に在つた幹部要人は徐謙等の橫暴を制せんとて遂に黨一部の決議を以て政府より漢口聯席會議取消を命じたにも拘らず、徐謙側は聯席會議が中央黨部、國民政府及武漢人民團體の三方面の聯合組織にして政府の管轄下にあらずとの理由を以て該會議の取消を拒絕したれば、蔣介石・張靜江等は直に該會議の解散を實行し、著名なる共產派諸人の諸人を武漢より驅逐せんとしたり。然るに譚延闓等のみは愼重なるべきを說きたる結果蔣は言論を以て應酬すべく決意し、正々堂々として徐謙等攻擊の演說をなせり。しかも徐謙等は反りて攻蔣の鋭鋒を露はし去る十日の中央執行委員會開會の際は一般勞働者を糾合して國民大會を開き蔣・張等に反對の諸決議案を公布し蔣を辭職せしめんとしたるを以て、李烈鈞は中途より南昌に歸り、蔣・張等は漢口會議出席を取消し、譚は大局に鑒み雙方互讓を勸告中なるが、現下の形勢より觀察すれば兩派の妥協は極めて困難なるに似たり。(三月十五日—北京益世報)

□南京の陷落と各外國人の被害

南京の不安　其筋着電によれば南京在留の英人は極度に恐怖を感じ三月二十二日夜は各自國陸戰隊を上陸せしめ保護に任ぜしめつゝある。日本居留民は比較的落着いて居るも在南京領事は邦人を日本領事館に收容し、一方同地附近に碇泊せる軍艦松・桃・濱風等より二十名の陸戰隊を上陸せしめ、領事館の警備と共に邦人の保護に對し萬全を期して居るといふ。(三月二十四日)

南京の陷落　二十四日の上海電によれば山東軍と南軍とは既に南京の南方約二哩附近にて交戰し、尋で南京の南門外に於て孫宗先の部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

兵が革命軍に投降したる爲め、褚玉璞は親しく該部隊の武裝を解除し、目下頻りに奮戰しつゝあるも、形勢は一般に不利に陥り、同地の省長等は既に逃走し警察廳長も二十三日の夜逃出したりといふ。褚軍は將に攻入らんとする程潜軍を防守しつゝ二十一日午後より交戰漸く激烈となり、二十三日の朝に至りては大砲小銃の音烈しく、兩軍の兵力は各約三萬宛と傳へられ、同日の午後には南軍既に南京を隔つる五哩の地に肉薄し、翌二十四日夕刻に及び直魯軍漸次退却を始め、支那人家屋は北軍の敗走兵に掠奪されたるもの少からず、革命軍は同夕より二十五日朝にかけ南京に入城することゝなれり。

英領事館襲撃と英米艦の砲撃　在南京英國領事館は二十四日革命軍らしきものゝ襲撃を受け領事以下數名の館員負傷し米領事館も掠奪せられ。金陵大學の副校長米人ゼーイー・ウイリアム博士は殺害せらる。英米海軍は同日午後四時頃約三十分間城内スタンダードヒルに對し掩護射撃を實施して各其の陸戰隊を上陸せしめたり。

（三月二十五日－南京電）

日本領事館に對する革軍の暴行　二十四日午後七時半、多數の革命軍兵士拔劍のまゝ在南京帝國領事館に侵入し、射撃・掠奪を擅にし、其後續々殺到せる暴兵の爲め、南京駐在武官根本博少佐は右腹部及臀部を銃劍にて突かれ、木村同領事館警部は右腕に貫通銃創を受けたり。館中に奉安したる御眞影・重要書類・電信書類等は幸に無事なるを得たるも、武器糧食等は一物をも殘さず掠奪せられたり。此等暴兵は其他各所に殺到し在留英米人中爲めに行方不明となりしもの百二十六名の多きに上れり。但し帝國領事館附近に在りし邦人百六十名二十五日午前十時に第二十四驅逐艦司令吉田健介中佐に率ゐられたる水兵の爲め糾合せられ、全部驅逐艦檜に收容されき。

（三月二十六日－上海電）

南京事件と米國の激昂　米國政府は南京事件を目して革命軍が今後一般的排外運動に移る導火線に非ずやと重大視し、その善後處理に關し凝議中にして、一般民衆は昂奮し、二十六日の各新聞は一部に痛烈に支那の暴状を攻撃し、積極的に武力干渉すべく促がし、一方英國の態度に對する同情は俄に濃度を増しつゝあり。

（三月二十六日－紐育　華盛頓電）

上海に逃れた森岡領事の實狀談　森岡南京領事は二十八日上海に避難したが、革命暴行の實狀を語つて云ふ。「大體の經過は御承知の通りであるが特に注意を要するは、今回の暴擧が極めて組織的に行はれた事である。彼等は第二・第六・第四・第十軍の兵で、男女數十名の南京共產黨支部員に案内され、掠奪品運搬用の馬車まで引きつれ、口々に吾等は日本の帝國主義を排斥するものだとて、あらゆる暴行を働き、私の傍まで來て身體の四邊に實彈を發射し、蒲團は勿論腰卷まで剝ぎ取つたのである。在留民は二名の負傷者を出したのみで他は無事であるが、商店住宅等は二十四・五の二日に亘り掠奪され、百餘名の在留民は歸るに家なく、著るに着物なく、恐らく再び南京

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に歸るものはあるまい。領事館も亦南京には不必要と思ふ。英米も同様で、殊に英領事館は守備の陸戰隊が發砲した爲め一齊射擊を受け、英領事は左大腿部に銃創を受け他は何れも逃げ出し、領事は二日間も其儘打捨て置かれ死亡したものと思はれて居たが、其後救ひ出された。支那人側は山東軍に多少掠奪に遭つたのみで、何等平常に異なるところのないのに視ても、排斥的のものであることは明かである。又二つの大金庫には御眞影其他重要書類を入れてあり、直に鍵を臺所の側の烟突の壞れた穴に投げ込み着物と共に掠奪されたと言ひ拔けて、辛うじて安全なるを得た。婦人に對する暴行は凌辱をせぬだけで、面白半分に着物を剝ぎ取り、若い婦人には堪えられぬいたづらを加へた。領事館には日本の海軍兵も居り、武器も相當あつたが、飽くまで無抵抗主義で隱忍した。若し對抗したら恐らく皆殺しになつたと思ふ。帝國領事館が正規兵に依つてかく計畫的に襲はれた事は全く未曾有で、その慘虐なことは憎みても餘りがある。

□汕頭情報

汕頭對內外貿易　汕頭稅關統計によれば昨年（一九二六年）の汕頭對內外總貿易額は輸移入六千七百六十五萬兩、（海關兩）輸移出二千七萬兩總計八千八百三十八萬兩にして前年に比し千五百三十萬兩を增加し、未曾有の計數を示せり。特に注意すべき點は下の如し。（一）對外直接貿易に比し對內貿易增進し、殊に支那品の輸移出入激增したり。（二）日本、暹羅及佛領印度支那との貿易は何れも著しく增進せるも海峽殖民地は漸く現狀を維持し、香港は前年に比し三分の一に減じ、米國も約半減したり。（三）汕頭對日本貿易額は三百七十七萬兩として、前年の百四十萬兩に比し約一倍半を增したり。（四）獨逸及露西亞貿易は少額ながら統計面に表はれ初めたり。（五）出入船舶は

程潛などの幹部は頻りに南軍の意志でないと聲明してゐるが、彼等された國威は如何せんやである。又南京事件に對する英米の態度は頗る强硬で日本も、此際斷乎たる態度に出ねばならぬ。現在の南軍の勢を以てすれば、四月以內に北京を陷れ更に張作霖を擊破すると豪語してゐるが、必ずしも不可能と言ひ得ない事情もある。日本は其時になつて悔ゆる事なきやう大いに省みるべきである。

（三月二十八日—上海電）

蔣の南京事件調査　南京事件の眞相は南軍中の共産派が蔣介石等と日本との接近を妨げる爲め故意に行つた事で、南軍司令部も之を認めて居る。事件の責任者たる第六軍長程潛は二十八日正午南京より上海に來り。蔣介石より（一）各國人の被害調査。（二）英米軍艦の砲擊による支那人の被害調査。（三）暴動首領と暴動兵士の取調の三箇條を嚴命され、同日直に南京に歸つた。（三月三十一日　支那事情）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

前年に比し隻數に於て少しくまさるも、噸數に於て少許の減退を示し、英國船は三分の下で、支那船は一倍半を增し、日本船は約三割を增したり。（三月八日著―汕頭領事館報告）

在汕頭外國人設立學校の狀況　米國系の角石中學・正光女學校及國民學校は尙停辦中。佛國系の若瑟中學は全く休止中。英國系の華英中學は依然として復活の見込なし。唯英國系の童子部高等小學校は大正十四年夏排日英運動勃發以來一時解散の姿に在りしも、最近同系の福音病院内元淑德女學校跡に於て開校し始めたるも、生徒は未だ僅少なる信者の子弟のみにて漸次昔時の勢を恢復するものと認めらる。

敎育權收回運動と東瀛學校　敎育權收回運動は其の後さしたる影響異狀等はなく、東瀛學校も本年度は支那人側新入學生の成績特に良好にして、上流の子弟の增加したるは著眼すべき點とす。其の原因は學校の内容の次第に紹介せられたると、昨年開會したる敎育展覽會の實績とに因るものゝ如し。勿論廣東政府にては廣東州佛國人經營の中法醫學校の認可申請を拒絕し、一方廣東文化侵略反抗同盟會は此の問題に關し三月八日各靑年學生を召集し政府擁護運動を起すべく議決し二十九團體を實行委員に擧げたりとの事なるが、未だ汕頭には何等の影響を及ぼしたる事實を認めず。

（三月十七日―汕頭通信）

農民運動の勃興　汕頭は國民黨政府の勢力下に歸してより既に滿二年、其間勞働運動頓に勃興し、工會の組織により社會思想狀態に一大變遷を來したるが、此の思想的運動は都市より漸次田舍に入り込み其の盛なる宣傳に伴ひ、地方農民運動の擡頭日に甚しく、各縣鄉區農民協會の成立と自衞軍の組織とに依り、資本地主側に對抗し、地方社會及經濟組織の變革に手を染め、其勢力恐るべきものあり。現に揭陽普寧等の地方に於ては右傾派（地主側及穩健派）と左傾派（農民協會卽ち小作人側）との間兇器を持ち出し大衝突を演じたることすら珍らしからず。

農民協會の地位　支那に於て正式省農會の組織を見たるは廣東・湖南・江西・廣西の四省にして、其下に附屬する縣・區・鄉の各級農民協會は、五千三百五十三箇、其會員數九十八萬千四百四十二人に達し、其中最も發達したるものは廣東省にして、省農會一・縣農民協會二十三・區農民協會百七十七・鄉農民協會四千五百二十七に達し、其總加入會員六十四萬七千七百六十六人を算し、而して此廣東省内に於て汕頭を中心とする嶺東の地、卽ち潮梅海陸豐十七縣に於ける農民協會は縣農會十三・市農民協會一・區鄉農民協會約二千にして、正式會員三十五萬六千六百五十七人に達せり。果して然らば革命の洗禮を受けたる廣東省農民は全國の革命的農民の三分の二を占め、更に汕東地方嶺東十七縣の革命農民は廣東省の五割五分に上り、支那全農民協會員の三分の一を占むる重要なる地位にあるのみならず、最近

農民協會幹事側の發表する所に依れば當地方の農民協會員は六十

萬を超ゆる趣にして、支那全國中農民運動上輕視すべからざる地方と謂はざるべからず。

農民運動指導者　當地方の農民運動指導者としては其名斯界に高き澎湃あり。同人は早稻田出身にして數年前より鄉里海豐に於て農民運動に沒頭し、當地方が國民黨の勢力下に歸するや、廣東省農會より派遣せられ、潮梅海陸豐農民協會辦事所長として當地に來り、嶺東六十萬の協會員を操縱し、農民側の大立物として言動少からず世人の注意を惹きつゝあり。

農民自衛軍の實力　農民協會側は自衛軍を組織し居り、客年東江行政公署に於て蔣介石の命を奉じて各縣に訓練せしめたる自衛軍人員數は

興寧	六〇	潮安	一〇〇	澄海	一五〇	揭陽	一五〇
普寧	一五〇	惠來	五〇	平	三〇	陸豐	一五〇
潮陽	一五〇	五華	一〇〇	豐順	五〇	共計千百四十人に	

して、各縣公署より一人每月十元の食費を支給し、武器は政府より之を供給せり以上は正規の農民自衛軍にして、右以外各地に不正規自衛軍あり。殊に五華・陸豐・海豐の三縣は其不正規軍遙に正規軍を超過し事實に於て各縣の正規及不正規自衛軍は五百を算せるが爲に總數は先づ五千を下ることなかるべし。

農民運動員の養成　當地方に於ける農工運動員養成の爲め、客年七月汕頭嶺東甲種商業學校內に「東江農工運動宣傳員養成所」を開設し、同月十六日より授業を開始したるが、收容者百名、修業期間三箇月にして授業科目は「國民黨主義・國民革命の基礎的智識・農工運動の論議及方法・實際的宣傳の訓練」等にして、卒業者百名の中三分の一は昨秋何應欽軍に從ひて福建に入り何れも農工運動に活躍しつゝあり。嶺東地方各縣に於ける農民運動宣傳員左の如し。

五華縣	鄧儲　李娍　賀民敬	豐順縣	陳光夏
普寧縣	賴華節　徐農勞	陸豐縣	手禮
潮安縣	余又兵	揭陽縣	李倉垂　戴光
潮陽縣	鍾鼓　顏詠	汕頭市外	李德芳
饒平縣	王思靜	汕頭市內	李芳岐
澄海縣	陳一史	惠來縣	莫協民

農民大會の開催　前記澎湃の主宰する潮梅海陸豐農民協會辦事處は同地方農民代表大會開催方客年末より計畫中なりしが、愈々本年二月二十三日より二十六日に涉る四日間當市に於て開催されたり。會するもの海陸豐より潮州梅縣地方一帶に涉る、所謂嶺東十七縣の農民代表二百四名及幼年農民百七十七人に達し、澎湃主席團主任として采配を振り、廣東省農會よりは羅綺園を派遣列席せしめたり。

大會開催の目的　主催者側の聲明に依れば（一）農民革命根本思想の徹底的宣傳。（二）軍閥打倒を以て革命成功と爲す近視的革命者をして農民運動の重大意義を知らしむること。（三）國民革命の主力は農民なり。半殖民地的支那の農民運動は全世界の農民運動とも言ひ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

得べく、卽ち此運動を全世界の被壓迫階級に結び付け、民族解放の聯合戰線に向はしむること。（四）農民現下の痛苦窮境を近視的革命者流に知らしむること。（五）嶺東地方農民協會所屬五十餘萬農民の團結を一層鞏固にし、惡地主土豪劣紳の切崩に備ふること。（六）從來の各縣個々の農民運動は效果薄きが故に、之を統一して農民革命に進むこと。（七）農村の封建的思想卽ち個人主義・宗敎主義・地方主義・運命主義・體面主義の五大主義を打破し、新思想を吹き込むこと。

以上の如くにして、其中第三は澎湃の常に叫ぶ所なるも當面の問題に非ず。第二及第四は農民運動に對する同情を要求するに止り、殘る所は第一の農民革命思想の宣傳と、第五・第六・第七の農民協會の團結及地方地主排斥に歸す。當地方奥地農村に於ける農民運動に對しては地主側の相當强硬なる反對勢力あり。是等地主側は新國民社を各地に組織し、穩健なる農民を引き附け、農民協會に對し仇敵の地位に在り。是れ第一項に既述せる右傾派、左傾派の衝突を演ずる所以なり。加之に國民黨右傾派は左傾派たる農民協會宣傳員と對抗して農工指導員を各縣に派遣し、兩者相對峙の結果、左傾派の新農民運動は其會員五十萬にして、全農民の十分の一に過ぎず。其の成績思はしからざるものあり。卽ち這回の大會は要するに右傾派に對する左傾派の示威運動と舊式地方官吏の排斥とを意味するものと看做すを妥當とすべく、後記決議及宣言を見るも、其間の消息を明に看取し得べし。

大會の決議要項　決議の主要なるものは下の如し。（一）貪瀆專賣取消を政府に請願すること。（二）減租卽ち小作料百分の二十五減案を擁護すること。（三）土豪劣紳の地方・宗族・個人・運命・體面の五大主義に反對す。（四）官廳の陋規取消。（五）土豪劣紳の敎育請負に反對す。（六）土豪劣紳の苛抽に反對す。（七）地方公款の淸算及公益事業の創設。（八）賭博の禁止。（九）地主の小作地取上げ權を取消すこと。（十）國民黨に加入すること。

大會の宣言　我等の最大の敵ー惡地主・惡財主の擁護者たる軍閥は今や東江の地より影を沒したるも、吾人の直接搾取者たる惡地主・惡財主は今尙奢華なる生活を營み、吾人に對し壓迫殘暴を極めつゝあり。彼等の行爲は單に吾人を苦むるのみならず。國民黨に反對し國民政府に反對するものなるが故に、吾人は一面國民黨の統治を鞏固ならしむると共に、他面自己の利益と自由との爲に、彼等反革命的土豪劣紳と戰はざるべからず。本大會は昨民國十五年七月の中國國民黨中央及各省執行委員聯席會議議決の農民政綱及同年八月廣東省農民協會擴大會議議決廣東農民現下の總要求を以て本大會今後一切の根本方針とす。尙吾人は國民革命の最も大切なる時期に際し、工商學婦女各界と完全に合作し、吾人共同の敵を打倒し、眞正の民主的政治の確立を希望するを以て內部組織を整飭訓練し、一層之を擴大し、一致國民黨に加入せんとす。吾人は至誠を以て國民黨指揮の下に工・商・學・婦女各界と手を携へて國民黨政府を擁護し、東江人民の自由解放の目的達成を期せんことを茲に宣言す。

（三月十四日　在汕頭領事館）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□廣東に於ける定期刊行物調査

廣東に於ける民間言論機關は頗る不振なるも、國民黨及國民政府並に工會學生團體等の言論機關は益々發達し、殊に宣傳演說用として比較的手輕なる週刊及月刊等各方面に歡迎せられ、其の發行部數も甚だ多數に上り居れり。是等雜誌類はもとより興廢現滅常なく、頗る永續性に乏しきものなれども、廣東に於ける宣傳熱の盛なるを窺知するに足らん。今之を一覽表とすれば左の如し。

定期刊行物	發行所
廣東行政週報	廣東省政府秘書處編輯股發行
廣州市市政府公報旬刊	廣州市市政廳總務科編輯股發行
農工週刊	廣東農工廳發行。現に三册發行濟。
航空月刊	總司令部航空處發行
黃埔商埠週刊	黃埔開埠委員會宣傳股發行
廣東機器工會半週刊	廣東機器工會發行
前進半週刊	廣東兵工廠黨代表辦公廳發行
廣東兵工廠月刊	廣東兵工廠宣傳科發行
黃埔商埠月刊	黃埔商埠委員會宣傳股發行
農學双月刊兩箇月一册	嶺南農科大學出版部發行
佛山精武會月刊	佛山精武會發行
中國海員半月刊	中華海員工業聯合總會執行委員會宣傳部發行
前進週刊	總司令部海軍處政治部發行
黃埔潮週刊	黃埔同學會軍事政治學校發行
革命華僑	華僑協進會發行
第七軍特別黨部半月刊	第七軍特別黨部發行
革命花半月刊	第四獨立師政治部發行
衛生局月刊	廣州市衛生局發行
國民週刊	國民黨省黨部發行
軍聲週刊	第四軍部軍聲編輯所發行
嚮導週報	中國共產黨發行（發行所漢口）
少年先鋒	省黨部婦女部發行
中山大學政治訓育部月刊	中山大學發行
廣東商民週刊	廣東商民協會發行
奮進週刊	中央工人運動宣傳委員會發行
廣東青年月刊	省黨部青年部發行
青年會月刊	嶺南大學青年會發行
左向週刊	嶺南大學同學會左傾派甘乃光等發行
華僑月刊	嶺南大學發行
廣東工人日刊	廣東總工會宣傳部
犂頭週刊	廣東省農民協會發行

（三月二十四日—廣東情報）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

口廣西省の施政方針

政治會議廣州分會十一日附電示を奉ずるに、廣西施政方針の本會の議定を經たるものは（一）吏治の刷新。（甲）建設能力と廉潔あるの政府を造成す。（乙）地方行政機關の整飭。（丙）地方行政人員養成所の籌設。（丁）地方武裝團體訓練員養成所の籌設。（戊）鄉民・縣民・省民大會の召集。（二）釐金の廢除。（三）實業振興。（甲）農業を改良し各種の農林試驗場を設く。（乙）全省の礦產を開採す。（丙）平民工廠を增設し並に各種工業の發展を協助す。（四）交通を整頓す。（甲）最短期間を限り全省幹路を完成し及各縣路を建設す。（乙）各道無綫電臺を建設す（丙）民用飛行機を籌設す。（丁）各江航路を疏浚す。（五）各級の民衆を扶助す。（甲）教育經費を增加し廣西大學を設立す。（乙）各區農民銀行を籌設す。（丙）農民の減租百分の二十五を實行す。（丁）工人失業補救事業を籌設す。（戊）切實に商人の營業を保護す。（己）士兵の生活を改良す。右電達す云々。（三月七日　梧州特信）

口雲南時變解決の近音

大山頭土匪の由來　滯境停車場を距る一百支里の大山頭には一千餘の土匪あつて、頗る時人の注意する所と爲り、且つ誤認して桂邊黨軍范石生部の先遣隊と爲すものあり。實は是等土匪の由來は卽ち開化に駐れる旅長何世雄が名を倒唐に藉つて召集した土匪に係り不軌を希圖するものである。その後開化李督辦に查知せられ、直ちに何は免職されて拘禁訊究せらる。此等の土匪は現に李督辦から兵を派し淸勦せられた。

胡若愚が范石生を防ぐ電報　前日胡若愚督辦は開化李督辦及び雲南邊境桂軍裴・熊・陸・梁の各部・廣富邸各縣知事に打電して云く、年來吾が雲南政治の綱あらざるは、皆大體を識らざる二三のものが前に當りて蒙蔽せるによる。君側を淸むるに非れば治理を言ふに足らず。五日附電報を以て布達せる情形は、實に國の爲め民の爲めにする苦心に出づ。凡そ吾が雲南人は諒に皆此の旨に明達せるが、邊遠なる各地方は消息の靈通せざるため、傳聞或は多く實を失へり。一たび誤解に渉らば影響殊に深し。須く知るべし今次痛切なる陳言は悉く匡救の情殷なるに原き、我が良知に基き我が天職を盡せることを。各軍政官員もとより職責あり、仍ほ須く切實に遵守すべし。廣屬は雲南邊境の門戶にして王司令專司の責あり。此の時機に當り尤も應に深溝高壘もて嚴重に布防すべし。粵桂は隣邦なればもと親善を主として膽質を戮うし、彼此境界を守りて却に互に相侵さざるべし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

若し范部我に對して軌を越ゆるの擧動あらばすみやかに力を盡し抵禦して邊防を固うすべし云々。

唐繼堯、龍雲二人の布告　唐繼堯省長の告示に云く、昨胡(若愚)龍雲・張・李各鎮守使より連名電報を政府に致し請求したるの件は、其の專たる公務に屬し居ればもとより立時に解決し難からず。然るた外間のものは眞相を明めずして遂に謠言を生じ近省各部隊も頻に移動するに至りたれば、本省長は命を下して之を制止し、同時に各鎮守使に通電して請ふ所の如く照辦するを許し、移動せる各軍隊に命じ皆一律に原防に返らしむ。各軍等も一致して命令に服從し續々其の原防地に返り地方の安靖なること常の如し云々と。又十二日夕に及び龍軍長亦軍辦督察處兼處長の名義を以て布告を發して云く、今次各軍聯名政府に紀綱を整飭し政治を刷新するを請求せるは專ら地方を愛護し及び聯帥を擁護する一片の誠意より出づるに係り、決して其の他の問題の其の間に雜ることなし。現に大體均しく已に解決せり、凡そ我が滇中の父老は務めて共に斯の旨を明にして別に誤會を滋くするを得され云々と。

胡若愚等漸次前進す　省側は大體蒙自方面の要求を承認せしより外復た代表李達夫・張瑞萱を派し、十四日に蒙自に到り、已に俱樂部に招待したり。午間胡若愚親しく出でゝ接見し相共に協商したる結果、仍ほ當局に對して切言し一日も早く通電の如く實行公布するを希望し、同時に各將領も頻りに文書を以て胡の省に上り協商に便し、最短期間に於て具體的解決に到るを期す。胡氏は已に種々考慮せる結果、阿迷官良一帶に移り進み機を相て策應し一切を處置せんと欲し、定めて本月十五日に出發し、鎮署の事務は別に專員に派責を負はせて辦理せしむべし。又照通電によれば張鎮守使の所部は元來已に一部を出發進前せしめ省城附近の楊梅一帶に到着して暫く技に駐りて策應すべく、張使は現に親しく田旅を率ゐて省城附近に向ひて進み以て各方面將領の會同して一切を商決するに便することに決定したり。又蒙自の陳道尹は前に一月一日附を以て休暇願を出して蒙自を離れ、石屏なる原籍に返りて親を省しつゝあり。現に胡督辦は大局上の關係たより自身前進の必要あり。更に陳道尹が即日歸任し代りて地方の政務を維持せんことをあつく催促する所ありしといふ。

唐陳(維庚)雲南を離れ去るの餘波　唐繼虞・陳維庚は已に雲南を離れたるも、其の雲南に在るの職務は尙明令をもて取消されず。聞く各將領は此點に對し昨日復た省當局に電請するに、即日に明令を以て其本兼各職を解き、前に派遣したる西防剿匪部隊を撤回し、別に人を選び隊を派し其の後をつがしめんことを以てしたり。

(二月下旬　雲南特信)

省政府委員制に改正　雲南當局は胡鎮守使等が十一日附電報を以て政治の公開と政府の組織改正とを請求したるを容れ、四項の解答を與へた。即ち(一)省政府組織を委員制とし、速に軍事・民事・財事の三委員會を設けることを許し、當分相談の爲め法學上より起草の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

專門家を推選し、急に新政府組織法を草定し衆議に附し之を審核せしむべし。（二）唐總監隊司令は既に省境を離去したれば、前に取消を許した沿途及城防警戒の各軍も亦速に其原防地に返るべし。（三）各軍より要請した貪官懲辦の事務は、省議會より彈劾したものは法庭に送つて審訊し法律に因つて究辦する外、其の餘未だ議會の彈劾を受けざる諸人は、應に要求者より廣く其の法を枉げ私を營んだ證據を搜羅し提出した時を俟ち、直ちに法庭に交附して懲辦すべし。（四）最短期間内に軍事機關の成立を希望するとの一項は立ちどころに胡・龍・張・李の四使を召集して開會商決すべしといふ。右によつて觀るに將來雲南大政の方針は首領制から一變して民衆的公開組織となるべきは斷言し得べし。但し胡若愚は委員制を主張し、龍雲は合議制を主張したとの事で目下右の會議中であると傳へらる。

（二月二十五日―雲南特信）

各將領宜良會議　四鎭守使現に宜良に在つて會議中である。故に省城は已に勢力集中の地にあらざるの觀あり。各軍が懲辦を請求せる小人吳琨等十八人は關係する所廣くして、各重要官署十中の九までは事務停止の狀態で、政界著名の人物は日夜匆忙を極め居り、市公所及憲兵律警督察處のみ職務を執行し居るも、其他は暴龍首なきの有樣となり、教導隊兵の如き再度までも警察を毆擊するの事あるに至つた。幸に龍軍長起つて公理を主張し省長に請願し同隊々長連長以上の官長を軍法に問うて懲辦したので、警察は職務を復するを得た。かくて内務司長吳琨の家產は昨日遂に軍隊及警察に依つて查封せられ、吳は其兄吳子楡と同居せる廉を以て兄の家も波及を蒙つたのである。此の消息の傳播されてから省中某要人は速に銀行に赴き其の預金十萬元を引出さんとしたが、銀行は之を許さなかつた。之に何の故なるかを問へば龍軍長の命を奉じ、平民商店だけは依然兌換を爲し居るも達官貴人の預金は引出しを許さゞることになし居れりと答へといふ。

憲兵司令更迭　二月十九日夜に至り胡英が已に省長の命を奉じて憲兵司令官を代理せるを知る。開化に駐つて居た何世雄は其の旅團を率ゐて唐繼虞に附和した廉を以て其の旅團は已に李軍長の部に解決せられ、其の部下は同軍長の下に改編された。何氏自身は開化に拘留中なるが其の罪狀は甚だ大である。又同時に滇越鐵道軍警總局長劉鴻恩も亦職を去つて遠く逃れたが人の逮捕する所と爲り、其の部下守備二大隊も軍事當局に解決された。大局已に爰に至つては四使宜良の會議に依つて議決を要する次第である。されど省城の現狀は尙ほ騷擾を續け居り、憲兵司令官の如き去年除夜から今日まで二旬日に過ぎざるも、已に李玉昆、孟友聞・胡英の三回の更迭を經たので、亦其の省中内幕の紛擾せるを想ひ見るべきである。

（二月二十六日　雲南通信）

雲南新政府の組織　雲南の政變は既に十に八九分までは難關を通過し、二月二十日蒙自の胡鎭守使・昭通の張鎭守使相ついで省城に達

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

み省政府組織の事宜を會商し、省議會に開會し、雲南省政府大綱を議し、四鎮守使は官民を集合して各方面より商酌し、省側の馬伯安等の三代表者より再三研究した上、始めて官民會議に提出して議決の上は政府組織の大綱は従來甚しい變動はなかるべき譯である。今其大綱草案を擧ぐれば左の如くである。

雲南省政府組織大綱　第一條　雲南は政治革新の爲め全省人民の公意を根據として省政府を改組す。第二條　雲南省政府には總裁一人を設け各軍より之を公推す。第三條　雲南省政府は委員制を採り省務委員會を組織して全省最高行政議決機關とす。省務委員の額は定めて九人とし五人の候補を置き各法團より各代表二人を推して省議會に加入せしめ共同に之を選擧す。第四條　總裁は省務委員會の議決事項に對し須く三日内に於て之を公布すべし。第五條　總裁の公布せる事件は須く省務委員會全體委員の副署を經べし。第六條　總裁は省務委員會の議決せる事件に對し不當ありと認めたる時は須く理由を説明し三日内に於て交還して覆議すべし。但し一回を以て限とす。第七條　省務委員會委員は年滿三十歳曾て公務に任ずる三年以上にして劣跡なきものを以て合格とす。（省務委員は各廳々長を兼ぬるを得。）第八條　省政府には左列の各廳を設く。「內務」「財政」　軍政　外交　教育　司法　實業　交通　上列の各廳は分別して省務委員會議決事件を執行するを除くの外、既令を以て所屬一切の事務を處理するを得。第九條　各廳に廳長一人を設け省務委員より省務會議に提交して議決し總裁より之を任免す。其他各廳に屬せざる機關は直に省政府に隷す。第十條　第八條に列する所の各廳には委員を分設すること五人より七人に至り、廳務委員會議を組織す。各該廳一切の事件は會議の時廳長を以て主席と爲す。廳務委員は省務委員より省務會議に提交して通過せる後、總裁より之を任免す。第十一條　本省に監察院を設け省議會及各法團代表より監察使五人を選擧し一切の政務を監督し、院長は監察使より之を互選す。第十二條　各司法機關は仍ほ舊制に照して辦理す。第十三條　省内外の各機關人員にして薦任職以上のものは省務委員より或は各該廳長より相當人員を遴選し、省務委員通過の後に在りて、總裁より之を任免し、委任職以下のものは各長官より之を任免す。第十四條　總裁或は省務委員及其他公務人員にして違法瀆職の情事あり監察使の彈劾を經るの後は法廷に交して之を裁判せしむ。第十五條　省政府設くる所の各機關組織法は別に之を定む。第十六條　本組織大綱未だ盡さゞる事宜あるときは、省政府より省議會及各法團代表に咨交して之を修正す。

（三月四日—雲南消息）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□中國各港の電車交通概況

一、緒論

吾が國（中國）の商港中、電車の設備あるものは僅かに上海・香港・天津・大連・撫順及び北京の六處に過ぎざるなり。其發達せざる原因は甚だ多しと雖、就中重要なるものは、其街道の狹小なる事なり。蓋し吾が國（中國）の街道は僅かに轎輿の往來を許し得るのみにして、比較的大なるものも亦僅かに人力車の通行に適するのみなり。而して常に頻繁の地は已に其喧買萬狀なれば、若し電車・電話・電燈の支柱を設置せんと欲すれば、特別の設計をなすにあらざれば不可能にして、其他の如きは更らに想像するに足るべし。二三重要なる都市は已に新式の大道路を建築しありと雖、然かも比較的僻地に在りて、電車を設置せんと欲すれば、卽ち必ず巨額の工事費を要すべく、根本的街道の改造は、城を毀ち家屋を破壞する絶大の權力を有せざるべからざるなり。故に國内の電車事業は、發達の希望無きもの丶如し。目下各港の已に電車の通行せる處の如き、其一部或は全部の皆租界に屬し、或は僅かに租界區域以内に限らる丶は、卽ち其證なり。然れども志のある人士は、何れも交通の改良は必要缺くべからざる計畫なりと認めり。故に急遽起ちて直ちに追ふ者も亦頗る多く、廣東・奉天・哈爾濱等の處は、數年來電車事業開始の準備中なり。最近北京に於ける電車の如きは、尤も純中國街市中に在りて、創辦せられたるものなり。玆に上述せる情態に就き、各港に於ける電車の交通狀況に關し、概說すれば左の如し。

二、電車事業の將來

電車事業を起すには、上述せる各種の困難問題以外、習慣を守れる國人は、城の破壞及び市區の改良に對し、往々反對の風潮を生じ、其次に電車の開通以後多數の舊式交通機關に賴りて生計を維持せる苦力は營業を剝奪さる丶事疑無く、衣食に關するを以て、彼輩は亦當然出で丶反抗すべく、此種の如き、常に其擧行を困難ならしむるものなり。然れども上述せる情態は、時間の問題たるに過ぎず。且つ僅かに比較的邊鄙なる都市に限られり。大通商港の如きは、中外の觀瞻に繫るに因り、已に次第に市政公所を設立し、城の破壞は一時的に實現せざれども、其城外の街道は大體新式の大道路に改築せられたり。廣東・汕頭・濟南・鄭州・奉天等の處の如き、卽ち其例なり。此後商業の發達及び人口の增加により、電車道路の修築は必ず平行して行はるべし。

次に掲ぐる表は、卽ち上海工部局の發給せる各種交通機關の鑑札數及び天津の鑑札稅徵收額にして、是れにより此中の消長を知るべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九〇七年以後工部局發給の鑑札數

年次	人力車	馬車	自動車	中國土車	轎輿	自轉車
一九〇七年	一三、八二九	一、六三五	九六	七、三八六	六六一	一、〇九〇
一九〇八年	一二、八九二	一、五二一	一一九	七、〇六〇	六一九	一、〇四六
一九〇九年	一三、七四〇	一、四一四	一三三	六、〇二〇	五〇一	九九三
一九一〇年	一三、四九八	一、三六六	一五一	五、八〇四	三三一	九八二
一九一一年	一一、一一一	一、三七七	二一七	六、三二〇	一九九	九五八
一九一二年	一三、二五三	一、二六九	二六八	五、七九〇	九四	一、〇〇三
一九一三年	一三、七七七	一、二七八	三四二	六、四三七	四六	一、三三〇
一九一四年	一三、八六七	一、一九〇	四四三	六、九三八	三五	一、四〇〇
一九一五年	一三、八一六	一、〇五三	五三九	六、七七七	二八	一、四二五
一九一六年	一三、八五五	一、〇一五	六七三	七、四六〇	二五	一、五四六
一九一七年	一三、六九一	九四一	八一九	七、四〇四	二七	一、七一八
一九一八年	一四、二〇九	八八六	一、〇六一	八、一一七	一七	一、八二二
一九一九年	一四、七二六	八二一	一、三七八	八、六六七	一六	二、一四一

一九〇五年以後天津佛租界の鑑札税徴收額表 （單位兩）

年次	人力車	馬車及び自動車	中國土車	自轉車
一九〇五年	二〇、二九〇	二二〇	五、四三一	九、五三四
一九〇六年	二〇、五三三	三三三	五、九二〇	一〇、九七七（電車通行）
一九〇七年	二〇、七五三	三四九	五、八九四	八、九七九
一九〇八年	二一、一二三	二八四	五、一二九	五、六〇七
一九〇九年	二一、六六二	二六一	五、一九六	四、八七六
一九一〇年	二一、六五一	二四二	五、八〇四	四、七六〇
一九一一年	一六、三四五	三三三	六、一五二	二、四六三
一九一二年	一八、七一八	六〇七	七、一一八	四、九八一
一九一三年	一七、四七一	一、四二〇	八、三四一	五、九六一
一九一四年	一六、七五三	一、四三一	一二、三六四	八、三三四
一九一五年	一四、八〇一	一、五〇三	一二、四八四	八、二一五
一九一六年	一五、四五七	一、九八四	一三、一二八	八、八五七
一九一七年	一七、〇〇四	二、六七〇	一三、八〇八	九、四六六
一九一八年	一九、一三〇	三、五〇五	一三、五八七	九、七七一
一九一九年	二〇、三八三	五、三三七	一四、五八七	一〇、三七四
一九二〇年	二五、四六四	七、一七九	一五、三三三	一二、三三七
一九二一年	三〇、三八一	九、〇五八	一五、七一四	一三、四[illegible]
一九二二年	三二、〇七九	一〇、三三七	一八、三三八	一四、三八[illegible]

上表より之れを観れば、電車の開通以後、苦力營業者は莫大なる影響を感受し、而して人力車夫の尤も甚だしきを知るべし。一九〇七年度上海工部局發給の鑑札數は約一三、八〇〇枚なりしが、一九〇八年は電車の開通以後に當り、即ち一二、九〇〇枚に減退し、而して一九一一年迄では次第に減少せりと雖、一九一二年には復た增加の傾向を示せり。例へば天津の如き、一九〇六年電車の開通せる後なれども、人力車の鑑札税はまだ曾て減少せざるのみならず、且つ最近數年間に於いては、急激なる增加を示せり。此れより推測すれば、電車の開通は卽ち小民の生計に影響すと謂ふ事能はざるなり。專門

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家の云ふ所に據れば、電車一輛の輸送力は約人力車七十三臺に敵し、而して電車一輛の占むる面積は僅かに人力車七十三臺の占むる面積の二十六分の一に合せり。倘此說にして確實なれば、卽ち電車は交通の發達上必要なる機關たる事甚だ明なり。

今遠東時報（Far Eastern Review）記載の電車と人力車との運輸能力比較を摘錄すれば左の如し。

	電車	人力車
一車の乘客運送數	五〇人	一人
一時間の進行哩數（停車時間を含む）	八・八哩	六哩
一時間の進行哩數（全乘客の延哩數）	四四〇哩	六哩
各車の占むる道路面積	二〇〇平方呎	二五平方呎
實際占むる運送面積	二〇〇	七一・六
人力車三十五輛の占むる面積		二、五〇〇
旅客五十人の占むる面積	二〇〇	五、二二〇

上海の電車交通發達狀況表

年次	延長哩數	運轉輛數	乘客數
公共租界			
一九〇九年	一六・三哩	六九	二一、〇〇〇、〇〇〇
一九二一年	一七・八	一八二	一三〇、〇〇〇、〇〇〇
佛租界			
一九〇九年	九・二	三三	七、〇〇〇、〇〇〇
一九二一年	九・八七	四九	三三、〇〇〇、〇〇〇
華界（一九一三年開始）			
一九二一年	六・〇	四三	三〇、〇〇〇、〇〇〇

遠東時報記載の上海租界電車と世界各地電車との利用比較

世界各地電車乘客數比較（每年一哩に就き計算す）

地名	乘客數
Glasgow	五、一〇〇、〇〇〇人
Manchester	二、五七〇、〇〇〇
Liverpool	二、九〇〇、〇〇〇
Philadelphia	二、〇〇〇、〇〇〇
Chicago	二、四六〇、〇〇〇
Palis	二、二〇〇、〇〇〇
上海（公共租界）	七、〇〇〇、〇〇〇

全人口に對する一人の乘車回數

地名	人口	乘車回數
Glasgow	一、二〇〇、〇〇〇人	四〇四
London	七、三〇〇、〇〇〇	四一三
Philadelphia	一、八二五、〇〇〇	四六六
Chicago	二、七〇〇、〇〇〇	四八二
Palis	三、〇〇〇、〇〇〇	五一七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

上海（公共租界）	八、〇〇〇、〇〇〇	一四五
上海（其他の租界及び華界）	一、七〇〇、〇〇〇	一〇〇

三、各港の電車概況

一、上海電車

中・英・佛三國は各本界に線路を有し、上海製造電氣公司（英人經營）上海法商電車電燈公司（佛人經營）・上海華商電氣股份有限公司（中國の株式）の別あり。

甲　上海製造電氣公司（The Shanghai Electric Construction Co, Ltd）

該會社は一九〇五年英人の創設せるものにして、其本社は倫敦にあり。營業年限は二十五年にして、期限の滿了後は工部局の經理に歸する約定なりし爲め、目下は既に工部局の保護に歸し、殆んど市營と異なる所無し。一九〇六年四月起工に着手し、一九〇八年三月に至り營業を開始せるものにして、現在は既に資本金三十二萬磅に達し、其營業區域は上海公共租界なり。電力は悉く工部局電氣課（The Municipal Electrical Works）の供給に係り、全線の延長は二五、八二五哩（單軌）以外尚無軌道電車（Railless trolley）約數哩あり。該無軌道電車は一九一五年に起り、當時約十分の七の開通なりしが、爾來擴張を實行せるを以て、頗る發達せり。然れども通過の區域は悉く車馬の混雜せる所なりしを以て、當時工部局は僅かに試驗的形式の下に許可せるものにして、其擴張計畫も亦久しく工部局の懸案に係りしが、一九二四年に至り始めて許可を得たり。聞くに將來の豫定線路は十六哩なるもの丶如く、其中六哩を第一期作業と爲せるものにして、其餘の十哩は既に次第に進行中なり。無軌道電車と工部局と訂結せる契約に據れば、其通行路に當れる街道の修繕は、工部局の擔任に歸し、電車公司よりは、一哩毎に一輛に就き大洋二分を出し、並に其總收入額の二分の一を工部局に納め、是等道路の修繕費用に充當す。該公司より工部局に提出せる計畫書に據れば、無軌道電車車輛の占むる面積は、百五十八平方呎にして、尚人力車は同數の乘客を運載するに約二千五百平方呎の面積を占め、且つ無軌道電車の要する面積は僅かに Running space なれども、若し人力車なれば、二十八輛にて既に全街の面積を占め、其他の運送機關は殆んど身を容るゝ餘地なく、無軌道電車一輛の價格は平均一萬二千八百五十元にして、鋪道（Street pavement）一哩に就き二萬六千二十二元を要すれども、是等各種の費用を除くも、尚一分五厘內外の利益を收むべしと。

有軌電車は卽ち正に擴張の着手時期にして、一九二三年八月工部局公報の記載に據れば、卽ち僅かに豫定路線の延長二十三哩及び其他複軌の增加なりと。又一九二四年五月倫敦總會報告の記載に據れば、卽ち今後三年間の豫定敷設新線路は十五哩なりと。故に此後公共租界は、殆んど電車線路にて滿さるべし。

該電車公司の營業狀況は、聞くに每年進步を示し、年利約二分內

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

外ありと。而して現在の車臺數は九十輛、引車九十輛、無軌道電車十四輛合計百九十四輛にして、最近四年間の營業狀況は左の如し。

年次	乘客總數	總收入	總支出(銅元の下落による損失)	純益
一九一九年	九五、〇三八、七〇二人	二、〇八七、六九一元	五二一、三八五元	一、五六六、三〇六元
一九二〇年	一二〇、八三三、三二一	三、四七八、八四五	六五八、五七二	一、八二〇、二七三
一九二一年	一二九、五五八、七六九	二、九八一、〇七三	九三七、三一二	二、〇四三、七六一
一九二二年	一三六、六八四、三二六	三、五九七、二〇二	一、三九七、五七九	二、一九九、六二三

(備考) 毎日一哩の平均乘客數約一九、五〇〇人

銅元の銀元兌換損失率左の如し。

一九〇八年　二〇%　　一九一〇年　二四%
一九一五年　二七%　　一九二〇年　二六%
一九二五年(六月止)五三・五%

乙　上海法商電車電燈公司 (Compagnie Française de Tramways et d' Eclairage Electriques de Shanghai)

該會社は佛人の經營に係り、本社は巴里に設けられり。一九〇六年に成立せるものにして、其當初資本金三百二十萬法なりしが、翌年八百萬法に增加し、本界內に於いて電氣及び水道事業を兼營せり。線路の延長は約十八哩にして、車臺五十輛、引車二十輛、合計七十輛あり。

丙　上海華商電氣股份有限公司

該會社は即ち國人の經營に係り、一九一二年の創立にして、上海縣舊城の周圍より十六舖に至る一帶を其幹線と爲せり。資本金は最初二十萬兩なりしが、一九一四年四十萬元に增加せり。又一九一三年八月二哩餘の線路により開始せられしものなれども、現在は既に佛租界の電車と連絡せり。尙初め名稱は華商電車公司と唱へしが、一九一九年七月華商電燈公司と合併せし以後、始めて今の名稱に改めたるものなり。其營業成績は悉く詳細に知る事容易ならざれども、然かも一九二二年度の乘客數は三、二八三、〇四五人にして、其收入は銅元八、四六七、〇一一枚、又一九二三年度の收入は四十六萬六千二百餘元に達せり。

上海電車の運轉系統系表

公共租界電車

第一路　靜安寺－卡德路－愛文義路－南京路－黃浦灘－北蘇州路－北四川路・公園靶子路
第二路　卡德路－南京路－黃浦灘－十六舖
第三路　卡德路－新閘路－芝罘路－浙江路　東新橋
第五路　滬寧車站(滬寧停車場)－浙江路－(法界)(佛租界)－西門
第六路　滬寧車站－浙江路－湖北路－廣東路－黃浦灘－西華德路－吳淞路　靶子路・滬寧車站
第七路　滬寧車站－浙江路－南京路－黃浦灘－西華德路－提籃橋
第八路　楊樹浦－百老匯路－黃浦灘－(法界)－十六舖
第九路　洋布局－十六舖

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第十路　十六舗　外洋涇橋　黄浦灘　華德路—匯山路

第十一路　洋涇濱外灘—蘇州路—北四川路—公園靶子路

第十二路　卡德路—南京路—黄浦灘—蘇州路、北四川路—靶子路

佛租界電車

第六路　十六舗—洋涇濱—公館馬路—東新橋—民國路—方斜路—斜橋

第五路　斜橋　西門—東新橋—湖北路—浙江路—滬寧車站

第四路　十六舗—洋涇濱—公館馬路　霞飛路—善鐘路

第二路　十六舗—洋涇濱—公館馬路—霞飛路—徐家匯

第七路　小東門—新開河—老北門—東新橋—西門

第十路　十六舗—洋涇濱—公館馬路—霞飛路—呂班路—盧家灣

華界電車

本線路用掛札紅地に黒字　高昌廟—滬杭車站（滬杭停車場）—滬軍營—薛家濱—董家渡—大關橋—小東門

本線路用掛札黄地に黒字　小東門—新開河—老北門—新橋街—老西門

本線路用掛札白地に黒字　小東門—大東門—小南門—尙文門—老西門

本線路用掛札綠地に白字　老西門—尙文門—地方廳—滬杭車站—高昌廟

二、天津電車

天津の電車は、卽ち一九〇二年白耳義人の創設せるものにして、天津電車公司（Compagnie de Tramways et d'Eclairage de Tientsin Société Anonyme）と稱し、本社は白耳義の Bruxelles に設けあり。該電車公司の成立は、卽ち當時の北洋大臣袁世凱の奏請により、白耳義商世昌洋行の請負を許可し並に天津電車經營の獨占權を附與せられたるものなり。資本金六百五十二萬法は既に全部拂込濟にして、其中半額は卽ち電燈事業に投ぜられ、電車は一九〇六年より營業を開始せり。線路は卽ち Meter Gauge 式にして、通過區域は日・佛・露（舊）・伊・墺（舊）の各界に及び、總延長八・三哩、又其車臺は通過線路四區に分るを以て、亦四色に分れ、卽ち白色線（The white line）は市の周圍を通行し、靑色線（The blue line）は北大關より日・佛租界を經由して萬國橋を横貫し、舊露租界に入り、而して天津東站（天津東停車場）に達し、赤色線（The red line）は墺（舊）・伊・露（舊）の各租界を經由し、而して東站（東停車場）に達し、黄色線（The yellow line）は北大關より日・佛租界を經由し、而して佛租界の江岸に達せり。尙最近に至り、更らに綠色線（The green line）を増加せしが、佛租界西站（西停車場）附近の短距離內は佛國神甫專用の交通機關なり。以上各車の材料及び設備は、共に白耳義の製品なれども、唯掃除不充分なるを以て、車輛は甚だ汚穢なり。當時天津電車も亦上海電車の如く等級ありしが、其後此制を廢止せるにより、大部分は勞働者の乘坐となり、爲めに遂に清潔に注意せざるに至りしなり。天津電車の營業成績は、會社に於いて秘密を嚴守せるを以て、悉く其狀況を詳らかになす事能はざれども、唯毎日の電車收入約九萬元、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

電燈收入約八萬元なる事のみ知ろを得たり。其營業年限は、開始の日より滿二十年を以て限となし、滿期後は直隷省官廳の買收に歸し、尙滿期に至り履行せざれば、即ち原公司に於いて七箇年營業を繼續し、滿期後再び買收を行ふものにして、若し此時も尙買收せざれば、即ち爾後滿七箇年を以て買收期限となし、結局五十年の期限滿了後、該軌道・車輛並びに其他一切の材料及び權利は、無償にて直隷總督に歸還し得ろものにして、以上は當時雙方の締結せろ條約なり。一九二二年に至り、王承斌の直隷省長たりし時、既に買收を實行すべく準備せしが、買收價額約二千萬元の巨額を要せしを以て、又中止せり。最近天津の總商會は、又前の直隷省軍李景林に對し、至急買收すべき議を申請し、同時に基金の募集を開始せり。

（民國十五年七月東方雜誌）

比律賓

口比律賓に於ける家畜及其生産に就て

一、輸入肉製品の種類品質數量及價格

肉製品	一九二五年 數量	一九二五年 價格	一九二四年 數量	一九二四年 價格
生肉				
牛肉	三、八〇二、八六五听	一、四四六、八九七比	三、六八〇、八七七听	一、二四八、五三〇比
羊肉	七六、三〇二	五六、四三七	八五、一七八	四九、六一七
豚肉	三七、八六三	三三、〇六八	一〇六、二〇一	五一、八〇四
家禽肉及獵鳥獸肉	一三、九三八	一五、五二九	二三、三〇四	二五、〇五六
其他の生肉	七四、八九一	三一、九七九	—	三三、九五七
罐詰				
牛肉	五七八、三〇七	三九三、二七三	二〇二、八八一	一三三、二八五
豚肉	六〇、六四四	六六、八五五	三二、六九八	三三、二〇一
ソーセーヂ	二三、一八二	二三三、〇〇三	一四六、二四八	一七二、九六〇
スープ	四二、七五八	二七、〇二九	—	一六、七四三
其他の罐詰獵鳥獸肉	七一、六五八	六四、四六四	—	三一、七六〇
乾燥燻製或は鹽漬	—	—	—	—
ベーコン	一三八、三一七	一六七、〇四六	八九、六三〇	九四、三二八
ハム及ショルダー	六七九、三二三	八六五、四五三	六三五、八六七	七四一、四三二
家禽肉及獵鳥獸肉	三、三八二	六、五七九	六、四八六	七、二二一
ソーセーヂ	一二三、四九二	一六一、一一五	一〇七、八五四	一四九、六二一
其他	七、四三六	一三、六二七	—	一〇、三八九
ラード	一、七三五、三五九	一、一五六、五〇六	二、〇九三、三五二	一、一三三、〇九四
ラード合成品及ラード代用品	一三八、四五六	九八、七六八	一八五、五四二	一四八、三三三
人造バター	二九六、八二九	二五〇、九一九	二七八、〇三三	一九〇、八〇五
其他肉製品	四、九九七	一三、二四五	—	一四、八一三
合計	—	五、三二八、八四三	—	四、二六四、八五七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

前年即ち一九二六年に於て比島へ輸入せられた肉製品の價格は五、三九三、五〇二比以上に及んだ。

二、島内産肉製品の種類品質數量及價格

現在比島内に於ては組織ある肉製品工場なるものはなく、實際に於ては島内各地で屠殺されたる動物肉が、生の儘で一般公衆消費用に供せられてゐるのみである。次に示すは島内消費用として年々屠殺される動物頭數である。

	一九二二年	一九二三年
カラバオ	三三、一六〇	三三、二二八
水牛	一〇三、四五六	一〇七、〇三四
馬及騾馬	三、三八一	一、八〇四
豚	六八一、六二六	六五一、七六九
山羊	八七、二八〇	六八、一〇八
羊	二四、二二九	一五、五四九

一九二四年及二五年に就いては資料がない。

馬尼剌に於ける島内肉の瓩當り平均價格は次の如くである。(單位比)

	一九二二年	一九二三年	一九二三年	一九二四年	一九二五年
牛肉	一・三七	一・一三	一・一八	一・二四	一・一七
豚肉	一・二二	〇・九五	〇・九三	—	—

三、肉製品工場の規模及設備と其能力及製造方法

既述せる如く比島内には肉製品工場と稱するに足るものなき故此等の點に關しては說明し得る材料がない。

四、工場組織原料の蒐集及製品の販賣

資料なし。

五、肉製品取扱商人の中信用するに足る商人

生牛の輸入者及取扱人

Eugenio Evangelista………………315 Azcarraga, Tondo
Soriano, R.…………………………203 Juan Luna, Binondo
Leoncio Dionisio ……………………Azcarraga Slaghterhouse
Eneterio Sempio……………………417 Camba St, San Nicolas
Severo Tinoco…………………………Azcarraga Slaughterhouse
Jose Flaneiio…………………………863 Avenida Rizal
Vicente Villanuva ……………………110 Tayuman

生肉及製酪品輸入者及取扱人

An Giong Sons & Co……………………391 Echague, Quiapo

Armour & Co	204 Chica, Sta. Cruz
Babcock & Templeton, Inc	Lack & Davis Bldg., Echeague
Chan Tat	410 Poblete, Binondo
Choa Tek Hee	413 Reina Regente, Binondo
Clarke's Inc	425 Misericordia, Sta. Cruz
Dean's Grocery	349 Echague, Quiapo
Dizon & Co., Inc	304 Kneedler Bldg, Carriedo
Dy. Buncio & Co.	191-213 M. de Binondo
El Canal de Panama	401-7 Carriedo, Quiapo
Eng Nan Hing	117 Hormiga, Binondo
Getz Bros. & Co. of the Orient, Ltd	302 Heacock Bldg., Escolta
Gutierrez Hermanos	116-22 Beaterio, Walled City
Gutierrez, Leopoldo	507 R. Hidalgo Quiapo
Insular Commercial Co.	132 Juan Luna, Binondo
International Cold Stores	Lack & Davis Bldg., Echague
Keytay & Co, Q	617 Sta. Cristo, San Nicolas
Kuan Low & Co.	432 Poblete, Binondo
Kuenzle & Streiff, Inc.	343-7 T. Pinpin, Binondo
Menzi & Co., Inc.	180 Juan Luna, Binondo
Nestle & Anglo Swiss Condensed Milk Co.	502 Estero Cegado, Sta. Cruz
Nippi Trading Co.	406 Juan Luna, Binondo
Ow Young Pun Sheik	424 Poblete, Binondo
Pacific Commercial Co.	Pacific Bldg., J. Luna, Binondo
Peters & Co. G. A	428 Rizal Avenue, Sta. Cruz
Philippines Cold Stores	503-11 Echague, Quiapo
Ruiz, Rementeria & Co	233-9 Carriedo, Sta. Cruz
San & Co., M. Y.	69 Escolta, Binondo
Siy Cong Bieng & Co., Inc	123 Juan Luna, Binondo
Smith, Bell & Co., Ltd	Hongkong-Shanghai Bank Bldg.
Swiss Oriental Commercial Co	209 Rosario, Binondo
Tai Foong Lung & Co	428 Poblete, Binondo
Warner, Barnes & Co., Ltd	El Hogar Fil. Bldg., Juan Luna
Wise & Co., Inc	Wise Bldg., Juan Luna
Wong Yu & Co	436 Poblete, Binondo
Yek Hua Trading Corporation	189 Juan Jnna, Binondo
Ysmael & Co, Inc. Juan	348 Echague, Quiapo
Zuellig, Inc., F. E.	90 Rosario, Binondo

六、養牧殊に養豚に就いての一般狀態

比律賓群島内には養牧に適する宏大なる土地があり、全面積の中十七％（總計一〇、二〇五、二四九、四五四ヘクタール）迄は養牧に適し

てゐるコゴン地及草地なのである。然し現在に於ては僅かの群獸及少しの牛牧畜場あるのみであつて何等科學的には研究されて居らず又指導されても居ない。豚に付いては個人が小規模に牧畜をやつて居るが其れも定業としてではなく、單なる興味本位から地方々々の需要を充たして居るに過ぎない。斯の如く科學的研究が缺如して居り又大規模な牧畜場がない結果、比律賓の家畜は形に於て小さく、比島內農業の必要に適合しない。家畜の選別と取扱の不適當及動物に對する不注意が斯の如き狀態を持ち來らした重な原因だと考へられる。加之害病時々襲ひ年々之に斃るゝもの數千又數千に及ぶと云ふ。

次表は一九二一年から一九二五年迄の家畜輸入頭數を示めすものである。

年次	牛		水牛		馬		騾馬	
	頭數	價格	頭數	價格	頭數	價格	頭數	價格
一九二一年	三四、九二七	三、三一五、八六三	五、四三一	七五八、八六二	七六	一三、八七六	—	—
一九二二年	二四、一八〇	一、五九六、一五六	七三〇	六五、〇三三	四四	一一、九二九	八	一、四七五
一九二三年	一一、八六三	七六〇、六九七	一、九四六	一一〇、八五七	一三	九五〇	—	—
一九二四年	八、九九五	六二六、八一九	五、八六四	六〇一、八五一	八七	三、四〇七	三	一、四七五
一九二五年	一〇、九五九	六四六、九一五	二、二五一	二八六、四八二	二七	一四、四一八	二	六、四二四

比島に於ける家畜の狀態を示せば次の如くである。

年次	水牛	牛	馬	豚	山羊	羊
一九一〇年	七〇五、八〇〇	二四三、二〇〇	一三八、二〇〇	一、六三七、三〇〇	四三二、二〇〇	八九、六〇〇
一九一五年	一、二三三、〇〇〇	五二四、一〇〇	二三三、二〇〇	二、五三一、一〇〇	六四四、〇〇〇	三九、五〇〇
一九二〇年	一、四六四、三〇〇	七六〇、九〇〇	二六九、〇〇〇	三、六三九、二〇〇	八二一、七〇〇	一九五、七〇〇
一九二一年	一、五三五、九〇〇	八〇六、二〇〇	二七九、三〇〇	四、四四七、〇〇〇	八九一、八〇〇	二三三、三〇〇
一九二二年	一、五四一、一〇〇	八一五、八〇〇	二九四、二〇〇	五、二四一、二〇〇	一、〇二二、六〇〇	二五七、七〇〇
一九二三年	一、六一八、八七五	八七三、九九五	二九一、五〇一	七、五二四、八一五	一、一六三、六一四	五〇一、六八八
一九二四年	一、六一七、八〇四	八六八、一四八	三一四、三六八	七、八八六、一五五	一、二二六、五三四	二一九、五五五
一九二五年	—	—	—	—	—	—

七、家畜及板肉の一般取引狀態

消費用としての家畜及板肉は外國或は島內の地方から來る。外國からの供給、重に牛であるが、之は濠洲佛領印度支那及支那からであり、內國からの分はバタンガス、イロコス、マスバテ、パラワン、ミンドロ、ミンダナオ、サンバレス、ロムブロン及バタンである。

一九二二年九月十四日から效力を發した比律賓立法議會令第三千五十二號は、生肉用に供せらるゝ牛の輸入を嚴重に制限し、危險なる害病の比島に浸略するを防がんとした。外國からの牛輸入を禁止する事卽ち牛輸入禁止法は昨年議會を通過したのであるが、島內牛輸入業者の請願によつて其施行を一年間延期せらるゝ事となつた。然し之がなければ昨年三月から施行せらるゝ筈であつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

牛の輸入に課せられた制限は家畜及板肉の取引上に大影響を及ぼし、前述の法の通過と共に價格は非常なる暴騰を見た。然し現在では牛輸入禁止の一時的解禁により家畜及板肉の價格は常態に復したのである。比島內殊に馬尼刺に於ては前二者の需要は四季を通じて旺盛であつて、牛肉七、〇〇〇瓩が日々消費されて居り、其中二、〇〇〇瓩は生牛肉で、殘り五、〇〇〇瓩は輸入冷藏肉だとされて居る。

豚、山羊及羊は其肉のために常に需要がある。本文前部に於て既に述べたる樣に、消費用として一九二二年に豚六八一、六一六頭、山羊七、二八〇頭、羊二四、一一九頭、又一九二三年には豚六五一、七六九頭、山羊六八、一〇八頭、羊一五、五四九頭が屠殺され其大部分は馬尼刺市場で處理されたのである。

八、牧畜及其生產に關し他の特殊なる事情

本島に於て牧畜をなさんとする人には次の諸點が興味ある事と思ふ。

牧場經營

牧場經營は、米國でも然りであるが、比律賓に於て等閑視せられた農業の一分野である。夫れで過去に於ては林務局及比島森林關係者達は森林を牧場として使用する事を牛所有者に勸告し、現在にても勸告し續ける努力を惜しんでゐないのである。其結果として一九二二年に於ける牧場出願數は一〇八件であつたが、一九二三年には二五二件となり大なる增加を見るに至つた。其中一五二件は許可され前年卽ち一九二二年からの引續き分を合せて二一七の許可數となり島內五、〇〇〇、〇〇〇ヘクターの使用し得べき牧場地帶中一二、五六一ヘクターは前述許可によつて使用せられ居てる。全島水牛、牛及馬二、六〇〇、〇〇〇頭の中一二、五〇〇頭は其の牧場內で飼育されて居る。

林務局の許可なくして森林地帶を牧場として使用するのは不法である。一九二六年九月二日に施行せられた林務局森林規則中に最大年限二十年、面積二〇〇ヘクターを超える請願をなす事を得ないとしてある。而し年限に就いては其許可が滿期にならない時は再請願をなし得るのである。現在の借地制法はヘクター或は其端數ごとに年二五米仙として面積を基礎とした物であるが、租借料は年四期に分つて林務局長へ支拂はねばならぬ。牧養する事を許されて居る牛の最大數は許可書中に同樣に指定してあるが、現在では一ヘクター一頭の割に一年以上のものとしてある。

島內に於ける牧畜業の利害を擧げれば次の如くである。

甲　利　益

一、常に廉にして充分なる勞働者がある。

二、理想的な且良好な氣候狀態のために、牧畜に適してる泉及牧畜場がある事。

三、肉及勞力用としての需用がある。之は將來に於て增加する見

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

込である。

四、比律賓の家畜は牛輸入禁止法に依つて嚴重に保護せられ又流行病リンダーペストーの撲滅に意を注いでゐる。

乙 不利益

一、品質を優良ならしめ又混血牛を作るために歐米から牛を輸入して實驗するといふが如きは、本島の如き温度高き所に地方、波浪地に於ては不可能なる事。

二、島内牧牛者は適當な動物養育法に對する智識及統一的な牧場に對する智識を缺くため、時々病害を惹起する事。

註 本文は殖産局農務課飯田吉英氏の發問に對する比島當局の回答の譯である。

□一九二一・二二及二三年に於ける

比島鑛物資源

ヴイクトリアノ・エリカニオ述

金銀及白金

緒論

比律賓金屬鑛物の中、金は最も重要視せらるべきものであつて、他の鑛業と雖も金鑛業に製肘せらるゝより見れば、金の生産は全鑛業の活動の晴雨計となると云つて差支ない。銀及白金は遊離した物として發見される事がないから全部金鑛業の副産物であつて就中銀は普通、金が鑛脈或は砂金採集によつて得られる場合でも之と多少の程度迄混へて發見せられる。自然銀及銀鑛物が此處にて發見せられたと云はれてゐるが、事實に於て此の金屬の大鑛層と稱せらるゝものは未曾て發見せられた事はないのである。

關税局の報告によれば、過去三年間(一九二一、二二及二三年)に於て比島から輸出せられた金及銀の推定價格は次の如くである。

(單位比)

年次	地金	砂金	合計
一九二一年	二,六一〇,二九二	五一,〇八三	二,六六一,三七五
一九二二年	二,八六七,九一二	三二,九四五	二,九〇〇,八五七
一九二三年	三,三〇七,六七七	五五,五三三	三,三六三,二一〇

此中一九二一年の一六、〇〇〇比、一九二二年の三〇、〇四五比及一九二三年の四〇、八八二比は香港及支那へ輸出されたのであつて殘りは米國へ仕向けられたのであつた。

一方科學局へ報告された、過去三年間に於ける金銀の生産價格は次の如くである。

一九二一年…………二、六五九、八〇六比
一九二二年…………二、九六八、〇四二比
一九二三年…………三、四二二、〇五四比

關稅局の數字と科學局の數字とは一見して相異してゐることが明瞭であるが之は一理由として、島内の寶石業者及商人等に金銀の生産された物の一部が賣られ、從つて島内に殘つてゐる爲めである。小鑛業者或は間歇的鑛業者の如きに就いては充分なる調査をなし得ず又廢坑に近き者に就いては手落もあるべく、實際の生産高は此れより多く見積られなければならぬ。

初めて比律賓鑛業界に於て白金が生産された。其の分量は少なかつたが、將來を豫期する良き前兆であらねばならなかつた。粗白金は一九二二年に四二瓦、一九・二三年に四一・九八瓦發見され、第一回目に發見された物は科學局に分析のため提出せられた所、金屬白金を六八・二%含んで居る事が明瞭になつた。因に本書に掲げた表の白金の價格は世界の標準價に據るものである。

金及銀採掘

事實島内に於ける總べて金銀の生産は、三つの青化製金工場及三臺の浚泥機の活動によるものであつて、工場はマウンテン州及マスバテ地方、浚泥機はカマリネス及スリガオ地方に在る。是等四地方の地質及金鑛に就いては、各方面の過去の歴史及活動と共に前の「鑛物資源」及ジャーナル・オヴ・サイエンスに述べてあるから茲には一九二一、二二及二三年間に於ける活動狀態に就き述べんとする。

マウンテン州

本地域に於ける鑛區は以前バギオ及ソヨック鑛區として知られてゐるのが主なるものである。バギオ鑛區はバギオ市の近くに在り、後者はバギオの北六十五粁の所にある。バギオ鑛區の重なる岩塊は安山塊であつて、鑛脈は普通罅隙に生じ、安山岩及閃綠岩の間、又は安山岩及水成岩の間に從屬的接觸鑛床がある。石灰方解石及滿俺は鑛脈の物質を特性付ける物であるが、例外として滿俺がソヨックに於けるが如き從屬的である場合がある。金は金屬の狀態で存在する事もあり又黄鐵鑛と、或は又方鉛鑛及銀と、又は時々極少量の銅と混合して發見せらるゝ事もある。ソヨックの二、三の鑛脈はテルル化物及又は錫を含んでゐる。此の地方に於ては從來多大な開發行はれ、一時數箇の工場が作業してゐた事もあつた。然し現在に於て作業してゐる會社は唯一つであるけれども、全生産額に於ては他を遙に凌駕してゐるのである。

ベンゲツト合同鑛業會社(Benguet Consolidated Mining Co.)本會社の採鑛地域はアンタモック河に臨んで居り、バギオの東道路にて

十呎の邊にある。工場は青化溶液粉碎收金法で作業をしてゐる。一九一五年九月作業開始以来本會社は年々生産増加を繼續し、現在では比島に於ける最大生産者となつてゐる。又進歩的政策を保持し續け採掘區域を増大し、又設備にも多大の改良増加を加へたのである。

支配人代理ジエー・エス・コルバス（J. S. Colbath）氏の云ふ所によれば、採鑛事業はドレベル迄即ち横坑口の下五〇〇呎の邊迄掘下げられ、シヤフトの沈下は此の點の下迄繼續されてゐる、との事である。Cレベルの作業の結果分明した所によるとCレベルに於ける鑛體は其レベルの上の物と比べて範圍に於て廣く、價格に於て優つて居たのであつた。新鑛體がCレベルの舊作業所の東に發見された。Dレベルの價値はCレベルの樣に良くはないが、併しEレベルの鑛脈は露出してゐて、Dレベルの物よりは若干良い。C及Dレベルの開發は製錬工場設備の増大を餘儀なくし、一九二二年に工場は改築擴大され現在の作業能力は一箇月當八、〇〇〇噸である。一九二三年には三百キロワツト水力機械設置され、一九二四年には二百キロワツトの油エンヂンが備へられた。

次の附加的事項は同社の年報から得たものである。

	一九二一年	一九二二年	一九二三年
處理せられたる鑛石（噸）	四〇、九四二	四六、二四四	七五、一五九
生産せられたる金銀塊の總價格（比）	一、三〇一、九四・一〇	一、七四〇、一九四・三七	二、三七九、五三〇・三三
配當（比）	五〇、〇〇〇・〇〇	二五〇、〇〇〇・〇〇	七五〇、〇〇〇・〇〇

一九二三年末に保有せられたる鑛石量は九、五一五、五五九比に及んで居た。而して此の保有されてゐる鑛石の四分の三はボジイデイヴオアである。

又開發作業は續いて其隣接せるノイアンサ鑛區に及んだ。然し此鑛區は且て商業的價値を有する鑛體を發見する事が出來なかつた爲め會社が如何にすべきかと迷つてゐた所であつて、其結果選擇權は拋棄せられたのである。又本會社は米國陸軍の射的物及アクーパン會社の採掘地域の中間に在るカルヴイン・ホール群に選擇權を有して居る。此の地域の鑛石は表面では優良な物であるが、深さが不充分である恨がある。然し會社は依然として作業を續けてゐる。

アクーパン鑛業精錬會社（The Acupan Mining and Milling Co.）本會社はアクーパン鑛區で開發事業を繼續してゐる。次の事項は事業の經營を委託されてゐるデイ・フイリツプ氏の好意によつて得た物である。

アクーパン鑛業精錬會社は三十一の割宛地（Claims）を管理して居る。此の割宛地は皆接壤してゐて、バギオの南東十五粁、バトワーンクリーク及其附近に在り、全部イトゴンの行政區域内に在る、重要なる開發事業は北七十度東に走向してゐて東方約八十度に沈下し、グーン及ビツググーンの割宛地を通つてゐる鑛脈に於てされてゐる。約五、〇〇〇呎に亘る開發事業が本鑛脈に於てなされ、其幅は約五呎である。而して金の平均含有量は噸當十八比だと云

はれてゐる。一九二三年の株主總會に於て、バトワーン・クリークの近くの一點から最も低いBレベルよりも二〇五呎も低いローレベルの隧道を穿つ計畫を決定した。その新橫坑道はCレベルとして知られて居る物であつて、實際測量の結果、其のポータル、Bレベルに於ける開發された鑛脈に對し一、〇五〇呎である。Cレベルの作業は一九二三年五月に開始せられ六七四呎は旣に穿たれたのである。

其他二、三の有望な鑛脈が開發され、豫算が割宛地の群の其他の部分に於てなされたが、而し資本が缺乏してゐたため、開發事業は行はれなかつたのである。

一九二二年七月にスミス博士（Dr. W. P. Smith）は此の鑛區の試驗をなし、其未來に付いて次の樣に云つてゐる。

上略……其故に、最低所の作業場の觀察よりすれば筆者は深さに關し非常に興味を持てゐる。卽ち筆者は鑛脈が其深さを持續するばかりでなく、其の廣さと增加する傾向の顯著なるを期待してゐるのである。其の理由の一として、玆に述べ得べきは卽ち此の地域の地文史によつて案ずるに、玆處には從來地下水の標準に大なる變化があり、その事實は鑛脈に第二期富化作用を起さしめたと云ふ問題と關係があつた事を示すものである。紙面に限りがあり玆では充分此の問題を討議する事が出來ないが、我々は此の地方の鑛體に可成の深さのある富化作用を豫期し得るのである。

又バトワーン・クリークの鑛脈の露頭してゐる所に於ては、現在のベンゲット合同所有の鑛脈發見の際アンタモック・クリークに於て見られた樣な物が同樣に多く存在してゐたといふ事を玆に指摘し得る。閃線炭地域及其の附近各所に於て筆者の觀察したる所によると、此の狀態は一定して相當の深さを以て進歩してゐるのである。

ウカブ鑛業會社（The Ukab Mining Co.）本會社はビー・ジエー・オール氏によつて所有されてゐる七割宛地を一群とした地域の現在より以上の開發を目的として最近設立せられた物である。此の群はイトゴン道路の近くに位置して居て、南西のブア許可濟割當地に接壤してゐる。開發事業は滿俺を含んでゐる石炭方解石の大鑛脈で行はれ、分析の結果によると自然金を高率に含んでゐるとの事である。本會社は直ちに小規模の生產のために、工場を設立すべく、同時に其地方の開發事業を助長するに至るであらう。現在ではアマルガム收金法が行はれてゐるに過ぎない。

ヘッドウオーターズ・マイン（Headwaters-Mine）―之はベンゲット合同鑛業會社の所有地域の北に位置してゐる。之は非常に交錯した歷史を有して居る地域であつて、其の歷史の多くも餘り芳しくないものが多い。最近三年内の活動は殆ど初期に屬する事業に就てのみである。而し現在では事業總べてに亘つて生氣なく、所有地に關しては係爭事件さへもある。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ペットケル及ウルマン群（Petkel and Ullman groups）—是等の二群は各々三つの割宛地よりなり、バギオの北十六粁。マウンテン・トレイルから約一粁の邊に在る。ジエー・エス・ギリーズ(J. S. Gillies)氏の云ふ所によれば、ペットケルには八つの鑛脈及ウルマンには四つの鑛脈があるとの事である。是等の鑛脈は露頭に於て多大の滿俺を含んで居る。金は遊離してゐて、分析の結果其含有率は可なり高い事が發見されたのである。是等二群は且てイゴロテの經營してゐた所であつて、其當時は莫大の金が掘出されたとの事である。現在の事業といふのは且てイゴロテが作業してゐた下の鑛脈を採掘してゐるのである。

パリダン・シライド（Palidan Slide）—之はソヨックに位置してゐて、バギオの北一〇三粁、マウンテン・トレイルから約一粁の地點にある。イゴロテに據る間歇的の不規則な作業は別として、殆ど活動と稱するに足るものは行はれてゐない。イゴロテの作業場は現在、溪谷の地滑りの爲め約地下八十米の點にうづめられて居る。傳へられる所によるとイゴロテ所有者と二、三の採掘業者商談現在進行中であるとの事だから、幸にして此の商談が成立つ時は、再生された活動が豫期せらるゝのである。

ドーゴン群（Dugong group）—本群は五つの割宛地から成つて居り、パリダン・スライドの附近に位置してゐる。此の地はシー・エフ・スターキー(C. F. Starkey)氏に借地されてゐる所であるが、同氏は一九一一年以來此割宛地に於て盛に開發事業を行つて居る。此地域には三つの鑛脈があつて、其中二は自然粉金を含んで居り、其他は多大のテルル化物を含んで居る。テルル化鑛脈の幅は二乃至四呎と種々變化して居るが、其他の鑛脈は約二呎の廣さを保つて居る。此の群の重なる所有者である前述キリース氏は、過去に於て單純なイゴロテの金採取方法によつて莫大な金を採取したといふ事實がある。此處割宛地はアブラ河支流の一の近くに存在してゐるので非常に格好な位置をしめてゐると云ふ事が出來る。此の河は水力の利用に與つて大いに力があるのである。

ペティット・ブラザース群（Pettis Brothers group）此の群はペティット・ブラザース及ダヴユリー・ミラーによつて所有されてゐる三つの割宛地からなつてゐる。此の地域はドーゴン群に接壤してゐて後者の樣に三つの鑛脈を含んで居る。此の鑛脈の一つに掘られた坑道は現在の所約一五〇米で、此の坑道から幾つかの横斷路が掘られ隣接鑛脈へ走つてゐる。水力で動かし、アマルガム收金法の設備のあるアラスター工場が最近設立された。又黄鐵鑛は最近分析せられた所によつて一噸高二〇、〇〇〇比だと報告されてゐるから、近き將來に於て利用せられるに至るであらう。

カマリネス鑛域

此地域はカマリネス・ノルテ州のマムブラオ及パラカレの附近の各

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

所有地を總稱してゐる。本地方は過去に莫大な生産があつた爲めに著名な所であつて、一時鑛脈及砂金採掘の二點から見て同島内に於ける重要な所であつた。其鑛石は普通重な硫化物として黄鐵鑛を含む石英である。又少量の銅が存在してゐる場合があるし、又屢々方鉛鑛・閃亞鉛鑛・黄銅鑛・磁硫鐵鑛・磁鐵鑛及其他各種の酸化物を含でゐる場合がある。滿俺及砒素は極く稀であつて、テルル化物もトウーバカに於て發見せられるのみである。石英は普通固くて、塊狀をなしてゐるが硫化物の酸化せる爲めに蜜房がある事がある。此の地域に於ける砂金採集場は殆ど廢棄に歸し、採鑛事業は鑛脈の開發に注がれてゐる。然し試掘は殆ど行はれて居らず。現在の鑛脈開發といつても舊作業地を再開するに止まつて居る。

フイリツピン・ドレツヂエス (Philippine Dredges Ltd.)―本會社は事實に於てカマリネス鑛區に於ける唯一の生産者である。二箇の浚泥機を利用してパラカレ河で作業を行つてゐる。一臺は一九一一年一月から一九二二年八月迄舊作業地を再浚泥する爲めに使用された。此浚泥機は第二號と稱せられるのである。一九二二年の八月に第二の卽ち第四號浚泥機が、之は一九一九年以來使用せられなかつたのであるが、處女地の浚泥をするために使用せられるに至つた。

次の附加外事項は同社の支配人ウイリアム・テルフオード氏の好意によつて與へられた物である。

第二號浚泥機―第二號浚泥機によつて浚泥された物は一九二一年に七一二、三六一、一九二二年には一四七、四三七・一九二三年には一一八、四四一九年二四年には二五一、一五八立方碼であつて、價格は約二八八、〇〇〇弗であつた。

一九二三年二月から一九二四年五月迄に本浚泥機は修繕中であり、他の會社の鑛區から本社の鑛區に入らんとしたのであるが、殆ど金の收穫がなかつたため浚泥の記錄はなかつた。

第二號浚泥機によつて作業された土地は深さ三十乃至四十五呎であつて、幅の最も廣い所は三十五呎であつた。含金砂利地層は一乃至三呎の深さを有して居て、色及固さの異なつて居る各種の層を有する重い粘土層を以て掩はれて居る。多くの場所に於て此粘土は直に原生土の上にある。原生土は又軟い煙管泥であつて、容易に浚泥し得るのである。發見せられたらオシユダートの中最も良い物は純粹な白砂利であつた。

第一囘に浚泥した時に此の粘土は、狹い篦を通して強力な水で、之を最短時間で處理するがために、吐き出される。次にウオシユダートが此處に至つた時には、之は最も廣い樋管に移される。其處には金を得る樣に筵とか又棧が置いてある。

第四號浚泥機―第四號浚泥機によつて掘り返へされた分量は其動作した所が全部從來手の入れてない所であつて一九二二年(八月乃至十二月迄)に一八二、三五一、一九二三年に四五九、五五四・一九二四年九月迄)に三七〇、五〇三立方碼で。全部價格に見積ると二

九〇・五〇〇比であつた。

一九一九年に此浚泥機は設置されたのであるが、バケツ其他は殆ど磨損してゐたため餘り使用せられなかつた。然し破損部分を修繕し取換へるのは非常に高價で且困難な事であつたので其儘放置され、一九二二年になつて始めて修繕せられて其終つた後再び事業に就かれたのであつた。

此浚泥機によつて作業された土地の平均深さは約二十五呎であつた。作業した地には稍々重い粘土があつて、沖積層は約數呎から二呎位迄ある。水成岩は非常に軟く、バケツによつても容易に掘り得る。

含有砂利の小部分は可成フリーであつて、容易に洗滌し得るのである。或る部分では、砂利が粘土と混合して發見せられる。二つの浚泥機を動かす費用は一立方碼當二十仙セークボーである。之の費用を濠洲或はニウ・ジーランドの其と比較する時は非常に高いが、條件が全然異なつて居るといふ事を留意しなければならん。又是等は非常な不規則世態のために段々と高くなるのは避け得ない事であつた。

ロンゴス開發會社（Longos Development Co.）―本會社は舊パルアルテ及其接壤地區を鑛區と定め低位の地に於て鑛脈開發事業を開始したのである。其鑛區はパラカレ市の對岸にあつて約四百呎の開發事業が完成されたのである。而して坑道は水標線上八呎の低位に掘られて居る。鑛石は作業がしにくいのであるが、分析の結果金銀の含有量は非常に多い事が分明した。此の作業を委任されて居るガムパー（Gumper）氏は、鑛石の粉碎品質を試すために、及開發費用を輕減せしむるために、少さな試驗工場を設立せんとする計劃を有してゐると語られた。

リーズ鑛區（Reed's property）―ジエー・アール・リーズ氏はティアーナン・リッチのカンデラリヤ群のあつた地域を改めて出願した。此の地域はパラカレの南西約三粁の邊マラギイット河畔口に位置してゐる。表土の大部分は以前の時に殆ど作業し盡され、リード氏は低位に於て鑛石を驗するためにシャフトを沈めてゐる。

トムバガ鑛山（Tumbaga Mine）―此の鑛區はジョージ・エッナ・リード・ウーク及イー・エー・ヘイズの兩氏監督の下に開かれたのである。低位に於ける或る開發事業が目論まれ、自然金を豐富に含有してゐる二、三の鑛條に突當つた。水があるために開發事業は遲々としてゐて進まず且失費も多い。少さな集中的な工場が現在迄掘られた鑛石を處理する爲めに設けられる豫定であつて、若し經濟的に實行される時はより以上の開發事業が遂行せられる筈である。（未完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛領印度支那

□一九二五年に於ける印度支那の海運及貿易（六）

玉。蜀。黍。（單位噸）

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	六、六二四	二、一九二	八、八一六
一九二一年	三一、二九九	一、五七二	三二、八七一
一九二二年	六一、五一九	三九八	六一、九一七
一九二三年	三八、九五八	五四	三九、〇一二
一九二四年	三六、〇〇六	四、〇二八	四〇、〇三四
平均	三四、八八一	一、六四九	三六、五三〇
一九二五年	五三、七〇七	三、一三六	五六、八四三

玉蜀黍の輸出は前年に比し四一%卽一六、八〇九噸の増加を示してゐる。又總額五六、八四三噸の中佛蘭西へ五三、七〇七噸、支那へ二、六五四噸を送つてゐる。

乾。豆。（單位キンタル）

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	一	一〇、一四一	一〇、一四二
一九二一年	二	二八、七〇四	二八、七〇六
一九二二年	三	二一、四八九	二一、四九二
一九二三年	二〇	二三、七四八	二三、七六八
一九二四年	六	二三、六七八	二三、六八四
平均	六	二一、三五二	二一、三五八
一九二五年	三	一三、六六八	一三、六八〇

乾豆の輸出は一〇、〇〇四キンタルの減少を示した。重要なる輸出先たる香港の需要高が一九二四年には二一、一八九キンタルであつたものが、一九二五年には九、三九六噸に減少したことが大なる原因である。屢々前述した通り彼地が動亂の中心地をなしたが爲めである。

之に反し支那は前年一、四九〇キンタルを需要したが、今年は二、一三四噸を購求してゐる向新嘉坡へは一、一三六キンタルを輸出した。

コ。プ。ラ。（單位噸）

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	一、六九六	一、三三〇	三、〇二六
一九二一年	八、二四一	一、二六一	九、五〇二
一九二二年	六、八三〇	三〇	六、八六〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二三年	一二、四三九	一、一〇九	一三、五四八
一九二四年	九、七七四	五五	九、八二九
平均	七、七九六	五五七	八、三五三
一九二五年	八、五八一	三二三	八、九〇四

コプラの輸出高は前年に比し九二五噸の減少であるが、最近五箇年間の平均に比較すると五五一噸の増加である。而してその殆んど全部（八、五八一噸）は之を佛本國へ輸出してゐる。

赤糖（單位噸）

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	四八	八、二一二	八、二六〇
一九二一年	—	六、八六八	六、八六八
一九二二年	—	七、九二七	七、九二七
一九二三年	—	一二、七五七	一二、七五七
一九二四年	—	一三、六四〇	一三、六四〇
平均	一〇	九、八八〇	九、八九〇
一九二五年	—	二、九三七	二、九三七

主要なる輸出先である香港が、今年は輸出總額二、九三七噸の中僅か二、八二四噸しか購はなかつた。

錫（單位キンタル）

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	九、四八六	七九	九、五六五
一九二一年	二、二七四	九五	二、三六九
一九二二年	八、四一五	七四	八、四八九
一九二三年	六、〇五三	一七七	六、二三〇
一九二四年	八、〇〇六	四九	八、〇五五
平均	六、八四七	九五	六、九四二
一九二五年	三、七七一	五六	三、八二七

ピアストル相場の昂騰が佛本國間との取引を妨害したのである。

胡椒（單位キンタル）

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	二六、三六八	四、二一五	三〇、五八三
一九二一年	二五、五一二	九、九〇六	三五、四一八
一九二二年	二九、八七一	八八九	三〇、七六〇
一九二三年	三一、〇三三	七、八八七	三八、九二〇
一九二四年	三四、九四〇	一四、九七五	四九、九一五
平均	二九、五四五	七、五九四	三七、一三九
一九二五年	三四、七四四	三、三三八	三八、〇八二

一九二三年及一九二四年に於ける輸出増加は継續しなかつた。即ち一

九二五年の輸出は前年より一一、八三三キンタルの減少を示してゐるが、これも過去五箇年の平均と比較する時は八八九噸の增加となる。

佛蘭西は依然として本品に對する主要需要國で三四、七五二キンタルを購求し、新嘉坡へは一、八〇六キンタルを送つてゐる。

桂皮（單位基瓦）

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	三、四七六	四三二、九四九	四四五、四二五
一九二一年	四〇五	四八〇、九七五	四八一、三八〇
一九二二年	一五、九五八	四六四、八七五	四八〇、八三三
一九二三年	二七、六四六	四九三、〇八五	五二〇、七三一
一九二四年	二三、七一三	六二七、七五三	六五一、四六六
平均	一六、〇四〇	四九八、九二七	五一五、九六七
一九二五年	九九、四八二	五二一、九九九	六二一、四八〇

一九二四年に於て本品は輸出を示したが增加一九二五年度に於ては前年に比して唯不動の狀態を示したに過ぎない。前年に比し二九、七八六基瓦といふ減少であるが、これも過去五箇年の平均に比較すれば一〇五、五一三基瓦の增加となる。

主たる輸出先香港は五一四、四一八基瓦、次が佛の九九、四八一基瓦、支那の七〇四一基瓦の順序で輸出した。

白荳蔲及沙仁（單位キンタル）

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	—	四、〇五五	四、〇五五
一九二一年	—	六、〇三四	六、〇三四
一九二二年	—	七、一七九	七、一七九
一九二三年	—	八、六五七	八、六五七
一九二四年	—	五、三三九	五、三三九
平均	—	六、二五一	六、二五一
一九二五年	—	六、六九八	六、六九八

白荳蔲及沙仁の輸出は前年よりも盛況である。香港は殆んど全部（六四八三キンタル）を需要した。

安南及東京產茶（單位キンタル）

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	二、六六六	九〇八	三、五六八
一九二一年	三四二	一、二一八	一、五六〇
一九二二年	三、〇一三	二、〇七一	五、〇八四
一九二三年	七、一一六	一、六六四	八、七八〇
一九二四年	六、八九五	六六九	七、五六四
平均	四、〇〇六	一、三〇五	五、三一一
一九二五年	八、九二〇	一、四二九	一〇、三四九

一九二五年の輸出は前年より良き狀態にあり、二、七八五噸、(三六%)の增加を示してゐる。

八、九二〇キンタルを佛本國及佛植民地へ、外國へは一、四二九キンタルを輸出してゐる。

ゴムラック或はスティックラック（單位キンタル）

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	三、四一五	六、一四三	九、五五八
一九二一年	三、三七四	一、一六七	四、五四一
一九二二年	六、〇三九	六、二八〇	一二、三一九
一九二三年	七、七二五	四、四四六	一二、一七一
一九二四年	八、二三九	三、六五二	一一、八九一
平均	五、六七六	四、三四〇	一〇、〇一六
一九二五年	七、八三五	四、八四三	一二、六七八

ゴムラックの需要は年々增加の傾向があり、一九二五年に於ても新たに七八七キンタル(六%)の增加を示した。

佛本國は七八、三四キンタル、白耳義一、一九九キンタル、他の亞米利加諸國一、〇七八キンタル、獨逸八六六キンタル、英國四〇三キンタル、新嘉坡五七八キンタル、香港三六二キンタルといふ順序で輸出してゐる。

漆・（單位キンタル）

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	二八	五、一八八	五、二一六
一九二一年	一	七、一五二	七、一五三
一九二二年	三一	七、四四七	七、四七八
一九二三年	六一	六、九二三	六、九八四
一九二四年	四五	八、一五六	八、二〇一
平均	三三	六、九七三	七、〇〇六
一九二五年	三七	八、二七一	八、三〇八

漆の輸出は殆んど前年と變化がない。

主たる販路國は香港（二、九三九キンタル）及日本（四、四一九キンタル）である。

護謨（單位キンタル）

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	三、九七一	八、四四八	一二、四一九
一九二一年	二六、八六〇	九、六二二	三六、四八二
一九二二年	三二、四六四	一三、八六五	四六、三二九
一九二三年	四三、二三九	一三、七二二	五六、九六一
一九二四年	五〇、二七六	一七、六八四	六七、九六〇
平均	三五、一四二	一二、六六八	四七、八二〇
一九二五年	七二、九六四	八、一一〇	八〇、〇七四

印度支那に於ける農園の發達と、一九二五年に於ける護謨相場の復活により、一九二五年の印度支那護謨輸出は新進歩を示し、前年に比し一二、一一四キンタル(一七%)の増加を見た。

佛本國の需要も前年の五〇、二七六キンタルに對し、今年は七一、九六三キンタルといふ數字を示したが、反對に外國販路は八、一一〇キンタルに減少した。新嘉坡は七、六三二キンタルを購求してゐる。

パジャーヌ油(單位基瓦)

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	五〇、七八〇	—	五〇、七八〇
一九二一年	四一、五〇〇	一、一〇〇	四二、六〇〇
一九二二年	二一六、三二一	九二〇	二一七、二四一
一九二三年	一六六、三〇七	—	一六六、三〇七
一九二四年	一七五、八八二	七、三〇八	一八三、一九〇
平均	二一〇、一五六	一、八六八	二一二、〇二四
一九二五年	一六五、四六五	一、六九六	一六七、一六一

パジャーヌ油の輸出は前年に比し、一六、〇二九基瓦の減少であるが、過去五箇年間の平均に比較すれば五五、一三七基瓦の増加となる。而してその殆んど全部一六五、四六五基瓦はこれを佛本國へ輸出した。

未加工籐及莚(單位キンタル)

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	七〇	一八、七七五	一八、八四五
一九二一年	三五	一八、七九五	一八、八三〇
一九二二年	一六	一八、七八六	一八、八〇二
一九二三年	一〇七	一九、七五二	一九、八五九
一九二四年	二〇	一〇、三九七	一〇、四一七
平均	五〇	一七、三〇〇	一七、三五〇
一九二五年	四二	八、三二二	八、三六四

籐及割籐(單位キンタル)

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	一一五	一〇、〇四四	一〇、一五九
一九二一年	四〇	七、八一三	七、八五三
一九二二年	二〇	三、七七八	三、七九八
一九二三年	二六	一〇、〇九〇	一〇、一一六
一九一四年	二九	八、九一九	八、九四八
平均	四六	九、九二九	九、九七五
一九二五年	—	九、一二三	九、一二三

前者(未加工籐及莚)の物品の輸出は全く極東市場殊に香港、暹羅によりて維持されてゐる。即香港は兩者(未加工籐及莚、籐及割籐)併

せて一五、九一〇キンタル、暹羅は一、〇〇二キンタルの需要があつた。

綿花　（單位噸）

年次	實棉			繰綿		
	佛及佛植民地	外國	合計	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	六	一、三七三	一、三七九	一、六八四	六三三	二、三一七
一九二一年	—	一、三八九	一、三八九	八八	二、七三一	二、八一九
一九二二年	—	一、五〇八	一、五〇八	五五三	一、五五六	二、一〇九
一九二三年	—	一、四一〇	一、四一〇	一八七	一、七九四	一、九八一
一九二四年	一	一、四九一	一、四九二	四〇八	一、二五九	一、六六七
平均	一	一、四三四	一、四三五	五八四	一、五九五	二、一七九
一九二五年	—	一、二二七	一、二二七	一八三	一、二六三	一、四四六

この綿花に就ては、最近數年を檢すれば可成り變化がある。一九二五年に於ても同じく更に強い變化が認められる。實棉は前年に比し二一五噸、繰綿は二二一噸の合計四三六噸の減少を示してゐる。（一九二四年—三、一五九噸に對し、一九二五年—二、七二三噸）

佛國への輸出は二二六噸、外國への輸出は二一〇噸の減少である。

香港は實棉二四八噸、繰綿一七八噸を需要した。佛國は實棉一四六噸、繰綿一八三噸を購求したが、最も主要なる輸出先たる日本へは實棉一、〇二八噸、繰綿五二七噸を輸出してゐる。

支那へは繰綿五五噸を輸出した。

セメント　（單位噸）

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	六六	七二、五三九	七二、六〇五
一九二一年	一二八	六三、五八五	六三、七一三
一九二二年	二六	六五、三八七	六五、四一三
一九二三年	一七〇	五四、九六七	五五、一三七
一九二四年	四八七	三九、〇五一	三九、五三八
平均	一七五	五九、一〇六	五九、二八一
一九二五年	三六〇	六四、八六一	六五、二二一

海防に於けるセメント工場の改革に因り、一九二三年及一九二四年に於ける輸出は一時停止の狀態を示したが、一九二五年には更新して、一九二二年に於ける數字と殆んど同程度の進歩を見せ將來益々多望である、極東諸國が主たる販路である。

香港へ二二、九三九噸、支那へ一五、九三七噸、新嘉坡へ一三、三八噸、暹羅へ一〇、〇九二噸、英領印度へ一、二九一噸、比律賓へ一、〇九二噸を輸出してゐる。

クナオ　（單位噸）

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	—	四、九五五	四、九五五
一九二一年	—	七、三三四	七、三三四

一九二二年	—	七、一五〇	七、一五〇
一九二三年	—	六、七二〇	六、七二〇
一九二四年	—	五、八七七	五、八七七
平均	—	六、四〇七	六、四〇七
一九二五年	—	四、三八二	四、三八二

一九二三年及一九二四年に減少を續けたクナオの輸出は一九二五年に於て更に減少を示した。減少額は一、四九五噸(二五%)である。香港向輸出は減少して四、〇七七噸となり、支那向輸出は三〇四噸であつた。

石炭(單位噸)

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	二四、四〇五	五四八、〇八〇	五七二、四八五
一九二一年	三一、八六八	六〇八、一九五	六四〇、〇六三
一九二二年	八、七二五	六二三、三一〇	六三二、〇三五
一九二三年	一九、三四〇	六七〇、四三九	六八九、七七九
一九二四年	三〇、五七五	六九二、〇四一	七二二、六一六
平均	二二、九八三	六二六、四一三	六四九、三九六
一九二五年	二七、三五四	六七一、二九五	七〇一、六四九

前年に比し、二〇、九一七噸の減少ではあるが、早晩本品の輸出は満足なる状態を示すであらう。一九二五年の輸出はこれを過去五箇年平均に比較すれば五二、二五三噸の増加となる。

佛蘭西の需要は二六、八〇四噸に上り、支那向輸出は三四四、五八一噸、日本一七六、四九六噸、香港一四五、四三六噸、暹羅五、八〇〇噸といふ輸出を示してゐる。

亞鉛鑛(單位噸)

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	二六、五〇三	一四、三二五	四〇、八二八
一九二一年	一〇、〇五〇	一八、九三四	二八、九八四
一九二二年	一、二〇〇	二六、四九〇	二七、六九〇
一九二三年	五、一八八	二七、五一四	三二、七〇二
一九二四年	七、〇九二	二九、四〇一	三六、四九三
平均	一〇、〇〇六	二三、三三三	三三、三三九
一九二五年	一三、三二〇	三六、六四六	四九、九六六

本品の輸出は前年に比し一六、四九三噸といふ新増加を示した。主要なる販路國たる白耳義は三一、二五七噸を需要し、佛國は一三、三一九噸、日本は五、三八九噸を需めた。

混合鑛(錫及ウオルフラム)(單位キンタル)

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	一、五二二	—	一、五二二

一九二一年	一、五七四	—	一、五七四
一九二二年	三、三七九	—	三、三七九
一九二三年	二、六二〇	—	二、六二〇
一九二四年	一、四二一	六七九	二、〇九〇
平均	二、〇九九	一三六	二、二三五
一九二五年	一、七五八	二、九六四	四、七二二

本品の輸出は前年に比し實に二倍の增加を示した、（一二〇％）輸出先は佛國の一、七三八キンタル、新嘉坡の二、九六三キンタルが主たるものである。

生。綿。絲。（單位キンタル）

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	七五二	三、九二六	四、六七八
一九二一年	三	六、六九八	六、九三一
一九二二年	三	五、六三六	五、六三九
一九二三年	三	七、〇二三	七、〇二六
一九二四年	—	六、六二六	六、六二六
平均	一五二	六、〇二八	六、一八〇
一九二五年	—	一、八二七	一、八二七

生綿絲の輸出は忽ちに一、八二七キンタルに低落した。この荷物不捌の原因は地方顧客の大部分の需要が益々增加した結果、輸出し得る貨物を夫だけ制限したものにある様である。

因みに同年輸出額の全部は支那へ輸出した。

（終り）

暹羅

□二四六八（一九二五—二六）年度の米穀收穫

下掲の表は

（イ）植付總面積

（ロ）被害範圍

（ハ）收穫總面積

（ニ）總收量

等の諸點に就て、暹曆二四六八年度に於ける糯栽培の統計を示し、第一表はタルン・テープ（盤谷）、アユテイア、ナコン・チヤイスリー、ラーチヤブリー、プラーチム、ナコン・サワン、ピスヌロークの中部七州（即ち、主要輸出州）に付き、又第二表は暹羅王國の全十四州に付て

之を掲げたものである。

尚比較に便せん爲め前年の數字をも合せて表示した。

第一表　七輸出州に於ける籾栽培

二四六八年度の收穫は、降雨不足の爲め大害を被り、被害面積は二四六七年に培加したが、然し、一方植付面積の引續き增加しつゝあることを報導するは喜ばしい次第である。　三年の間に、植付面積は三、六三一、五〇〇英反（二四六五年）より（1）四、〇七六、九〇〇英反（二四六八年）となり、四四五、四〇〇英反の增加を示してゐる。昨年の收穫報告に於て、籾の栽培は確定的に增大しつゝあると述べたが、則ち右に依つて確認される譯である。過去四年間に於ける米穀收穫の統計を掲ぐれば次の如くである。

（1）一九二七年一月十四日の報告に依れば、中部七州の一九二六年の植付面積は四、二四〇、〇〇〇英反にて、前年より一六三、〇〇〇英反の增加であつた。

	二四六八年	二四六七年	二四六六年	二四六五年
	英反	英反	英反	英反
植付面積計	四、〇七六、九〇〇	四、〇六四、六〇〇	三、八六三、二〇〇	三、六三一、五〇〇
被害面積計	(2) 六五四、七〇〇	三一九、八〇〇	五八九、三〇〇	一六三、〇〇〇
收穫面積計	三、四二二、二〇〇	三、七四四、八〇〇	三、二七三、九〇〇	三、四六八、一〇〇
	噸	噸	噸	噸
總收量計	二、二〇九、九〇〇	二、八四五、〇〇〇	二、一九一、六〇〇	二、三七六、六〇〇

（2）一九二七年一月一四日の報告に依れば、一九二六年の被害面積は一四〇、〇〇〇英反で、前年に比し五一五、〇〇〇英反の大減少であつた。

上表より次の事實が窺はれる。二四六八年度の收穫高は前三年間の平均高に達せず、唯二四六六年より一八、三〇〇噸の增加を示したるに過ぎないが、偖て二四六八年度の植付面積を見れば、二四六六年より二一三、七〇〇英反の增加を示してゐる。依之觀之、若し天候の具合が順調であつたとすれば二四六八年の收穫高は二四六七年の記錄より、尚遙かに大であつたことゝ思はれる。

二四六八年度に於ける收穫面積に對する平均收量は一唻當り四・三三擔、即ち一英反當り〇・六四噸を計上し、四年間の最低高であつた。尚二四六五、二四六六、二四六七諸年度の唻當りの平均收量は、夫々四・六擔（英反當り〇・六八噸）、四・五擔（英反當り〇・六七噸）、五・一五擔（英反當り〇・七六噸）であつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第一表

縣名	栽培面積 二四六八年	栽培面積 二四六七年	二四六八年の被害面積	收穫面積 二四六八年	收穫面積 二四六七年	產額 二四六八年	產額 二四八七年
クルン・テープ州							
盤谷	一四七,三四〇 英反	一三九,四七〇 英反	三〇〇 英反	一四七,〇四〇 英反	一三三,五〇〇 英反	五四七,六六〇 擔	四六二,一〇〇 擔
トンブリー	三一,七六〇	八七,一八〇	一,〇七〇	三〇,六九〇	七一,二四〇	一四〇,二四〇	三七三,七六〇
ノンタブリー	二五一,七一〇	二四八,二〇〇	五五,六九〇	一九六,〇二〇	二三八,四〇〇	八八〇,六〇〇	一,三三七,〇〇〇
ミンブリー	二五二,五八〇	二五一,四三〇	三三,六七〇	二三九,九一〇	二三九,二八〇	一,一四九,五五〇	七二四,四七〇
プラ・プラデーン	九三,三〇〇	一〇四,九三〇	一〇,九八〇	八二,三二〇	一〇四,九三〇	四九三,九二〇	八三九,四七〇
サムツタプラカー	一四八,四九〇	一八二,二〇〇	—	一四八,四九〇	一八二,二〇〇	八九〇,九四〇	一,〇三八,五九〇
計（味）	九二五,一八〇	一,〇〇三,四一〇	九〇,七一〇	八三四,四七〇	九五八,五五〇	四,一〇二,九一〇	四,七六五,三九〇
（英反）	二七〇,〇七三	四〇一,三六四	三六,二八四	三三三,七八八	二八三,四二〇	二四四,二二一	二八三,六五四
アユテイア州							
タンヤブリー	四三六,一一〇	四八三,六七〇	二三,八二〇	四一二,二九〇	三六一,一九〇	一,二四四,四一〇	九二二,三三〇
プラドウンタニー	一七八,一四〇	一六五,四五〇	三九,三一〇	一三八,八三〇	一五四,九一〇	五四一,六六〇	七一八,六四〇
アユテイア	一,三三一,七八〇	一,二七九,八〇〇	三一〇,七五〇	一,〇二一,〇三〇	一,二四一,〇九〇	五,一六〇,〇五〇	七,〇二四,四六〇
アントーン	三六八,五五〇	三五六,九八〇	九〇,五〇〇	二七八,〇五〇	三五三,三三〇	一,〇九〇,三三〇	二,三九四,八四〇
シンハブリー	二五七,一七〇	二七四,四九〇	一一四,五〇〇	一四二,六七〇	二七二,六二〇	四二八,〇一〇	一,七〇一,五三〇
ロプブリー	四六八,八五〇	四六八,四三〇	四三,二四〇	四二五,六一〇	四五一,五三〇	一,一六三,三九〇	二,四〇五,八四〇
サラブリー	六五五,五六〇	六六一,二七〇	一,二四〇	六五四,三二〇	六四四,一三〇	二,六一七,二七〇	二,五七六,四九〇
計（味）	三,六九六,一六〇	三,六九〇,〇九〇	六二三,三六〇	三,〇七二,八〇〇	三,四七八,七八〇	一三,二四五,三三〇	一七,七四四,一三〇
（英反）	一,四七八,四六四	一,四七六,〇三六	二四九,三四四	一,二二九,一二〇	一,三九一,五一三	七二八,八八八	一,〇五六,一九八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ナコン・チャイスリー州							
ナコーン・パトム	六二三、六八〇	六八九、五三〇	二七〇、七六〇	三五二、九二〇	五四八、七九〇	一、四四〇、三三〇	二、五一六、三四〇
サムッタ・サーコーン	一六三、七一〇	一〇二、二九〇	—	一六三、七一〇	七二、八七〇	七八九、四四〇	四五九、一四〇
スパンブリー	七七三、四四〇	七七一、七一〇	八六、八三〇	六八六、六一〇	七六七、七三〇	三、一六八、六三〇	三、八三八、六五〇
計（味）	一、五六〇、八三〇	一、五六三、五三〇	三五七、五九〇	一、二〇三、二四〇	一、三八九、三九〇	五、三六八、二八〇	六、八一四、一三〇
（英反）	六二四、三三三	六二五、四一二	一四三、〇三六	四八一、二九六	五五五、七五六	三一九、五四一	二七八、一〇九
ラーチャブリー州							
ラーチャブリー	四〇〇、七七〇	三七五、二四〇	六六、〇四〇	三三四、七三〇	二六二、三三〇	一、六七三、九六〇	一、三二一、一五〇
ペチャブリー	二一四、五六〇	一七〇、一〇〇	三、〇八〇	二一一、四八〇	一六〇、九五〇	六三三、八七〇	九五四、三五〇
サムッタ・ソンクラーム	一三、一四〇	一四、四五〇	二、一九〇	一〇、九五〇	一四、〇四〇	四三、八〇〇	五六、一六〇
カーンチャナブリー	七、二七〇	二三、三四〇	—	七、二七〇	二〇、七一〇	三六、三五〇	一〇三、五七〇
プラチューアップ	一三、九八〇	一四、〇五〇	七四〇	一三、二四〇	一三、〇五〇	一二三、四〇〇	一三〇、四八〇
計（味）	五四八、七二〇	五九七、一八〇	七二、〇五〇	四七六、六七〇	四七〇、九八〇	二、五一〇、三八〇	二、五五五、七二〇
（英反）	二一九、四八八	二三八、八七二	二八、八二〇	一九〇、六六八	一八八、三八四	一四九、四二七	一五二、一二六
プラーチム州							
ペトゥリウ	八〇九、四七〇	七二七、二四〇	一八、三五〇	七九一、一三〇	六六七、一四〇	二、三五一、八三〇	二、〇三一、〇四〇
プラチンブリー	三二六、一八〇	三一四、〇七〇	六五、二四〇	二五〇、九四〇	二八〇、七六〇	九四四、〇三〇	一、一三八、二九〇
ナコン・ナーヨック	三三八、一三〇	三〇四、〇七〇	七五、八〇〇	二五二、三三〇	二七六、九九〇	一、一八〇、三五〇	一、四一〇、三五〇
チョンブリー	一七三、六六〇	二二五、二四〇	—	一七三、六六〇	一五五、七〇〇	六四六、五七〇	七五六、四三〇
クラビンドラ	七〇、四八〇	七二、七三〇	—	七〇、四八〇	七一、六三〇	二八、八三〇	三三一、九一〇
計（味）	一、六九六、九二〇	一、六三三、三四〇	一五九、三九〇	一、五三七、五三〇	一、四五二、二一〇	五、三四一、七〇〇	五、六六八、〇一〇
（英反）	六七八、七六八	六五三、三三六	六三、七五六	六一五、〇一二	五八〇、八八四	三一七、九五八	三三七、三八一
ナコン・サワン州							

ナコン・サワン	三四〇、七六〇	三八〇、六九〇	五一、二七〇	三八九、四九〇	三七七、〇一〇	一、五〇二、四九〇	一、三〇五、一三〇
ウタイ・ターニー	二三一、四八〇	一九九、〇六〇	一、九三〇	二三九、五五〇	一九六、五九〇	一、一三一、三八〇	一、三三五、九三〇
チャイナート	二七四、三三〇	二六五、八八〇	五九、七九〇	二一四、四四〇	二五七、九五〇	八八三、一六〇	一、四二〇、七三〇
カムペン・ペット	三九、六二〇	四二、三一〇	一六、二六〇	三三、三六〇	四三、二一〇	九六、二〇〇	二一三、七八〇
ターク	四六、七六〇	四八、八〇〇	一四〇	四六、六二〇	四八、五九〇	二八七、六七〇	四〇六、六九〇
計（味）	九三二、八五〇	八二六、九四〇	一二九、三九〇	八〇三、四六〇	八二二、三五〇	三、九八九、九〇〇	四、六七二、二三〇
（英反）	三七三、一四〇	三三四、七七六	五一、七五六	三二一、三八四	三二八、九四〇	一三二七、四九四	二七八、一〇九
ピスヌローク州							
ウタラディット	一三四、八〇〇	一三三、三七〇	五七、五三〇	六七、三七〇	一三〇、三三〇	二七一、一九〇	一、〇九六、七四〇
ピスヌローク	一八七、八三〇	一三三、九三〇	三八、七三〇	一四九、一一〇	一三五、三三〇	五三六、八〇〇	六八〇、九〇〇
ピチイットラ	二九七、九八〇	二九九、三一〇	二〇、八三〇	二七七、一五〇	二八四、一一〇	一、八八七、八六〇	二、〇一三、一七〇
スコータイ	九四、五九〇	一四七、〇三〇	四九、一〇〇	四五、四九〇	一一一、四三〇	一八一、九八〇	六五八、一一〇
サワンカローク	二九、八〇〇	三八、五三〇	一八、五三〇	二一、三七〇	三四、五三〇	九九、五八〇	二四一、三〇〇
ロムサク	五九、九六〇	六一、九七〇	一五、五九〇	四四、三七〇	六〇、六九〇	二七五、三六〇	七三八、六八〇
ペチャブーン	二六、五八〇	二三、九九〇	三、八七〇	二三、七一〇	二三、五八〇	一三四、九一〇	一五九、三七〇
計（味）	八三一、五四〇	八三七、一三〇	二〇四、一七〇	六三七、三七〇	七八九、八六〇	三、五六七、五八〇	五、五七六、八六〇
（英反）	三三二、六一六	三三四、八四八	八一、六六八	二五〇、九四八	三一五、九四四	二二二、三五六	三三一、九五六
全計（味）	一〇、一九三、二〇〇	一〇、一六一、六一〇	一、六三六、六六〇	八、五五五、五四〇	九、三六二、一三〇	三七、一三六、〇七〇	四七、七九六、四六〇
（英反）	四、〇七六、八八〇	四、〇六四、六四四	六五四、六六四	二、四二二、二一六	二、七四四、八四八	二、三〇九、八八五	二、八四五、〇二七

第二表　全國に於ける籾栽培

暹羅王國は行政上十四州に分割され、次表は二四六八年右各州に於ける籾栽培の詳細を示すものである。

植付面積　暹羅全國に於ける二四六八年の植付總面積は、一七、一〇三、〇〇〇味（六、八四一、三〇〇英反）にて、二四六七年より二五三、〇〇〇味（一〇一、二〇〇英反）の減少を示したが、前表に示した七主要輸出州に於て三〇、〇〇〇味（一二、〇〇〇英反）の増加があつた

ので、殘餘の州は二八三、〇〇〇呎（一一三、二〇〇英反）の減少を見たこととなる。

被害面積　二四六八年度の被害面積は、前年の一、三六七、〇〇〇呎（八七四 〇〇〇英反）に對し、二、一八五、〇〇〇呎（八七四、〇〇〇英反）に達し、八一八、〇〇〇呎（三二七、二〇〇英反）の増加を示した。

被害總面積の中、一六三七、〇〇〇呎（六五四、八〇〇英反）計りは七輸出州に含まれ、殘餘の州に於ては僅かに五四九、〇〇〇呎（二一九、六〇〇英反）に過ぎなかつた。

收穫面積　收穫總面積は、一四、九一八、〇〇〇呎（五、九六七、〇〇〇英反）で、前年に比して一、〇七一、〇〇〇呎（四二八、四〇〇英反）の減少であつた。

總收量　二四六八年に於ける總收量は、前年の八二、三六〇、〇〇〇擔（四、九〇二、三〇〇噸）に對し、六九、八八五、〇〇〇擔（四、一五九、八〇〇噸）にて、一二、四七五、〇〇〇擔（七四二、五〇〇噸）の減少を示してゐる。之に依つて全國の平均收量を求むれば四・六八擔（一呎當り）（英反當り〇・六九噸）となる。

過去三年間に於ける平均收量は次の如くである。

二四六五年―呎當り四・八二擔卽ち英反當り〇・七一七噸
二四六六年―呎當り四・九八擔卽ち英反當り〇・七三八噸
二四六七年―呎當り五・一五擔卽ち英反當り〇・七六六噸

諸州	植付總面積（呎） 二四六八年	植付總面積（呎） 二四六七年	二四六八年の被害範圍（呎）	收穫總面積（呎） 二四六八年	收穫總面積（呎） 二四六七年	總收量（擔） 二四六八年	總收量（擔） 二四六七年
クルン・テープ	九二五、一八〇	一、〇〇三、四一〇	九〇、七二〇	八三四、四七〇	九五八、五五〇	四、一〇三、九二〇	四、七六五、三九〇
アユデイア	三、六九六、一六〇	三、六九〇、〇九〇	六二三、三六〇	三、〇七二、八〇〇	三、四七八、七八〇	一三、二四五、三三〇	一七、七四四、一三〇
ナコン・チャイスリー	一、五六〇、八二〇	一、五六三、五三〇	三五七、五九〇	一、二〇三、二四〇	一、三八九、三九〇	五、三六八、二八〇	六、八一四、一三〇
ラーザブリー	五四八、七二〇	五九七、一八〇	七二、〇五〇	四七六、六七〇	四六〇、九八〇	二、五一〇、三八〇	二、五五五、七二〇
プラーチム	一、六九六、九二〇	一、六三三、三四〇	一五九、三九〇	一、五三七、五三〇	一、四五二、二一〇	五、三四一、七〇〇	五、六六八、〇一〇
ナコン・サワン	九二三、八五〇	八三六、九四〇	一二九、三九〇	八〇三、四六〇	八二三、三五〇	三、九八九、九〇〇	四、六七二、三三〇
ピスヌローク	八三一、五四〇	八三七、一三〇	二〇四、一七〇	六二七、三七〇	七八九、八六〇	三、五五六、五八〇	五、五七六、八六〇
パーヤップ	一、二九一、四三〇	一、二九一、四八〇	六一、七一〇	一、二二九、七二〇	一、二七七、三八〇	八、二九一、八四〇	八、二五三、二四〇
ナコン・ラーザヤシーマ	三、九四八、八九〇	三、〇三二、二五〇	三〇一、八五〇	三、六四六、〇四〇	二、七七三、二三〇	一二、一六五、二三〇	一二、三八二、〇五〇
チャンタブリー	一六九、三二〇	二一三、[illegible]	六、六四〇	一六二、六七〇	一七八、六九〇	五七四、七六[illegible]	六八九、[illegible]七〇

ナコン・スリータムマラート	八二四、五六〇	九四八、二八〇	七七、九九〇	七五六、五七〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]
パタニー	二五〇、九九〇	二六九、六九〇	五七、四五〇	一九三、五四〇	二四三、五九〇	八〇四、[illegible]	[illegible]
プケット	一九四、一一〇	二〇六、二〇〇	五、二八〇	一八八、八三〇	一九四、四六〇	九〇二、〇三〇	一、〇六一、四五〇
ウドーン	一、三三一、八九〇	一、三三一、八九〇	三六、九一〇	一、一八四、九八〇	一、〇三三、三〇〇	五、四〇一、七六〇	四、八四〇、六一〇
十四州總計	一七、一〇三、三八〇	一七、三五六、一二〇	二、一八五、四九〇	一四、九一七、八九〇	一五、九八八、八九〇	六九、八八五、〇四〇	八三、三五九、五五〇
(英反)	六、八四一、三五二	六、九四二、四四八	八七四、一九六	五、九六七、一五六	六、三九五、五五六	四、一五九、八二四	四九〇二、三五四

(Record, No. 22.)

□新關稅定率

該條約最後の批准は三月二十五日午後三時四五分盤谷に於て交換され、新關稅定率は同二十七日より實施される。

米穀以外の輸出稅は凡て廢棄せられ、而も米穀の稅率も何等事實に於ての變化なく、何れも毎擔何サタンとして從來の混亂を除去した。

左に暹曆二四六九年新關稅定率令を掲載する。

皇帝陛下に依り

現今輸出入商品の關稅は、暹曆二四六九年關稅法第十條の規定の下に賦課せられ居り、其稅則は、永年改正を加ふることなく實施され、我國現下の必要と福利及び我國輓近の貿易工業の發展と相呼應せざるに至りたるを以て、斯る關稅定率は改訂の望ましきに依り

亦、暹曆二四六〇年及び二四六七年の修正法に依つて修正せられたる、西曆一二四八年內國消費稅法第四條及び第五條の規定の下に賦課さるゝ酒精飲料、葡萄酒及び麥酒の輸入稅も、改正し、新關稅定率に包含するを有利とするの理由の下に

玆に下條の如く制定さる。

一、本法は「暹曆二四六九年關稅定率令」と稱す。

二、暹曆二四六九年三月二十七日及び同日以降は、添附せし定率表に依り、輸入酒精飲料、葡萄酒及び麥酒の關稅を含む輸出入物品の關稅を玆に賦課し、徵收し、納付せしむ。

三、本令發布迄に、稅則、稅表、又は告知に列擧したる、輸入酒精飲料、葡萄酒及び麥酒を含む輸出入物品の關稅は、凡て玆に無效とし、添付せる定率表に列擧せし稅率に改定す。

四、大藏大臣は本令實施の責任及び監督に任ず。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本令は現皇帝卽位第二年暹曆二四六九年三月二十六日に裁可さる。

定率表

輸入關稅

一、麥酒　從價　一二%

二、葡萄酒　同　一二%

三、其他の酒精飲料　無水酒精一立に付き　二・五〇銖

備考　Guy Lussac 氏酒精計に依りて測定されたる無水酒精の步合に應じて課稅す。但し每バルク立に最低七〇「サタン」を課す。

四、燈油　每「ガロン」(四、五四六立)　一〇「サタン」

五、ベンヂン　同　、　二〇同

六、安全燐寸其他の燐寸

イ　平均百本を超えざる箱入のもの　每百箱　三〇同

ロ　百本を超えたる箱入のもの　每百箱　三〇同

每箱百本を超えたる時は各箱の超過分五〇本迄每に　每百箱　一五同

七、砂糖(葡萄糖を含みサッカリンを含まず)　每瓩　三同

八、活動寫眞フイルム(陽畫)(現像したると否とを問はず凡て映像を含み、活動寫眞其他の裝置にて觀覽用に供する爲め輸入せられるもの)

標準幅三・四九二五糎(一吋八分の三)の長さ三〇・四八米(一〇〇呎)每に　三〇同

九、紙卷煙草、葉卷煙草及び各種の製造煙草　從價　二五%

十、自動車、自動自轉車、其爲め輸入したる絕對必要の裝具一切、及び其部分品(タイヤ・チューブを含む)　從價　五%

十一、上記諸項又は下記免稅品中に含まれざる其他の貨物　從價　五%

免稅品

一、血清、接種液、抗毒素

二、規尼涅及び其他の規那屬アルカロイド

三、糖蜜

四、商品の見本、但し見本用にのみ適するものに限る

五、暹羅に渡來する巡囘興業者が輸入する芝居其他の興業用物品

六、書籍、定期刊行物、新聞、印刷せる樂譜、海圖、地圖、及び廣告用印刷物

七、金銀及び金箔

八、自用品として輸入されたる旅具(但し酒精飲料及び自動車類を除く)

備考—該免稅品中には、眞實に使用されたる個人に屬する貨物に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て、旅客前住港又は前住國より發送され、旅客到着後下記の期間內に到着したるものを含む。

海峡植民地、馬來聯邦州、印度支那よりは二週間

其他の亞細亞諸港よりは五週間

其他の港又は國よりは十週間

九、纖維又は布帛の製造に適する生絲

十、性質形狀に何等の變化なくして五箇年以內に再輸入され、且つ輸出の時再輸入證書を取り置きたる輸出物品

備考—上記第五項の下に輸入税を免除されたる物品にして、販賣され或は既に免税品の條件を適用し得ざる狀態に處分せられたるものは、現行定率に依り納税の義務を生ずるに至る。

輸出關税

一、籾	一擔に付き	一三「サタン」
二、玄米	同	一八・五 同
三、碎玄米	同	九・五 同
四、粉玄米	同	九・五 同
五、白米	同	一七・五 同
六、碎白米	同	一七・五 同
七、粉白米	同	一七・五 同

暹曆二四六九年內國消費税法修正法

皇帝陛下に依り

輸入酒精飲料、葡萄酒、麥酒の關税及び酒精飲料、葡萄酒、麥酒の消費税は、從來暹曆二四六〇年の修正法に依つて修正したる暹曆一二四八年內國消費税法に添附したる同表第十七に依り賦課し、徴收し、納付せしめたるが、輸入酒精飲料、葡萄酒、麥酒の關税は別に暹曆二四六九年新關税定率令に列擧せるに依り

亦、酒精飲料、葡萄酒、麥酒の消費税も同樣にして列擧し、税率を改正するを有利とするに依り

玆に下條の如く制定さる。

一、該法は「暹曆二四六九年內國消費税法修正法」と稱し、二四六九年三月二十七日より之を實施す。

二、酒精飲料、葡萄酒、麥酒の消費税は、無水酒精每立二・二五銖の率にて、Guy Lussac 氏酒精計に依つて測定したる無水酒精の步合に依つて賦課し、徴收し、納付せしむ。但し每バルク立に最低六三「サタン」を賦課す。

三、暹曆二四六〇年內國消費税法修正法に添付したる第一表及び第十七表に列擧したる酒精飲料、葡萄酒、麥酒の消費步合は、玆に無效とし、本法二條に列擧したる率に改定す。

四、大藏大臣は本法實施の責任及び監督に任ず。

本法は現皇帝卽位第二年卽ち二四六九年三月廿六日裁可さる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□暹曆二四七〇年度豫算

盤谷タイムス紙所報に依り、二四七〇（一九二七—二八〇）年度豫算を、前年度の見積額と比較表示すれば次の如くである。

	二四六九年	二四七〇年
歳入	九四、〇〇〇、〇〇〇銖	一〇〇、五五〇、四一六銖
歳出	九三、七八八、一八八同	一〇〇、〇一六、一三二同
歳入超過額	二一一、八一二銖	五三四、二八四銖

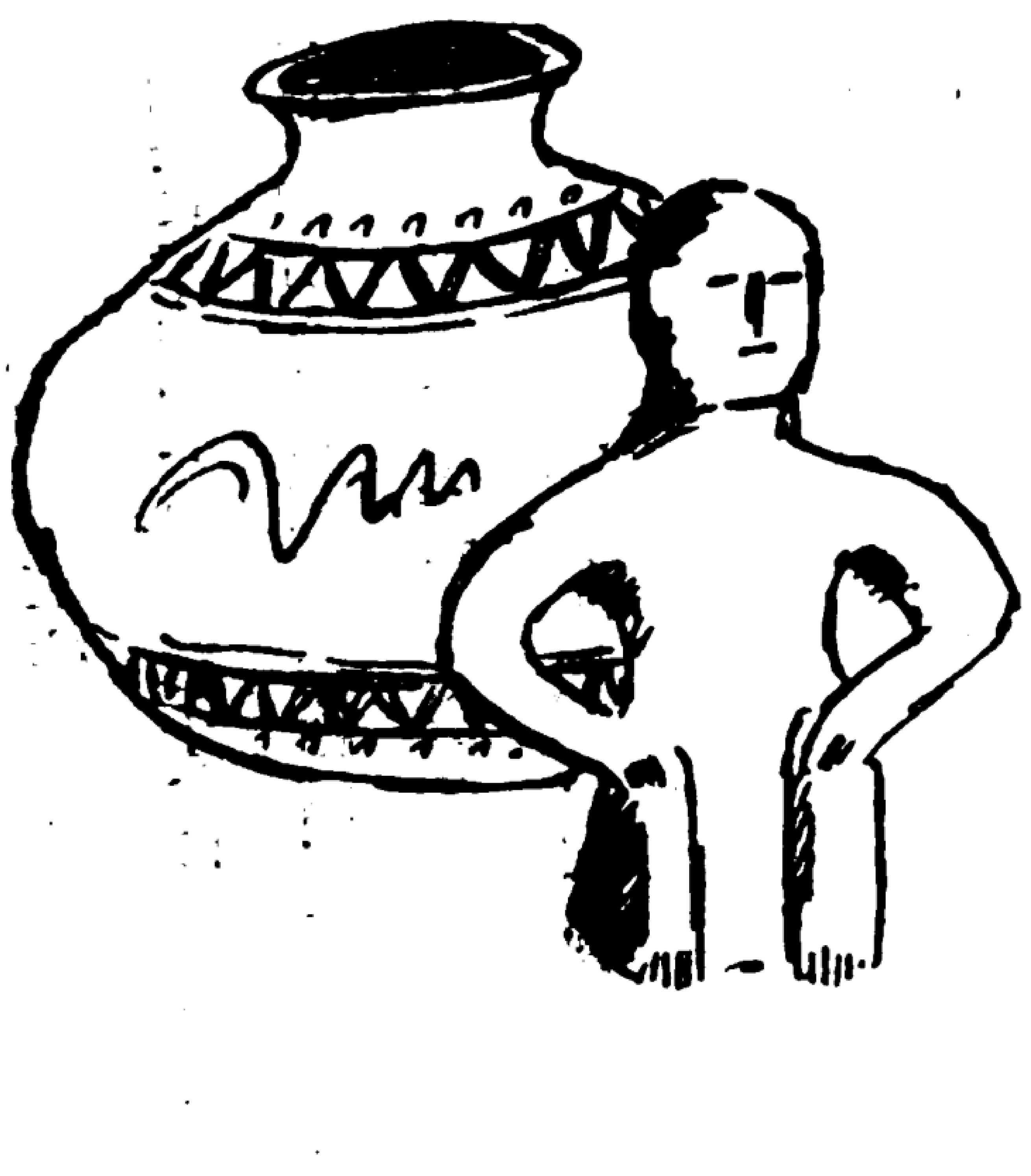
國庫準備金よりの臨時支出は、前年の七、三九六、六八五銖に對し、七、八〇七、六七八銖と見積られてゐる。

尙右二四七〇年度の豫算中鐵道收入は總收入より運轉費用を控除したる純收入を見積れるを以て、比較研究に便せん爲め前年度鐵道收入をも同樣に見積る時、同年歳入は八六、一〇三、七九六銖、歳出八五、八九一、九八四銖である。

新豫算は、前年度に比すれば歳入に於て一四、四四六、六二〇銖、歳出に於て一四、二二四、一四八銖の增加を示してゐる。相變らず漸減を辿れる財源阿片專賣收入を除いては、一般に增加を示してゐるが、右一四百萬銖の增加額中の大半は新輸入關稅（約七百萬銖）及び消費稅（三百萬銖）に歸せねばならぬ。

支出中注目すべき準備金は、外債募集の爲め七百萬銖、磅を一一銖として紙幣準備の資產を再評價する爲め六百萬銖、內地通過稅及び或る種輸出稅廢止に依りて生ずる歳入減損準備に二・三百萬銖で、其他道路、年金、新漁業局、郵便電信の準備も增加されてゐる。

資本的支出七、八〇七、六七八銖の中、最大なるものは灌漑の二・五百萬銖で、一・二五百萬銖の增加を示し、鐵道建設の支出は五百萬銖を超過してゐる。



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英領馬來

□英領馬來時報

海峽植民地煙草輸入税改正

一九二五年八月二十五日官報號外第一、五三〇號告示によつて公示された法令第一五八號（煙草輸入税）第四項（第一）規定に係る輸入税は廢止せられ、其の代りに一九二七年三月二十一日以降下記の標準に依つて賦課せらるゝ事となつた。

種別	金額	
イ、葉卷煙草及嗅煙草	一封度に付	（弗仙）一、〇〇
ロ、紙卷煙草	同	八〇
ハ、（イ、ロに含まれざる製造煙草）	同	七〇
ニ、未製造煙草	同	六〇

（海峽植民地三月二十一日官報號外第二十三號所載）

英領各植民地總督會議の開催

今年倫敦に開催さるべき植民地總督會議に就いて、植相アメリー氏は次の如く述べてゐる。

「本年五月倫敦に植民地會議開催の豫定である。同會議には非自治植民地、保護領及委任統治所管の總督又は首席官吏が代表者として出席する事となるであらう。本會議は初めてのもので、第一の目的は定期に植民地で會議を開催し、一般行政、經濟の發達及び科學的專門的の研究調査に關して當該植民地政府と協調を遂げる機關を設置するにある。五月十日に始まり約三週間繼續の豫定である」と。

最近支那人移民狀況

（新嘉坡フリー・プレス三月二十六日）

統計局の調査によれば、昨年（一九二六年）中海外諸港より入國せる移民數は歸國者數を超過すること二四一、七八九名で、一九二五年（一一九、七九一名）の二倍餘、一九二四年の略三倍、一九二三年に比すれば三倍半の增加である。

此の超過移住民は殆んど支那人、印度人で、其の數は各々一七一五四三人、五七、〇八八人を算する。

馬來人口の增加數を推定するにはポート・スウエッテンナムを出入する南方印度人（此の數は海峽植民地の統計に算入されぬ）の超過數を考慮に入れなければならない。一九二六年度該數は六六、七四四人で、前年度は三二、三〇一人であつた。從つて、兩年度に於ける馬來人口增加總數概算は夫れ〴〵一九二六年三〇〇、〇〇〇人、一九二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五年一五〇、〇〇〇人となる（中略）。

支那から新嘉坡への移民總數は三四八、五九三人、此の中二九二、一七三人は新嘉坡に上陸し、殘りの五六、四二〇人が他港への上陸者である。海峽植民地へ到著せる南方印度人は九六、九一三人で、歸國者に比して到著者數の方は四四、〇七五人であつた。過去三年間に於ける比例數は變らないけれども、總數は二倍以上となつた。スウエツテンナム港を出入する印度人勞働者は此の中に數へられてない。

スウエツテンナム港に到著せる保護勞働者は歸國者を超ゆること六六、七四四人、合計一一〇、八〇〇の増加である。其他の港への移住者は少數に止まつて居る。

（新嘉坡フリー・プレス三月二十四日）

柔佛政府土地租借申込不受理の件

柔佛政府は、二月二十三日付告示第八十一號を以て當分の中エンダウ（Endau）以外の地方の土地租借申込を受けざる旨、左記の通り公告があつた。

Notice No. 81

The Government of Johore hereby gives notice that as from 1st March 1927, the land applications books will be closed in all districts except Endau, until further notice.

（南洋協會報告第一、九三〇號）

口本年三月中新嘉坡重要物產市況

一、護謨市況（昭和二年三月一日より同月三十一日まで）

新嘉坡標準シート（四一は四分一、二一は二分一）

月日	現物		七、九月限		十、十二月限	
	買	賣	買	賣	買	賣
三月一日	六八·〇〇	六八·四一	七三·〇〇	七三·四一	七五·〇〇	七五·四一
同二日	六七·四三	六八·〇〇	七三·二一	七三·四三	七四·二一	七五·〇〇
同三日	六七·四三	六八·〇〇	七三·〇〇	七三·四一	七五·〇〇	七五·二一
同四日	六八·二一	六九·〇〇	七四·四一	七四·二一	七六·〇〇	七六·二一
同五日	六九·〇〇	六九·二一	七四·〇〇	七四·二一	七六·〇〇	七六·二一
同七日	六九·二一	六九·四三	七四·二一	七四·四三	七六·二一	七六·四三
同八日	六九·四一	六九·二一	七三·四三	七四·〇〇	七五·四三	七六·〇〇
同九日	六九·四一	六九·二一	七三·二一	七四·〇〇	七三·二一	七六·〇〇
同十日	六九·〇〇	六九·四一	七三·四一	七三·二一	七五·四一	七五·二一
同十一日	六九·四三	七〇·〇〇	七四·四一	七四·二一	七六·四一	七六·二一
同十二日	七〇·二一	七〇·四三	七五·〇〇	七五·四一	七七·〇〇	七七·四一

同十四日	七〇・四三	七一・〇〇	七四・四三	七五・四一	七六・二一	七七・〇〇
同十五日	六九・四三	七〇・〇〇	七三・二一	七四・〇〇	七五・四三	七六・〇〇
同十六日	七〇・〇〇	七〇・四一	七四・〇〇	七四・二一	七六・〇〇	七六・二一
同十七日	七一・二一	七一・四三	七五・二一	七五・四三	七七・二一	七七・四三
同十八日	七一・〇〇	七一・四一	七四・二一	七五・〇〇	七六・二一	七七・〇〇
同十九日	七〇・四三	七一・〇〇	七四・二一	七五・〇〇	七六・二一	七七・〇〇
同二十一日	七二・〇〇	七二・四一	七五・二一	七六・〇〇	七七・二一	七八・〇〇
同二十二日	七一・二一	七一・四三	七五・四一	七五・〇〇	七七・四一	七七・二一
同二十三日	七一・四一	七一・二一	七五・〇〇	七五・四一	七七・〇〇	七七・四一
同二十四日	七〇・四三	七一・〇〇	七四・四一	七四・二一	七六・四一	七六・二一
同二十五日	七〇・〇〇	七〇・四一	七三・二一	七四・〇〇	七五・四三	七六・四一
同二十六日	七〇・二一	七〇・四三	七四・四一	七四・二一	七六・四一	七六・二一
同二十八日	七〇・二一	七〇・四三	七四・二一	七四・四三	七六・二一	七六・四三
同二十九日	六九・四三	七〇・〇〇	七三・四三	七四・四一	七五・四三	七六・四一
同三十日	六九・二一	七〇・〇〇	七三・四三	七四・四一	七五・四三	七六・四一
同三十一日	七〇・〇〇	七〇・四一	七四・〇〇	七四・二一	七六・〇〇	七六・二一

二、ガムビヤ、コプラ、胡椒

月日	ガムビヤ	コプラ 日乾	コプラ 混合	胡椒 黒	胡椒 白
三月一日	九・〇〇	一一・〇〇	一〇・四〇	四三・〇〇	七七・〇〇
同二日	九・〇〇	一一・〇〇	一〇・四〇	四三・〇〇	七七・〇〇
同三日	九・五〇	一一・〇五	一〇・四〇	四一・〇〇	七六・〇〇
同四日	九・〇〇	一一・一〇	一〇・四五	四一・〇〇	七六・〇〇
同五日	九・〇〇	一一・一〇	一〇・四五	四一・〇〇	七六・〇〇
同七日	九・〇〇	一一・一〇	一〇・四五	四一・〇〇	七六・〇〇
同八日	九・〇〇	一〇・九〇	一〇・三〇	四一・〇〇	七六・〇〇
同九日	九・〇〇	一〇・九〇	一〇・三〇	四一・〇〇	七六・〇〇
同十日	九・〇〇	一〇・九〇	一〇・三〇	四一・〇〇	七六・〇〇
同十一日	九・〇〇	一〇・九〇	一〇・三〇	四一・〇〇	七六・〇〇
同十二日	九・〇〇	一〇・九〇	一〇・三〇	四一・〇〇	七六・〇〇
同十四日	九・八一	一〇・九〇	一〇・三〇	四〇・〇〇	七四・〇〇
同十五日	九・八一	一〇・九〇	一〇・三〇	四〇・〇〇	七四・〇〇
同十六日	九・八一	一〇・九五	一〇・三五	四〇・〇〇	七四・〇〇
同十七日	九・八一	一一・〇〇	一〇・三五	四一・〇〇	七四・〇〇
同十八日	九・八一	一〇・九五	一〇・二五	四一・〇〇	七四・〇〇
同十九日	九・八一	一〇・九五	一〇・二五	四一・〇〇	七四・〇〇
同二十一日	九・八一	一〇・九五	一〇・三〇	四一・〇〇	七四・〇〇
同二十二日	九・八一	一〇・九五	一〇・三〇	四一・〇〇	七四・〇〇
同二十三日	九・八一	一〇・九五	一〇・三〇	四一・〇〇	七四・〇〇
同二十四日	九・八一	一〇・九五	一〇・三〇	四一・〇〇	七四・〇〇
同二十五日	九・八一	一〇・九五	一〇・三〇	四一・〇〇	七四・〇〇
同二十六日	九・八一	一〇・九〇	一〇・三〇	四一・〇〇	七四・〇〇
同二十八日	九・八一	一〇・九〇	一〇・三〇	四一・〇〇	七四・〇〇
同二十九日	九・八一	一〇・九〇	一〇・三〇	四一・〇〇	七四・〇〇
同三十日	九・八一	一〇・九〇	一〇・三〇	四一・〇〇	七四・〇〇
同三十一日	九・八一	一〇・九〇	一〇・三〇	四一・〇〇	七四・〇〇

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三、サゴ粉、タピオカ、錫

月日	サゴ粉（スモール・パール）	タピオカ（フレーク）	錫（七五噸）
三月一日	七 7/8	五・六七 1/2	一五九・〇〇
同二日	七 7/8	三・六七 1/2	一五四・二五
同三日	七 7/8	五・六七 1/2	一五四 7/8
同四日	八・〇〇	五・八七 1/2	一五七・〇〇
同五日	八・〇〇	五・七五	二五六・八五
同七日	八・〇〇	五・七五	一五七・五〇
同八日	八・〇〇	五・七五	一五五・〇〇
同九日	八・〇〇	五・七五	一五六・五〇
同十日	八・〇〇	五・七五	一五七・五〇
同十一日	八・〇〇	五・七五	一五五・七五
同十二日	八・〇〇	五・七五	一五五・〇〇
同十四日	八・〇〇	五・七五	一五五・〇〇
同十五日	八・〇〇	五・七五	一五五・八三
同十六日	八・〇〇	五・七五	一五四・七五
同十七日	八・〇〇	五・七五	一五五・八一
同十八日	八・〇〇	五・七五	一五四・七五
同十九日	八・〇〇	五・七五	一五三・八三
同二十一日	八・〇〇	五・七五	一五二・八七
同二十二日	八・〇〇	五・七五	一五四・〇〇
同二十三日	八・〇〇	五・七五	一五四・八七
同二十四日	八・〇〇	五・七五	一五二・八五
同二十五日	八・〇〇	五・七五	一五三・〇〇
同二十六日	八・〇〇	五・七五	一五二・八三
同二十八日	八・〇〇	五・七五	一五二・〇〇
同二十九日	八・〇〇	五・七五	一五一・八五
同三十日	八・〇〇	五・七五	一五一・八七
同三十一日	八・〇〇	五・七五	一五三・四一

（新嘉坡フリー・プレス三月二日－四月一日）

蘭領東印度

□再びパダンセメントと日本セメントの不當廉賣問題に就いて

主題の件に關しては、既に昨年十二月發行の臺灣時報中の南支南洋情報中に述べて置いたところであるが、偶々蘭印總督グラエフ氏は本年の始めにスマトラ巡視を企て、途上親しくパダン高地のインダルン・セメント工場を視察し、蘭領印度に於ける日本のダンピング政策に關し種々意見を交換するところがあつた。

次に掲げるものは、總督一行に隨行し、共に本工場を訪れた記者が之を幸として、パダン・セメント工場の現況並に日本のダンピング問題に關する眞相を調査研究して、スラバヤ・ハンデルス・アラウト紙

上にスマトラ印象記の内の一節として揭げて居るものを抄譯したものである。

總督は二月一日にインダルン・セメント工場を訪れ親しく蘭領印度の重要工業の一を視察した。本工場は數箇月前に各新聞紙上に日本のダンピング政策と共に喧しく論ぜられたもので、其の現況を調査するも強ち無益でなからうと思はれるから、最初に之に關して述べて見たいと思ふ。

インダルン附近にはセメント工業に必要な石灰及び粘土があり、且つ附近の河川からは豐富な水力を得ることが出來る故に、當地はセメント工場の設立地として最適の地位を占めて居るとの建築家ロー氏の言に着眼したのは獨逸の地質學者であつて、それは今から二十年前のことである。

然し乍らパダンのフェット氏兄弟が主となつて一、三五〇、〇〇〇盾の資本を以つて「蘭領印度ポートランド・セメント會社」を設立した一九一〇年に於て始めて工場の設立が具體化されたのである。而し社債の發行が失敗に歸した結果、フェット兄弟は思ふ樣に事業を發展させることが出來なかつたのである。

此處に於て彼等兄弟は一九一〇年に一日五〇〇樽の生產能力を有する臨時工場を設立したのである。此處の都合の良いことは、當地はオムビリン炭坑の近くにあつて、比較的安い値を以つて石炭を得ることが出來ることである。

經營困難な最初の數年間に於ては、彼等は低運賃を以つて輸送してくれたK・P・M社の多大の援助を蒙つて居た。

一九一二年には第二號爐が完成し、從つて生產能力も一日一、〇〇〇樽に增加した。又一九二〇年には從來のものよりも長く且つ日に六五〇樽の生產能力を有する第三號爐が出來上り、かくする內に第四號爐も完成を告げ、昨年は猶一層長い第五號爐の設置が開始さるるに至つた。而し同時に二箇の古い爐は廢されることゝなつて居るから、一日の合計生產能力は二、七〇〇樽に留まるであらうと思はれる。一九二六年に於ける年產額は既に六三八、〇〇〇樽に達して居り、而して一九二八年には約一、〇〇〇、〇〇〇樽に昇るであらうと想像される。

本工場の詳細に關しては餘り興味のあるものでないから此處には之を略すことにするが、本日當工場に於て綜合した數字の二三を揭げて見やう。

月產額六〇、〇〇〇樽とする時は年產額は七二〇、〇〇〇樽であるが、之に就いて各方面から考察する時は次の樣になる。

一、官營鐵道にとつては、之が輸送に日々三五輛の貨車を必要とし、

二、K・P・M社にとつては、之を復航貨物として充分に積んで爪哇へ輸送するに數隻の船を要す、

三、オムビリン炭坑にとつては、日々一二輛の屑炭を供給する固

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

定顧客であり、

四、木材納入者にとつては、幅二五糎の樽用板を毎日四粁を供給せねばならず、

五、之が生産には三〇人の歐人及び一、四〇〇人の勞働者を要し、

六、國家にとつては、過去一五年間に於て直接税及び機械の輸入税等約一、〇〇〇、〇〇〇盾の收得があつたのである。

近年に於ては、契約苦力を自由勞働者に換へる等の大變化が行はれた。以前に於ては約六〇〇人の契約苦力及び八〇〇人の自由勞働者を使用して居たのであるが、契約苦力には勞銀以外に無償で食料、住宅及び醫療を給さねばならないのである。彼等の日々の費用は彼等の取得及び爪哇よりの輸送費の償却費をも加算する時は一人當り合計一・二〇盾を要するのである。

其故に斯る費用を要する且つ其の上勞働を餘り好まないらしい本契約苦力を、當地に於て充分に得ることの出來る自由勞働者に換へたのである。

自由勞働者には、何等無償の醫療、食料及び住宅を給する必要なく、費用は一日當り三〇ー五〇％輕減され、即ち〇・六〇盾乃至〇・八〇盾となる譯である。

ダンピングに就て——日本のダンピング政策に關しては議論は區々であるが、日本工業がダンピングを行つたと云ふことは次の指數を以つてしても明瞭である。

インダルン・セメント工業は二箇年間一〇〇、〇〇〇樽宛爪哇に移出したが、同期間に於ける生産は各年一五〇、〇〇〇樽宛増して居るのである。故に前記各年に於ける過剩は二五〇、〇〇〇樽であつて、これは海峽植民地竝に外領地方に送られ、彼地に於ては爪哇より約五％の高値を以つてしても買手を見出して居る。

目下に於ける日本セメントの價格に關しては、トン・インズメトリー・ツアイテング誌は其の十一月號に次の樣に揭げて居る。

「一級品は一樽當り五・五〇乃至五・六〇圓を稱へ、又二級品は四ー五・三〇圓を稱へて居る。而し此の値では工場に利益を擧げることが出來ない」と。

之に次いで我植民地に輸出されるセメントの價格に關する二、三の詳細な數字を揭げた後、「日本は、若し外國が日本に於てダンピングを行はふとする樣な氣配が見えた時は直に政府に之れを根本的に絕滅する樣極力要求するくせに、本地方(蘭領印度)に於ては厚顏にも惡辣なダンピングを行つて居る」と述べて居る。

上述の次第に依り蘭領印度に於ける日本セメントの輸入數量は次に示す如く急速に增加して居るのである。

一九二三年	一月ー十一月末まで	一九、六一三樽
一九二四年	同	一三四、五九八同
一九二五年	同	三一四、二六〇同
一九二六年	同	四六五、五〇六同

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

猶同誌の揭げて居るところに依れば、印度輸出向としての日本セメントは淺野、小野田の二大會社に於て三・二〇―三・三〇圓を以つて供給されて居り、其の運賃は樽當り〇・七〇圓と云ふ非常に低廉なものである。

圓價を一・二五盾とする時は、日本セメントは日本に於て七盾を以つて賣捌かれて居るのである。然るに印度へ輸出されるものは四盾を以つて供給されて居り剩さへ運賃は〇・八七盾を出ないのである。

K・P・M社はインダルン・セメントをパダンから爪哇へ樽當り漸やく〇・八七盾を以て運送して居るのであるが、日本船舶は日本から爪哇への長距離に於て同値を以つて運送して居る。

又他方に於ては本ダンピングを否定して居る者もある。彼等は曰く、ダンピングなるものは一定の市場に投出される數量の問題であると。之の見地からする時はダンピングなるものは單に市場の必要とするものゝ總てが安價なセメントに依つて獨占される時に於てのみ云々することが出來ると云ふことになる。此處に數字的に調査する時は次の樣な事實を發見する。

爪哇に於ける需要は年約七〇〇、〇〇〇樽であつて、内殆んど四五〇、〇〇〇樽は日本から輸入されるものである。又獨逸からは極めて小數輸入されるのみであるから、インダルン・セメントの分としては猶二五〇、〇〇〇樽殘つて居る譯である。

本數字に依つて見る時は、事態は頗る日本に有利な狀態であつて、若し日本物の輸入が引續いて增加する時は、インダルン・セメントは直に自由市場から驅逐される樣な狀態にあるのである。

政府への納入に關しては、インダルン・セメントは其の優先權に依つて其の地位を保持して居る。而して政府が使用するセメント一四〇、〇〇〇樽の内一一五、〇〇〇樽はインダルン・セメントを使用することになつたことは慶賀すべきことである。

抑々本問題は、現にインダルン工場の帳簿を檢査せしめて居る政府にとつては簡單な問題ではない。

當領の對日本貿易關係は多方面に互つて居て、或物品に特別の稅を賦課することは容易の事ではないと同樣に、本品に對して一層の高値を支拂ふことを國民に强制することも不可能である。

而し乍ら若し政府が選擇權を維持し、又は帳簿の檢査をなして見た結果インダルン・セメントが窮狀にあると思はれる場合、現在の一〇%の補助を多少引上げる時は前記の樣な手段を講ずる必要もなく、從つて爪哇に於けるインダルン工場の地位は安全となるのである。

勿論、吾人はインダルン・セメント工場が間接なりとも直接なりとも利益を擧げてくれればよいと云ふこと以外に何等之に對して他に希望を持つて居ないものである。

總督の巡視に際し、インダルン・セメント工場の取役フェット氏はトン・インダストリー・ツアイティングに書いてあると同樣なことを總督に云つて居る。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

即ちブェット氏は、斯る場合に於てはインダルンに依つて代表されて居る此の印度工業の保護を請願したのである。而し是に關しては吾人は吾人の意見として既に述べて置いた。而して、後から觀る時は、吾々が本問題に關して中立の態度を採つたことは實に當を得た所置であつたと思ふ。

本問題の眞相を知つて居る某が吾人に示してくれた書類に依れば、二月三日に日本に於ける爪哇向セメントは噸當り三圓即ち三・七五盾で賣却され、本値はトン・インダストリー・ツアイティング誌上に掲げられて居るものと殆んど同一である。

又他の書類に依れば一九二七年二月三日即ち同日にボツクム（Bochum）に於て獨逸製ポートランド・セメントは噸當り三・五〇盾で賣却され結局日本セメントより多少安いのである。

トン・インダストリー・ツアイティング誌には、何故に本安値はダンピング政策の爲でないと云ふ理由を書いて居ない。

日本爪哇間の運賃が安いと云ふことを以つて、セメントのダンピング政策云々等のことを論ずることは出來ない。其の理由は、日本よりの輸入セメントの相當數量は和蘭汽船に依つて輸送されてゐるからである。

□ニューギネアの經濟的發達

本種の汽船は何故に斯く安い運賃で輸送することが出來るかと云ふに、蘭印の對日本輸出品中には砂糖と云ふ大貨物はあるが日本から爪哇への復航には貨物は尠なく、殊に現在に於ては一層減少して居るからであつて、セメントの樣な比較的大量の品を安い運賃で運ぶ外他に道がないのである。故に其の終局に於ては我砂糖は又日本セメント輸入の利益をも享有して居るのである。

インダルン工場も賣値を引下げ、以つて輸入日本セメントと爪哇で競爭すれば良いではないか。若し市價が下落するとすれば輸入業者の利益が減少すると共にインダルンの地位が如何なる風に變化するかは問題となるのである。

兎に角、日本セメントのダンピングと云ふことは信ぜられない。而して、日本自身及び印度に於ける日本セメントの價格の差は、次の樣なことに原因して居るのである。

日本は獨逸と同樣に輸出値を著しく低廉となすことが出來る、而して日本自身に於けるセメントの價格が輸出値より高いと云ふのは、日本國内に於ける競爭に對する安全策から起つて居る現象であつて、運賃が高いにも拘らず獨逸等から日本に輸出されて居るのである。

(Soerabajasch handelsblad mar. 8, 14, '27)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

モルッカス群島の知事ルースト氏はニュース・ファン・デン・ダッハ紙の記者に、最近ニューギネアに興味を持つ者が著しく増加したことは注視すべき事實であると語り、續いてニューギニアの經濟的發達に就いて猶次の如く語つて居る。

獨逸資本を以つて事業を營みアンボイナに根據を置くフーニックス社(Maatschappij Pinenix)は、主としてダマルを生産する森林開拓事業を目的としてヘールノインク・バーイに面する北部ニューギニアに擴大なる面積に亘る土地の拂下げ方を同知事に請願して居るさうである。

又沿岸地方にある數箇の小島に於ては既に、同樣の目的を以つてする開拓許可が同社に與へられて居る。其他マヌクワリに駐在して居る同社の代表者は同社の永小作地ニ連續して居る土地の拂下げ方を請求して來て居るが、之も亦許可されることゝなつて居る。

本地方の當局は本地方の發達の爲に鳥類の捕獲を禁止せんとして居り、本計畫は既に來年に於てはモルッカス政廳の一部施行され、一九二八年には全ニューギニアに亘つて實施されるであらう。其の目的は、新の方法を以て住民をして決定的に彼等の居住を構えしめ、引いては今日までの放浪生活を止めさせ樣とするにあるのである。ニューギネアの北東部にあるニムプラン地方に於ては、パプア人種は固定居住地に於て簡單な農業に從事せんとする樣な氣配が濃厚になつて來たことは確に明らかに見受けられる。

彼等は、總ての方面に於て猶歐人の指導を必要とする住民であつて、其故にルースト氏は政府に對し各行政地に武裝警察を置く代りに軍隊を置いては如何との案を提出し、其の目的は將校には傍ら民事行政をもゆだね斯くして土民を指導せんとするのである。

又アネタ通信の報ずるところに依れば、本地方の擴大なる面積に亘る地域は既に私人鑛業にも開放せられ、モルッカス政廳區域内に施行されて居る苦力條令の變更は、他の管轄區域内に於ける勞働に對し土着住民と苦力契約を締結することが可能となされた。

又アイランデン及びウイルドマン河(南部ニューギニア)の流域は各々別の行政助手が任命されるとの事である。

(Het Nieuws van den Dag Mar. 18 '27)

□一九二六年に於ける爪哇マヅラの貿易

一九二六年に於ける爪哇マヅラの總貿易額は、一九二五年の一、三七七、七七六、〇〇〇盾に對し、一、二九一、一六四、〇〇〇盾であつて、一九二五年より八六、六一二、〇〇〇盾の減少を示して居る。此は主として輸出額が八九、八〇五、〇〇〇盾減退したことに原因するもので、一九二六年並に一九二五年に於ける輸出額は各々七五五、六二三、〇〇〇盾及び八四五、四二八、〇〇〇盾、輸入額は各々五三五、五四一、

〇〇〇盾及び五三二、三四八、〇〇〇盾であつて、輸入額は一九二六年に於ては三、一九三、〇〇〇盾を増加して居る。又一九二六年に於ける輸出超過額は一九二五年の三一三、〇八〇、〇〇〇盾に對し二二〇、〇八二、〇〇〇盾である。輸出額が甚だ尠ないのは種々の物産の市價が低廉であつたことに原因して居るのである。

前にも述べた通り一九二六年に於ける總輸出高は七五五、六二三、〇〇〇盾である。輸出生産を一六種に別つて見る時は、砂糖、護謨及びゲタ・ペルチヤは其の大部分を占めて居る。砂糖は其の内の二六九、四八〇、〇〇〇盾即ち總輸出額の三五・六六％を占め、護謨及びゲタ・ペルチヤは第二位として一六〇、八二八、〇〇〇盾即ち總輸出額の二一・二八％を占めて居る。故に爪哇の總輸出額の半分以上（約五七％）は本二種の物産に依つて占められて居る。

次表は、總輸出額に於ける十六種の物産が各々占める輸出額及び總額に對する其比率を示すものである。

品名	輸出價額（一〇〇〇盾）	總額に對する％
動物性物産及び其の製品	一三、一四〇	一・七四
護謨及びゲタ・ペルチヤ	一六〇、八二八	二一・二八
乾物及び香料	二〇、九四〇	二・七七
珈琲	二七、九三二	三・七〇
脂油、含脂果物及び種子並に植物性油及び脂	一五、六〇〇	二・〇六
砂糖	二六九、四八〇	三五・六六
煙草	三六、六七七	四・八五
タピオカ物産	一五、一五九	二・〇一
茶	七一、三二四	九・四四
纖維	二四、〇三七	三・一八
他の植物性物産	二八、九九二	三・八四
礦油、礦油物産、燃料及び礦物	二、八九〇	〇・三八
セメント、鑛石、非貴金屬火山土、硫黄	四八、六九八	六・四一
其他の物産	六、四一八	〇・八五
金銀を含まない外國製品	四、三一三	〇・五七
金銀	九、四九五	一・二六
合計	七五五、六二三	一〇〇・〇〇

爪哇マヅラの輸出の八〇・一二％即ち六〇五、四三七、〇〇〇盾は護謨及びゲタ・ペルチヤ、珈琲、砂糖、煙草、タピオカ産物、茶及び纖維等の農業物産である。

輸入に關しては、綿絲及び織物類は一七四、六八四、〇〇〇盾を以つて其の第一位を占め、總輸入額の三二・六二％を占めて居る。次に重要なものは食料品及び藥品の一四三、二六九、〇〇〇盾で二六、七五％を占めて居る。本二種は合計五九・三七％即ち三一七、九五三、〇〇〇盾を占めて居る。

次表は、總輸出額に於ける輸入品十五種の各々の占める輸入額及び總額に對する比率を示すものである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

品名	輸入額(一〇〇〇盾)	總額に對する%
動植物	八三四	〇・一六
食料品及び娯樂品	一四三・二六九	二六・七五
動物性並に植物性産物	三・三一〇	〇・六二
鑛物	一二・二六五	二・二九
化學的物産	四三、九七四	八・二一
陶磁器	五・八四六	一・〇九
硝子及び硝子製品	四・九九四	〇・九四
材木、コルク、植物性編物材料	一・五五四	〇・二九
毛皮、皮革、毛皮製品	四・六六七	〇・八七
絲類及び織物類	一七四・六八四	三二・六二
紙及紙製品	一四・四二一	二・六九
金屬	四七・八二九	八・九三
車類、船類	二三・〇五四	四・三〇
機械、工具、器具、其他の器具	四一・四一一	七・七三
其他のもの	一三・四二九	二・五一
合計	五三五・五四一	一〇〇・〇〇

一九二六年に於ける爪哇マヅラの總貿易額の八〇・六四%即ち一、〇四一、二五二、〇〇〇盾はタンジョン・プリオク、スマラン及びスラバヤを經由して行はれ、前記各港の割前は三一%、一七・三五%及び三二・二九%である。

次に爪哇の各港に於ける輸出入額を示せば左の通りである。

港別	輸入(千盾)	輸出(千盾)	對總輸入の%	對總輸出の%	對總額の%
タンジョン・プリオク	一六一、九五五	二三八、三三六	三〇・二五	三一・五四	三一
スラバヤ	二〇四、六一四	二二三、三三八	三八・二一	二八・五四	三二・二九
スマラン	一〇五、三八四	一一八、七〇一	一九・六六	一五・七一	一七・三五
チエリボン	四二、二七二	二二、一四三	七・八九	二・九二	四・九九
チラチヤツプ	五、五八五	三八、八三四	一・〇四	五・一四	三・四四
其他の港	一五、七九一	一二五、二九七	二・九五	一六・五八	一〇・九三
合計	五三五、五四一	七五五、六〇三	100・00	100・00	100・00

(Korte berichten voor landbouw, Nijverheid en handel, No. 7, Feb 18, '27)

□蘭領東印度の規那生産者同盟に就て

最近規那工業は生産過剰を訴へられてゐたが、この窮狀を救ふ可く愈々生産者同盟をする事になつた。抑もこの運動は、最初バンドンの規那ファクトリーの管理者にして「規那ビウロー」の一員たるDr. S. Cerphuis によつて計畫せられたものであるが、同氏は最近

「規那ビウロー」に屬せざる以外の工場の結束を促す爲め蘭領東印度を巡同したるに、プランター側は頗るこれを歡迎し強大なる結束をなす意嚮にして豫期の成功を收めたるも、只々 C. M. Pleije d'ally のアルガサリ園及一小エステートはこれを拒絶した。然しこの二園も漸次同盟に加入するに至る可能性はあるものと同氏は豫想してゐる。

然しこの新同盟の實際的運用については、任命せられたる委員が尙研究を進めてゐる。規那工業の將來については一般に漸次不安を增し、生產と消費との均等を得ざる狀態は今後も持續するものと見られてゐる。即ち規那の生產は最近數年間に著しく增大したるも、これは生產能率の增進にもあるが主として植付面積が頗る增大したるによるもので、一方消化方面は更にこれに伴はぬ現狀である。かゝる規那の生產と消費の不均衡を矯正し、如何にして現狀を好轉せしむ可きかゞ規那新同盟の主なる目的となつてゐる。今蘭領東印度の規那生產を見るに、一九二六年末には一、〇六七バウにして、規那皮生產は六六九、三〇〇基瓦、規那鹽は三九、六五五基瓦にして全利潤は七六〇・五七八盾に上つてゐる。

（スラバヤ日本商品陳列所報告第十一號）

ロバンカ島の近況

地方長官會議列席の爲バタビヤに滯在中のバンカ島理事エザー氏はアネタ通信員に同島の近況に關し次の如く語つて居る。

現在バンカ島には歐人の外に一六〇、〇〇〇人 即ち九〇、〇〇〇人の土人と七〇、〇〇〇人の支那人が住居して居る。彼等は概して溫順で兩者の關係は圓滿であるが、勿論些細な小競合ひは全くないと云ふことは出來ない。而し乍ら是等は差程に重大視する樣な性質のものではない。又他の地方に於て見る樣な之と云ふ敵意と云ふ樣なものもない。彼等は時をおしまず一生懸命で働き元來本島は一般に瘦地であるに係らず、收穫は生活に必要以上の良好な成績を示して居る。

本島の土地は水稻には全く不適で數年前エンゲルヘルグ理事官に依つても、試植が行はれたが不結果に終つた。而して、以前の森林地帶を伐開いて護謨樹を植付け其の間に間作として陸稻を植える方が成績が良い樣に思はれる。何となればバンカ人は稻の間に護謨樹を植付ける習慣があるからである。

經濟的地位

バンカ島に於ける護謨は其の生產能力に關しては將來頗る有望であつて、當地に於ては他地方と同樣に護謨の高市價時代に僅なから
に利益を擧げて居る、

バンカ人は多少く儲けた金を蓄積せず。之れを以つて生活改善費に當て居り、第一になすことは自分の好きな家を建てることである。彼等は町の中心地に行つて自身でセメント及び塗料、家具或は有用な物品を買求めるのである。又村落に於ても如何に彼等が儲けた金の有益に使ふかを見ることが出來る。彼等は自働車を買ふにしても金を儲ける爲であつて贅澤の爲に買ふ樣な傾向は更にないのである。

護謨と胡椒

數年間の内にバンカ島の自働車は一、〇〇〇臺より二、〇〇〇臺に増加し、其の大部分は住民の好なフォード號であつて、最近に於ては又シボレ號も入つて來た。景氣時代に於ける高市價がバンカに及ぼした影響は何んなものであつたかは、一九二五年に約二、〇〇〇噸のエステート護謨を輸出した事實に依つても見る事が出來る。護謨はバンカ島に於ては、新嘉坡に輸出される唯一の支那人商品である。歐洲人會社は寧ろ胡椒(白ムントク胡椒)に興味を持つて居る。施肥に關しては護謨園は何等お構なしであつて、胡椒園とは全く異つて居る。農園の多くは支那人の所有に係り、地質の關係上常に肥料を豐富に施さればならない。

當地に於ける胡椒の成績の良いことは、某村の如きは年に千ピクルを輸出したことを以つてしても明らかであつて、本村は八〇、〇〇〇盾以上を得て居るのである。

其他ガンビヤの栽培も盛んであつて、爪哇へのみ輸出されて居る。

餘り世人に注目されて居ない漁業は、主としてパレンバン人殊にスンサン地方から出漁する者に依つて行はれて居る。

工業としては單に織物を出す位のものであるが、中にはバンカ以外には見ることが出來ない樣な美麗なものもある。而して來るべきパサルガンビルには土人工藝品として本品の宣傳をする樣試驗されて居る。

バンカ島には道路が縱横無盡に通じて居り、其の延長は優に一、〇〇〇粁はある。

土壤は多量の黃鐵鑛を含有して居る故に道路の維持には殆んど世話がいらない。

現在ムントクからプリンジョに通ずる一六粁の連絡道路を敷設する計畫が建てられて居るが、若し之れが出來た場合にはクラパト灣を横切る必要がなくなり、交通は、前記灣の突出部の所に橋を造り之を通じて爲すことになるであらう。

錫鑛業部は本道路の敷設に財政的の補助を與ふべく、又胡椒栽培業者は之に依つて非常な便益を受けることになる。バンカ島の最も良い胡椒園はクラパト灣附近にある。住民の食料品として輸入される重なるものは米及び乾魚である。

健康狀態に關しては、赤痢及びチブス等は未だ相當に罹る者があるが、マラリヤは差程でもない。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

又多分本年中にはムントクに水道が設備されるであらうと思はれる

(Het Nieuws van den Dag, Mar. 15, '27)

□西部ボルネオの近況

目下バタビヤに滞在中の西部ボルネオ理事州長官マイイル氏は、アネタ通信記者に同地方の近況に關し次の如く語つて居る。

昨年度に於ける本地方の總輸出額は五四、〇〇〇、〇〇〇盾、又總輸入額は二六、五〇〇、〇〇〇盾で、兩者何れも一昨年の指數と比較する時は增加して居る。

海運業に於ては隻數並に噸數共に一昨年より二五%の增加を示して居り、K・P・M社は近年西部ボルネオ航路に就航して居る船數を增加した。

西部ボルネオ地方に於ける護謨の植付は市價が下落したにも拘らず益々增加して居り、昨年に於てはウエツト・ラバー二七、〇〇〇噸を輸出し、ポンチヤナ護謨は外國に於て相當の名聲を博して居る。生產に際しての不正行爲等は殆んど無く、之は多分現在の不正品に對する檢査が嚴重である爲であらうと思はれる。

護謨の外に獨コプラの生產も增加して居り、其の增加額は一〇、〇〇〇噸にも達して居る。因に昨年に於ける生產高は七〇、〇〇〇噸である。

又テンカワン種子から採つた植物性油も一九二七年には九〇、〇〇〇盾輸出された。テンカワンは奇妙な農產物であつて、之が栽培に從事して居るものは特に馬來人及びダイヤ人である。氣候の影響の關係上三年又は七年目に收穫され、其の間收穫が豐富である時に於てのみ輸出されるを常とし、現在に於ては生產は歐洲に於ける製造家が買付を始めるに充分の域に達して居る。

護謨の市價が高い爲、林產物の蒐集は一般にすたれた樣であるが昨年に於けるダマル、籐及びダタ類の輸出は槪して多量であつた。

西部ボルネオの農業は常に間斷なく發達して居り、其の一例として、昨年に於ては護謨のみでも三〇、〇〇〇、〇〇〇盾の輸出を見たのである。又西部ボルネオに於ける投下資本額が增加したことは殊に目立つて見える。

西部ボルネオに在住する土人は至つて善良勤勉であつて、數年後に皆地主となるが、之は何等特別の現象ではないのである。又西部ボルネオには生存競爭と云ふ樣なものはない。

ポンチヤナとシンタン及び沿岸地方を連絡する電話線は昨今完成されポンチヤナには又無電發信局が設置されることになつて居り、六週間以内にすつかり出來上るだらうと思はれる。之と同時に奥地に建設中の無電受信局も出來上る樣工事を急いで居る。

(Het Nieuws van den Dag, Mar. 15, '27)

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英領印度

口英領印度に於ける雲母

印度は板雲母の世界產額の六五乃至七〇%を生產してゐる。印度に於ける雲母は、主要輸出港たるカルカツタから約二五〇哩隔たつたビハール及オリツサ州のハゼリバー（Hazeribagh）地方に在る礦山から主に採掘されてゐる。ビハールの雲母地域は幅約一二哩長さ六〇哩から七〇哩に及ぶ一帶であつて、コダルマの町が此の地方の採掘の中心地である。印度に於ける他の雲母の中心地はマドラス州ネローア（Nellore）地方に在るが、此地方に於て採掘される雲母の量は、ハゼリバー地方の採掘量の三分の一にも達してゐない。

手入れと選り分けが濟めば、其の雲母は形によつて類別される。此は印度では勝手に行はれるのではあるが、一般に他國に於ける雲母の品質に適合してゐる。其等級は雲母の塊から剝ぎ取つた板面の平方吋の數に依つてゐる。即ち"Extra special"とは六〇乃至七〇平方吋もある最良品であつて、次に"Special"及"AI"より"AVI"に至る階級があり、最後のものは只單に一乃至三平方吋の大きさに過ぎない。輸出品は紙で裏張りした箱の中に包裝するが此の箱は均一の形體及品質の雲母一〇〇封度入である。

各會計年度に於ける雲母の輸出を示せば次の通りである。

（單位ハンドレッドウエイト）

仕向國	一九二三—二四年	一九二四—二五年	一九二五—二六年
北米合衆國	四七、二五一	四三、八一五	四三、三三〇
英帝國	二〇、五八四	二四、〇〇八	三一、六三九
獨逸	五、六四九	八、八三七	一三、三九八
佛蘭西	一、六三四	九四五	一、二〇四
其他諸國	三、八三〇	四、六四二	六、八八五
合計	七八、九四八	八二、二四七	九六、四五六

右年度に於ける輸出價格次の如し

年度	輸出價格（單位留比）	當時の留比爲替
一九二三—二四	八、六六六、九二一	〇・三二弗
一九二四—二五	一〇、三七〇、六一九	〇・三三弗
一九二五—二六	一〇、四一六、八一五	〇・三六弗

(Commerce Reports No. 11. Mar. 14, '27)

其他

□一九二六年に於ける世界羊毛産額

一九二六年に於ける世界羊毛産額の概算合計は三、〇六〇、七三〇、〇〇〇封度に達し、此を一九二五年の訂正數字に比すると七八、〇〇〇、〇〇〇封度の增加を示してゐる。羊毛生産國の統計は通常此を二つに分けて表はしてゐる。第一部は商業的に重要なる産毛國に於ける産額を集めたもので、是等諸國の數字は實際の生産調査、緬羊センサス又は地方の政府のエーセンシイで作られた見積額の如き諸統計に基いたもので、可成りに精密な數字を得る事が出來る。第二部は單に非公式な地方的數字が得られるに過ぎない國々を集めたもので、是等諸國に於ける最も當てになる問屋から得た數字である。

最も信頼するに足る所から、有らゆる努力を拂つて得た數字でも、二三のものは常に訂正する必要がある。どうしたつて二三のものは地方政府又は代理所の假の見積である事は明らかである。特に年末の二三箇月前迄は剪毛が行はれ無かつた南半球の諸國に於てはさうである。訂正を要するものは翌年の表で爲す事とする。次表一九二五年度分の訂正したる重なる數字は、亞爾然丁(三七、〇〇〇、〇〇〇封度增加)、新西蘭(二九、〇〇〇、〇〇〇封度增加)、ウルグアイ(七、〇〇〇、〇〇〇封度增加)、西班牙(七、〇〇〇、〇〇〇封度增加)、北米合衆國(九、〇〇〇、〇〇〇封度減少)である。

次表は一九二六年度の概算額及一九二五年度の訂正せる産額を表はせる物である。

世界羊毛産額(單位封度)

國別	一九〇九—一九一三年平均	一九二五年	一九二六年
第一部			
北亞米利加			
北米合衆國	三一四、一一〇、〇〇〇	二九二、三六二、〇〇〇	三一〇、九〇一、〇〇〇
加奈陀	一一、二二〇、〇〇〇	一五、五五三、〇〇〇	一七、一八〇、〇〇〇
墨西哥	七、〇〇〇、〇〇〇	四、五二九、〇〇〇	五、二五〇、〇〇〇
合計	三三二、三三〇、〇〇〇	三一二、四四四、〇〇〇	三三三、三三一、〇〇〇
南亞米利加			
亞爾然丁	三五八、六八八、〇〇〇	三〇〇、四〇〇、〇〇〇	三〇四、八四〇、〇〇〇
ウルグアイ	一五六、九六八、〇〇〇	一二七、〇〇〇、〇〇〇	一三五、〇〇〇、〇〇〇
智利	一七、四三〇、〇〇〇	三五、〇〇〇、〇〇〇	三一、〇〇〇、〇〇〇
伯剌西爾	三五、〇〇〇、〇〇〇	二一、八〇一、〇〇〇	二二、五九七、〇〇〇
秘露	九、九四〇、〇〇〇	八、八一六、〇〇〇	九、二五七、〇〇〇
合計	五七八、〇二六、〇〇〇	四九三、〇一七、〇〇〇	五〇二、六九四、〇〇〇

歐羅巴			
西班牙	七二,〇〇〇,〇〇〇	八八,四六九,〇〇〇	一〇五,七九二,〇〇〇
英帝國	一三四,〇〇〇,〇〇〇	九六,一三三,〇〇〇	九九,六〇〇,〇〇〇
羅馬尼	一三,二三八,〇〇〇	五四,九四〇,〇〇〇	五七,〇〇〇,〇〇〇
伊太利	五五,〇〇〇,〇〇〇	五七,〇〇〇,〇〇〇	五五,八〇〇,〇〇〇
佛蘭西	八〇,六八八,〇〇〇	四四,九七四,〇〇〇	四七,六一九,〇〇〇
獨逸	五二,〇〇〇,〇〇〇	五〇,一六〇,〇〇〇	四一,七一〇,〇〇〇
ユーゴスラビヤ	二五,四四六,〇〇〇	二八,〇〇〇,〇〇〇	二八,七二七,〇〇〇
勃牙利	二三,七〇〇,〇〇〇	二九,七六九,〇〇〇	二五,四五〇,〇〇〇
洪牙利	一七,六三七,〇〇〇	一六,五〇〇,〇〇〇	一六,五〇〇,〇〇〇
愛耳蘭自由州	—	一三,六六八,〇〇〇	一四,九〇〇,〇〇〇
希臘	一四,〇〇〇,〇〇〇	一八,〇〇〇,〇〇〇	一四,五〇〇,〇〇〇
和蘭	三,五五六,〇〇〇	五,八四二,〇〇〇	六,一七三,〇〇〇
葡萄牙	一〇,〇〇〇,〇〇〇	六,〇〇〇,〇〇〇	六,〇〇〇,〇〇〇
諾威	八,一六〇,〇〇〇	五,七六二,〇〇〇	五,九七六,〇〇〇
リトワニヤ	—	四,六五〇,〇〇〇	五,一一五,〇〇〇
芬蘭	—	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇
波蘭	七,一〇〇,〇〇〇	四,四八〇,〇〇〇	四,五〇〇,〇〇〇
ラトビヤ	—	三,一九七,〇〇〇	三,六〇七,〇〇〇
チェッコスロバキヤ	—	三,四二〇,〇〇〇	三,三七〇,〇〇〇
エストニヤ	—	二,一八九,〇〇〇	二,三九六,〇〇〇
瑞典	二,八七五,〇〇〇	二,二〇〇,〇〇〇	二,二〇〇,〇〇〇
墺地利	一五,三六〇,〇〇〇	一,八〇〇,〇〇〇	一,七〇〇,〇〇〇
アイスランド	一,九八〇,〇〇〇	一,五二〇,〇〇〇	一,四三三,〇〇〇
丁抹	三,五〇八,〇〇〇	一,二二三,〇〇〇	一,一〇二,〇〇〇
白耳義	一,〇六〇,〇〇〇	八四〇,〇〇〇	七七五,〇〇〇
瑞西	一,〇四九,〇〇〇	六六〇,〇〇〇	六六〇,〇〇〇
合計	五四二,三四七,〇〇〇	五四六,三九五,〇〇〇	五五八,六〇五,〇〇〇
亞弗利加			
英領南亞弗利加	一六五,八八八,〇〇〇	一八五,〇〇〇,〇〇〇	一八〇,〇〇〇,〇〇〇
モロッコ	一四,八五〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三九,〇〇〇,〇〇〇
アルゼリア	三五,二二一,〇〇〇	四六,一三七,〇〇〇	三八,六四九,〇〇〇
チュニス	三,七三五,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,七〇〇,〇〇〇
合計	二一九,六九四,〇〇〇	二六九,一三七,〇〇〇	二六三,三四九,〇〇〇
濠太剌利			
濠太剌利	七〇五,一四六,〇〇〇	七三一,八〇七,〇〇〇	七六八,〇〇〇,〇〇〇
新西蘭	一九八,四七四,〇〇〇	一九九,七三一,〇〇〇	二〇七,八〇一,〇〇〇
合計	九〇三,六二〇,〇〇〇	九三一,五三八,〇〇〇	九七五,八〇一,〇〇〇
第一部合計	二,五七六,〇〇七,〇〇〇	二,五五三,五三一,〇〇〇	二,六三三,七八〇,〇〇〇
第二部			
露西亞(歐、亞共)	三八〇,〇〇〇,〇〇〇	一九五,〇〇〇,〇〇〇	一九五,〇〇〇,〇〇〇
支那	五〇〇,〇〇〇,〇〇〇	七五〇,〇〇〇,〇〇〇	七五〇,〇〇〇,〇〇〇
英領印度	六〇〇,〇〇〇,〇〇〇	六〇〇,〇〇〇,〇〇〇	五五〇,〇〇〇,〇〇〇
ペルシヤ	二二,一四六,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一八,〇〇〇,〇〇〇
アフガニスタン	一七,〇〇〇,〇〇〇	一五,〇〇〇,〇〇〇	一五,〇〇〇,〇〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

土耳其(歐、亞共)	一八、〇〇〇、〇〇〇	一三、五〇〇、〇〇〇	一三、〇〇〇、〇〇〇
シリア	※	一二、〇〇〇、〇〇〇	一三、〇〇〇、〇〇〇
埃及	六、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇
イラック	※	一〇、〇〇〇、〇〇〇	七、〇〇〇、〇〇〇
第一部以外の南米	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇
フォークスランド諸島	四、三四〇、〇〇〇	四、五〇〇、〇〇〇	四、五〇〇、〇〇〇
パレスティン	※	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
佛領西亞弗利加	一、〇〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇
マダガスカル	五、〇〇〇、〇〇〇	八八〇、〇〇〇	八〇〇、〇〇〇
中米及西印度	一、〇〇〇、〇〇〇	七五、〇〇〇	七五、〇〇〇
其他諸國	一三、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇
第二部合計	六七二、四七〇、〇〇〇	四九〇、三〇〇、〇〇〇	四六九、五〇〇、〇〇〇
世界產額總計	三、二四八、四七七、〇〇〇	二、九八三、五六一、〇〇〇	三、〇六〇、七二〇、〇〇〇

※印は土耳其に包含されてゐる。

一九二六年に於て濠洲は前年の產額を三五、〇〇〇、〇〇〇封度超過し、又もや重要なる增加を示してゐる。他の增額せる重なる國をあぐれば北米合衆國の一八、〇〇〇、〇〇〇封度、西班牙一七、〇〇〇、〇〇〇封度、ウルグアイ八、〇〇〇、〇〇〇封度、新西蘭八、〇〇〇、〇〇〇封度である。西班牙の牧羊者は一二年前、政府及農業團體から、彼等の家畜を增加すべく非常な獎勵を受けた爲、以前より增收を豫期されてゐた。獨逸は前年に比し約九、〇〇〇、〇〇〇封度の減少である。

第一部の諸國は總計に於て正味八〇、〇〇〇、〇〇〇封度の增加を示してゐるが、第二部は僅かではあるが減少してゐる。

(Commerce Reports No. 11. Mar. 14, '27)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

獨逸

Germany's Restoration and the Dawes Plan. By B. Dernburg (C. H. Vol. XXV, No. 6, Mar., '27. P. 785)

Prohibition in Germany. By A. E. Meyer (C. H. Vol. XXVI, No. I, Apr. '27. P. 65)

Justifying Germany in 1914. By C. M. von Montgelas (C. H. Vol. XXVI, No 1, Apr. '27. P. 77)

Het volksinkomen en nermogen in Duitschlanet (S. Hb. Apr. 1. '27)

露西亞

Foreign Trade of Soviet Russia, Fiscal Year 1925-26. By E. C. Ropes (C. W. R. Vol. XL, No. 5, Apr. 2, '27. P. 131)

□南米大陸□

United States Trade with the Far East during 1926 (Com. R. No. 10, Mar., '27. P. 628)

Overzicht van den binnen en buitenlandschen handel van de V. S. v. Amerika in 1926 (L. N. e. H. Mar. 18, '27)

Increase in Panama Canal Traffic. W. Rodney Long (C. W. R. Vol. XXXX, No. 4, Mar. 26, '27. P. 100)

The New South America. By Edward Tomlinson (C. H. Vol. XXVI, No. 1, Apr., '27. P. 31)

American Civilization before 1892. By M. R. Allen (C. H. Vol. XXVI, No. 1, Apr., '27. P. 13)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

In en uitvoer van Het Gouvernement Sumatrás oostkust gedurende de maand Februari 1927 (S. Hb. Mar. 30, '27)

Jaaroverzicht van den in-en uitvoer van Nederlandsch-Indië Gedurend Het jaar 1925 (S. Hb. Mar. 30, '27)

De Nieuw Guinea-expeditie (S. Hb. Mar. 31, '27)

De komende kinderwetgeving (S. Hb. Mar. 31, '27)

Een rotte stee in ons koloniaal stelsel en hoe haar te cureeren (S. Hb. Apr. 1, '27)

Citronellal in Citronella-Olie (L. N. e. H. No. 13, Apr, 1, '27)

Een oriënteerend onderzoek over den Zuurgraad van de Suikerrietgronden op Java (S. i. N. I. No. 6, '27)

英領印度

A Lost Dutch Colony. By S. Kalff (I. O. Vol. 9, No. 2, Feb., '27. P. 71)

Mica Industry in British India (Com. R. No. 11, Mar. 14, '27. P. 677)

De gouvernement kina-aanplant in Bengalen in 1926 (L. N. e. H. Mar. 18, '27)

India's Foreign Trade during January (Com. R. No, 12, Mar. 21, '27. P. 763)

Rangoon Corporation (Water and Sewage Committee) (R. G. No. 12, Mar. 21, '27. P. 6)

Future Management of the Burma Railways (R. G. No. 12, Mar. 21, '27. P. 17)

Match industry in Burma (R. G. Vol. XLVII, No. 13, Mar. 28, '27. P. 9)

De Britsch-Indische katoennijverheid (L. N. e. H. No. 13, Apr. 1, '27)

The British Trade Outlook (R. G. No. 14 Apr. 4, '27. P. 22)

Prospects of Rubber (R. G. No. 14, Apr. 4 '27. P. 21)

澳洲

The Great River of Australia (I. O. Vol. IX. No. 2, Feb., '27. P. 103)

Arsenic Mining in Queensland. By Thos. J. Mcmahon (F. E. R. Vol. XXIII, No. 3 Mar. '27. P. 132)

Empire Parliamentary Tour. 14,000 Miles in Australia (S. F. P. Mar. 17, '27)

Shipping Movement in Australia, Fiscal Year 1925-26 (Com. R. No. 12, Mar. 21, '27. P. 752)

The People of Australia (S. F. P. Apr. 13, '27)

歐羅巴

英國

Irish Free State's Five Years of Progress. By St. Nihal Singh & Glen A. Blackburn (C. H. Vol. XXV, No. 6, Mar., '27. P. 819)

Colonial Governors' Conference (S. F. P. Mar. 26, '27)

和蘭

Bijkomstigheden rondom het Belgisch-Nederlandsch verdrag (S. Hb. Mar. 23, '27)

De Verwerping van het verdrag met Belgie (S. Hb. Mar. 26, '27)

De Nederlandsche handel met het buitenland in 1926 (L. N. e. H. No. 13, Apr. 1' 27)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

De Medische Hoogschool (H. N. v. d. D. Mar. 10, '27)

Onze verhouding tot china (H. N. v. d. D, Mar. 10, '27)

Ned-oost Indië op de internationale rubber-. tentoonstelling te (Parijs S. Hb. Mar. 14 '27)

Dumping van Japansche Cement (S. Hb. Mar. 14, '27)

Europeesche kolonisatie in Indië (H. N. v. d. D. Mar. 14, '27)

De inlandsche Vertegenwoordigeng in de Gemeenteraden (H. N. v. d. D. Mar. 15, '27)

De bestuurs Conferentie(H. N. v. d. D. Mar. 15, '27)

Banka, (H. N. v. d. D. Mar. 15, '27)

De toekomst van Zuid-Sumatra (H. N. v. d. D. Mar. 16, '27)

Aanmaak van postzegels in Ned-Indië (H. N. v. d. D. Mar. 16, '27)

Java-Kinine voor Italië (H. N. v. d. D. Mar. 16, '27)

Landsmijnen-Misère (S. Hb. Mar. 16, '27)

Europeesche visschen in Javaansche Waldoeks (S. Hb. Mar. 16, '27)

Het indische Muntmezen(S. Hb. Mar. 17, '27)

Aanmaak van postzegels in Ned-Indië (H. N. v. d. D. Mar. 17, '27)

De raming van den koffieoogst 1927/28 in Blazilië (L. N. e. H. Mar. 18, '27)

De handel van Australie met Nederland en Nederlandsch-Indië in 1925/26 (II) (L. N. e. H. Mar. 18, '27)

De economische ontwikkeling van Nieuw-Guinea (H. N. v. d. D. Mar. 18, '27)

Japansch handels-gezelschap (S. Hb. Mar. 19, '27)

Geen dumping in de Cement-Industrie (H. N. v. d. D. Mar. 19, '27)

Sumatraansche indrukken (S. Hb. Mar. 19, 31, '27)

Immigratiedienst (S. Hb. Mar. 21, '27)

Immigratiedienst (H. N. v. d. D. Mar. 21, '27)

Wester-afdeeling van Borneo (S. Hb. Mar. 21, '27)

De Wetenschappelijke arbeid der Nieuw-Guinea expeditie (S. Hb. Mar. 21, '27)

Het Wegenvraagstuk in Ned-Indië (S. Hb. Mar. 22, '27)

Net eeuwfeest der Java thee (S. Hb. Mar. 24, '27)

De politieke toestand in Atjeh (S. Hb. Mar. 24, '27)

De landsmiddelen in Januari 1927 (S. Hb. Mar. 24, '27)

Het Nederlandsche en indische Muntwezen (H. N. v. d. D. Mar. 26, '27)

Thee in Zuid-Sumatra (S. Hb. Mar. 28, 29)

De Nieuw Guinea-dwaasheid (S. Hb. Mar. 28, '27)

De legeuitbreiding (S. Hb. Mar. 29, '27)

Frankrijk en Ned-Indië (S. Hb. Mar. 29, '27)

Riouw en Onderhoorigheden (S. Hb. Mar. 29, '27)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Renouvellemènt du privillege de la Banque de l' Indochine (F. I. Mar. 23, '27)

Le premier recensement européen en Indochine (le C. S. Mar. 24, '27)

Optique Coloniale (F. I. Mar. 24, '27)

A propos du trust de la quinine (F. I. Mar. 25, '27)

La Foire de Saigon (F. I. Mar. 26, '27)

Les nouvelles taxes sont mal accueillies (F. I. Mar. 28, '27)

La Cadre des Colonies (F. I. Mar. 30, '27)

Une menace pour notre industrie naissante (F. I. Mar. 31, '27)

Le problème de la politique française en Chine (le C. H. Apr. 2, '27)

Comment sera élue la Chambre en 1928 (le C. H. Apr. 8, '27)

La responsabilité civile dans les cas de brigandage aux Colonies (F. I. Apr. 10, '27)

暹　　　　羅

New Customs Taiff (B. T. Mar. 26, '27)

Tariff Talk (B. T. Mar. 28, '27)

New Customs and Excise Duties (B. T. Mar. 28, '27)

The Budget (B. E. 2470) (B. T. Mar. 28, 29, '27)

英　領　馬　來

A Malayan Miscellany (III. On the Towns and Country of Malaya) By Philip C. Coote (I. O. Vol. IX, No. 2, Feb., '27. P. 95)

The Coolies Built Garden of Malaya. By Kilmer O. Moe (F. E. R. Vol. XXIII, No. 3, Mar., '27. P. 122)

De relletje te Singapore (I. N. v. d. D. Mar. 21, '27)

Legislative Council (S. F. P. Mar. 22, '27)

Chinse Migration (S. F. P. Mar. 24, '27)

Chamber of Commerce. The Yearly Meeting (S. F. P. Mar. 24, '27)

Malaya's New Governor. Sir Hugh Clifford Appointed (S. F. P. Mar. 25, '27)

British Malaya Rubber. 5th Restriction Year (S. F. P. Mar. 29, '27)

Co-operation Board Activities. Rubber Factories and Banks (S. F. P. Apr. 2, '27)

"Singapore" or Seletar? (S. F. P. Apr. 4, '27)

Sir Hugh Clifford Change Without Precedent (S. F. P. Apr. 6, '27)

Sir Hugh Clifford Given Option (S. F. P. Apr. 7, '27)

蘭　領　東　印　度

Communist Revolt in Java. By Prof. A. J. Barnouw (C. H. Vol. XXV, No. 6, Mar., '27. P. 834)

A Sugar Plant in Java (F. E. R. Vol. XXIII, No. 3, Mar., '27. P. 106)

Waardevoolle producten uit de Java Melasse (S. i. N. I. No. 12, Mar. 1, '27)

De ontwikkeling der invoerechten op Suiker sinds den tijd voor den oorlog (S. i. N. I. No. 12, Mar. '27)

De dessa-raad (H. N. v. d. D. Mar. 9, '27)

Het luchtverkeer in Ned-Indië (H. N. v. d. D. Mar. 9, 27)

Tin in Ned-Indië (II) (H. N. v. d. D. Mar. 9, '27)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Wood Calls Cabinet, To Lay Out Programs During his Absence (M. T. Mar. 29, '27)

Two Americans Aid in Defence of Datu Tahil Case in Jolo (P. H. Mar. 30, '27)

All Americans, I Filippino Vote to Upheld Gov. Gen. Wood's Executive Order (M. T. Apr. 1, '27)

Men to carry out Policy of Wood Wanted (P. H. Apr. 1, '27)

Ten Million Peso Farm Bank is now being Organized Here (P. H. Apr. 1, '27)

Wood Favoured by High Court (P. H. Apr. 2, '27)

Control Body is Upheld By Court's Head (P. H. Apr. 2, '27)

P. I. Cigar Trade in U. S. Suffers Another Slump (P. H. Apr. 3, '27)

Sumulong Plans New Body to Take Place of Defunct Board of Control in P. I. (M. T. Apr. 3, '27)

Fund will be Used to Help Coal Company (P. H. Apr. 3, '27)

Gen. Wood Gets Immediate Control of P. I. Companies (M. T. Apr. 4, '27)

P. I. Sugar Safe, No Losses Yet Sustained, Hind Says (P. H. Apr. 9, '27)

P 2,000,000 is Needed for Rebuilding Cool Firm (P. H. Apr. 9, '27)

Alleged Red Document about Islands Held. By Kellogg out (P. H. Apr. 10, '27)

佛領印度支那

L'année 1926 fut exceptionnellement favorable pour la riziculture (le C. S. Mar. 7, '27)

Où va notre riz? (le C. S. Mar. 8, '27)

L'attribution de Concessions Gratuites aux Fonctionnaires Coloniaux (le C. S. Mar. 8, '27)

Une croisière Touristigu en Extrême-Orient (le C. S. Mar. 8, '27)

Les Prestations Allemandes et nos Colonies (le C. S. Mar. 10, '27)

La Politique Coloniale de la France (le C. S. Mar. 11, '27)

Le Plan Dawes et les Colonies (F. I. Mar. 13, '27)

A l'union Coloniale Française (le C. S. Mar. 14, '27)

Les beaux arts à la Foire de Saigon de 1927 (le C. S. Mar. 14, '27)

Enseignement Colonial (F. I. Mar. 16, '27)

L'exposition Coloniale de 1929 (F. I. Mar. 16, '27)

Le Japan à la Conquête du Monde (F. I. Mar. 17, '27)

Vluchtige Indrukken van Indo-China (H. N. v. d. D. Mar. 17, 19, '27)

L' Indochine et ses fonctionnaires (F. I. Mar. 18, '27)

Les Caisses d'épargne en Indochine (F. I. Mar. 20, '27)

A propos de la réforme du régime douanier Calonial (F. I. Mar. 20, '27)

Les Indochinois en Fronce (le C. H. Mar. 20, '27)

Le retour de M. Varenne (F. I. Mar. 21, '27)

France-Indochine 4 jours (F. I. Mar. 21, '27)

Les entreprises de Capitalisation en Indochine (le C. S. Mar. 22, '27)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

After Fifty Years-An Old Resident's Views (H. D. P. Apr, 9, '27)

Shanghai Taxes to be Increased (C. W. R. Vol. XL, No. 6, Apr. 9, '27. P. 144)

The Question of Revision of Treaties with China (C. W. R. Vol. XL, No. 6, Apr. 9, '27. P. 149)

America Buys More From China than It Sells. By Geo. W. Missemer (C. W. R. Vol. XL, No. 6, Apr. 9, '27. P. 156)

Mr. Eugene Chen When He was an Editor (C. W. R. Vol. XL, No. 6, Apr. 9,' 27. P. 157)

Country Contacts in China (C. W. R. Vol. XL, No. 6, Apr. 9, '27. P. 158)

Transportation Facilities in North Machuria (C. E. B. Vol. X, No. 320, Apr. 9, '27. P. 183)

Chekiang Provincial Loans (C. E. B. Vol. X, No. 320, Apr. 9, '27. P. 186)

Exit the Military Phase-Enter the Political Phase! By J. B. P. (C. W. R. Vol. XL, No. 6, Apr. 9, '27. P. 164)

The Electricity Department During 1926 (Shanghai) (N. C. D. N. Apr. 13, '27)

Shanghai Municipal Finance During the Past Year (N. C. D. n. Apr. 13, '27)

Nationalists' Deliberate Policy Attacking All Missions (N. C. D N. Apr. 14, '27)

British Policy in China Discussed in Parliament (C. W. R. Vol. XL, No. 7, Apr. 16, '27. P. 173)

Railway Politics in Manchuria. By C. Walter Young (C. W. R. Vol. XL, No. 7, Apr. 16, '27. P. 184)

Native Banks in Shanghai (C. E. B. Vol. X, No. 321, Apr. 16, '27. P. 205)

Who's Who in China-Mr. Y. W. Wong (王雲五字岫廬) (C. W. R. Vol. XL, No. 7, Apr. 16,' 27. P. 186)

Nationalists Confronted by Most Serious Internal and External Crisis. By J. B. P. (C. W. R. Vol. XL, No. 7, Apr. 16, '27. P. 188)

Significance of the Kuomintang Crisis. By Samuel H. Chang (C. W. R. Vol. XL, No. 7, Apr. 16, '27. P. 177)

Sanitary Board Estimates for 1928 (Hongkong) (H. D. P. Mar. 23, '27)

比 律 賓

De Maguey-productië in Philippijnen (L. N. e. H. Mar. 18, '27)

Carmi Sees Wave of Prosperity in P. I. Cooperation (M. T. Mar. 25, '27)

Sumulong Wants Moros to be In Supreme Body (P. H. Mar. 27, '27)

Good Administrators needed by Prautch (P. H. Mar. 27,' 27)

Philippine Islands Men are Official in Canton Army (P. H. Mar. 27, '27)

Wall Street Dislikes P. I. Political Situation (P. H. Mar. 27, '27)

Mining Laws given in Brief (P. H. Mar. 27, '27)

P. I. Credit Good Because of U. S. Banker Declared (M. T. Mar. 27, '27)

P. I. is Opposed to Revision of Sugar Tariff (M. T. Mar. 27, '27)

Public Works 1926 Bill Big (P. H. Har. 29, '27)

Quezon wants Avoidance of Bitter Fight (P. H. Mar. 29, '27)

Philippino Officier In Canton Army (M. T. Mar. 29, '27)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Mineral Deposits in Chekiang (C. E. B. Vol. X, No. 318, Mar. 26, '27. P. 161)

Importance of the Port of Vladivostokt. By P. Shabliusky (C. W. R. Vol. XXXX, No. 4, Mar. 26, '27. P. 103)

Developments in the China Situation for the Past Week (C. W. R. Vol. XXXX, No. 4, Mar. 26, '27. P. 112)

Shanghai and its Chinese Relations. By Geo. W. Missemer (C. W. R. Vol. XXXX, No. 4, Mar. 26, '27' P. 93)

"How I Meet All the Great People" or will Rogers 11 Comes to China. By Bruno Schuwartz (C. W. R. Vol. XXXX, No. 4, Mar. 26, '27. P. 94)

China Leads in "Stone" Libraries. John C. B. Kwei (C. W. R. Vol. XXXX, No. 4, Mar. 26, '27. P. 96)

Will Japan Make Concessions in Manchuria? (Japan Chronicle for March 6) (C. W. R. Vol. XXXX, No. 4, Mar. 26, '27. P. 97)

Irrigation by Electric Power in Kiangsu (C. E. B. Vol. X, No. 318, Mar. 26, '27. P. 158)

Wiping out Illiteracy in China. By Lennig Sweat (C. H. Vol. XXVI, No. I, Apr., '27. P. 53)

Cotton Mills in Shanghai and Paoshan, 1926 (C. E. J. Vol. 1, No. 4, Apr., '27. P. 348)

Retail Prices in Peking in 1926 (C. E. J. Vol. I, No. 4, Apr., '27. P. 313)

Chinese Dyestuffs and Methods of Dyeing (C. E. J. Vol. I, No. 4, Apr., '27. P. 353)

Economic Bases for New Railways in Manchuria. By C. Walter Young (C. E. J. Vol. I, No. 4, Apr., '27. 324)

Tenancy and Farming at Kwanyun (灌雲) Northern Kiangsu (C. E. J. Vol. I, No. 4, Apr., '27. P. 370)

Antimony and Tin Markets in Shanghai in 1926 (C. E. J. Vol. I, No. 4, Apr., '27. P. 336)

Disposal of the Customs Surplus. By Stanley F. Wright (C. E. J. Vol. I, No. 4, Apr., '27. P. 377)

Brick and Tile Factories in Tientsin (C. E. J. Vol. I, No. 4, Apr., '27. P. 338)

The Soybean as Human Food. By A. A. Horvath (Continued from Mar.) (C. E. J. Vol. I, No. 4, Apr., '27. P. 415)

Trade Mark Registrations in 1926 (C. E. J. Vol. I, No. 4, Apr., '27. P. 345)

Shanghai Waterworks Co. Ltd.—Annual General Meeting (N. C. D. N. Apr., 1, '27)

General Chiang Kai-Shek Explains his Position (N. C. D. N. Apr., 1, '27)

Chief Communist's Onslaught on Chiang Kai-Shek (N. C. D. N. Apr., 2, '27)

The Nanking Incident and its Implications (C. W. R. Vol. XL, No. 5, Apr., 2, '27. P. 119)

Nationalists Take Over Shanghai the Present Situation. By J. B. Powell (C. W. R. Vol. XL, No. 5, Apr., 2, '27. P. 121)

Effect of the War upon the Silk Industry. By Paul K. Whang (C. W. R. Vol. XL, No. 5, Apr., 2, '27. P. 124)

Shanghai's Exports to U. S. for February (C. W. R. Vo. XL, No. 5, Apr., 2, '27. P. 126)

Strikes in Shanghai in March (C. E. B. Vol. X, No. 319, 320, Apr., 2, 9, '27)

The Crisis in China (R. G. Vol. XLVIII, No. 14, Apr. 4, '27. P. 21)

Shanghai Municipal Council (Apr. 5, '27)

Digitized by Google	Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□亞 細 亞□

日　　本

Japan Develops Steel Sheet Industry. By Geo. S. Herrick (F. E. R. Vol. XXIII, No. 3, Mar., '27. P. 113)

"The New Korea" (F. E. R. Vol. XXIII, No. 3, Mar., '27. P. 103)

Suikerproductië van Japan (S. i. N. I. No. 13, Mar., '27)

支 那 及 香 港

Chinese Wollen Goods on the Tientsin Market (C. E. B. Vol. X, No. 313, Feb. 19, '27. P. 98)

Economic and Industrial Conditions at Wusih, Kiangsu (C. E. B. Vol. I, No. 313, Feb. 19, '27. P. 99)

Gold Bar Market in Shanghai in 1926 (C. E. B. Vol. X, No. 313, Feb. 19, '27. P. 96)

Modern Paper Mill in China (C. E. B. Vol. X, No. 313, Feb. 19, '27. P. 92)

Paper-Manufacturing in Kwangtung (C. E. B. Vol. X, No. 314, Feb. 26, '27. P. 109)

Silver Shipments to China (C. F. B. Vol. X, No. 314, Feb. 26, '27. P. 112)

Silk Exports from Shanghai Season 1926-27 (C. E. B. Vol. X, No. 314, Feb. 26, '7. P. 111)

Chinese Politics and Foreign Powers (F. E. R. Vol. XXIII, No. 3, Mar., '27. P. 97)

Commercial Report Road Transportation in Southwest China (F. E. R. Vol. XXIII, No. 3, Mar., '27. P. 108)

The Degeneracy of Manchuria (F. F. R. (Vol. XXIII, No. 3, Mar., '27. P. 110)

The Peking-Mukden Railway Workshops (F. E. R. Vol. XXIII, No. 3, Mar., '27. P. 117)

Firefloat for Hongkong (F. E. R. Vol. XXIII, No. 3, Mar., '27. P. 115)

Oddities of Trade in the Hwai River (淮河) Basin (Com. R. No. 10, Mar. 7, '27. P. 595)

Copper Coins and Copper Coin Notes at Hsuchow (徐州) Kiangsu (C. E. B. Vol. X, No. 316, Mar. 12, '27. P. 131)

Farmers' Unions (C. E. B. Vol. X, No. 316, Mar. 12, '27. P. 131)

Summary of Strikes in Shanghai in January (C. E. B. Vol. X, No. 316, Mar. 12, '27. P. 135)

Shanghai T. T. Exchange Rates on Various Financial Centers in 1926, 1925, 1924 (C. E. B. Vol. X, No. 317, Mar. 19, '27)

Sugar Making in Swatow (C. E. B. Vol. X, No. 317, Mar. 19, '27. P. 147)

National Loan Service for the Year 1926 (C. E. B. Vol. X, No. 317, Mar. 19, '27. P. 150)

Tobacco Cultivation and Trade in Chekiang (C. E. B. Vol. X, No. 317, Mar. 19, '27. P. 145)

The Hardware Import Trade of China (Com. R. No. 12, Mar. 21, '27. P. 737)

It is Useless to Tell Us to Settle Our Own Affairs (H. D. P. Mar. 22, '27)

A Vision of China's Future (N. C. D. N. Mar. 22, '27)

China Navigation Company (N. C. D. N. Mar. 24, 29, Apr. 8, '27)

Money Rates in Nanking (C. E. B. Vol. X, No. 318, Mar. 26, '27. P. 164)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那南洋其他海外
重要記事索引

臺灣總督官房調査課

◆ 新聞雜誌略號一覽表 ◆

B. T. Bangkok Times (Mar. 21-30, '27)

C. E. B. Chinese Economic Bulletin (No. 313, Feb. 19-No. 321, Apr. 16, '27)

C. E. J. Chinese Economic Journal (No. 4, Apr., '27)

C. H. Current History (Vol. XXV, No. 6, Mar.-Vol. XXVI, No. 1, Apr., '27)

Com. R. Commerce Reports (No. 10, Mar. 7, '27)

C. W. R. China Weekly Review (Vol. XL, No. 4, Mar. 26-No. 7, Apr. 16, '27)

F. E. R. Far Eastern Review (Vol. XXIII, No. 3, Mar., '27)

F. I. France-Indochine (Mar. 21-Apr. 10, '27)

H. D. P. Hongkong Daily Press (Mar. 22-Apr. 9, '27)

H. N. v. d. D. Het Nieuws van den Dag (Mar. 9-Mar. 22, '27)

I. O. Inter Ocean (Vol. 9, No.2, Feb., '27)

Le C. H. Le Courrier d' Haiphong (Mar. 20-Apr. 8, '27)

Le C. S. Le Courrier Saigonnais (Mar. 7-24, '27)

L. N. e. H. Landbouw, Nijverheid en Handel (Feb. 25-Apr. 1, '27)

M. T. Manila Times (Mar. 25-29, '27)

N. C. D. N. North China Daily News (Mar. 22-Apr 15, '27)

P. H. Philippine Herald (Mar. 27-Apr. 10, '27)

R. G. Rangoon Gazette (Vol. XIVII, No. 12, Mar. 21,-No. 14, Apr. 4, '27)

S. F. P. Singapore Free Press Mar. 16-Apr. 13, '27)

S. Hb. Soerabajasch Handelsblad (Mar. 12-Apr. 1, '27)

S. i. N. I. Suikerindustrië in Ned-Indië (No. 6, No. 12, No. 13, Mar., '27)

* * *

□世　　界□
General

World's Wool Production in 1926 (Com. R. No. 11, Mar. 14, '27. P. 666)

World Shipping Recovering (Com. R. No. 11, Mar. 14, '27. P. 651)

De handel in ananas in blik (L. N. e. H. Mar. 18, '27)

Verdere verlaging van het uitvoerpercentage van rubber (L. N. e. H. Mar. 18 '27)

Verkoop van rubber (L. N. e. H. Mar. 18, '27)

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN